

**ページプリンタ
XL-C3000 取扱説明書**

B1WY-4141-02

製品を安全に使用していただくために

本書の取り扱いについて

本書には、お買い上げいただいた製品を安全に正しく使用するための重要なことがらが記載されています。製品を使用する前に本書をよくお読みください。特に、本書に記載されている「安全上のご注意」は必ずお読みいただき、内容をよく理解したうえで製品を使用してください。

本書は、お読みになった後も製品の使用中いつでも参照できるように、大切に保管してください。富士通は、お客様の生命、身体や財産に被害を及ぼすことなく安全に使っていただくために細心の注意を払っています。当製品を使用する際は、本書の説明に従ってください。

Microsoft、Windows、MS-DOS、Windows NTは、米国Microsoft Corporationの米国およびその他の国における登録商標です。

PC-9800シリーズ、PC-9801、PC-9821は、日本電気(株)の商標です。

FXリヨービは富士ゼロックス(株)の登録商標です。

Netwareは、米国ノベル社の登録商標です。

TrueTypeフォントは米国Apple Computer社の登録商標もしくは商標です。

その他の製品名、会社名は各社の登録商標または商標です。

紙幣、有価証券などをプリンタで印刷すると、その印刷物の使用如何に拘わらず、法律に違反し、罰せられます。

関連法律

刑法 第148条、第149条、第162条

通貨及証券模造取締法 第1条、第2条等

VCCI適合基準について

この装置は、情報処理装置等電波障害自主規制協議会(VCCI)の基準に基づくクラスB情報技術装置です。この装置は、家庭環境で使用することを目的としていますが、この装置がラジオやテレビジョン受信機に近接して使用されると、受信障害を引き起こすことがあります。

取扱説明書に従って正しい取り扱いをしてください。

電源の瞬時低下について

この装置は、落雷等による電源の瞬時電圧低下に対し不都合が生じることがあります。電源の瞬時電圧低下対策としては、交流無停電電源装置等を使用されることをお薦めします。

(社団法人日本電子工業振興協会のパーソナルコンピュータの瞬時電圧低下対策ガイドラインに基づく表示)

漏洩電流自主規制について

この装置は、社団法人 日本電子工業振興協会のパソコン業界基準(PC-11-1988)に適合しております。

電源高調波について

この装置は、高調波抑制対策ガイドラインに適合しております。

国際エネルギー・スタープログラムについて

この装置は、国際エネルギー・スタープログラムの基準に適合しております。国際エネルギー・スタープログラムはコンピュータをはじめとしたオフィス機器の省エネルギー化促進のための国際的なプログラムです。このプログラムはエネルギー消費を効率的に抑えるための機能を備えた製品の開発、普及の促進を目的としたもので、事業者の自主判断により参加することができる任意制度となっています。

対象となる製品はコンピュータ、ディスプレイ、プリンタ、ファクシミリ及び複写機等のオフィス機器で、それぞれの基準ならびにマーク(ロゴ)は参加各國の間で統一されています。

レーザ規格について

この装置は、危険なレーザ光を出さない「クラスIのレーザシステム」です。本書に従って操作してください。本書に書かれた以外の操作は行わないでください。思わぬ故障や事故を起こす原因になります。

はじめに

このたびは、弊社のカラーページプリンタXL-C3000をお買い求めいただきまして、誠にありがとうございます。

本プリンタは、モノクロ印刷時最大16枚／分（A4サイズ）、フルカラー印刷時最大4枚／分（A4サイズ）の高速印刷が可能なページプリンタです。

本書では、プリンタ装置の設置や取り扱いに関することがらと、プリンタドライバなどのソフトウェアに関することがらについて説明しています。

本書にしたがって正しい取り扱いをし、本プリンタを有効にご利用ください。

2000年6月

本文中の略語について

Microsoft® Windows NT® Workstation operating system Version 4.0は、本文中ではWindows NT4.0と表記しています。

Microsoft® Windows® 95 operating system/Microsoft® Windows® 98 operating systemは、本文中ではWindows 95/Windows 98と表記しています。

Microsoft® Windows® 2000 ProfessionalおよびMicrosoft® Windows® 2000 Serverは、本文中ではWindows 2000と表記しています。

警告表示マークについて

本書では、製品を安全にかつ正しくお使いいただき、あなたや他の人々に加えられる恐れのある危害や損害を未然に防止するために、次のような表示をしています。

 警告	 注意
この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。	この表示を無視して誤った取り扱いをすると、人が損害を負う可能性が想定される内容、および物的損害のみが想定される内容を示しています。

絵記号の例とその意味	
	で示した記号は、警告、注意を促す事項であることを告げるものです。記号の中には、具体的な警告内容を表す絵（左図の場合は感電注意）が描かれています。
	で示した記号は、してはいけない行為（禁止行為）であることを告げるものです。記号の中やその脇には、具体的な指示内容（左図の場合は分解禁止）が描かれています。
	で示した記号は、必ず従っていただく内容であることを告げるものです。記号の中には、具体的な指示内容（左図の場合は電源プラグをコンセントから抜いてください）が描かれています。

安全上のご注意

プリンタ設置および移動時のご注意



プリンタの上に「花びん、植木鉢、コップ」などの水の入った容器、金属物を置かないでください。

感電・火災の原因となります。

湿気・ほこり・油煙の多い場所、通気性の悪い場所、火気のある場所に置かないでください。

感電・火災の原因となります。

電源プラグは、交流100V、15A専用コンセント以外には差し込まないでください。たこ足配線をしないでください。

感電・火災の原因となります。本定格電源は100V、11Aとなっています。

添付の電源コード以外は使用しないでください。

感電・火災の原因となります。

ストーブやヒーターなどの発熱器具に近い場所、アルコール、シンナー、ガソリンなど揮発性可燃物やカーテンなどの燃えやすいものの近くにはプリンタを設置しないでください。

火災の原因となります。

延長コードは、定格(125V、15A)未満のものは使用しないでください。特に容量不足の延長コードは絶対に使用しないでください。

異常な発熱や火災の原因となります。

次のようなところには、絶対にアース線を接続しないでください。

- ・ガス管(引火や爆発の危険があります。)
- ・電話専用アース線および避雷針(落雷時に大量の電流が流れる場合があり危険です。)
- ・水道管や蛇口(配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目を果たしません。)

梱包に使用しているビニール袋はお子様が口に入れたり、かぶって遊んだりしないよう、ご注意ください。

窒息の原因となります。

! 警告



風呂場、シャワー室などの水場に置かないでください。

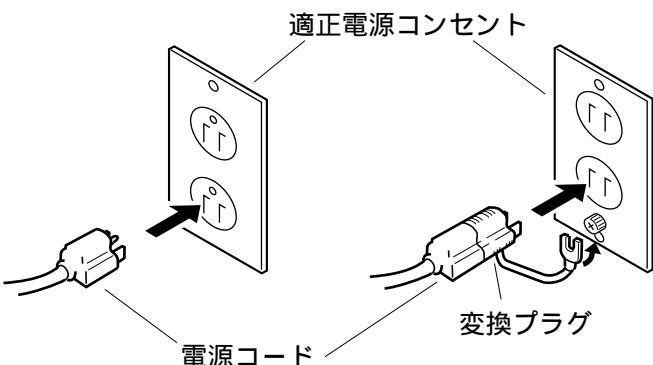
感電・火災の原因となります。



本プリンタに添付されている平行3ピンの電源コードを使用してください。
3ピンの電源コンセントが近くにない場合は、添付の変換プラグを使用し、
変換プラグから出ている緑色のアース線を、必ずいずれかに取り付けてください。

- ・電源コンセントのアース線
- ・銅片などを650mm以上地中に埋めたもの
- ・接地工事（第3種）を行っている接地端子

アース接続しないで使用すると、万一漏電した場合に、火災・感電の原因となります。



プリンタケーブルおよびオプション製品の取り付け取り外しを行うときは、
必ずプリンタ本体および接続されている機器の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いた後に行ってください。

感電の原因となります。

オプション機器を接続する場合には、当社推奨品以外の機器は接続しないでください。

火災や感電または故障の原因となります。



近くで雷が起きたときは、電源コードをコンセントから抜いて、雷がおさまるのを待ってください。

入れたままにしておきますと、雷によっては機器を破壊し、火災の原因となります。



注意



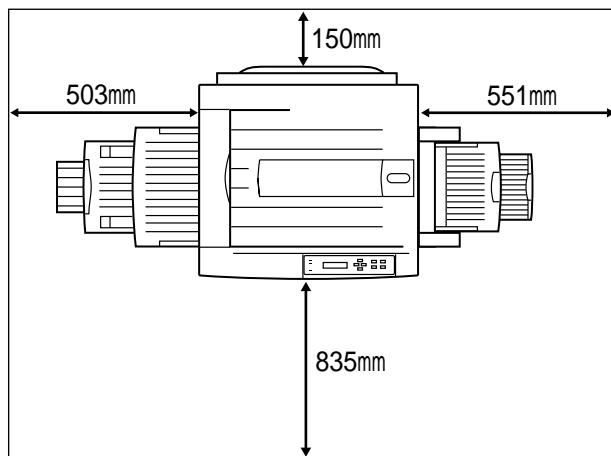
直射日光の当たる場所や炎天下の車内など、高温になる場所に長時間放置しないでください。

高温によりカバーなどが加熱、変形、溶解する原因となったり、プリンタ内部が高温となり、火災の原因となることがあります。

プリンタの側面、背面および上面には通風口があります。プリンタは壁から150mm以上離して設置し、通風口の上にはものをおかないでください。

通風口をふさぐと内部に熱がこもり、火災の原因となることがあります。プリンタの操作および消耗品類の交換、日常の点検など、プリンタを正しく使用し、プリンタの性能を維持するために、下図の設置スペースを確保してください。

プリンタの上部には、日常の操作に必要な400mm以上のスペースを確保してください。



プリンタの上に重いものを置かないでください。また、衝撃を与えないでください。

バランスが崩れて倒れたり、落下してけがの原因となることがあります。

振動の激しい場所や傾いた場所など、不安定な場所に置かないでください。

落ちたり、倒れたりしてけがの原因となることがあります。

オプション類の装着、取り外しを行う際は、指定された場所以外のネジは外さないでください。

指定された場所以外のネジを外すと、けがの原因または故障の原因となることがあります。

⚠ 注意



プリンタは、重さ約75kg（消耗品と用紙を含む）に耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。また、オプション品の拡張給紙ユニットやプリンタキャビネットをお使いになる場合は、重さ約107kgに耐えられる丈夫で水平な場所に設置してください。

プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。

プリンタを設置する場合は、前後方向に5mm、左右方向に10mm以上傾けないでください。

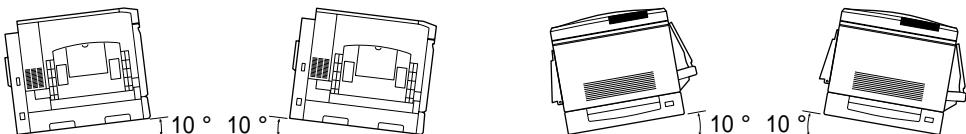
プリンタ内部の消耗品がこぼれて故障の原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、ドラムカートリッジや廃トナー ボックスを取り外さないでください。

取り外したドラムカートリッジや廃トナー ボックスをもう一度取り付けると、内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となることがあります。

プリンタを移動する場合は、下図に示す角度以上に傾けないでください。

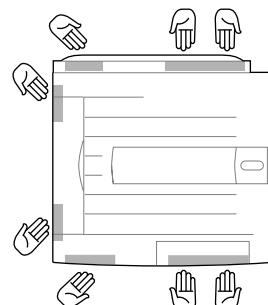
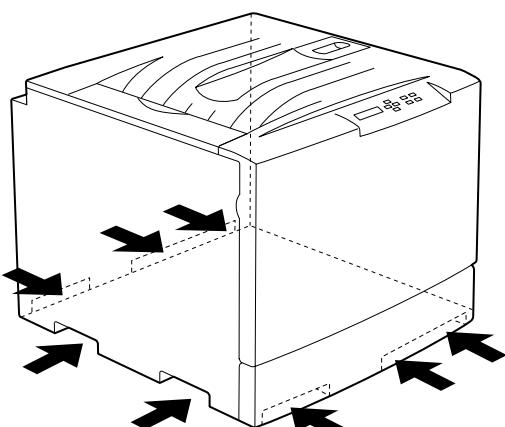
プリンタの転倒などによりけがの原因となることがあります。



プリンタは、用紙が入っていない状態で約69.5kgあります。プリンタを動かす場合は必ず4人以上で持ち運んでください。

プリンタを持ち上げるときは、プリンタ正面（操作パネル側）に向かって、前後両側と左側の下方にあるくぼみを両手でしっかりと持ってください。くぼみ以外を持って持ち上ることは絶対にしないでください。

落下によりけがの原因となることがあります。





注意



プリンタを移動する場合は、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。また、接続ケーブルなどもはずしてください。作業は足元に十分注意して行ってください。

電源コードが傷つき、火災や感電の原因となったり、本プリンタが倒れたりしてけがの原因となることがあります。

プリンタ使用時のご注意



プリンタに水をかけたり、濡らしたりしないでください。
火災・感電の原因となります。

開口部（通風口など）から内部に金属類や燃えやすいものなどの異物を差し込んだり、落とし込んだりしないでください。
火災・感電の原因となります。

電源コードを傷つけたり、加工しないでください。

重いものを載せたり、引っぱったり、無理に曲げたり、ねじったり、加熱したりすると、電源コードを傷め、火災や感電の原因となります。

電源コードや電源プラグが傷んだり、コンセントの差し込み口がゆるいときは使用しないでください。

そのまま使用しますと、火災・感電の原因となります。修理にはお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

異常音がするなどの故障状態で使用しないでください。

故障の修理は、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。

カバーを外した状態でコンセントを差したり、電源を入れたりしないでください。

感電・火災の原因となります。

プリンタの近くで強燃性スプレーを使用しないでください。

火災の原因となります。



濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



ネジで固定されているパネルやカバーなどは、取扱説明書で指示してある箇所以外絶対に開けないでください。内部の点検、修理はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

内部には電圧の高い部分があり、感電の原因となったり、レーザー光漏れにより失明するおそれがあります。

プリンタを改造したり、部品を変更して使用しないでください。

感電・火災の原因となります。



警告



電源プラグの金属部、およびその周辺にほこりが付着している場合は、乾いた布でよく拭いてください。

そのまま使用すると、火災の原因となります。

取り外したカバー、キャップ、ネジ等は、小さなお子様が誤って飲むがないように、小さなお子様の手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



万一、プリンタから発熱や煙、異臭や音がするなどの異常が発生した場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、その後必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

煙が消えるのを確認して、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターに修理をご依頼ください。お客様自身による修理は危険ですから絶対におやめください。

異常状態のまま使用すると、感電・火災の原因となります。

万一、異物（金属片、水、液体など）が内部に入った場合は、ただちにプリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、火災・感電の原因となります。

プリンタを落としたり、カバーなどを破損した場合は、プリンタ本体の電源スイッチを切り、電源プラグをコンセントから抜いてください。その後、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

そのまま使用すると、感電・火災の原因となります。



注意



電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。

電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。

使用中のプリンタは布などでおおったり、包んだりしないでください。

熱がこもり、火災の原因となることがあります。

プリンタの電源を入れたままでコンセントからプラグを抜き差ししないでください。

プラグが変形し、発火の原因となることがあります。

プリンタの内部には磁気を帯びたマグネット類を近づけないでください。

プリンタが動作状態になる場合があり、けがの原因となることがあります。



電源プラグはコンセントの奥まで確実に差し込んでください。

火災・故障の原因となることがあります。

つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。

紙片が残ったままになっていると火災の原因となることがあります。なお、定着器やローラ部に用紙が巻き付いているときは無理にとらないで、直ちに電源を切り、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、鋭利部に触れないよう注意してください。

けがの原因となることがあります。

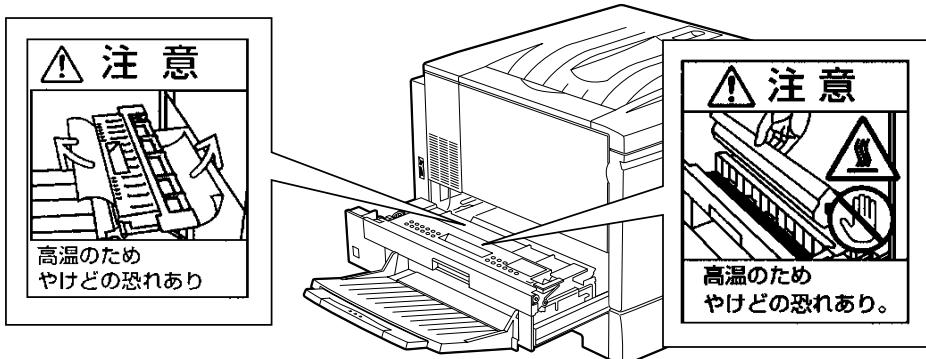
つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、ネクタイやネックレスなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。

けがの原因となることがあります。



「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。

やけどの原因になることがあります。



1 カ月に一度はプリンタの電源を切り、次のような点検をしてください。

- ・電源プラグが電源コンセントにしっかりと差しこまれていますか。
- ・電源プラグに異常な発熱およびサビ、曲がりなどがありますか。
- ・電源プラグやコンセントに細かいホコリがついていませんか。
- ・電源コードにき裂や擦り傷などはありませんか。
- ・アース線は取り付けられていますか。

なお、異常がある場合はお買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターまでご連絡ください。



長期間、プリンタを使用しないときは、安全のため必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感電・火災の原因となることがあります。

プリンタの清掃および保守、故障の処置を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

電源スイッチを切らずにプリンタの清掃や保守を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



用紙排出部のローラーが作動しているとき作動部には触れないでください。

指を挟み、けがをする原因となることがあります。

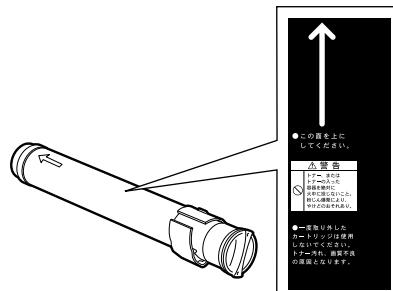
カートリッジ類の取り扱い上のご注意



トナーカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

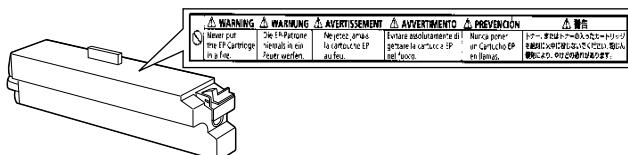
使用済みのトナーカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。



廃トナーボックスを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

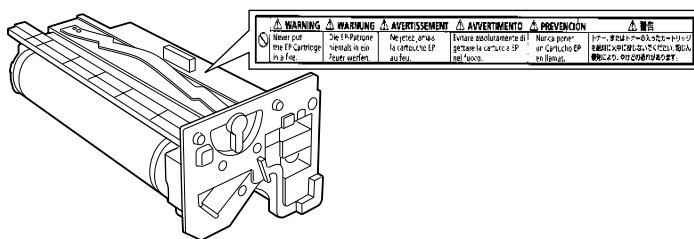
使用済みの廃トナーボックスは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。



ドラムカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

使用済みのドラムカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。





警告



トナーは目や口に入らないように注意してください。

トナーカートリッジの交換時などに、トナーが手に付いた場合は速やかに洗い落としてください。万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



トナーカートリッジを保管する場合は、小さなお子さまがトナーを誤って飲むことがないように、小さいお子さまの手の届かないところに置いてください。

万一、飲み込んだ場合は、直ちに医師と相談してください。



注意



オイルロールカートリッジを立てないでください。

内部のオイルが漏れ、火災の原因となることがあります。

本書の構成

本書では、本プリンタをお使いになる前の準備、日常の操作のしかた、設定値の変えかた、日常の保守のしかたなどについて説明します。

目 次	内 容
第1章 お使いになる前に	プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことがらについて説明します。
第2章 用紙について	プリンタで使用できる用紙と、用紙の保管のしかたについて説明します。
第3章 プリンタの設置	プリンタを設置する際の留意事項や、設置手順の概要について説明します。
第4章 外部との接続	ケーブル類の接続について説明します。
第5章 プリンタドライバのインストールと設定	プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。
第6章 日常のメンテナンス	プリンタを使用していると必要になることがらについて説明します。
第7章 オペレータパネルの操作	オペレータパネルの見かたと操作について説明します。
第8章 設定値を変える	プリンタが持つ機能と、その設定のしかたについて説明します。
第9章 こんなときには	故障が発生したと思われるときや紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。
第10章 プリンタRAMモジュールの取り付け	メモリを増設するためのRAMモジュールの取り付けかた、取り外しかたを説明します。
付 錄	プリンタの仕様やコマンドの一覧など、補助的に必要となることがらについて説明します。

本書の用語

本書では、説明する内容により、以下のマークを使用しています。



本プリンタを正しく使っていただくための依頼事項を説明しています。

操作する前に必ずお読みください。



本プリンタを使う際に参考にしていただきたい内容を説明しています。

必要に応じてお読みください。

目 次

はじめに	(1)
本文中の略語について	(1)
警告表示マークについて	(1)
安全上のご注意	(2)
プリンタ設置および移動時のご注意	(2)
プリンタ使用時のご注意	(7)
カートリッジ類の取り扱い上のご注意	(11)
本書の構成	(13)
本書の用語	(14)
 第1章 お使いになる前に	1
製品の確認（梱包されている製品）	2
本プリンタの特長	3
各部の名称と機能	4
アプリケーションソフトからの印刷のしかた	7
プリンタドライバで印刷する	7
オプション品	8
サプライ品	10
 第2章 用紙について	13
使用できる用紙	14
使用できない用紙	18
用紙の保管上のご注意	19

第3章 プリンタの設置	21
設置上のお願い	22
プリンタの寸法	24
設置手順	25
手差しトレイを取り付ける	26
手差しユニットのスペーサを取り外す	27
フェイスアップトレイを取り付ける	29
オイルロールカートリッジを取り付ける	30
トナーカートリッジを取り付ける	33
ドラムカートリッジの保護テープをはがす	37
用紙トレイのスペーサを取り除く	41
第4章 外部との接続	43
パソコンとの接続	44
電源コードの接続	46
第5章 プリンタドライバの インストールと設定	49
インストールの前に	50
Windows 95 の場合	51
Plug & Play でのインストール	51
通常のインストール	56
新しいドライバに置き換えるとき	60
プリンタドライバの設定	61
設定画面の表示	67
設定項目の詳細	68
アプリケーションソフトから印刷するときの設定	92
Windows 98 の場合	96
Plug & Play でのインストール	96
通常のインストール	100
新しいドライバに置き換えるとき	104
プリンタドライバの設定	105
設定画面の表示	105
設定項目の詳細	106

アプリケーションソフトから印刷するときの設定	107
Windows NT4.0 の場合	108
インストール	108
新しいドライバに置き換えるとき	112
プリンタドライバの設定	112
Windows 2000 の場合	119
Plug & Play でのインストール	119
通常のインストール	122
新しいドライバに置き換えるとき	127
プリンタドライバの設定	128
第6章 日常のメンテナンス	131
電源の投入と切斷	132
用紙のセット	134
用紙トレイに用紙をセットする	134
手差しトレイに用紙をセットする	137
手差しトレイにOHP フィルムをセットする	140
手差しトレイにはがきをセットする	141
サプライ品の紹介	142
トナーカートリッジの交換	144
トナーカートリッジの取り扱い上の注意	144
トナーカートリッジを交換する	145
ドラムカートリッジの交換	149
ドラムカートリッジの取り扱い上の注意	149
ドラムカートリッジを交換する	151
廃トナーボックスを交換する	156
オイルロールカートリッジの交換	158
オイルロールカートリッジの取り扱い上の注意	158
オイルロールカートリッジを交換する	159
プリンタの清掃	162
給紙ローラの清掃	163
プリンタを長時間使用しないとき	165
プリンタを移動するとき	166
近くに移動する	167
輸送する	168

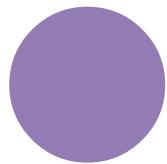
第7章 オペレータパネルの操作	175
液晶ディスプレイの表示内容	176
オペレータパネルを操作する	177
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	177
印刷を中止する	178
未印刷データを強制的に印刷する	179
第8章 設定値を変える	181
設定の変更手順（メニューの操作方法）.....	182
メニューの階層について	182
基本的な操作	183
メニュー項目について	192
印刷機能の設定	192
システムの設定	196
メンテナンス	198
パラレル機能の設定	199
プリントユーティリティ	200
メニュー項目一覧	204
第9章 こんなときには	207
紙づまりになったとき	208
用紙トレイでの紙づまり	210
手差しトレイでの紙づまり	212
右側面での紙づまり	213
左側面（下）での紙づまり	216
左側面（上）での紙づまり	219
拡張給紙ユニットでの紙づまり	220
〔エラー〕ランプが点灯／点滅したとき	221
〔エラー〕ランプが点灯している場合	221
〔エラー〕ランプが点滅している場合	225
ワーニングメッセージが表示されたとき	227
故障かなと思ったとき	228
電源投入時のトラブル	228
印刷に関するトラブル	229

用紙に関するトラブル	230
印刷品質に関するトラブル	231
その他のトラブル	235
留意事項	236
品質に関する留意事項	236
プリンタに関する留意事項	239
プリンタドライバに関する留意事項	240
第10章 プリンタ RAM モジュールの取り付け	243
プリンタ RAM モジュールの取り付け上のご注意	244
RAM モジュールの取り付けかた	244
RAM モジュールを取り付ける	245
RAM モジュールを取り外す	249
付録	251
プリンタの仕様	252
基本仕様	252
インターフェース仕様	253
保守・サービス	256
プリンタドライバのダウンロードサービス	256
アフターサービスについて	256
サプライ用品担当窓口一覧	257
お問い合わせチェックシート	259
索引	261

目 次

第1章

お使いになる前に



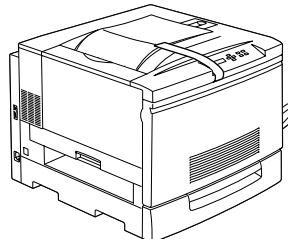
この章では、プリンタの特長や各部の名称と機能、オプション品やサプライ品など、プリンタを使用する前に知っておいていただきたいことについて説明します。

製品の確認（梱包されている製品）	2
本プリンタの特長	3
各部の名称と機能	4
アプリケーションソフトからの印刷のしかた	7
プリンタドライバで印刷する	7
オプション品	8
サプライ品	10

製品の確認（梱包されている製品）

本プリンタは、添付品とともに梱包材で保護し、梱包してあります。梱包箱から取り出して、製品が揃っていることを確認してください。万一、不良品がありましたら、ご購入元にご連絡ください。

1. プリンタ本体



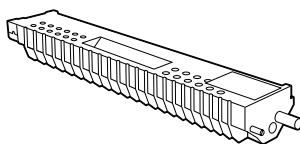
2. 手差しトレイ



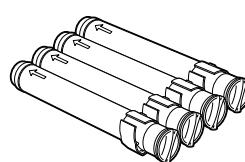
3. フェイスアップトレイ



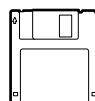
4. オイルロールカートリッジ



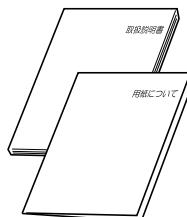
5. トナーカートリッジ
(ブラック、イエロー、3P-2P 変換プラグ
マゼンタ、シアン)



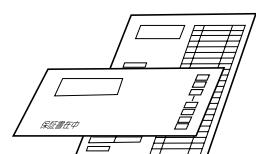
7. フロッピーディスク (1枚)



8. 取扱説明書、
用紙について



9. サービス網一覧表、保証書



お願い

本プリンタには、パソコンとの接続ケーブル（プリンタケーブル）は添付されていません。

パソコン本体に添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください。（「プリンタケーブルについて」9ページ参照）

ガイド

移転など、プリンタを運搬する可能性がある場合は、梱包箱を保管しておくと便利です。

本プリンタの特長

1 Windows 98/95 日本語版およびWindows NT 4.0/2000 日本語版対応

各社パソコンのWindows環境のもとで美しくスピーディな印刷が行えます。またWindows 98/95 およびWindows 2000 のPlug & Playに対応しています。

2 優れた印刷品質

高画質モードで1200×600dpi、標準モードで600×600dpiの高解像度フルカラー印刷ができます。

3 高速印刷

モノクロ印刷時16枚/分(A4サイズ用紙)、フルカラー印刷時4枚/分(A4サイズ用紙)の速度で印刷できます。ただし、転送するデータ量が多いとき(例:イメージデータなど)は、時間がかかることがあります。

4 多彩な給紙機能

拡張給紙ユニット(オプション)を取り付けると次のような給紙機能が使用できます。

- ・異なったサイズの用紙を5種類まで同時にセットすることができます。
- ・最大1150枚の用紙を一度にセットできます。

5 多種類の用紙サイズに対応

はがき、A5～A3サイズ、特A3サイズ(幅330.2mm、長さ457.2mm)まで、さまざまな用紙サイズに対応しています。

6 國際エネルギーestarプログラムに対応

節電モードを使用すると、印刷終了後30分(1分～120分の設定も可)経過すると消費電力25W以下になります。

各部の名称と機能

本プリンタの主要各部の名称と機能について説明します。

前面

オペレータパネル
操作に必要な液晶ディスプレイ、各ランプ、各スイッチがまとめられています。

フロントカバー
プリンタ正面のカバーです。トナーカートリッジやドラムカートリッジを交換するときに開きます。

用紙トレイ
用紙をセットします。

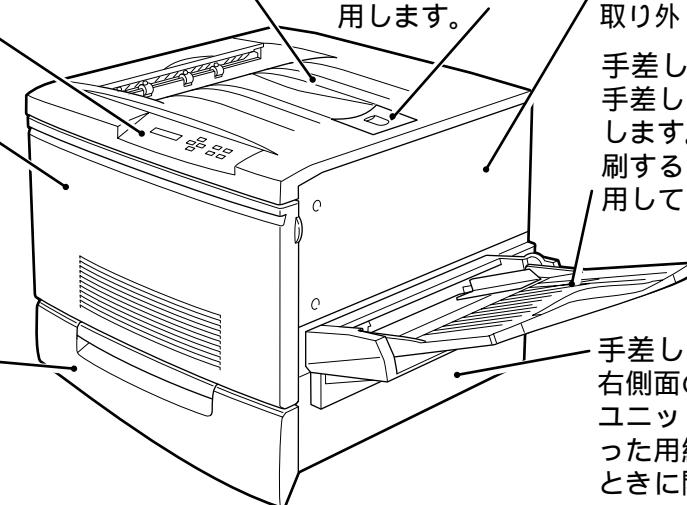
フェイスダウントレイ
印刷された用紙が印刷面を下にして排出されます。

用紙ストッパー
排出された用紙が落ちないように止めます。立てて使用します。

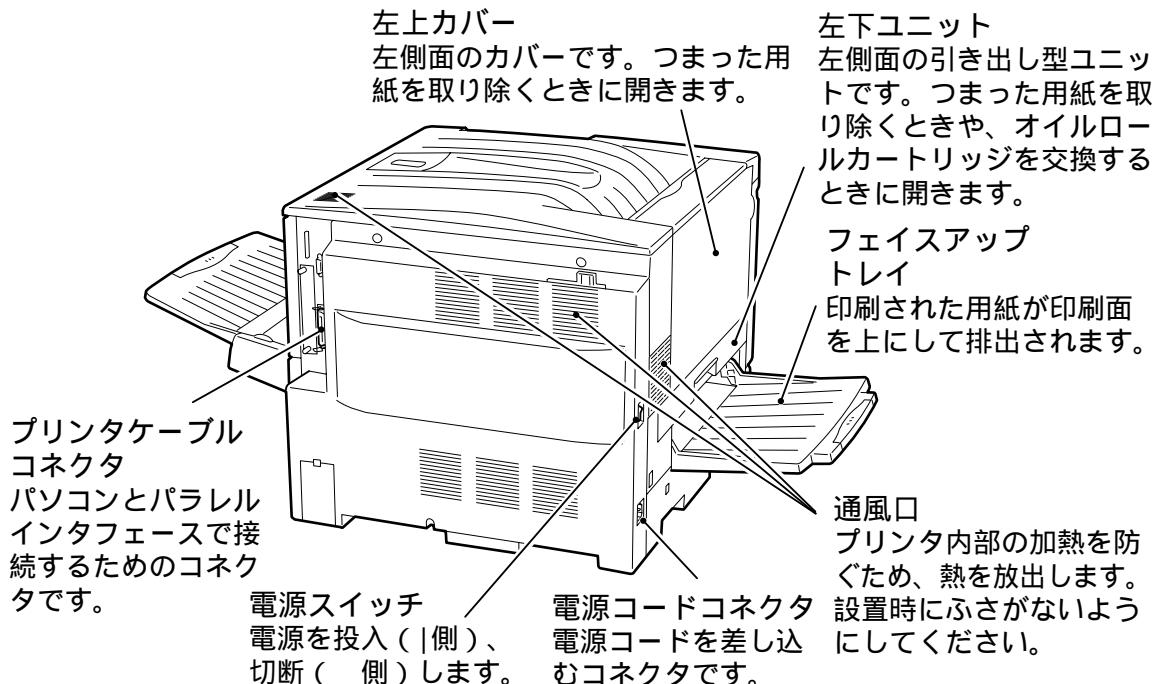
右上カバー
プリンタRAMモジュール(オプション)などを取り付けるときに取り外します。

手差しトレイ
手差し印刷時に使用します。はがきに印刷するときなどに使用してください。

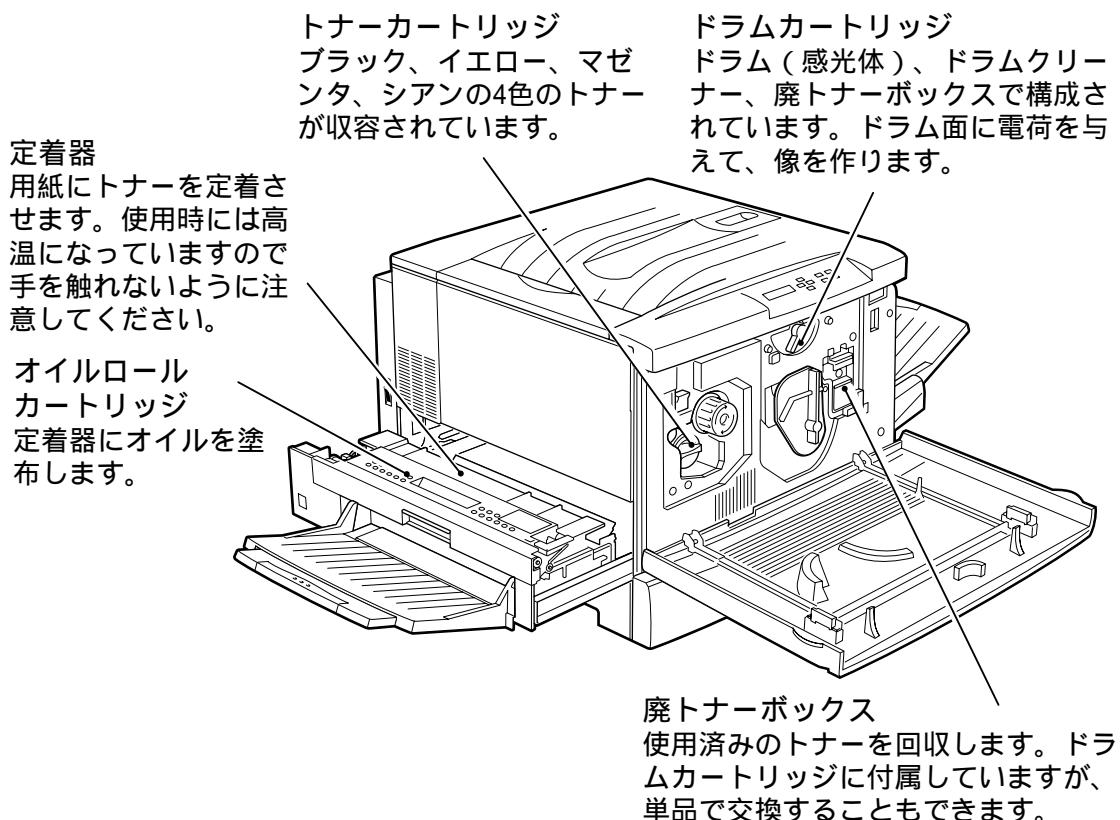
手差しユニット
右側面の引き出し型ユニットです。つまつた用紙を取り除くときに開きます。



背面



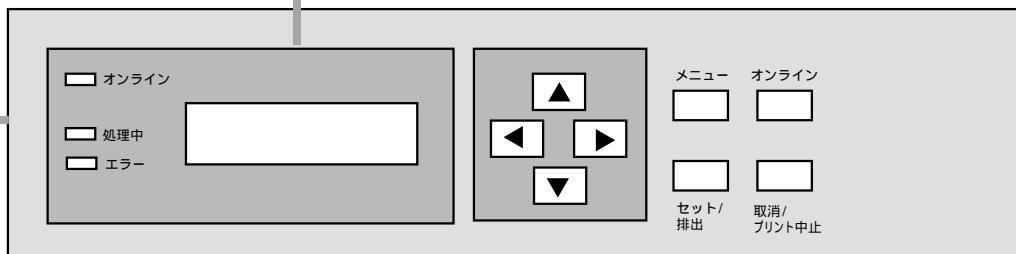
内部



■ オペレータパネルの機能

オペレータパネルには、操作に必要なスイッチ、表示ランプ、および液晶ディスプレイがあります。ここでは、オペレータパネルの機能を説明します。

液晶ディスプレイ
プリンタの状態を知らせるメッセージや設定項目などを表示します。(1行16文字の2段に表示されます。)



[オンライン] ランプ(緑色)
プリンタがオンライン状態かオフライン状態かを知らせます。

- 点灯：オンライン状態
(データの印刷が可能な状態)
消灯：オフライン状態
(データの印刷が不可能な状態)

[処理中] ランプ(緑色)
印刷処理をしているか、データを受信しているかを知らせます。

- 点灯：印刷処理中でデータを受信していない状態。または排出/プリント中止処理中
点滅：印刷処理中でデータ受信中
消灯：印刷処理をしていない状態

[エラー] ランプ(赤色)
プリンタの異常を知らせます。
点灯：紙づまりなど対処可能なエラー発生中
点滅：お客様では対処できないエラーが発生。
お買い上げの販売店または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。
消灯：正常に動作中
エラーについての詳細は、「第9章 こんなときは」(207ページ)を参照してください。

[メニュー] スイッチ
メニュー画面に移行します。オフライン状態のときに有効となります。(「**基本的な操作**」183ページ参照)

[排出] スイッチ
プリンタ内に残っている未印刷データを強制的に印刷します。(「**未印刷データを強制的に印刷する**」179ページ参照)

[オンライン] スイッチ
オンライン状態とオフライン状態を切り替えます。(「**オンライン状態とオフライン状態を切り替える**」177ページ参照)

[プリント中止] スイッチ
オフライン状態のときに、印刷中のジョブの印刷を中止します。(「**印刷を中止する**」178ページ参照)



[取消][セット][▲][▼][◀][▶] の各スイッチについて
は、「**設定の変更手順(メニューの操作方法)**」(182ページ)
を参照してください。

アプリケーションソフトからの印刷のしかた

アプリケーションソフトからの印刷のしかたについて説明します。

▼ プリンタドライバで印刷する

Windows 対応のアプリケーションソフトから印刷する場合、本プリンタのドライバ（FUJITSU XL-C3000）を選択します。プリンタの設定は、Windows のダイアログボックスの設定内容に従います。

オプション品

本プリンタは、次のオプションを用意しています。必要に応じてお買い求めください。

■ 拡張給紙ユニット

品名	型名	内容
拡張給紙ユニット	XL-EF75G1	2~4段目の給紙ユニットとして使用できます。 A3~B5の用紙を250枚セットできる用紙トレイが3個添付されています。

■ プリンタキャビネット

品名	型名	内容
プリンタキャビネット	XL-CA1	本プリンタ専用の置き台です。

■ プリンタ RAM モジュール

品名	型名	内容
プリンタRAMモジュール-32MB	XL-EM32M3	RAMを32MB搭載したメモリモジュールです。 標準搭載で印刷できない場合、増設します。

■ プリンタ LAN アダプタ

品名	型名	内容
プリンタ LAN アダプタ	FM-LNA100	100BASE-TX/10BASE-Tに対応したLANアダプタです。 Netware 3.1XJ/4.1 Windows 95/98 Windows NT4.0/2000に対応します。

■ プリンタケーブルについて

パソコンとプリンタを接続するケーブルは数種類あります。ご使用のパソコンに対応したケーブルをご使用ください。

なお、本プリンタにはプリンタケーブルは添付されていません。パソコン本体に添付のケーブルか、別売りケーブルをお使いください。別売りケーブルは以下のものが用意されています。

【富士通】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
FMV シリーズ	FMV-CBL712
PRIMERGY GRANPOWER 5000 シリーズ	FMS-CBL711

【NEC】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
PC-9821An,Ap2,As2,Ap3,As3,Bf,Bp Bs,Be	XL-CBL981 (*1)
PC-9821Xt,Xa,Xn,Xp,Xs,Xe	
PC-9821Cs2,Ce2,Ts,Es,Cb,Cx,Cf	
PC-9801BA2,BS2,BX2,BX3	
PC-9801Np,Ns,Ne ² ,Nd	
PC-9801NS/A	

*1: XL-CBL981はプリンタインターフェースとして36ピンハーフピッチコネクタを持つPC-9800シリーズに対応しています。36ピンハーフピッチ以外のコネクタを持つPC-9800シリーズは、NEC製の専用ケーブルをご使用ください。

【その他】

ご使用のパソコン	プリンタケーブル
各社 AT 互換機パソコン	FMV-CBL712

【USB ケーブル】

本プリンタをパソコンのUSBインターフェースに接続して使用するためのケーブルです。USBからパラレルインターフェースの変換を行います。

品名	型名	備考
プリンタUSBケーブル	FMV-CBL721	USBに対応し、Windows 95 OSR2.5以降またはWindows 98が動作するパソコンに接続可能です。

サプライ品

サプライ品の商品番号を以下に示します。

これらの品物については、本プリンタをお買い求めの販売店へご相談ください。

PPC用紙および普通紙を使用することができますが、より良い印刷品質が得られるよう、下記の推奨用紙のご使用をお勧めします。

商 品 名	商品番号	備 考
カラー オフィス用紙 A3	0415750	250枚×5冊で1ケース
B4	0415720	250枚×5冊で1ケース
A4	0415710	250枚×10冊で1ケース
B5	0415740	250枚×10冊で1ケース
カラーページプリンタ用 A4	0415520	100枚(注1)
OHP フィルムII		
トナーカートリッジ CL103 (ブラック)	0874110	A4用紙で有効画像面積に対して画像面積比率が5%以下のときに、印刷寿命は約4,500枚です(印刷の内容により、多少の差があります)。
トナーカートリッジ CL103 (シアン)	0874140	
トナーカートリッジ CL103 (マゼンタ)	0874130	
トナーカートリッジ CL103 (イエロー)	0874120	
ドラムカートリッジ CL103	0874410	感光体、ドラムクリーナー、廃トナー ボックスで構成されています。約20,000枚で交換です。(注2)
オイルロールカートリッジ CL103	0874720	定着器清掃用オイルロールです。約20,000枚で交換です。
廃トナー ボックス CL103	0874710	ドラムカートリッジに付属しているものですが、単体で交換できます。約20,000枚で交換です。(注2)
CL103 紙カセット (A3ユニバーサル)	0874310	A3～B5サイズで250枚添付の用紙トレイと同一です。

(注1) 本OHPフィルム以外は使用できません。

(注2) ドラムカートリッジ、廃トナー ボックスの印刷寿命は、モノクロ：カラー=1:1で印刷した場合です。

印刷の内容により(カラーの印刷枚数が多い場合等)印刷寿命が約10,000枚程度になります。

■ 使用済みプロセスカートリッジの回収サービス

富士通株式会社では、地球環境への配慮から使用済みプロセスカートリッジを無償で回収しております。

下記の『エコ受付センター』までご連絡をいただければ、回収便にて引き取りにうかがいます。お客様のご理解とご協力をお願ひいたします。

『エコ受付センター』

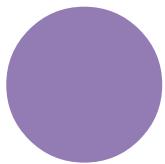
フリーダイヤル : 0120-30-0693

平日 8:40 ~ 12:00 および 13:00 ~ 17:30

(土曜・日曜・祝日・年末年始を除く)

第2章

用紙について



使用する用紙の種類、用紙の保管のしかたなどによって、印刷品質にかなりの差がでます。ここでは、用紙の種類と保管のしかたについて説明します。

使用できる用紙	14
使用できない用紙	18
用紙の保管上のご注意	19

使用できる用紙

本プリンタでは、普通紙をはじめ、さまざまな用紙を使用することができます。しかし、一般の市販品には本プリンタに適さないものもありますので、できるだけサプライ用紙をご使用ください。サプライ品の詳細は、「サプライ品」(10ページ)を参照してください。



お願い

- 用紙を大量にお買い求めになる前に、サンプル用紙でためし印刷をし、支障がないことを確認することをお勧めします。

推奨用紙

次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙		説明
普通紙	カラーオフィス用紙	本機での印刷時、最良の印刷品質を得ることができます。
	A3	用紙トレイ、手差しトレイのどちらからでも給紙できます。
	B4	用紙トレイ、手差しトレイのどちらからでも給紙できます。
	A4	用紙トレイ、手差しトレイのどちらからでも給紙できます。
特殊紙	カラーページプリンタ用	本機専用のOHPシートです。
	OHP フィルムII A4	手差しトレイからの給紙のみ可能です。

一般の用紙

推奨用紙以外では、次の用紙が使用できます。

使用可能な用紙	説明
普通紙	PPC用紙 一般的な複写機などで使用する用紙です。
	上質紙 重量は64～105g/m ² の範囲内のものが使用可能です。
	再生紙 ^① 重量は64～105g/m ² の範囲内のものが使用可能です。
特殊紙	官製はがき ^② 通常の官製はがきが使用可能です。
	ラベル紙 ^③ 台紙全体がラベルで覆われている、レーザプリンタ用のラベル紙が使用可能です。
	厚紙 重量は105～220g/m ² の範囲内のものが使用可能です。

*1：再生紙は、一般的の室温以上の環境下で使用すると、印刷品質が低下したり、紙づまりなどが発生することがあります。

*2：かもメールなどの絵入りはがきなどの印刷は、はがきの粉が給紙ローラに付着し給紙できなくなる場合があります。このような場合は給紙ローラを清掃してください。

*3：台紙全体がラベルなどで覆っていないラベル紙は、プリンタ内部でのラベルのはがれにより故障の原因となります。使用しないでください。

■ 紙給方法と用紙のサイズ

次のサイズ、重量の用紙が使用できます。用紙トレイ、手差しトレイのどちらでも使用できます。

給紙方法	用紙種類	サイズ	重量	積載可能枚数
用紙トレイ	普通紙	A3 横	64 ~ 105g/m ²	約 250 枚
		B4 横		(または 総厚 28mm まで)
		A4 縦 / 横		
		B5 縦		
		レター 縦		
		リーガル 横		
		レジャー 横		
		特 A3 横 ^{(*)1}	60 ~ 105g/m ²	約 150 枚
		A3 横		(または 総厚 16mm まで)
		B4 横		
手差しトレイ	普通紙	A4 縦 / 横		
		B5 縦		
		A5 縦		
		レター 縦 / 横		
		リーガル 横		
		レジャー 横		
		不定形 90 × 139.7 ~ 330.2 × 457.2mm		
		官製はがき ^{(*)2} はがき 横	190g/m ²	約 75 枚
		ラベル紙 ^{(*)3} A4 縦 / 横	105 ~ 220g/m ²	約 75 枚
		レター 縦 / 横		
厚紙 ^{(*)4}	給紙方法手差しトレイ での普通紙と同じ	給紙方法手差しトレイ	105 ~ 220g/m ²	約 75 枚
		カラーページプリンタ用 ^{(*)5} A4 縦 / 横	140g/m ²	約 75 枚
OHP フィルム II				

*1：特 A3 サイズは、330.2mm × 457.2mm です。

*2：官製はがきの印刷ではプリンタドライバの用紙種類は厚紙に設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちることがあります。

*3：プリンタドライバの用紙種類はラベル紙に設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちことがあります。

*4：プリンタドライバの用紙種類は厚紙に設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちことがあります。

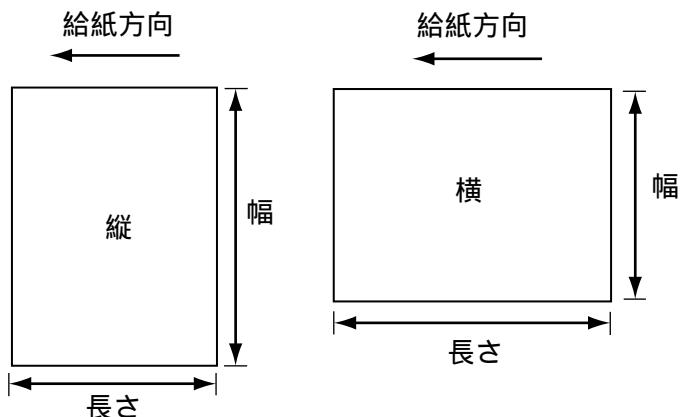
*5：プリンタドライバの用紙種類はOHPフィルムに設定してください。普通紙に設定した場合、画質が落ちことがあります。

►お願い

- ・ハガキは、官製はがきを使用してください。あらかじめ印刷されたハガキや反りのあるはがきを使用すると、紙づまりなどが発生することがあります。
- ・OHP フィルムは、サプライ品(10ページ)以外は使用できません。

●ガイド

- ・表の中の「幅」、「長さ」、「横」、「縦」の関係は下図のとおりです。

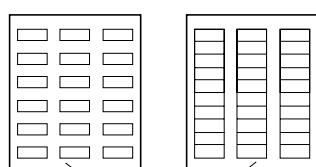


使用できない用紙

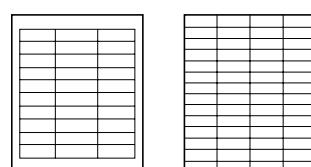
以下に挙げる用紙は、紙づまりを起こしたり、プリンタの故障となったり、またはきれいに印刷できなかったりしますので、使用しないでください。

- ・本機で印刷済みの用紙
- ・他のカラー レーザプリンタ / モノクロ レーザプリンタ用 OHP シート、他のカラー複写機 / モノクロ複写機用 OHP シート
- ・インクジェットプリンタ用特殊紙（スーパーファイン紙・光沢紙・光沢フィルムなど）
- ・他のカラー レーザプリンタ、モノクロ レーザプリンタで印刷済みの用紙
- ・熱転写プリンタ、インクジェットプリンタで印刷済みの用紙
- ・厚すぎる用紙や、薄すぎる用紙
- ・湿っている用紙や、濡れている用紙
- ・貼り合わせた用紙や、糊などがついている用紙
- ・反り、しわ、折り目のある用紙や、破れている用紙
- ・カールしている用紙
- ・静電気で密着している用紙
- ・長方形以外の用紙や、バインダー用の穴またはミシン目のある用紙
- ・表面を加工、または特殊なコーティングした用紙（感熱紙、カーボン紙など）
- ・オフセット印刷用の用紙や酸性紙（中性紙をご使用ください）
- ・インクに導電材料（金属、カーボンなど）を使用したり、150 以上の熱でガスが発生するインクを使用したプレプリント用紙
- ・150 以上の熱で溶けたり、変質する用紙
- ・ホチキス、クリップ、リボン、テープなどが付いている用紙
- ・ざら紙や纖維質の多い用紙など、表面がなめらかでない用紙
- ・裁断部のバリが大きい用紙
- ・ツルツル、スペスペした表面がなめらかすぎる用紙
- ・紙粉の多い用紙
- ・簡単にはがれてしまうラベル紙
- ・台紙全体がラベルなどで覆われてなく、かつレーザプリンタ用以外のラベル用紙

× 使用できません



○ 使用できます



用紙の保管上のご注意

用紙は水分を吸収しやすい特性を持っているため、非常に変化しやすいものです。製造条件を厳重に管理して製造した用紙でも、保管状態が悪いと品質が損なわれ、印刷品質が落ちることがあります。以下に示す保管上の注意事項を守って、最良の状態で保管してください。

用紙は次のような場所に保管してください。

- ・暗く、湿気の少ない平らな書棚の中のような場所
- ・平らなパレットの上
- ・温度 10 ~ 30 、湿度 30 ~ 65%RH の環境

次のような場所は避けてください。

- ・床の上に直接置く
- ・直射日光の当たる場所
- ・外壁の内側の近く
- ・段差や、曲がりのある場所
- ・静電気が発生するところ
- ・過度の温度上昇と、急激な温度変化のあるところ
- ・複写機、空調機、ヒータ、ダクトのそば

次のような状態で保管してください。

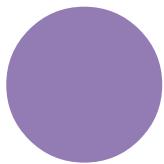
- ・開封後の残りの用紙は、ほこりが付かないよう、包装してあった紙に包む
- ・長期間プリンタを使用しないときは、用紙トレイや手差しトレイから用紙を抜き取り、包装してあった紙に包む



長期間放置した用紙を使用した場合、うまく印刷できないことがあります。

第3章

プリンタの設置



この章では、プリンタを設置する際に注意すべきことと、設置の手順について説明します。

設置上のお願い	22
プリンタの寸法	24
設置手順	25
手差しトレイを取り付ける	26
手差しユニットのスペーサを取り外す	27
フェイスアップトレイを取り付ける	29
オイルロールカートリッジを取り付ける	30
トナーカートリッジを取り付ける	33
ドラムカートリッジの保護テープをはがす	37
用紙トレイのスペーサを取り除く	41

設置上のお願い

安全に快適にプリンタをご利用いただくために、安全上のご注意とともに、以下の点に注意して設置してください。

いつも良い状態でご使用いただける環境範囲は次のとおりです。

温度 10 ~ 32 湿度 15 ~ 85% (結露がないこと)

温度32 のときは湿度60%以下、湿度が85%のときは温度26 以下でご使用ください。

冷えきった部屋を暖房器具などで急激に暖めると、機械の内部に水滴が付着し部分的に印刷できない場合があります。室温になじませてから使用してください。

電源コンセントは本機専用にお使いください

1つの電源コンセントを本プリンタ専用にしてください。複写機やエアコンなど消費電力の大きな機器や電気的ノイズを発生する機器と同じコンセントから電源を取ると、電圧降下によるコンピュータの誤動作、データ消失のおそれがあります。

電源プラグは、定格電圧100Vで、定格電流15A以上のコンセントに単独で差し込んでください。また、たこ足配線をしないでください。発熱による火災や感電のおそれがあります。なお、本機の定格電源は、100V、11Aです。

プリンタの24時間運用や無人運用をする場合は、不慮の事故に対する安全性を高める必要から、適切な防災対策（耐震対策、煙探知機、温度センサなど）が施された場所に設置してください。

また、防災管理者（警備員、管理人など）が建物内に待機していることも必要です。

プリンタを前後5mm、左右10mm以上傾けないで設置してください。

トナーがこぼれるなど故障の原因となります。

ラジオの雑音、テレビ画面のチラツキやゆがみなど電波障害が発生し、電波障害の原因が本プリンタであると考えられる場合は、本プリンタの電源を切って電波障害がなくなるかどうか確認してください。電源を切ると電波障害がなくなるようであれば、次の方法を組み合わせて障害を防止してください。

- ・本機とラジオやテレビ双方の距離を離してみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の位置や向きを変えてみる。
- ・本機とラジオやテレビ双方の電源を別系統のものに変えてみる。
- ・受信アンテナやアンテナ線の配置を変えてみる。(アンテナが屋外にある場合は電気店にご相談ください。)
- ・ラジオやテレビのアンテナ線を同軸ケーブルに変えてみる。

►お願い

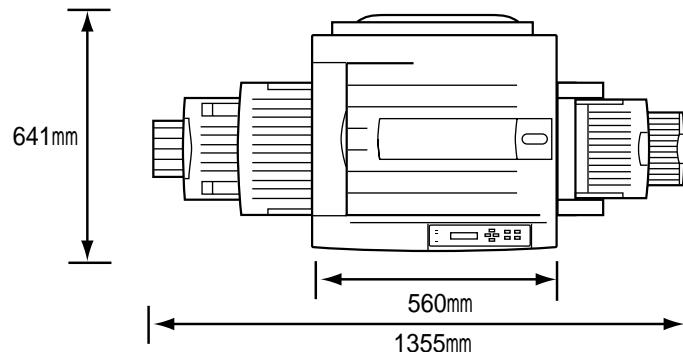
- 超音波加湿器をご使用のお客様へ -

超音波加湿器をご使用の際に、水道水や井戸水をご使用になりますと、水中の不純物が大気中に放出され、プリンタの内部に付着して画像不良の原因となります。ご使用の際には、純水など不純物を含まない水のご使用をお勧めします。

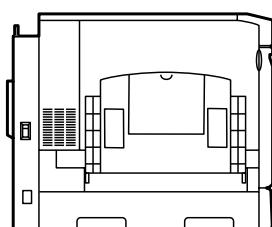
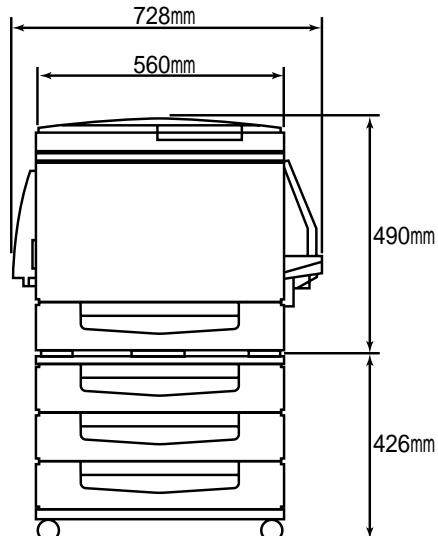
プリンタの寸法

オプションをすべて装着したときの、装置の寸法を示します。設置のときの参考にしてください。

< 上面図 >



< 側面図 >

< 正面図 >
拡張給紙ユニット装着時

!! 注意

火 災 プリンタの側面および背面には通風口があります。プリンタは壁から 150mm 以上離して設置してください。
(「安全上のご注意」((2) ページ参照))

け が 設置する台は、プリンタの足全体が十分にのる大きさのものを準備してください。

設置手順

プリンタは、次の手順で設置します。

- ・手差しトレイを取り付ける
- ・手差しユニットのスペーサを取り外す
- ・フェイスアップトレイを取り付ける
- ・オイルロールカートリッジを取り付ける
- ・トナーカートリッジを取り付ける
- ・ドラムカートリッジの保護テープをはがす
- ・用紙トレイのスペーサを取り除く
- ・用紙をセットする（「用紙のセット」134 ページ参照）
- ・外部と接続する（「第4章 外部との接続」43 ページ参照）

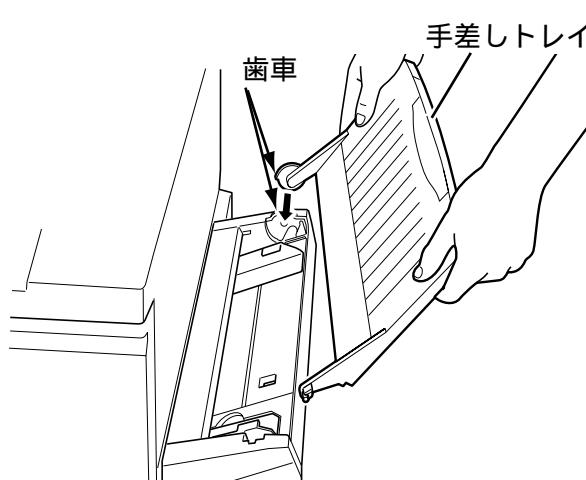
ここでは「手差しトレイを取り付ける」から「用紙トレイのスペーサを取り除く」について説明します。

▶ お願い

- ・輸送時の振動や衝撃から守るために、それぞれの箇所にスペーサを取り付けています。以降の手順を参考にして、必ずすべてのスペーサを取り外してください。
- ・オプションの拡張給紙ユニット、プリンタキャビネットを購入された場合は、先にプリンタ本体に取り付けてください。取り付けかたについては、拡張給紙ユニット、プリンタキャビネットに添付の説明書を参照してください。

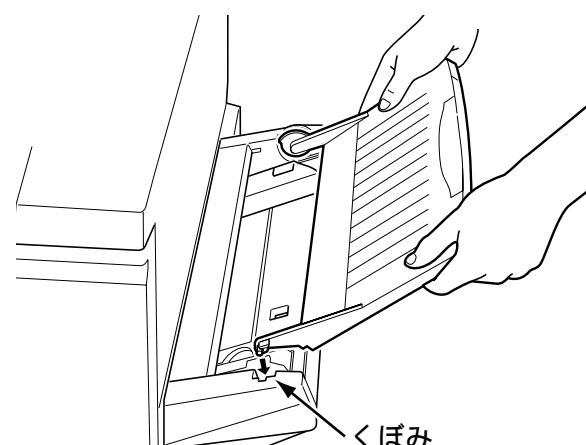
▼ 手差しトレイを取り付ける

次の手順に従って、手差しトレイを取り付けます。



1 手差しトレイの右側をはめ込む

手差しトレイを両手で持ちトレイの右側の突起部をプリンタ側の穴にはめ込みます。手差しトレイとプリンタ側の歯車がきちんととかみ合うように差し込んでください。

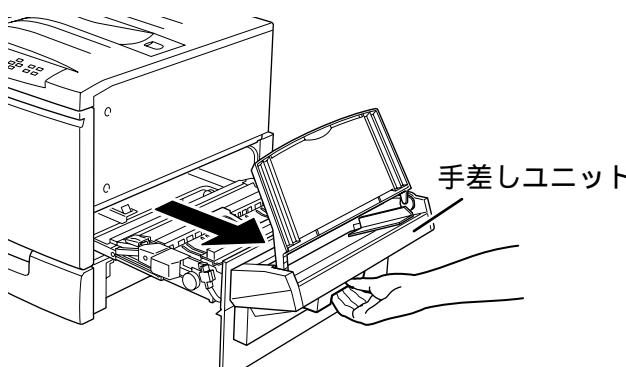


2 手差しトレイの左側をはめ込む

手差しトレイを立てるよう持ち、手差しトレイの左側の突起部をプリンタ側のくぼみにある穴に合わせて上からはめ込みます。

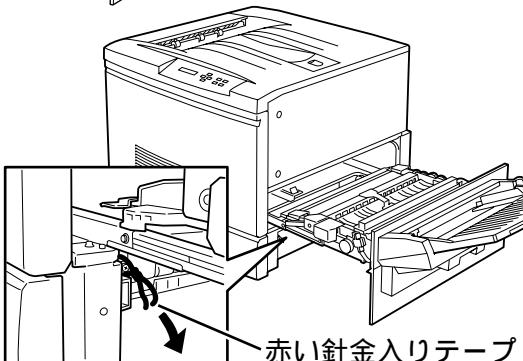
▼ 手差しユニットのスペーサを取り外す

次の手順に従って、手差しユニットのスペーサを取り外します。



1 手差しユニットを引き出す

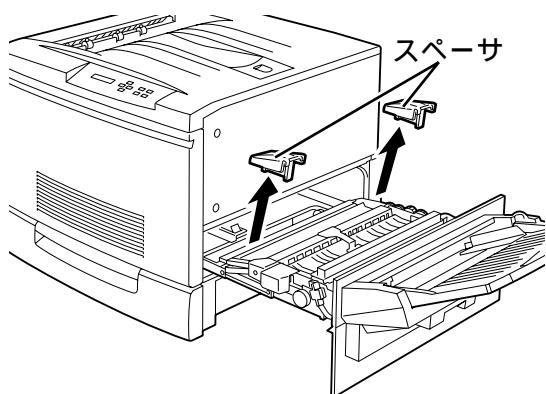
手差しユニットを、止まるまで
ゆっくり引き出します。



2 搬送時固定用の赤い針金入りテープをねじって戻し、外す

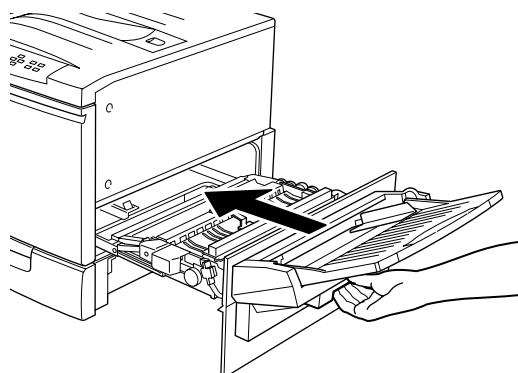
▶ お願い

赤い針金入りテープは必ず外してください。取り外さないと、手差しトレイから給紙するときに紙づまりや異常音が発生することがあります。



3 スペーサを引き抜く
図の位置にあるスペーサを引き抜いて外します

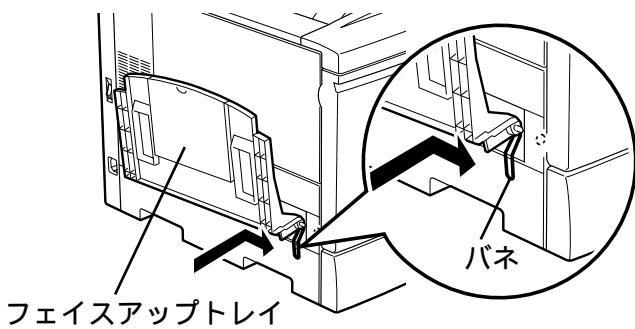
● **ガイド** 移転などプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、スペーサをなくさずに保管しておいてください。



4 手差しユニットを、プリンタの奥までしっかりと押し込む

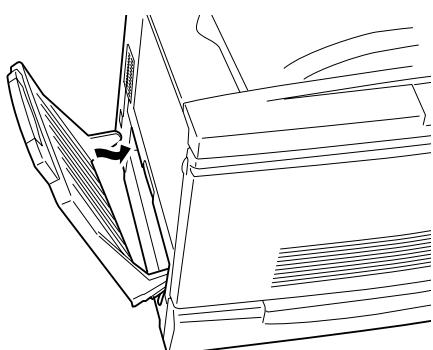
▼ フェイスアップトレイを取り付ける

次の手順に従って、フェイスアップトレイを取り付けます。



1 フェイスアップトレイの右側をはめ込む

フェイスアップトレイを立てるよう持ち、トレイ右側の突起部をプリンタ側の穴にはめ込みます。このとき、バネがプリンタの中に入らず、トレイの下側に出るようにしてください。



2 フェイスアップトレイの左側をはめ込む

フェイスアップトレイの左側の突起部をプリンタの穴にはめ込みます。



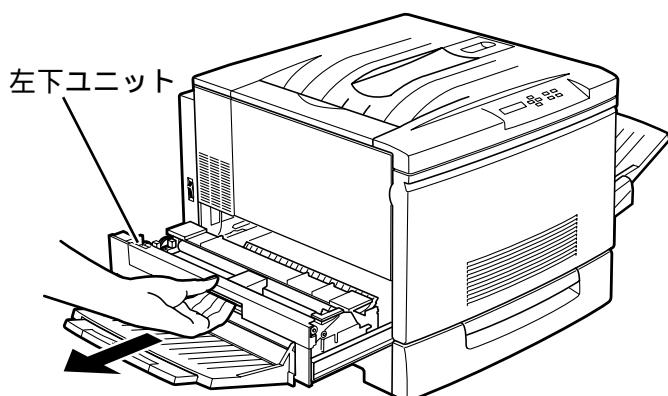
オイルロールカートリッジを取り付ける

次の手順に従って、オイルロールカートリッジを取り付けます。

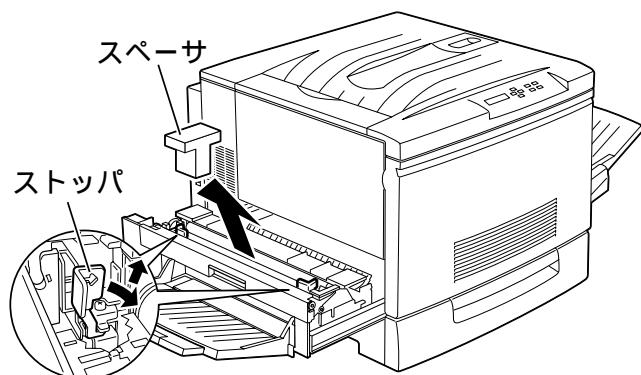
オイルロールカートリッジの取り扱いについては、「オイルロールカートリッジの取り扱い上の注意」(158ページ)を参照してください。

1 フェイスアップトレイを開く

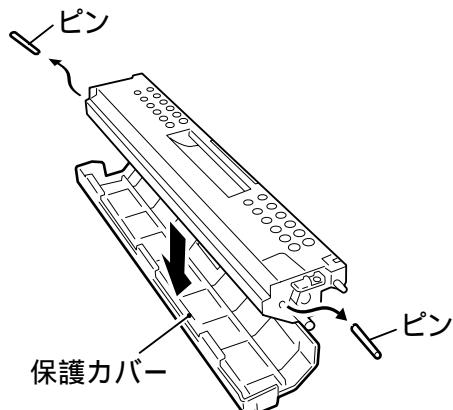
2 左下ユニットの取っ手を持ち、図の方向に止まるまで引き出す



3 スペーサとストップを取り外す



移転などプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、スペーサをなくさずに保管しておいてください。また、ストップは破棄してください。

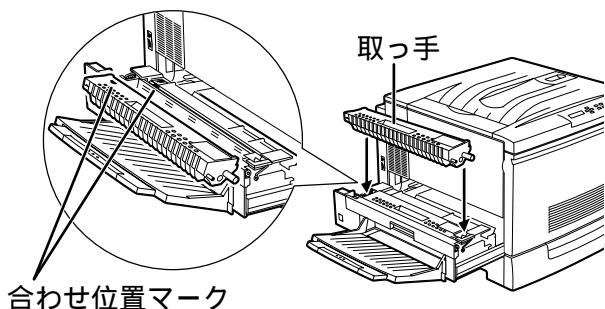


4 オイルロールカートリッジを取り出し、保護カバーとピンを外す

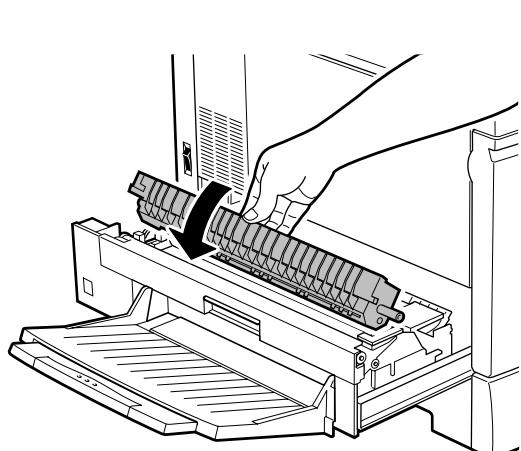
添付品のオイルロールカートリッジを取り出し、取っ手を持ちながら保護カバーと両側面のピン（2個）を外します。

お願い

オイルロールカートリッジの白いロール部分に触れないでください。ここにはオイルが塗布してあり、直接触れるとオイルが付着し、印刷品質などに影響が出ます。

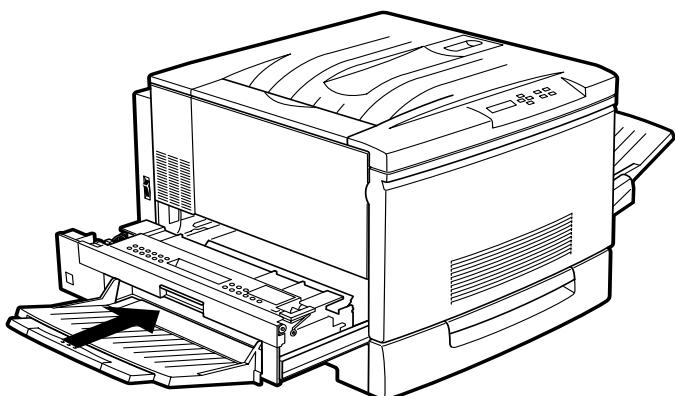


5 オイルロールカートリッジの取っ手を持ち、緑色の「合わせ位置」マークに合わせて差し込む



6 オイルロールカートリッジを矢印の方向に回転させるように「カチッ」と音がするまで押し込む

7 左下ユニットを、プリンタの奥までしっかり押し込む



►お願い

設置時、オイルロールカートリッジ交換時の最初の数枚の印刷した用紙にオイルが付着することがあります。オイルの付着がなくなるまで、A4 縦の用紙でプリンター設定リスト等を印刷してください。

▼ トナーカートリッジを取り付ける

次の手順に従って、トナーカートリッジを取り付けます。

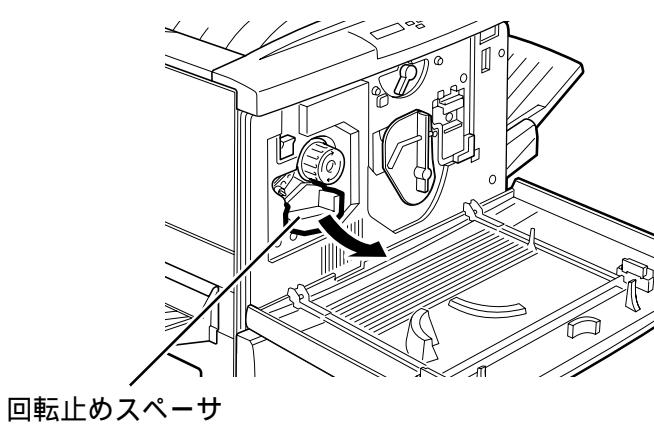
▶ お願い

トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときにはすぐに洗い流してください。

トナーカートリッジの取り扱いについては、「トナーカートリッジの取り扱い上の注意」(144 ページ) を参照してください。

- 1** フロントカバーを開く
- 2** 回転止めスペーサを引き抜く

図の位置にある回転止めスペーサを引き抜いて外します。



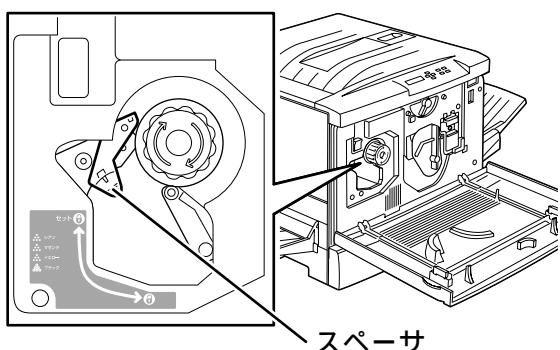
回転止めスペーサ

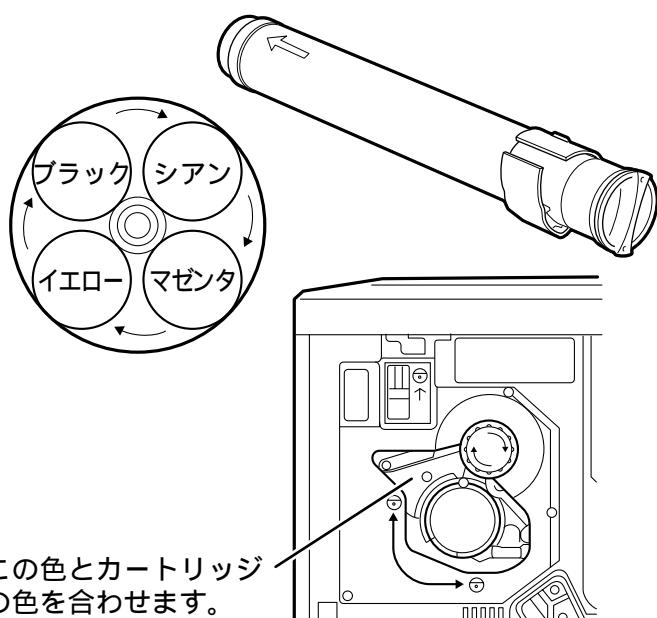
● ガイド

移転などプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、スペーサをなくさずに保管しておいてください。

- 3** スペーサを引き抜く

図の位置にあるスペーサを引き抜いて外します。

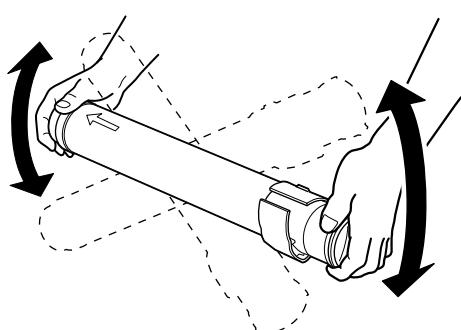




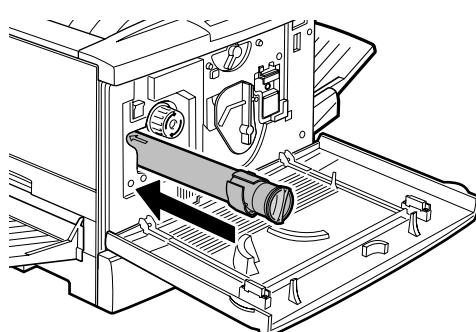
4 トナーカートリッジを取り出す

トナーカートリッジの装着口には、セットするトナーカートリッジの色が示してあります。左図の位置に表示されている色を確認して、同じ色のトナーカートリッジを梱包から取り出します。

トナーカートリッジの装着口は図のように右に回転します。



5 図のように7~8回振り、中のトナーを均一にする

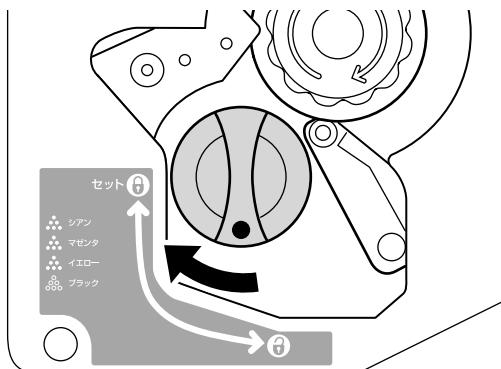


6 トナーカートリッジを差し込む

トナーカートリッジの先端の矢印を上にして、奥に突き当たるまで差し込みます。

7 トナーカートリッジをセットする

トナーカートリッジを図の矢印の方向に押し込みながら止まるまで回し、トナーカートリッジ側の「」印をプリンタ側の「セット」()に合わせます。

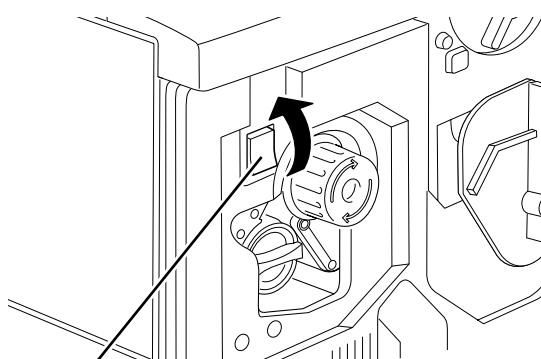


▶お願い

トナーカートリッジを最後までしっかりと回してください。
最後まで回さないとトナーがこぼれる場合があります。

8 回転防止スイッチを上に押し上げてロックを解除する

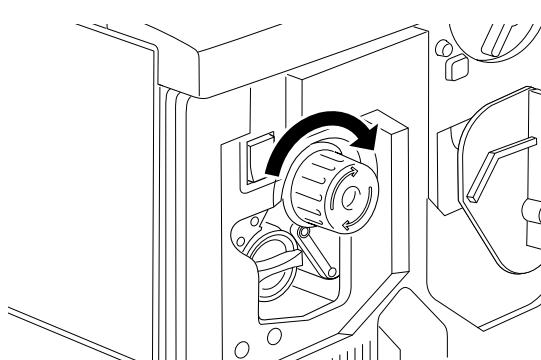
スイッチを上げたら、スイッチから指を離してください。



回転防止スイッチ

9 トナーカートリッジを移動する

ノブを図の矢印の方向に回して、セットしたトナーカートリッジを移動させます。ノブは、止まるまで回してください。



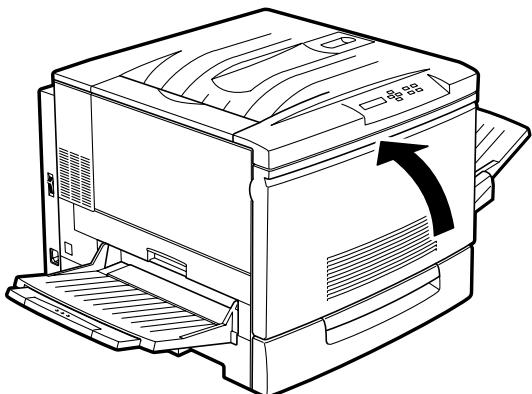
●ガイド

トナーカートリッジが正しくセットされていないとノブは回りません。ノブが動かない場合は、トナーカートリッジが正しくセットされているかどうかを確認してください。

10 残りのトナーカートリッジをセットする

残りの 3 つのトナーカートリッジについても同様に、手順 3 ~ 9 の操作（最後のトナーカートリッジについては手順 8、9 は不要）を行います。

11 フロントカバーを閉める

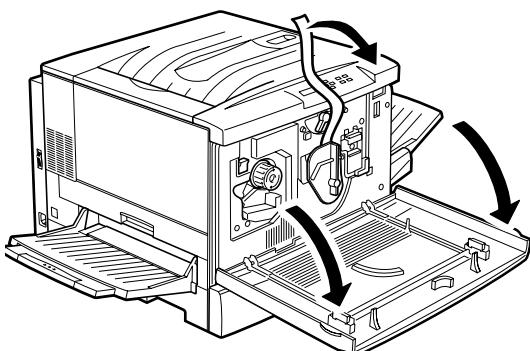


▼ ドラムカートリッジの保護テープをはがす

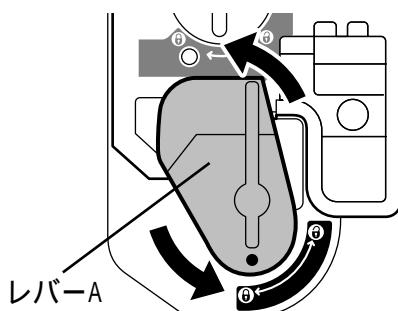
次の手順に従って、ドラムカートリッジの保護テープをはがします。



ドラムカートリッジの取り扱いについては、「ドラムカートリッジの取り扱い上の注意」(149ページ)を参照してください。

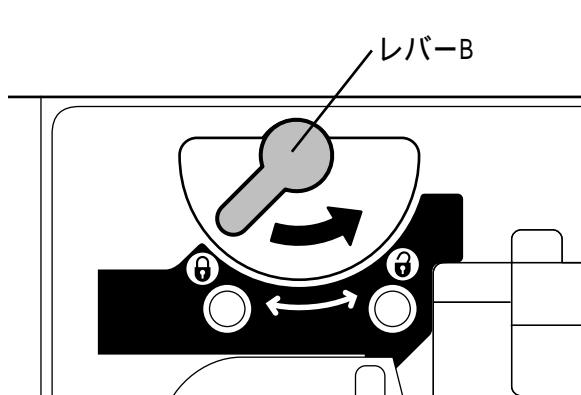


1 フロントカバーを開く



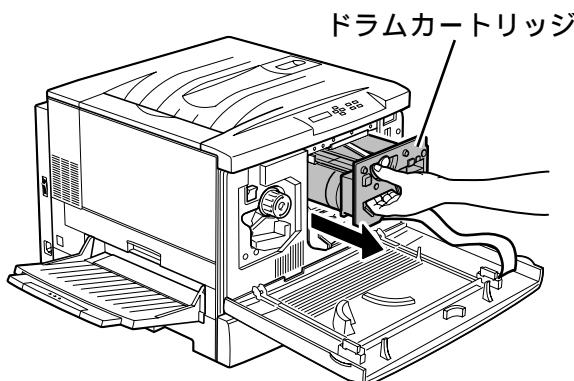
2 レバーAを解除位置に合わせる

黄色のレバーAを図の矢印の方向に回し、「」印を解除位置()に合わせます。



3 レバーBを解除位置に合わせる

黄色のレバーBを図の矢印の方向に回し、解除位置()に合わせます。

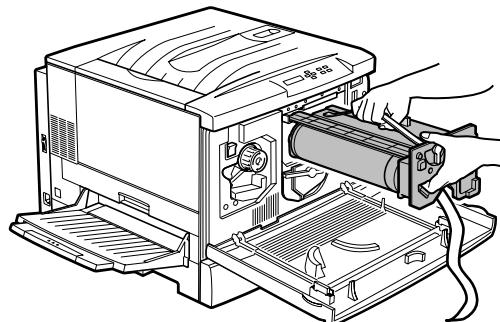


4 ドラムカートリッジを引き出す

黄色の引き出し用の溝に手を入れ、ドラムカートリッジを手前にゆっくりと30cm程度引き出します。

⚠ 注意

けが ドラムを引き出す際に、指がはさまれないように注意してください。けがの原因となることがあります。



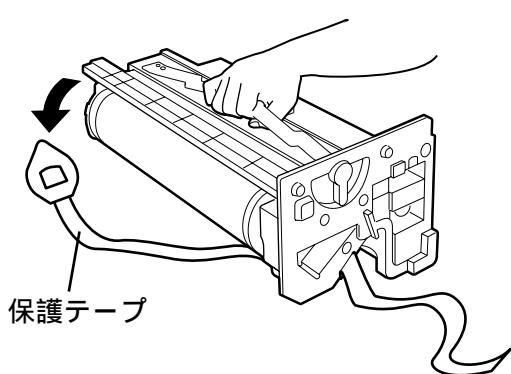
5 上部の取っ手を持ち、ドラムカートリッジをプリンタからゆっくり引き出して取り出す

⚠ 注意

けが ドラムが落下しないように必ず上部の取っ手を持ってください。落下によりけがの原因となることがあります。

お願い

- ・ドラム表面（青色）は手で触れないでください。ドラム表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷品質が悪くなります。
- ・ドラムカートリッジを直射日光や強い光（約1500ルクス以上）に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも5分以上は放置しないでください。

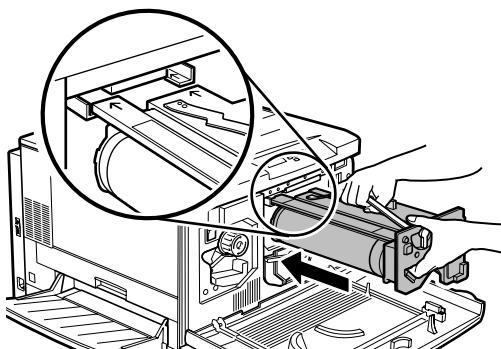


6 ドラムカートリッジの保護テープをはがす

ドラムカートリッジを水平に保ったまま、保護テープをはがします。このとき、必ず持ったままの状態で行ってください。

▶お願い

- ・印刷品質を維持するために、保護テープはドラムカートリッジを水平にした状態ではがしてください。

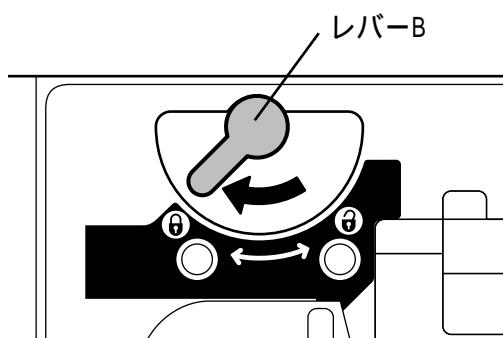


7 ドラムカートリッジを押し込む

ドラムカートリッジの取っ手を持ち、ガイドをプリンタ本体のレールに乗せて、プリンタの奥まで押し込みます。

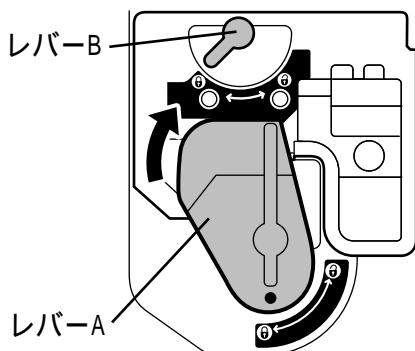
▶お願い

- ・ドラムカートリッジのガイドがきちんとレールに乗っていない状態で挿入すると、カートリッジの破損の原因になります。
- ・ドラム表面(青色)が他の部品に接触しないように注意してください。



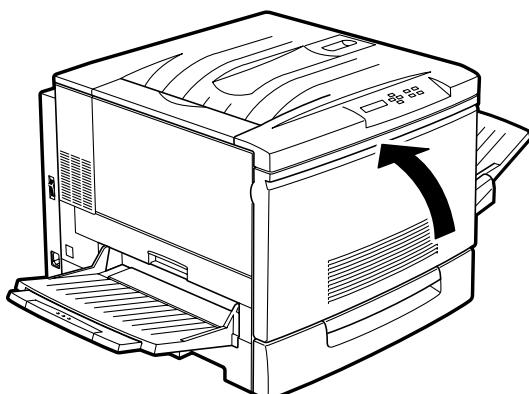
8 レバーBを図の矢印の方向に回し、セット位置()に合わせる

● **ガイド** ドラムカートリッジが奥まで押し込まれていないと、レバーは回りません。



9 レバーAを図の矢印の方向に回し、「 」印をセット位置()に合わせる

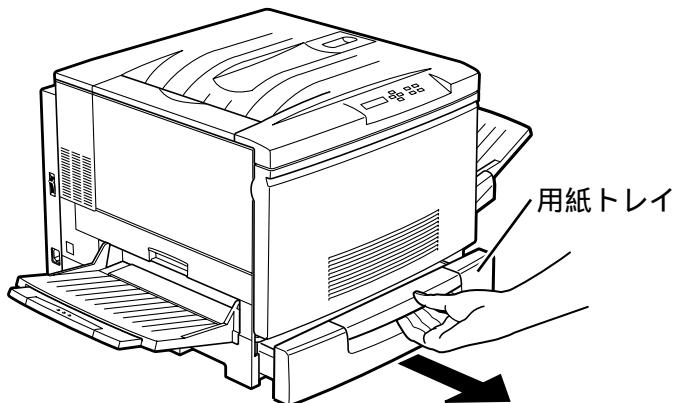
10 フロントカバーを閉める



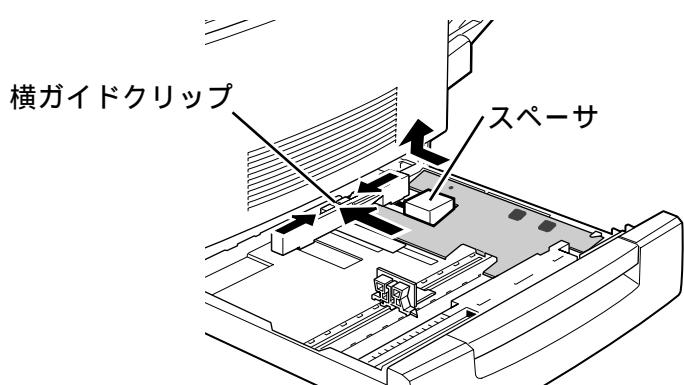
▼ 用紙トレイのスペーサを取り除く

次の手順に従って、用紙トレイのスペーサを取り除きます。

使用できる用紙については、「第2章 用紙について」(13ページ)を参照してください。また、用紙のセットのしかたについては、「用紙のセット」(134ページ)を参照してください。



- 1 用紙トレイを手前に止まるまで引き出す



- 2 用紙トレイ内にあるスペーサ(発泡スチロール)を取り除く

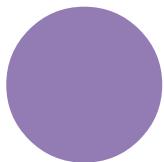
横ガイドクリップを指でつまみ、ガイドを外側にずらした後、スペーサ(発泡スチロール)を取り除きます。



移転などプリンタを長距離移動する可能性がある場合は、スペーザをなくさずに保管しておいてください。

第4章

外部との接続



この章では、パソコン、および電源との接続の
しかたについて説明します。

パソコンとの接続	44
電源コードの接続	46

パソコンとの接続

本プリンタはセントロニクス準拠のパラレルインターフェースを標準装備しています。パラレルインターフェースにパソコンを接続する方法について説明します。

プリンタケーブルについては、次の制約があります。

- ・パソコンとプリンタの接続には、シールドケーブルをお使いください。
- ・ケーブルの長さは、1.5メートル以下のものをお使いください。



感 電 プリンタケーブルを接続するときは、必ず本プリンタとパソコンの電源を切ってください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

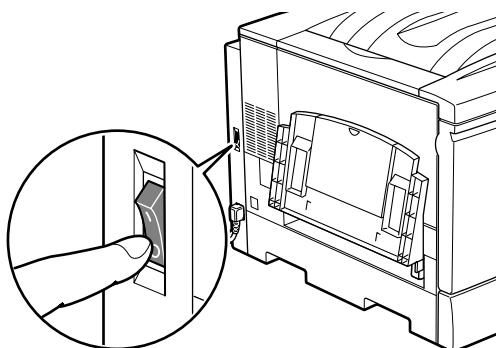


故 障 ケーブルの接続は本書をよく読み、接続に間違いがないようにしてください。
誤った接続状態で使用すると、プリンタおよびパソコンが故障する原因となることがあります。

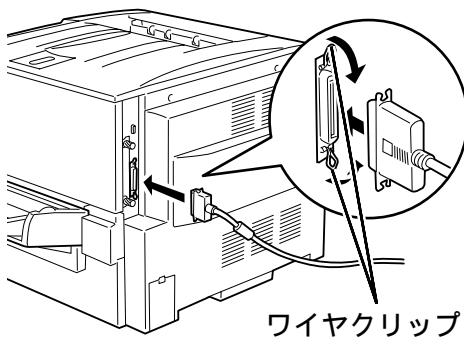


本プリンタには、プリンタケーブルは添付されていません。パソコンに添付のケーブルか別売ケーブルをお使いください（「プリンタケーブルについて」9ページ参照）

プリンタケーブルの接続は以下の手順で行います。



- 1 プリンタとパソコンの電源の切断を確認する
電源スイッチが「」側に倒れている状態です。



- 2 プリンタケーブルを接続する
プリンタケーブルをプリンタ背面にあるプリンタケーブルコネクタに差し込み、両側のワイヤクリップで固定します。
パソコン側の接続は、パソコン側の取扱説明書を参照してください。

電源コードの接続

以下の手順で、電源コードを接続します。

本プリンタの電圧定格値は、AC100Vです。

上記の定格は、プリンタの後部にある製造銘板に表示してあります。使用するコンセントの電圧とプリンタの定格電圧が一致するか、確認してください。

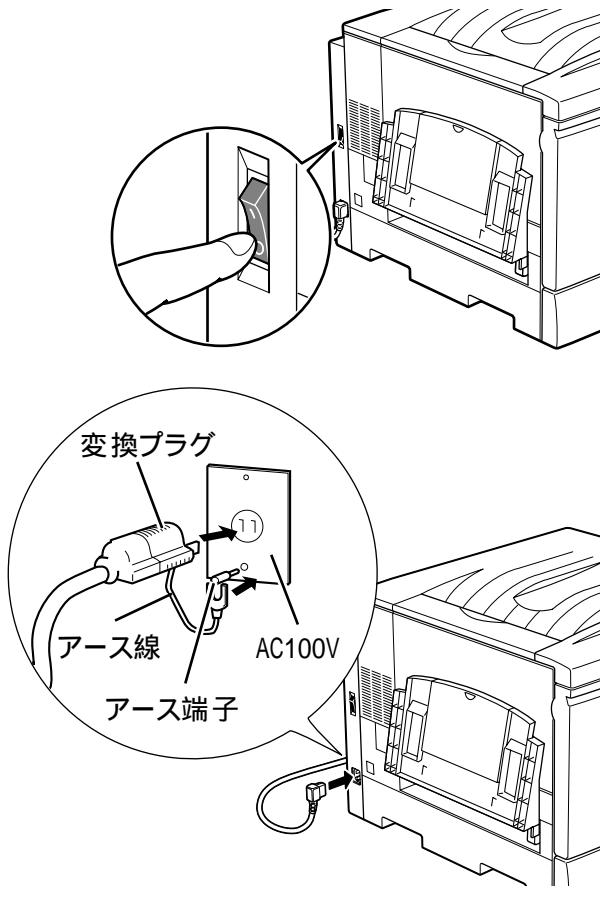


感 電 電源コードを接続するときは、必ず電源スイッチを「**OFF**」側にしてください。電源を切らずに接続すると、感電の原因となります。

火 災 電源コードのアース線は必ず専用のアース端子に接続してください。

感 電 危険ですので次の箇所には絶対に接続しないでください。

- ・ガス管（火災や爆発の危険があります）
- ・電話専用アース線・避雷針（落雷時に大量の電流が流れの場合があり危険です）
- ・水道管や蛇口（配管の途中がプラスチックになっている場合はアースの役目をはたしません）



1 電源の切断を確認する
電源スイッチが「」側に倒れている状態です。

2 電源コードを接続する
電源コードをプリンタ左側面にあるコネクタに差し込みます。コードの反対側を交流 100V のコンセントに差し込みます。本プリンタには平行 3 ピンの電源コードが添付されています。できるだけ 3 ピンのコンセントをご使用ください。
もし、3 ピンの電源コンセントがない場合には、添付の変換プラグを使って図に示すように電源コードとアース線を接続してください。

第5章

プリンタドライバの インストールと設定



この章では、Windows 95、Windows 98、Windows NT4.0およびWindows 2000が動作するパソコンに、プリンタドライバをインストールする方法と、設定方法について説明します。

インストールの前に	50	プリンタドライバの設定	105
Windows 95 の場合	51	設定画面の表示	105
Plug & Play でのインストール	51	設定項目の詳細	106
通常のインストール	56	アプリケーションソフトから 印刷するときの設定	107
新しいドライバに置き換えるとき	60		
プリンタドライバの設定	61	Windows NT4.0 の場合	108
設定画面の表示	67	インストール	108
設定項目の詳細	68	新しいドライバに置き換えるとき	112
アプリケーションソフトから 印刷するときの設定	92	プリンタドライバの設定	112
Windows 98 の場合	96	Windows 2000 の場合	119
Plug & Play でのインストール	96	Plug & Play でのインストール	119
通常のインストール	100	通常のインストール	122
新しいドライバに置き換えるとき	104	新しいドライバに置き換えるとき	127
		プリンタドライバの設定	128

インストールの前に

本プリンタをお使いになるには、プリンタドライバをパソコンに組み込む必要があります。プリンタドライバはパソコンの印刷データや指示をプリンタが解釈できるデータに変換するソフトウェアです。ご使用のOSによって、インストール方法および印刷設定方法が異なりますので、該当ページをお読みください。

- ・Windows 95 51 ページ
- ・Windows 98 96 ページ
- ・Windows NT 4.0 108 ページ
- ・Windows 2000 119 ページ

ガイド

文中において、〔 〕で囲んだ表記はメニュー やボタン、ダイアログボックス名を示し、_____で囲んだ表記はダイアログボックス上に表示される文字を示します。

また、メニューなどの後ろに()で囲まれている文字は、アクセスキーを示します。

Windows 95 の場合

ここでは、Windows 95が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順はPlug & Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。

▼ Plug & Play でのインストール

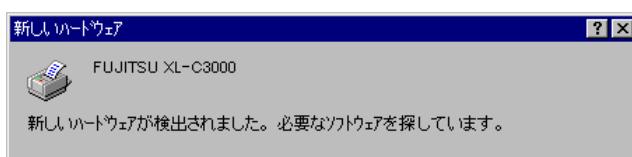
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用フロッピーディスクを準備してください。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows 95のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。



インストールの前に、メモ帳などによりフロッピーディスクの「Readme95.txt」をお読みください。



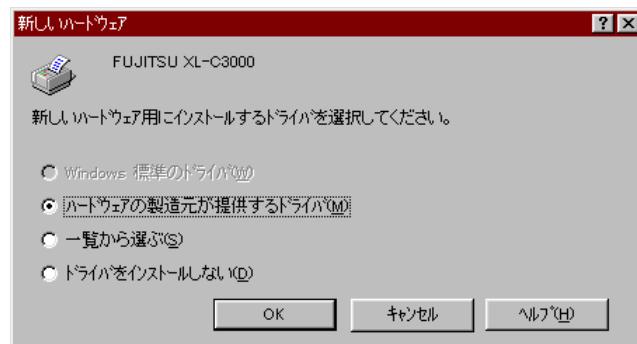
1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 95 を起動する

パソコン起動時に FUJITSU XL-C3000 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバをインストールしてください。

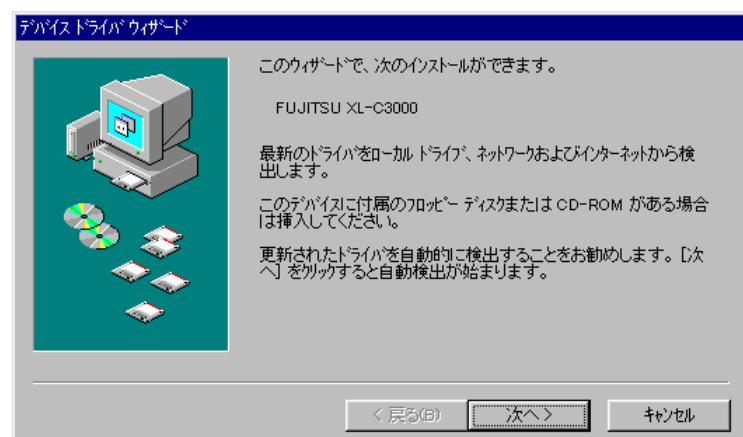


Plug & Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。

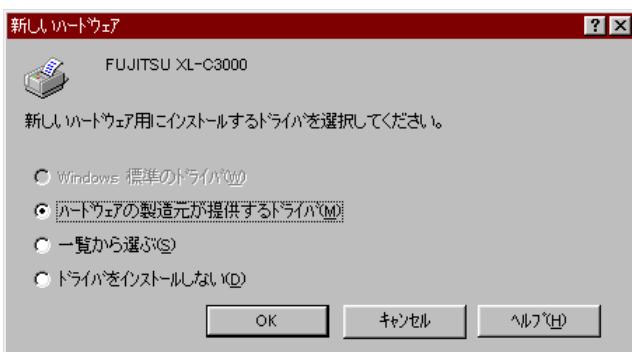
次の画面が表示されている場合は 2 に進みます。



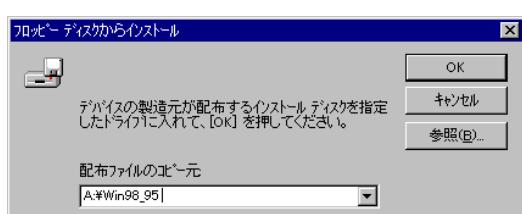
次の画面が表示されている場合は 5 に進みます。



一度インストールしたドライバを削除した後で再インストールしたときは、この画面は表示されません。



2 [ハードウェアの製造元が提供するドライバ]を選択して[OK]ボタンをクリックする



3 添付のプリンタドライバディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブにセットする

4 配布ファイルのコピー元にフロッピーディスクドライブ名とWindows 95/98用ドライバのフォルダ名を入力する(フロッピーディスクドライブがA:の場合、「A:\Win98_95」と入力してください。)

入力が終わったら[OK]ボタンをクリックします。

8へ進んでください。

5 添付のプリンタドライバディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブにセットする



6 [次へ] ボタンをクリックする



7 [完了] ボタンをクリックする

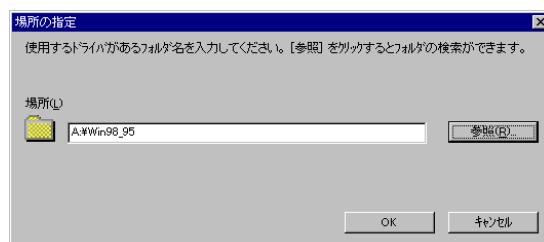
左のようなダイアログボックスが表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。



ドライバが見つからなかったと表示される場合は、[場所の指定] をクリックします。

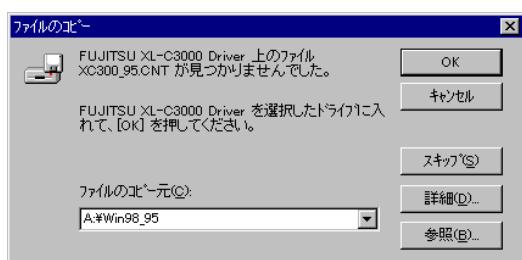


[場所の指定] が表示されたら、 場所 にフロッピーディスクドライブと Windows 95/98 用ドライバのフォルダ名を入力して [OK] をクリックします。





8 本プリンタを「通常のプリンタ」に設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔完了〕ボタンをクリックする



9 ファイルのコピー元にフロッピーディスクドライブ名と Windows 95/98 用ドライバのフォルダ名を入力する（フロッピーディスクドライプが A: の場合、「A:\Win98_95」と入力してください。）

入力が終わったら [OK] ボタンをクリックします。

この画面は表示されない場合があります。



ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了するとインストールが終了します。



通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用フロッピーディスクを準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 95のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

インストールの前に、メモ帳などによりフロッピーディスク内の「Readme95.txt」をお読みください。

1 Windows 95 を起動する



2 [マイコンピュータ] の [プリンタ] アイコンをダブルクリックし、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする

3 [次へ] ボタンをクリックする





4 [ローカルプリンタ] を選択して[次へ]ボタンをクリックする

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、[ネットワークプリンタ]を選択します。（以降の操作が簡単になります。）

パソコンがネットワークに接続されていないときは、この画面は表示されません。



スタンドアロン（パソコンとプリンタを1対1で接続）のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

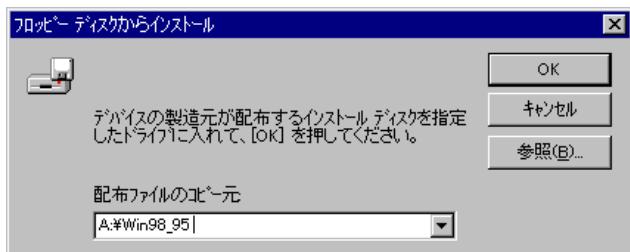


[ネットワークプリンタ]を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。



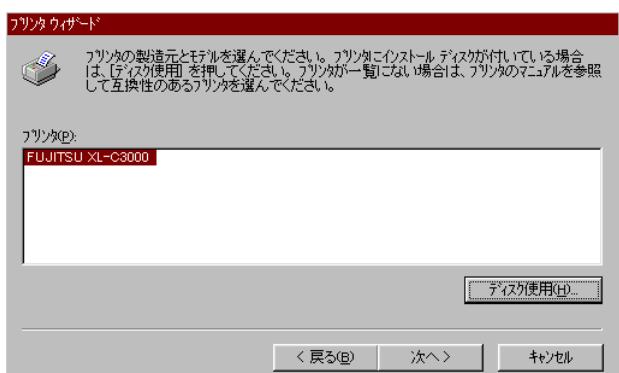
5 [ディスク使用]ボタンをクリックする

6 添付のプリンタドライバディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブにセットする



7 配布ファイルのコピー元にフロッピーディスクドライブ名とWindows 95/98用ドライバのフォルダ名を入力する（フロッピーディスクドライブがA:の場合、「A:\Win98_95」と入力してください。）

入力が終わったら[OK]ボタンをクリックします。



8 Fujitsu XL-C3000を確認して、「次へ」ボタンをクリックする



9 使用するポートを選択して「次へ」ボタンをクリックする



10 本プリンタを「通常のプリンタ」に設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔完了〕ボタンをクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。





新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

- 1 [マイコンピュータ]の[プリンタ]アイコンをダブルクリックし、[プリンタ] フォルダを開く
- 2 該当するプリンタを選択し、[ファイル] メニューから [削除] をクリックする



- 3 [はい] ボタンをクリックする

- 4 Windows 95 を再起動する
古いプリンタドライバを削除したら、Windows 95 を再起動します。
- 5 新しいプリンタドライバを、「通常のインストール」(56 ページ) の手順でインストールする
- 6 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows 95 を再起動する



プリンタドライバを置き換えると、ユーザー定義ジョブを含め、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

▼ プリンタドライバの設定

本プリンタドライバは、以下の設定項目を用意しています。

設定項目	設定内容	説明
情報(*1)	コメント	プリンタに関するコメントを入力する
	区切りページ なし	印刷する文書を区切るページを挿入しない
	簡易ページ	文字だけの区切りページを挿入する
	標準ページ	グラフィックスの入っている区切りページを挿入する
	印字テスト	テストページを印刷する
詳細	印刷先のポート	プリンタが接続されているポート、またはネットワークプリンタのパスを表示する
	ポートの追加	ポートを追加する
	ポートの削除	ポートを削除する
	印刷に使用するドライバ	プリンタの種類を表示する
	ドライバの追加	プリンタドライバを更新または変更する
	プリンタポートの割り当て	ネットワーカードライブにポートを割り当てる
	プリンタポートの解除	ネットワーカードライブに割り当てられているポートを解除する
	タイムアウト設定 未選択時	プリンタがオンラインになるまで待つ時間を秒単位で指定する
	送信の再試行時	プリンタで印刷の準備ができるまで待つ時間を秒単位で指定する
	スプールの設定	アプリケーションからプリンタに印刷データを送る方法を指定する
	ポートの設定	プリンタポートの設定を変更する
共有(*2)	共有しない	プリンタを共有しない
	共有する 共有名	プリンタを共有するときに名称を指定する
	コメント	プリンタに関するコメントを入力する
	パスワード	プリンタを共有するときのパスワードを指定する

* 1 Windows 98 の場合は、[全般]と表示されます。

* 2 ネットワークの設定でプリンタを共有にしたときにのみ設定できます。

設定項目	設定内容	説明		
用紙	用紙サイズ	A4(210 × 297mm) A4 サイズの原稿を印刷する A3(297 × 420mm) A3 サイズの原稿を印刷する A5(149 × 210mm) A5 サイズの原稿を印刷する B4(257 × 364mm) B4 サイズの原稿を印刷する B5(182 × 257mm) B5 サイズの原稿を印刷する はがき(100 × 148mm) はがきサイズの原稿を印刷する レター(8.5 × 11inch)レターサイズの原稿を印刷する リーガル(8.5 × 14inch)リーガルサイズの原稿を印刷する レジャー(11 × 17inch)レジャーサイズの原稿を印刷する 特A3(330 × 457mm)特A3サイズ(*1)の原稿を印刷する		
	出力サイズ	ユーザー定義	不定形の原稿を印刷する 短辺: 90.0 ~ 330.2mm 長辺: 139.7 ~ 457.2mm	
		ズーム	指定なし	用紙サイズで設定した用紙に印刷する
			A4(210 × 297mm)	A4 サイズの用紙に印刷する
			A3(297 × 420mm)	A3 サイズの用紙に印刷する
			A5(149 × 210mm)	A5 サイズの用紙に印刷する
			B4(257 × 364mm)	B4 サイズの用紙に印刷する
			B5(182 × 257mm)	B5 サイズの用紙に印刷する
			はがき(100 × 148mm)	はがきに印刷する
			レター(8.5 × 11inch)	レターサイズの用紙に印刷する
リーガル(8.5 × 14inch)			リーガルサイズの用紙に印刷する	
レジャー(11 × 17inch)	レジャーサイズの用紙に印刷する			
特A3(330 × 457mm)	特A3サイズ(*1)の用紙に印刷する			
ユーザー定義	不定形の用紙に印刷する 短辺: 90.0 ~ 330.2mm 長辺: 139.7 ~ 457.2mm			
オフ	用紙サイズ、出力サイズ、Nアップで設定した値から自動計算された拡大縮小率で印刷する			
オン	用紙サイズと出力サイズの組み合わせにかかわらず、指定した値で拡大縮小し印刷する			

* 1 特A3サイズは330.2 × 457.2mmですが、ドライバ表記上は330 × 457mmとしています。

設定項目	設定内容	説明	
用紙	Nアップ	なし(デフォルト) 通常の印刷行う 2アップ(順方向) 1枚の用紙に2ページ分のデータを用紙の左、右の順に配置して印刷する 2アップ(逆方向) 1枚の用紙に2ページ分のデータを用紙の右、左の順に配置して印刷する 4アップ(順横方向) 1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の左上、右上、左下、右下の順に配置して印刷する 4アップ(順縦方向) 1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の左上、左下、右上、右下の順に配置して印刷する 4アップ(逆横方向) 1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の右上、左上、右下、左下の順に配置して印刷する 4アップ(逆縦方向) 1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の右上、右下、左上、左下の順に配置して印刷する	
	印刷の向き	たて 用紙の長い方の辺に対して、垂直に印刷する よこ 用紙の長い方の辺に対して、平行に印刷する	
	180度回転する	出力イメージを180度回転して印刷する	
	両面	本機種ではサポートされない	
	排出方法	フェイスダウントレイ フェイスダウントレイに排出する フェイスアップトレイ フェイスアップトレイに排出する (正順印刷) 排出された用紙はページ順どおりに並ぶ フェイスアップトレイ フェイスアップトレイに排出する (逆順印刷) 排出された用紙はページ順と逆に並ぶ	
	給紙方法	自動 用紙トレイ1~4から自動的に給紙するトレイを選択する 手差し 手差しトレイから給紙する トレイ1 用紙トレイ1から給紙する トレイ2 用紙トレイ2から給紙する トレイ3 用紙トレイ3から給紙する トレイ4 用紙トレイ4から給紙する	

設定項目	設定内容	説明
用紙	用紙種類	普通紙 普通紙に印刷する OHP フィルム OHP フィルムに印刷する 厚紙 (106 ~ 220g/ m ²) 厚紙に印刷する ラベル用紙 ラベル用紙に印刷する
	部数	1 ~ 999 印刷部数を指定する
	ソートする [1部ごと]	複数部数を 1 部ごと (1,2,3...1,2,3...) にソートして印刷する
	とじしろ	とじしろの位置と幅を指定する
バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する
グラフィックス	画質	高画質 (1200x600dpi) 1200x600dpi で印刷する 標準 (600x600dpi) 600x600dpi で印刷する ドラフト (300x300dpi) 300x300dpi で印刷する
	スクリーン	文字 / 写真用 文字領域と写真領域それぞれに適した印刷を行う
		写真用 写真など濃淡の変化が滑らかな印刷を行う
		文字用 文字部がくっきりした印刷を行う
カラー モード	グレースケール	白黒グレースケールで印刷する
	Image Color Matching	Image Color Matching を使わずにカラー印刷
		Image Color Matching を使わずにカラーリーで印刷する
	Image Color Matching	Image Color Matching を使ってカラーリーで印刷する
特定のグラフィックスを忠実に再現		色の重ねあわせ処理を厳密に行う
	カラー補正	Image Color Matching を使わずにカラーリー印刷を選択した時のカラー補正の処理方法を指定する
カラーレンダリング		Image Color Matching を使ってカラーリー印刷を選択した時のカラーマッチングの種類を指定する
イメージ調整		明度、コントラスト、赤、緑、青の調整量を指定する

設定項目	設定内容	説明	
フォント	TrueType フォントをプリンタ フォントで置き換える	TrueType フォントを含む文書を印刷す る場合に、TrueType フォントをプリン タフォントに置き換えて印刷する	
	テーブルの編集	どの TrueType フォントをプリンタ フォントに置き換えるかを指定する	
	常に TrueType フォントを使う	文書内のすべての TrueType フォント を、パソコン側でビットマップとして変 換したのち、プリンタへ転送し描画する	
デバイスオプション	バナーシート	なし 文書の前 文書の後 タイトル	バナーシートを印刷しない ジョブの前にバナーシートを印刷する ジョブの後ろにバナーシートを印刷する バナーシートのタイトルを設定する
	メモリ不足時には 画質を落とす	しない する	プリンタのメモリ不足時にイメージの画 質を落として印刷しない プリンタのメモリ不足時にイメージの画 質を落として印刷する
	トナーセーブ	しない する	トナーの消費量を節約しない トナーの消費量を節約する
	スマージング	しない する	文字や図形の輪郭が滑らかになるよう に画像処理しない 文字や図形の輪郭が滑らかになるよう に画像処理する
	画像を圧縮して転送	しない する	画質劣化することなく印刷する イメージ圧縮を調整するためのスライダ が操作でき、[速度優先]にスライダのイン ジケータを近づけるほど、印刷速度は速 くなるが、その分出力画質が低下し、 [画質優先]にスライダのインジケータを 近づけるほど、高画質で印刷するが、そ の分印刷速度が低下する
	ページプロテクト自動		オーバーランエラーの発生を防ぐ処理を 実行するか否かを自動判別し印刷する
		オン	常にオーバーランエラーの発生を防ぐ処 理を実行して印刷する
	タイムアウト	しない 15 秒～300 秒	タイムアウトの処理を行わない 設定した時間を経過しても印刷が終了し ない場合、印刷を強制的に終了する

設定項目	設定内容	説明
デバイスオプション	プリンタメモリ 40MB,72MB	プリンタに搭載している総メモリ量を設定する
両面ユニット		本機種ではサポートされない
トレイモジュール	なし あり	拡張給紙ユニットを装着していない場合 拡張給紙ユニットを装着している場合
特 A3 トレイ保有		本機種ではサポートされない。常に、なしを設定する
ユーザー設定	ジョブの登録 ジョブの読み出し 登録名変更 ジョブの削除	プリンタドライバで設定した内容を、任意の名前をつけて登録する [プリント目的]で選択しているジョブの設定内容をプリンタドライバに反映する 登録されているジョブの登録名を変更する [プリント目的]で選択しているジョブを削除する

▼ 設定画面の表示

プリンタドライバの設定画面は、次の手順で表示します。

1 [スタート]ボタンから、[設定][プリンタ]の順に選択する

2 プリンタのプロパティを表示する

プロパティを表示する方法は、以下の3つがあります。

- (1) 該当するプリンタのアイコンをクリックして反転させ、[ファイル]メニューから[プロパティ]を選択します。
- (2) 該当するプリンタのアイコン上で右クリックし、表示されるメニューから[プロパティ]を選択します。
- (3) 該当するプリンタのアイコンをダブルクリックし、プリンタスプーラを開き、[プリンタ]メニューから[プロパティ]を選択します。

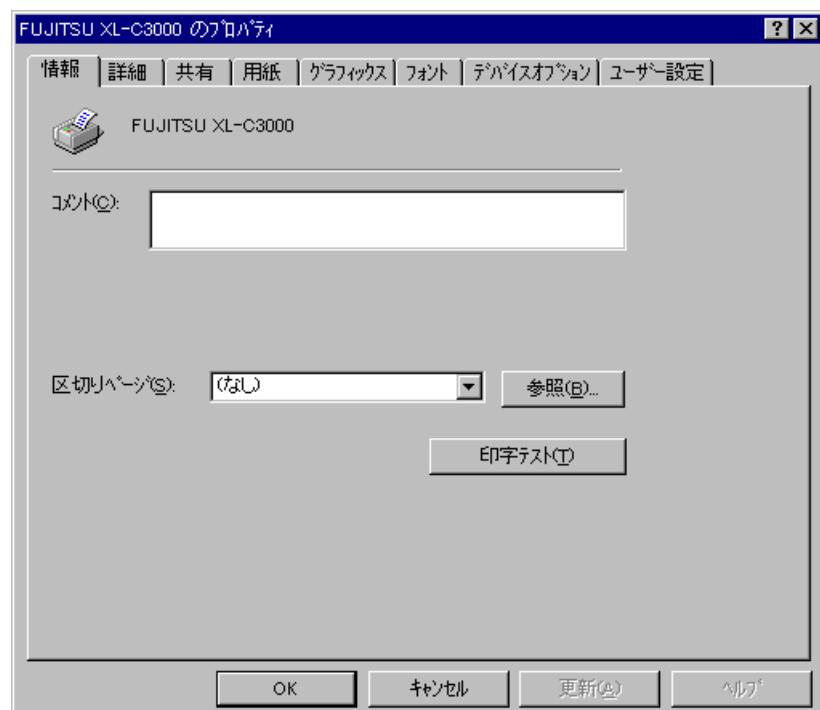
3 設定を行う項目を含むタブをクリックする

▼ 設定項目の詳細

プリンタドライバで設定できる各項目の内容について説明します。

■ [情報] ダイアログ(Windows 95 の場合)

〔全般〕ダイアログ(Windows 98 の場合)



▷ コメント

プリンタに関するコメントを入力します。たとえば、プリンタを使用する時間帯や、プリンタの用途などを入力します。

プリンタを共有する場合、他のユーザーが自分のパソコンにこのプリンタをセットアップすると、ここに入力したコメントが表示されます。ただし、後でコメントを変えて、セットアップ済みのユーザーに表示されるコメントは更新されません。

▷ 区切りページ

印刷する文書を区切るページを挿入します。この機能は同じプリンタを複数のユーザーで使う場合や、一度に複数の文書を印刷する場合に便利です。

グラフィックスが入っている〔標準ページ〕と、文字だけの〔簡易ページ〕のいずれかを選択できます。

独自の区切りページを使うには、〔参照〕をクリックし、区切りページとして使うファイルを指定します。使用できるファイルは、Windowsメタファイル（WMF）だけです。

区切りページを使用できるのは、自分のパソコンに直接プリンタが接続されている場合だけです。

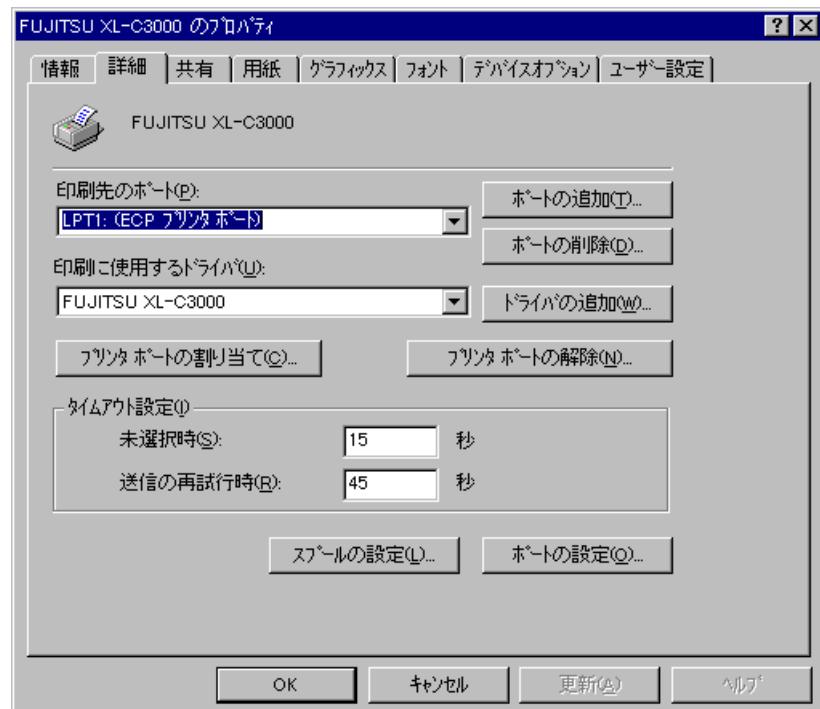


区切りページは、B5よりも小さい用紙を使用すると周囲の一部が欠けて印刷されます。

▷ 印字テスト

テストページを印刷します。プリンタが正しくセットアップできたかどうかを確認するために使います。

〔詳細〕ダイアログ



▷ 印刷先のポート

プリンタが接続されているポート、またはネットワークプリンタのパスが表示されます。

印刷先を変えるときには、▼をクリックして一覧を表示し、使用するポートを選択します。

▷ ポートの追加

ポートを追加します。

このボタンをクリックすると、〔ポートの追加〕ダイアログボックスが表示されます。〔ポートの追加〕ダイアログボックスで、追加するポートの種類、またはネットワークプリンタのパスを指定します。

▷ ポートの削除

ポートを削除します。

このボタンをクリックすると、〔ポートの削除〕ダイアログボックスが表示されます。〔ポートの削除〕ダイアログボックスで、削除するポートを指定します。

▷ 印刷に使用するドライバ

プリンタの種類が表示されます。使用中のプリンタの実際の種類、または使用中のプリンタでエミュレートできるプリンタの種類を指定する必要があります。

▷ ドライバの追加

プリンタドライバを更新または変更するときにクリックします。

▷ プリンタポートの割り当て

ネットワークドライブにポートを割り当てるときにクリックします。

▷ プリンタポートの解除

ネットワークドライブに割り当てられているポートを解除するときにクリックします。

▷ タイムアウト設定

未選択時 プリンタがオンラインになるまで待つ時間（秒単位）を指定します。この時間が経過しても、プリンタがオンラインにならない場合は、エラーメッセージが表示されます。

送信の再試行時 プリンタで印刷の準備ができるまで待つ時間（秒単位）を指定します。この時間が経過しても、印刷の準備ができない場合は、エラーメッセージが表示されます。大きいサイズのドキュメントを印刷するときに問題が起きる場合は、この値を大きくします。

▶ スプールの設定

アプリケーションからプリンタに印刷データを送る方法を指定します。このボタンをクリックすると、[プリンタスプールの設定] ダイアログボックスが表示されます。プリンタを使用する環境に合わせて、必要な項目をオンにします。

印刷ジョブをスプールし、プログラムの印刷処理を高速に行う
.... 印刷データをいったんハードディスクにスプールしてからプリンタに
送ります。この項目をオンにしたときは、スプールする印刷データの
量を、1ページにするか、全ページにするか指定します。
この項目をオンにしたときは、[スプールデータ形式] から、印刷データをスプールしたときの形式を選択します。

プリンタに直接印刷データを送る

.... 印刷データをスプールせずに直接プリンタに送ります。パソコン側の
作業は、印刷が終わるまで待つことになります。

▶ ポートの設定

プリンタポートの設定を変更します。

このボタンをクリックすると、[ポートの設定] ダイアログボックスが
表示されます。プリンタを使用する環境に合わせて、必要な項目を
チェックします。

MS-DOS の印刷ジョブをスプール

.... MS-DOS からの印刷データをスプールするときは、オンにします。
なお、本プリンタは MS-DOS からの印刷をサポートしていません。

印刷前にポートの状態をチェック

.... 印刷データをプリンタに送る前に、プリンタが使用できる状態かどうか
をチェックします。プリンタが使用できないときは、エラーメッセージを返します。

〔用紙〕ダイアログ



▶ 用紙サイズ

印刷する原稿の用紙サイズを指定します。



- ・「出力サイズ」と異なるサイズを設定した場合には、自動的に拡大縮小された適切な倍率が設定されます。
- ・「ユーザー定義」を選択すると、「ユーザー定義サイズ」ダイアログボックスが表示され、用紙サイズを任意の数値で設定することができます。（短辺：90.0～330.2mm、長辺：139.7～457.2mm の範囲で大きさを設定できます。）

▶ 出力サイズ

印刷する用紙サイズを指定します。



- ・「用紙サイズ」と異なるサイズを指定した場合には、自動的に拡大縮小された適切な倍率が設定されます。
- ・「指定なし」を選択した場合は、「用紙サイズ」で設定したサイズと同じサイズで印刷されます。
- ・「ユーザー定義」を選択すると、「ユーザー定義サイズ」ダイアログボックスが表示され、出力サイズを任意の数値で設定することができます。（短辺：90.0～330.2mm、長辺：139.7～457.2mm の範囲で大きさを設定できます。）

[ユーザー定義サイズ] ダイアログボックス



不定形の用紙サイズを設定します。「用紙サイズ」または「出力サイズ」で、「ユーザー定義」を選択すると、「ユーザー定義サイズ」ダイアログボックスが表示されます。

用紙サイズの入力単位は、「ミリ」または「インチ」のどちらかで指定します。

- ・短辺：設定する用紙の短辺サイズの値(90.0 ~ 330.2mm、または3.54 ~ 13.00inchの範囲)を指定します。短辺サイズの値は、長辺の値より小さくなるように指定します。
 - ・長辺：設定する用紙の長辺サイズの値(139.7 ~ 457.2mm、または5.50 ~ 18.00inchの範囲)を指定します。長辺サイズの値は、短辺の値より大きくなるように指定します。
 - ・短辺を長辺より大きい値で指定した場合、短辺と長辺を入れ替える確認のダイアログボックスが表示されます。「OK」ボタンをクリックすると、短辺と長辺のサイズが入れ替わります。
 - ・用紙の向き：設定した用紙をセットする向きを指定します。「出力サイズ」を「指定なし」以外に設定し、「用紙サイズ」で、「ユーザー定義」を選択した場合は、グレイアウト表示されます。
- よこ置き：設定した用紙をよこ向き（用紙の短辺がプリンタ給紙口に突き当たる）に置きます。
- たて置き：設定した用紙をたて向き（用紙の長辺がプリンタ給紙口に突き当たる）に置きます。

- ・短辺・長辺のサイズを139.7 ~ 330.2mmの範囲で指定した用紙サイズであれば、たて置き、よこ置きのどちらでもセットできます。それ以外のサイズを指定した場合は、「よこ置き」に置くように促すダイアログボックスが表示されます。
- ・「用紙の向き」で設定した値は、「手差し」ダイアログボックスの「手差しの向き」の値と連動します。

▷ ズーム

拡大縮小率を設定します。チェックボックスを[オン]に指定した場合のみ、拡大縮小率の値を入力することができます。

- ・チェックボックスが[オフ]の場合
[用紙サイズ]、[出力サイズ]、[Nアップ]で設定した値から自動計算された拡大縮小率がグレイアウト表示されています。
- ・チェックボックスが[オン]の場合
拡大縮小率の値を入力することができるようになり、25 ~ 400%までの範囲で任意に設定できます。イメージは、用紙サイズと出力サイズの組み合わせにかかわらず、指定した値で拡大縮小されます。また、拡大縮小する際の基点はイメージの左上隅になります。
- ・「Nアップ」で2アップ以上を指定している場合、「ズーム」機能を使用することはできません。「ズーム」機能を使用する場合は、「Nアップ」で「なし」を指定します。

▷ Nアップ

1枚の用紙に、複数のページを割り付けてレイアウトして印刷します。Nアップの種類は一覧から選択します。設定したレイアウトは、「仕上がりイメージ」ビットマップで見ることができます。



2アップ以上の設定は「ズーム」機能と併用することはできません。

▷ 印刷の向き

用紙の長い方の辺に対して、印刷する向きを指定します。

▷ 180度回転する

チェックボックスを「オン」に指定すると、出力イメージが180度回転してプリントされます。

▷ 両面

本機種ではサポートされません。

▷ 排出方法

印刷した用紙をどのトレイへ排出するかを設定します。



「出力サイズ」でA5、はがき、ユーザー定義サイズ(短辺のサイズが182mm以下のもの)を指定した場合は「フェイススタウントレイ」は選択できません。また、「用紙種類」でOHPフィルム、厚紙、ラベル用紙を指定した場合も「フェイススタウントレイ」は選択できません。

▷ 給紙方法

印刷する用紙をどのトレイから給紙するかを設定します。



- ・「自動」を選択すると、「用紙種類」が「普通紙」の場合には、トレイ1、トレイ2、トレイ3、トレイ4から自動的に給紙されるトレイが選択されます。
- ・トレイ2、トレイ3、トレイ4(拡張給紙ユニット)はオプション商品です。
- ・「手差し」を選択し、たて、よこのどちらの向きにでも用紙をセットできる場合には、「手差し」ダイアログボックスが表示されます。たて、よこのどちらの向きにでも用紙をセットできる用紙の種類は、以下のとおりです。

A4

レター

ユーザー定義サイズ(短辺・長辺のサイズが139.7 ~ 330.2mm以内で指定したもの)

- ・上記以外のA3、B4、はがき、リーガル、レジャー、特A3、ユーザー定義サイズ(短辺・長辺のサイズが139.7 ~ 330.2mm

以外で指定したもの)は、よこ向きでしか用紙をセットできません。また、A5、B5はたて向きでしか用紙をセットできません。

▷ 用紙種類

印刷する用紙の種類を設定します。

「厚紙」を選択した場合の印刷速度は、「普通紙」を選択した場合の半分になります。また、「OHPフィルム」を選択し、かつ、カラープリントを行った場合も印刷速度は半分になります。

● ガイド

- 用紙種類は印刷する用紙に合ったものを設定してください。
異なる設定にした場合、画質が落ちることがあります。
- はがきの印刷では用紙種類は「厚紙」に設定してください。
異なる設定にした場合、画質が落ちることがあります。

▷ 部数

印刷する部数を、1～999部の範囲で指定します。

▷ ソートする(1部ごと)

複数部数を1部ごとにソートして印刷するかどうかの設定をします。

- チェックボックスが[オン]の場合
複数部数を1部ごと(1,2,3...1,2,3...)にソートして印刷します。
- チェックボックスが[オフ]の場合
1部ごとにソートを行いません。複数部数印刷した場合は、ページごと(1,1,1...2,2,2...)にプリントされます。

▷ とじしろ

とじしろの位置と幅を設定するための「とじしろ」ダイアログボックスが表示されます。

【とじしろ】ダイアログボックス



「とじしろの位置」と「とじ幅」を設定します。「とじしろなし」を選択した場合でも、アプリケーション上で設定したとじしろは有効となります。

「とじ幅」の入力単位は、「ミリ」または「インチ」のどちらかで指定します。

 ガイド

- ・画像イメージはそのままの大きさで、設定値分ずらしてプリントするため、設定値によっては画像が用紙からはみ出ことがあります。
- ・「とじしろの位置」、「とじ幅」は「ズーム」、「Nアップ」の指定に対して影響を受けることはありません。
- ・アプリケーション上でとじしろを設定している場合は、その値とここで指定した値を加算した値分がとじ幅としてとられます。「とじしろなし」を選択した場合でも、アプリケーション上で設定したとじしろは有効となります。
- ・とじしろの位置
とじしろなし：とじしろはつけません。ただし、アプリケーション上で設定されたとじしろは有効です。
左とじ：原稿に対してとじしろを左側につけます。
右とじ：原稿に対してとじしろを右側につけます。
上とじ：原稿に対してとじしろを上側につけます。
下とじ：原稿に対してとじしろを下側につけます。
- ・とじ幅
おもて：とじ幅の値(0 ~ 50.0mm、または0.00 ~ 1.96inchの範囲)を指定します。

 ガイド

[とじしろなし]が指定されている場合は、[おもて]はグレイアウト表示されます。

▷ バージョン情報

使用しているプリンタドライバのバージョン情報を表示します。

[グラフィックス] ダイアログ



▷ 画質

プリンタの解像度を設定します。解像度をあらわす数値が大きいほど、細かく読み取る、あるいは細かく書き込むことができ、高画質なプリント結果が得られます。

▷ スクリーン

プリントする画像の種類を設定します。画像の種類を指定することにより、最適なプリントが行われます。

▷ カラーモード

白黒グレースケールでプリントするか、カラーでプリントするかの設定をします。

▷ 特定のグラフィックスを忠実に再現

色の重ねあわせ処理を厳密に行います。文字やグラフィックスの印刷では「オン」に、写真の印刷では「オフ」に設定してください。但し、文字やグラフィックスの印刷で、ディスプレイでの表示と印刷結果が異なる場合は「オフ」に設定してください。



- ・チェックボックスが[オン]の状態でプリントすると、色合わせは正確に行われますが、印刷速度が低下することがあります。
- ・「カラー モード」で「Image Color Matching を使わずにカラー印刷」または「Image Color Matching を使ってカラー印刷」を選択した場合のみ、チェックボックスの設定ができます。

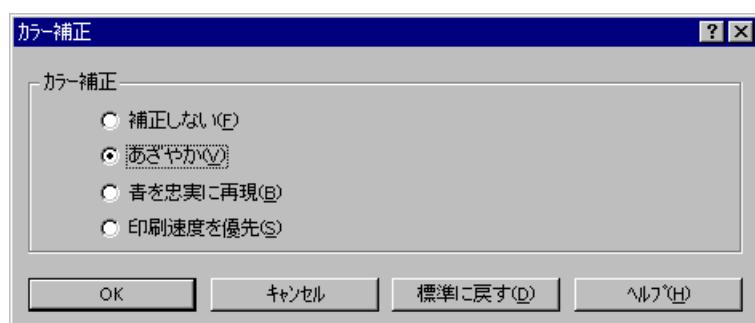
▷ カラー補正

カラー補正の処理方法を設定するための「カラー補正」ダイアログボックスが表示されます。



「カラー モード」で「Image Color Matching を使わずにカラー印刷」を選択し、「カラー補正」ボタンをクリックした場合のみ、「カラー補正」ダイアログボックスが表示されます。

〔カラー補正〕ダイアログボックス



- ・補正しない：色変換する際に補正を行いません。
- ・あざやか：色変換する際に彩度をあげたカラー補正を行います。
- ・青を忠実に再現：青色に対してカラー補正を行います。アプリケーションによって、青が黒っぽく出力されてしまう場合などに指定します。
- ・印刷速度を優先：簡易色変換を行うことで、印刷速度を低下させることなく印刷します。

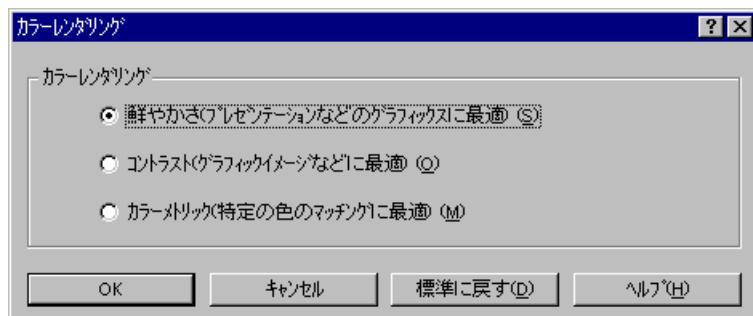
▷ カラーレンダリング

「カラーレンダリング」ダイアログボックスが表示されます。

ディスプレイで表示されている色と、プリントしたものの色が同じ色に見えるような調整をすることを、カラーマッチングといいます。「カラーレンダリング」ダイアログボックスでは、カラーマッチングの種類を選択できます。

- **ガイド** 「カラー モード」で「Image Color Matching を使ってカラー印刷」を選択し、「カラーレンダリング」ボタンをクリックした場合にのみ、「カラーレンダリング」ダイアログボックスが表示されます。

〔カラーレンダリング〕ダイアログボックス



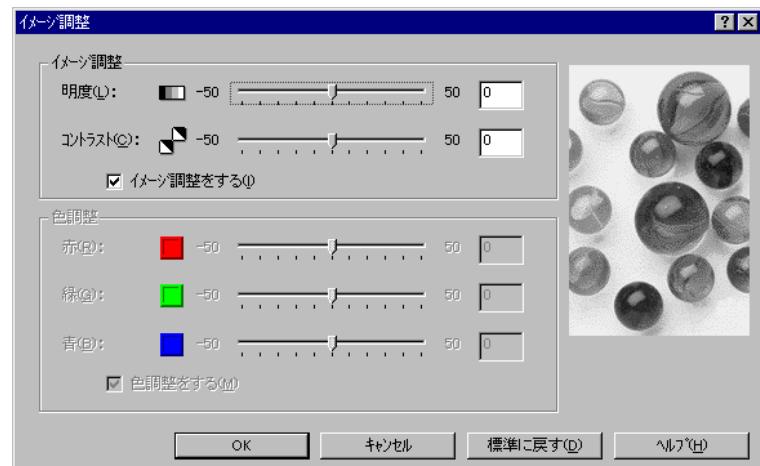
- ・鮮やかさ（プレゼンテーションなどのグラフィックスに最適）
明度を変えてプリントします。グラデーションのあるグラフィックスなどをプリントする場合に効果的です。
- ・コントラスト（グラフィックスイメージなどに最適）
明度や彩度の相対関係が画像全体に渡って維持されます。周囲の微妙な彩度の差がある写真などをプリントする場合に効果的です。
- ・カラーメトリック（特定の色のマッチングに最適）
明度を保持したまま彩度を変えてプリントします。単色塗りつぶしのグラフィックスなどをプリントする場合に効果的です。

▷ イメージ調整

「イメージ調整」、「色調整」を設定するための「イメージ調整」ダイアログボックスが表示されます。256色以上のディスプレイ環境であれば、ここで設定した値を変えることにより、「プレビュー」ビットマップにも反映され、出力結果の目安となります。

ガイド 「カラー mode」で「グレースケール」または「Image Color Matchingを使わずにカラー印刷」を選択し、「イメージ調整」ボタンをクリックした場合のみ、「イメージ調整」ダイアログボックスが表示されます。

【イメージ調整】ダイアログボックス



・イメージ調整

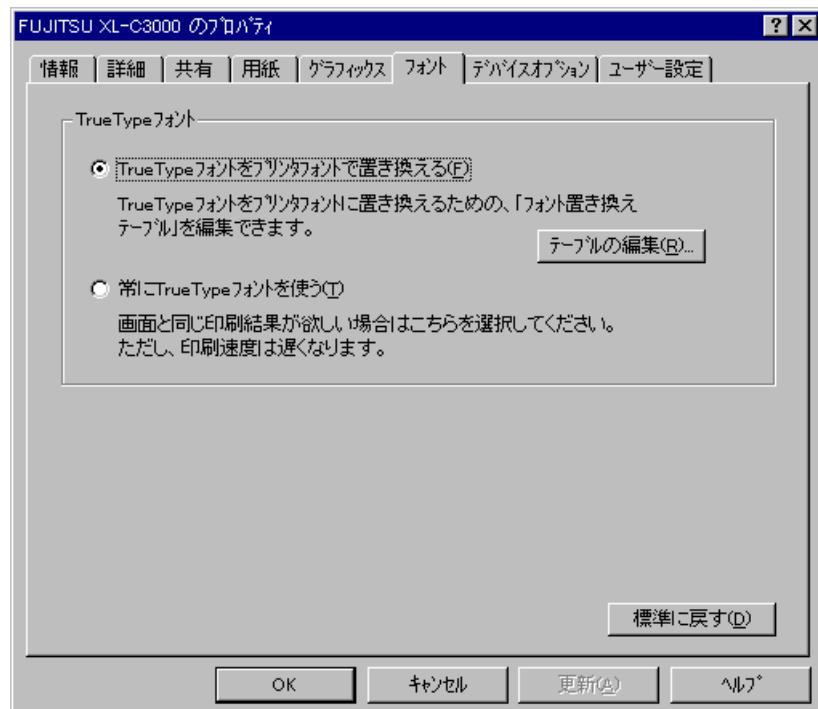
「イメージ調整をする」チェックボックスが「オン」の場合のみ、「明度」、「コントラスト」のスライダとそれに対応するテキストボックスの設定が可能となります。「明度」は色の明るさを、「コントラスト」は明暗の差を調整します。

スライダのインジケータの左右をクリックすると、値が10ずつ変化します。-50～50の範囲内で指定します。

・色調整

「カラー mode」で「Image Color Matchingを使わずにカラー印刷」を選択し、「色調整をする」チェックボックスが「オン」の場合のみ、「赤」、「緑」、「青」のスライダとそれに対応するテキストボックスの設定が可能となります。これらを調整することにより、色相が変化します。スライダのインジケータの左右をクリックすると、値が10ずつ変化します。-50～50の範囲内で指定します。

[フォント] ダイアログ



▷ TrueType フォント

TrueType フォントのプリント方法を設定します。

- TrueType フォントをプリンタフォントで置き換える

TrueType フォントを含む文書をプリントする場合に、TrueType フォントをプリンタフォントに置き換えてプリントします。[テーブルの編集]ボタンをクリックすると、[TrueType置き換えテーブル]ダイアログボックスが表示され、そこで組み合わせを変更することができます。

本プリンタは、欧文フォント 15 種、日本語フォント 4 種を搭載しています。

- 常に TrueType フォントを使う

文書内のすべての TrueType フォントを、PC 側でビットマップとして変換したのち、プリンタへ転送し描画します。このため、画面表示どおりのプリント結果を得られます。



- ・Windows95では、MS P明朝、MS Pゴシックを標準サポートしていますが、日本語のプロポーショナルフォントをプリンタフォントに置き換えると、正しい文字幅で出力されない場合があります。
- ・「常にTrueTypeフォントを使う」を指定してプリントした場合、「TrueTypeフォントをプリンタフォントで置き換える」を指定して印刷した場合より、印刷速度が低下することがあります。

【TrueType置き換えテーブル】ダイアログボックス



TrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換える場合の設定を行います。

・TrueType置き換えテーブル

左側にはWindows95にインストールされているTrueTypeフォントが、右側には置き換えるプリンタフォント名がリスト表示されています。



- ・Windows95と本プリンタの両方でもっているフォントは表示されません。
- ・フォント名の先頭に@印がついたものは、縦書きフォントです。

- ・置き換えるプリンタフォント

選択したTrueTypeフォントに対して、置き換えるプリンタフォントを一覧から選択します。

選択できるプリンタフォントの種類は以下のとおりです。

ビットマップで描画する

FX リョーピー 本明朝 -L

FX リョーピー ゴシック-B

FX リョーピー P 本明朝 -L

FX リョーピー Pゴシック-B

@FX リョーピー 本明朝 -L

@FX リョーピー ゴシック-B

@FX リョーピー P 本明朝 -L

@FX リョーピー Pゴシック-B

Arial

Courier New

Times New Roman

Symbol

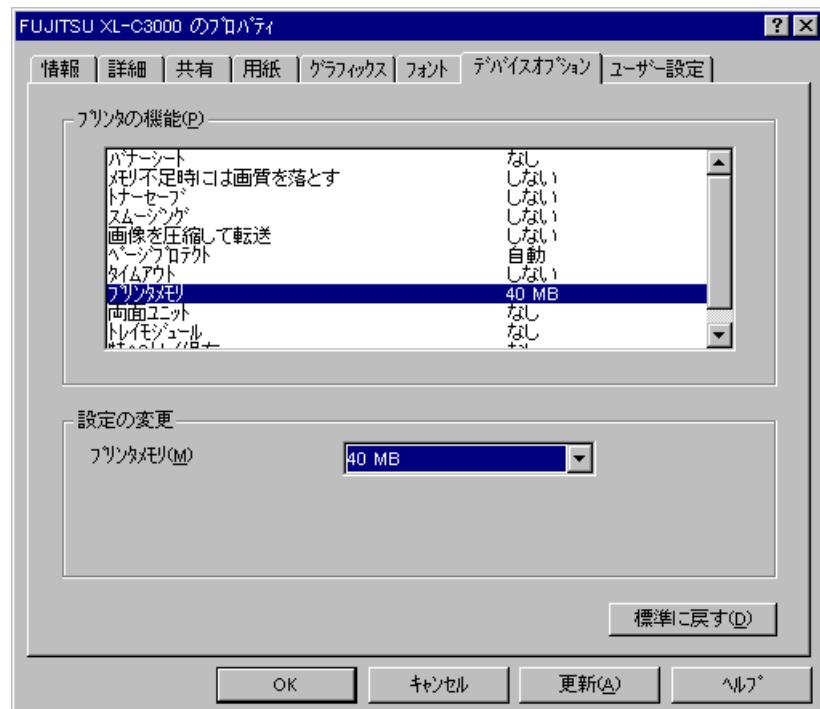
Wingdings

Century



- ・変更したプリンタフォントをデフォルト設定に戻すには、「標準に戻す」ボタンをクリックします。
- ・プリンタフォントに置き換えた場合、フォントの文字幅のちがいにより文字の位置がずれたり重なったりする場合があります。

■ [デバイスオプション] ダイアログ



プリンタ特有の次の項目について設定することができます。
「プリンタの機能」リストで任意の項目を選択すると、「設定の変更」に現在の設定内容が表示され、ここで変更することができます。

▷ バナーシート

各ジョブに対してバナーシートを出力するかどうかを設定します。

バナーシートには、日付、時間、ホストの出力ポート、ファイル名がプリントされますが、「タイトル」に英数半角32文字、全角16文字の文字列を入力すると、バナーシートに対してタイトルをつけて印刷されます。

▷ メモリ不足時には画質を落とす

イメージを含む文書をプリントする場合に、プリンタのメモリ不足によりプリントできないことがあります。このような場合イメージの画質を落とすことにより、メモリ不足を解消し印刷できるようになります。

▷ トナーセーブ

トナーの消費量を抑えます。ただし、トナーの消費量を少なくすることにより画質が低下します。

▷ スムージング

文字や図形の輪郭が滑らかになるように画像処理します。

グラフィックパターンなどをプリントする場合は、出力画像が変化することがあるので「しない」を設定することをお勧めします。

▷ 画像を圧縮して転送

イメージを含む文書をプリントする場合に、PC側でイメージを圧縮することにより、転送にかかる時間を少なくするように設定します。

▷ ページプロジェクト

ページプロジェクトとは、複雑なイメージなどをプリントする際にページオーバーランエラーの発生を防ぐため、毎回ページ分のデータを保護しながらプリントすることです。ただし、この機能によって、パフォーマンスが低下したり、使用メモリが増える可能性があります。

▷ タイムアウト

タイムアウトとは印刷処理が設定した時間を経過しても終了しない場合、印刷を強制的に終了することです。

複雑なドキュメントをプリントし問題が発生する場合には、大きい値を設定することが必要です。

▷ プリンタメモリ

プリンタに搭載している総メモリ量を設定します。

プリンタ本体は、出荷時に40MByteのメモリを標準搭載しています。ここでは、標準の40MByteとオプションで増設したメモリを合計したメモリ量を指定します。



オプションでメモリを増設した場合は、必ずこの項目を設定してください。設定しないと、メモリを増設しても正常に機能しません。

▷ 両面ユニット

本機種ではサポートされません。

▶ トレイモジュール

オプションで拡張給紙ユニットを装着しているかどうかの設定を行います。拡張給紙ユニットには、250枚トレイを3つ装着することができます。

「あり」、「なし」のどちらかを選択します。オプションで拡張給紙ユニットを装着している場合は、「あり」を選択します。



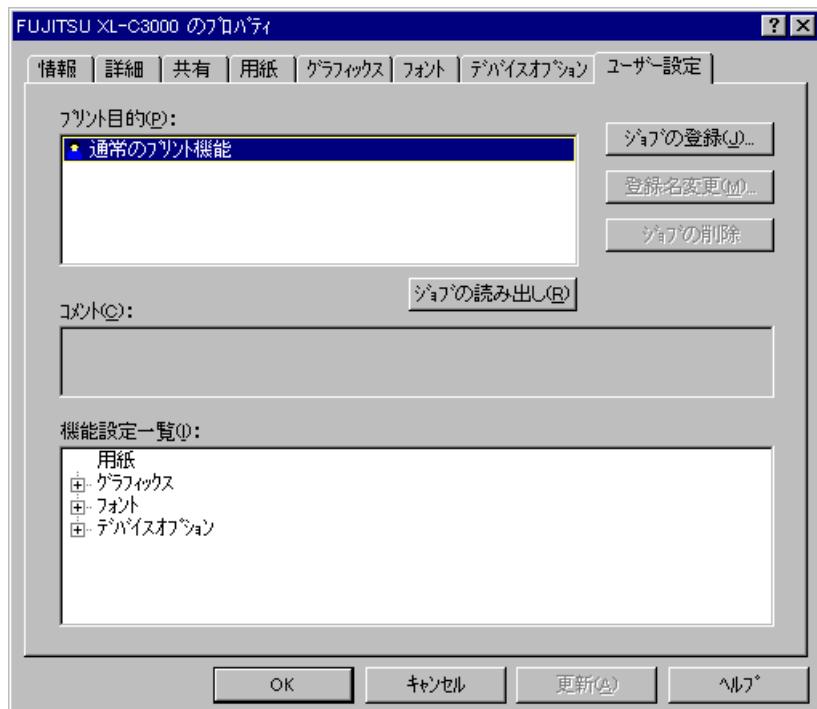
オプションで拡張給紙ユニットを装着した場合は、必ずこの項目を「あり」に設定してください。

「あり」に設定しないと正常に機能しません。

▶ 特 A3 トレイ保有

本機種ではサポートされません。「なし」を選択してください。

[ユーザー設定]ダイアログ



[ユーザー設定]ダイアログでは、プリンタドライバで設定した内容を登録することができます。

登録した情報はユーザー定義ジョブとして認識され、2度目以降にプリントする場合に、ドライバの各設定項目を指定しなくてすむようになります。

▷ プリント目的

プリンタドライバで設定した内容は、「ジョブの登録」ダイアログボックスからユーザー定義ジョブとして登録することができます。登録されたユーザー定義ジョブは「プリント目的」にリスト表示されます。

ユーザー定義ジョブを選択し、「ジョブの読み出し」ボタンをクリックすると、登録されている設定内容が読み出されます。

「通常のプリント機能」は1行目に必ず表示され、プリンタドライバの各設定項目のデフォルト値が登録されています。

▷ コメント

「プリント目的」で選択しているユーザー定義ジョブについてのコメントが表示されます。

「ジョブの登録」ダイアログボックス、「登録名変更」ダイアログボックスの「コメント」に入力し、登録したものが反映されます。

▷ 機能設定一覧

「プリント目的」で選択しているユーザー定義ジョブの内容を、ツリー形式で表示します。

● ガイド

- ・「通常のプリント機能」を選択すると、各設定項目のデフォルト値をツリー形式で見ることができます。
- ・デフォルトの設定と異なる設定がされている項目には、先頭に*（アスタリスク）が付加されて表示されます。
- ・ツリー形式で表示されている〔フォント〕の〔TrueType置き換えテーブル〕には、プリンタフォントに置き換えるTrueTypeフォントのみが表示されます。

▷ ジョブの読み出し

「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択した状態で「ジョブの読み出し」ボタンをクリックすると、その設定内容が反映されます。

● ガイド

- 「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択していない状態では、「ジョブの読み出し」ボタンはグレイアウト表示されています。

▷ ジョブの登録

プリンタドライバで設定した内容を、任意の名前をつけて登録します。

「プリント目的」、「コメント」で入力した内容は、「登録」ボタンをクリックすることにより、ユーザー定義ジョブとして認識されます。ユーザー定義ジョブは最大20件まで登録できます。

・プリント目的

ユーザー定義ジョブを入力します。英数半角32文字、全角16文字以内で入力してください。

すでに登録しているユーザー定義ジョブがある場合は一覧から選択できます。ここで入力したユーザー定義ジョブ名は、「ユーザー設定」ダイアログの「プリント目的」に反映されます。

「通常のプリント機能」は、一覧には表示されません。

・コメント

ユーザー定義ジョブに対するコメントを入力します。英数半角255文字、全角127文字以内で入力してください。「プリント目的」ですでに登録しているユーザー定義ジョブを選択した場合は、選択したユーザー定義ジョブに登録されているコメントが表示されます。ここで入力したコメントは、「ユーザー設定」ダイアログの「コメント」に反映されます。

▷ 登録名変更

登録されているユーザー定義ジョブの内容を変更します。

「ユーザー設定」ダイアログの「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択した状態で、「登録名変更」ボタンをクリックすると、「登録名変更」ダイアログボックスが表示されます。すでに登録されている「プリント目的」、「コメント」について変更することができます。変更した内容は、「変更」ボタンをクリックすることにより更新されます。

● ガイド

「ユーザー設定」ダイアログの「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択していない、または「通常のプリント機能」を選択している状態では、「登録名変更」ボタンはグレイアウト表示されています。

・プリント目的

変更するユーザー定義ジョブの「プリント目的」が表示されています。修正する場合は、英数半角32文字、全角16文字以内で入力してください。ここで入力したユーザー定義ジョブ名は、「ユーザー設定」ダイアログの「プリント目的」に反映されます。

・コメント

変更するユーザー定義ジョブの「コメント」が表示されています。修正する場合は、英数半角255文字、全角127文字以内で入力してください。ここで入力したコメントは、「ユーザー設定」ダイアログの「コメント」に反映されます。

▷ ジョブの削除

「プリント目的」で選択しているユーザー定義ジョブを削除します。

「ユーザー設定」ダイアログの「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択した状態で、「ジョブの削除」ボタンをクリックすると、削除確認のダイアログボックスが表示されます。[はい]を選択すると、そのユーザー定義ジョブは削除されます。

● ガイド

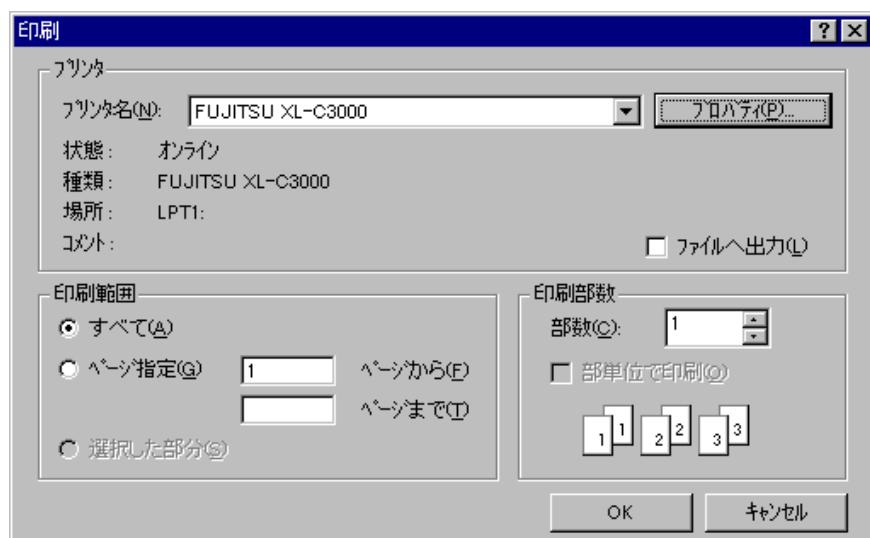
「ユーザー設定」ダイアログの「プリント目的」にリスト表示されているユーザー定義ジョブを選択していない、または「通常のプリント機能」を選択している状態では、「ジョブの削除」ボタンはグレイアウト表示されています。

▼ アプリケーションソフトから印刷するときの設定

アプリケーションソフトからデータを印刷すると、プリンタに対して設定できる項目が変わります。

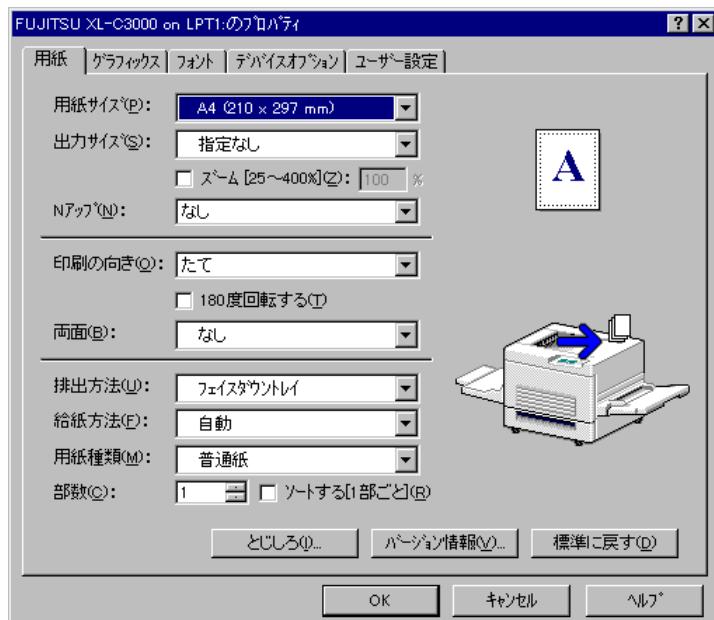
ここでは、ワードパッドで作成した文書を印刷する場合を例に、アプリケーションソフトから印刷するときの設定について説明します。(使用するアプリケーションにより、設定内容が異なります。)

アプリケーションソフトから印刷を実行し、[印刷]ダイアログボックスを開きます。



[印刷]ダイアログボックスで[プロパティ]をクリックすると、[XL-C3000のプロパティ]が開きます。目的のダイアログボックスをクリックして、設定を行います。

〔用紙〕ダイアログ



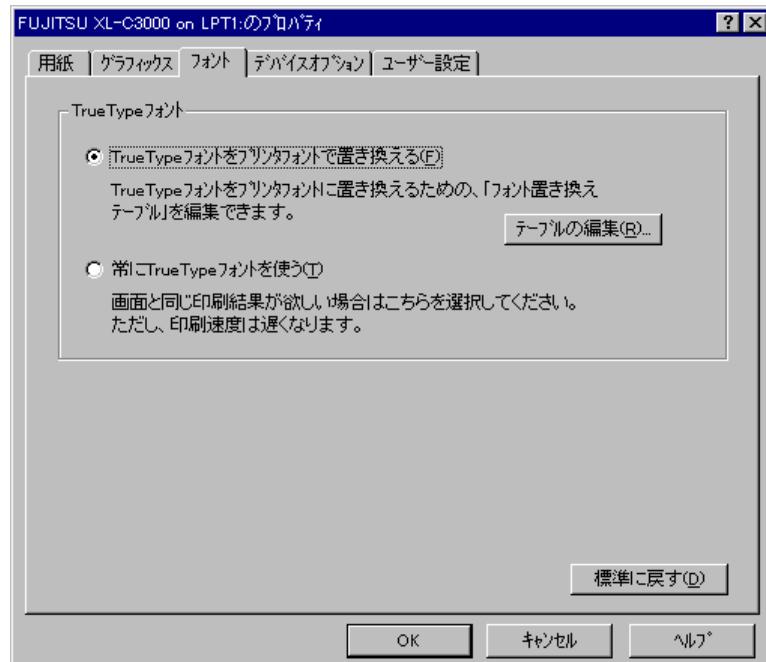
〔用紙〕ダイアログの設定内容は、XL-C3000 のプロパティのときと同じです(73 ページ参照)。

〔グラフィックス〕ダイアログ



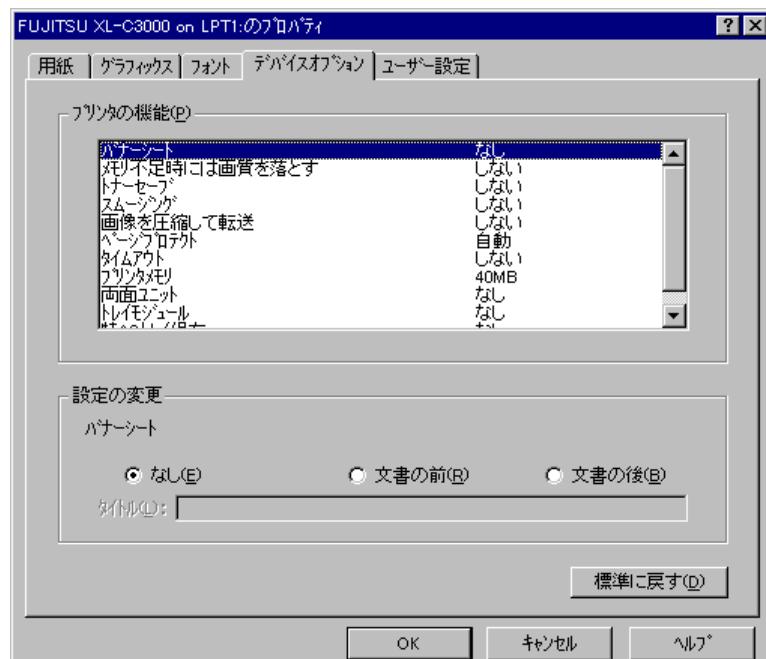
〔グラフィックス〕ダイアログの設定内容は、XL-C3000 のプロパティのときと同じです(79 ページ参照)。

[フォント] ダイアログ



[フォント] ダイアログの設定内容は、XL-C3000 のプロパティのときと同じです。(83 ページ参照)。

[デバイスオプション] ダイアログ



[デバイスオプション] 設定内容は、XL-C3000 のプロパティのときと同じです(86 ページ参照)。

[ユーザー設定] ダイアログ



[ユーザー設定] ダイアログの設定内容は、XL-C3000 のプロパティのときと同じです(89 ページ参照)。

Windows 98 の場合

ここでは、Windows 98 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順はPlug & Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。

▼ Plug & Play でのインストール

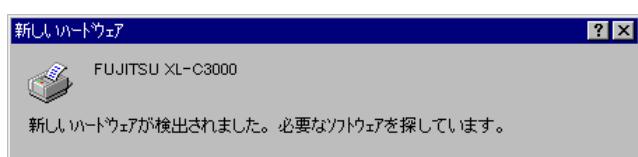
プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用フロッピーディスクを準備してください。



ご使用のパソコンにインストールされているWindows 98のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。



- ・インストールの前に、メモ帳などによりフロッピーディスクの「Readme95.txt」をお読みください。
- ・Windows 95で本プリンタドライバをインストールして使用されていた方で、本プリンタドライバを削除せずWindows 98にアップグレードしている場合は、Windows 98の〔プリンタ〕フォルダから本プリンタを選択し、〔ファイル〕メニューの〔削除〕をクリックしてプリンタを削除してからインストールを行ってください。



1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で Windows 98 を起動する

パソコン起動時に FUJITSU XL-C3000 新しいハードウェアが検出されました。必要なソフトウェアを探しています。と表示されます。そのとき、以下の手順でプリンタドライバをインストールしてください。



Plug & Play はプリンタがパソコンに直接つながっている場合のみ、行われます。



2 [次へ] ボタンをクリックする



3 [使用中のデバイスに最適なドライバを検索する (推奨)] を選択して [次へ] ボタンをクリックする

4 添付のプリンタドライバディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブにセットする

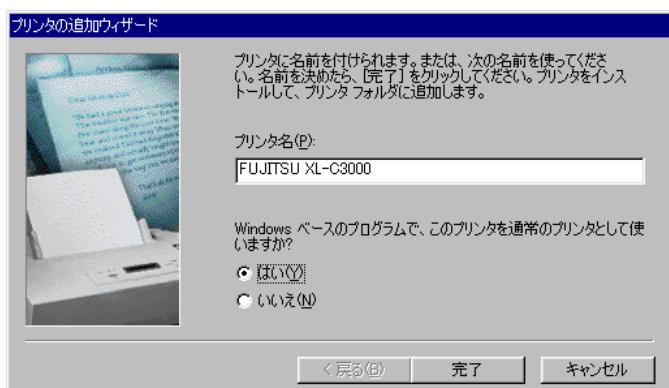


5 [検索場所の指定] をチェックし、フロッピーディスクドライブ名とWindows 95/98用ドライバのフォルダ名を入力する(フロッピーディスクドライブがA:の場合、「A:\Win98_95」と入力してください。)

入力が終わったら〔次へ〕ボタンをクリックします。



6 〔次へ〕ボタンをクリックする



7 本プリンタを「通常のプリンタ」に設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔完了〕ボタンをクリックする



ファイルのコピーが開始されます。



8 [完了] ボタンをクリックし、インストールを終了する

▼ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のWindows 95/98用フロッピーディスクを準備してください。

ガイド

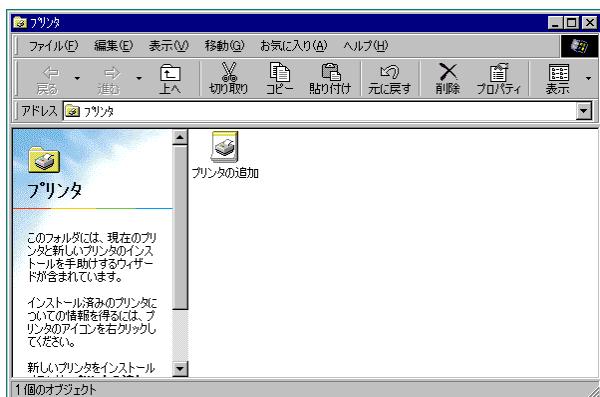
ご使用のパソコンにインストールされているWindows 98のバージョンによっては、インストール手順や表示内容がことなる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

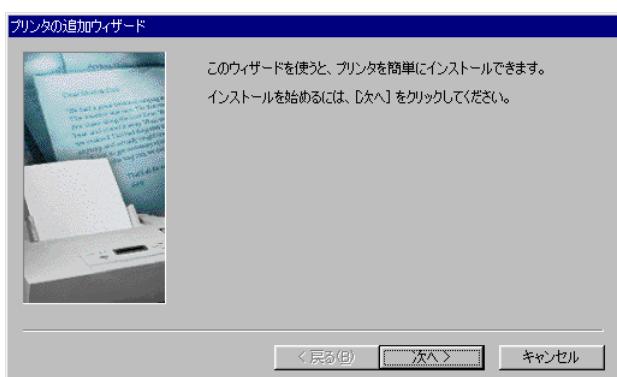
インストールの前に、メモ帳などによりフロッピーディスク内の「Readme95.txt」をお読みください。

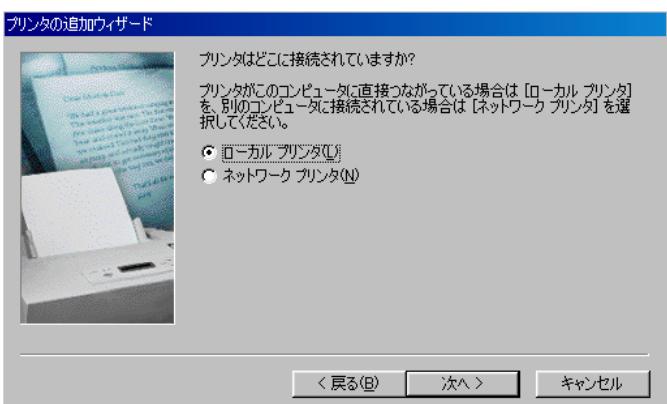
1 Windows 98 を起動する

2 [マイコンピュータ] の [プリンタ] アイコンをダブルクリックし、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする



3 [次へ] ボタンをクリックする





4 ローカルプリンタ を選択して[次へ]ボタンをクリックする

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、[ネットワークプリンタ]を選択します。(以降の操作が簡単になります。)

パソコンがネットワークに接続されていないときは、この画面は表示されません。



スタンドアロン(パソコンとプリンタを1対1で接続)のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。

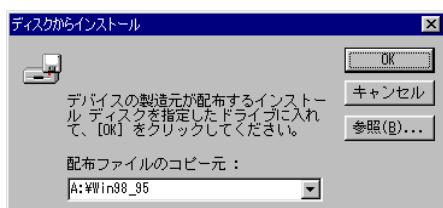


[ネットワークプリンタ]を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。

5 [ディスク使用]ボタンをクリックする



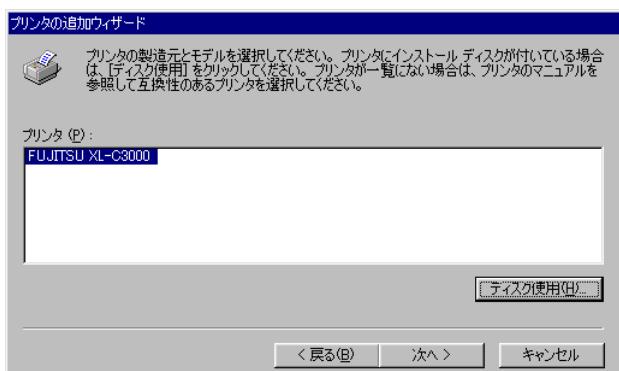
6 添付のプリンタドライバディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブにセットする



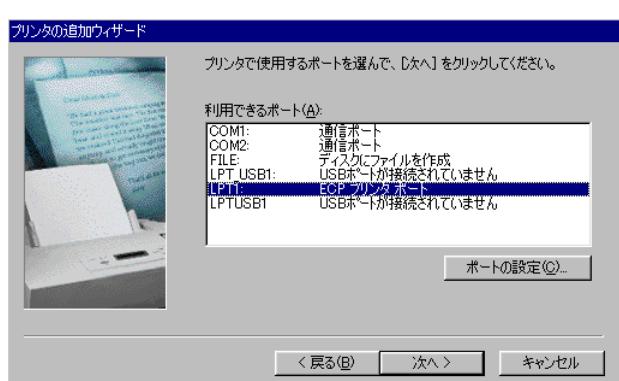
7 配布ファイルのコピー元にフロッピーディスクドライブ名とWindows 95/98用ドライバのフォルダ名を入力する(フロッピーディスクドライブがA:の場合、「A:\Win98_95」と入力してください。)

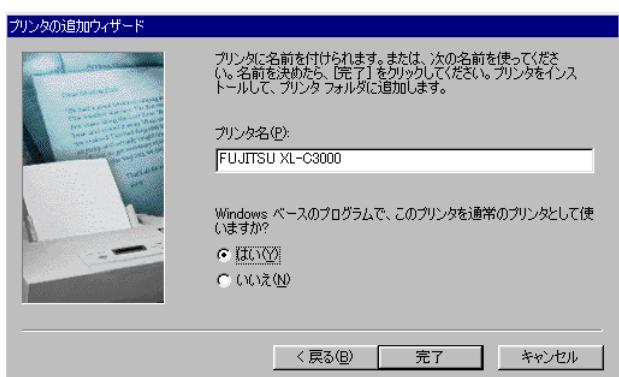
入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックします。

8 Fujitsu XL-C3000 を確認して、〔次へ〕ボタンをクリックする



9 使用するポートを選択して〔次へ〕ボタンをクリックする





10 本プリンタを「通常のプリンタ」に設定する場合は、〔はい〕を選択し、〔完了〕ボタンをクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、〔プリンタ〕フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



このドライバはWindows 95用のドライバと同じものです。
したがって使用されるプログラムファイルは共通のものです。



新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

- 1 [マイコンピュータ]の[プリンタ]アイコンをダブルクリックし、[プリンタ] フォルダを開く
- 2 該当するプリンタを選択し、[ファイル] メニューから [削除] をクリックする



- 3 [はい] ボタンをクリックする

- 4 Windows 98 を再起動する
古いプリンタドライバを削除したら、Windows 98 を再起動します。
- 5 新しいプリンタドライバを、「通常のインストール」(100 ページ) の手順でインストールする
- 6 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows 98 を再起動する



プリンタドライバを置き換えると、ユーザー定義ジョブを含め、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

▼ プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定項目は「Windows95の場合」(61ページ)を参照してください。

以下の項目のみ追加されます。

設定項目	設定内容	説明
色の管理		プリンタに関連付けられたプロファイルを追加、削除する

▼ 設定画面の表示

プリンタドライバの設定画面の表示手順は「Windows95の場合」(67ページ)を参照してください。

▼ 設定項目の詳細

プリンタドライバで設定できる各項目の内容については「Windows95の場合」(68ページ)を参照してください。
以下の項目のみ追加されます。

■ [色の管理] ダイアログ



プリンタに関連付けられたプロファイルを追加したり、削除します。
この設定は、印刷されたページの色に影響を及ぼします。



プリンタドライバインストール時に、本プリンタに最適のプロファイル (XC3000) が関連付けられていますので、通常は変更する必要はありません。

▼ アプリケーションソフトから印刷するときの設定

アプリケーションソフトから印刷するときの設定は「Windows95の場合」(92ページ)を参照してください。

Windows NT4.0 の場合

ここでは、Windows NT4.0 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

▼ インストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用フロッピーディスクを準備してください。

● ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows NT4.0 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

► お願い

- ・インストールの前に、メモ帳などによりフロッピーディスクの「Readment.txt」をお読みください。
- ・プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。

- 1 Windows NT4.0 を起動し、管理者グループのメンバーとしてログオンする



- 2 [マイコンピュータ] の [プリンタ] アイコンをダブルクリックし、[プリンタの追加] アイコンをダブルクリックする



3 このコンピュータ を選択して [次へ] ボタンをクリックする



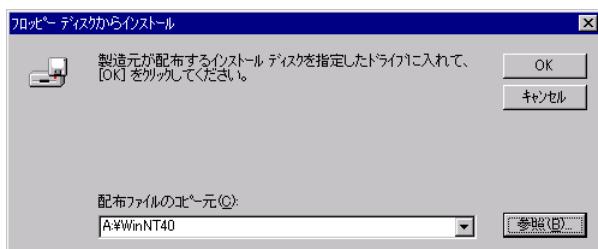
4 プリンタを接続したポートを指定して [次へ] ボタンをクリックする

[利用可能なポート] から、プリンタを接続したポートを選択します。



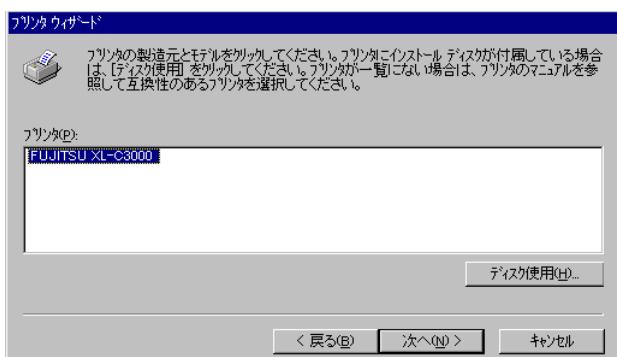
5 [ディスク使用] ボタンをクリックする

6 添付のプリンタドライバディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブにセットする



7 配布ファイルのコピー元にフロッピーディスクドライブ名とWindows NT4.0用ドライバのフォルダ名を入力する（フロッピーディスクドライバがA:の場合、「A:\WinNT40」と入力してください。）

入力が終わったら〔OK〕ボタンをクリックします。



8 FUJITSU XL-C3000を確認して、〔次へ〕ボタンをクリックする

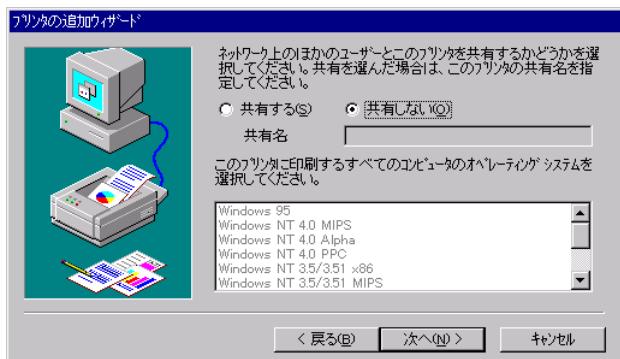


9 「新しいドライバに置き換える」を選択し、〔次へ〕ボタンをクリックする

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときに、この画面が表示されます。



10 プリンタ名を入力し、本プリンタを「通常のプリンタ」に設定するか、しないかを選択して、〔次へ〕ボタンをクリックする



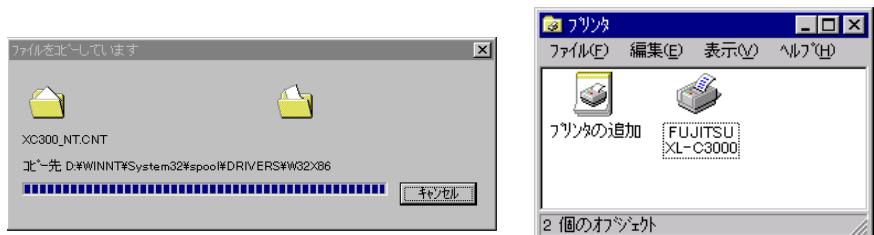
11 [共有しない]を選択し、[次へ]ボタンをクリックする

プリンタを共有するかしないかの設定は、プリンタドライバをインストールした後で変更できます。ここでは、共有しないを選択します。

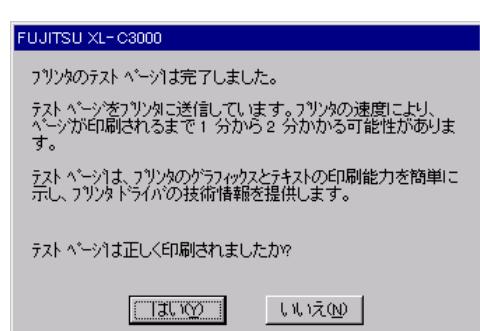


12 テストページを印刷するか、しないか選択して[完了]ボタンをクリックする

ファイルのコピーが開始されます。コピーが終了すると、[プリンタ]フォルダにプリンタ名が表示され、ドライバが有効になります。



テストページを選択した場合に以下の操作を行います。



13 テストページが正しく印刷されたら[はい]ボタンをクリックし、インストールを終了する



新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。なお、このとき、ユーザー定義ジョブを含め、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

- 1 [マイコンピュータ]の[プリンタ]アイコンをダブルクリックし、[プリンタ] フォルダを開く
- 2 該当するプリンタを選択し、[ファイル]メニューから[削除]をクリックする



- 3 [はい] ボタンをクリックする
- 4 Windows NT4.0 を再起動する
古いプリンタドライバを削除したら、Windows NT4.0を再起動します。
- 5 新しいプリンタドライバを、「インストール」(108ページ)の手順でインストールする
- 6 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows NT4.0を再起動する



プリンタドライバの設定

本プリンタドライバの設定は、次の4つのダイアログボックスで行います。

- ・[ドキュメントのプロパティ]ダイアログボックス
- ・[FUJITSU XL-C3000の既定のドキュメントのプロパティ]ダイアログボックス
- ・[プリンタのプロパティ]ダイアログボックス
- ・[プリントサーバーのプロパティ]ダイアログボックス

一般ユーザーは、[ドキュメントのプロパティ]ダイアログボックス(アプリケーションソフトからのプリンタ設定項目)のみ変更できます。

▶ [FUJITSU XL-C3000の既定のドキュメントのプロパティ]ダイアログボックス

設定項目	設定内容	説明
用紙	用紙サイズ	A4 (210 × 297mm) A4 サイズの原稿を印刷する A3 (297 × 420mm) A3 サイズの原稿を印刷する A5 (149 × 210mm) A5 サイズの原稿を印刷する B4 (257 × 364mm) B4 サイズの原稿を印刷する B5 (182 × 257mm) B5 サイズの原稿を印刷する はがき (100 × 148mm) はがきサイズの原稿を印刷する レター (8.5 × 11inch) レターサイズの原稿を印刷する リーガル (8.5 × 14inch) リーガルサイズの原稿を印刷する レジャー (11 × 17inch) レジャーサイズの原稿を印刷する 特A3 (330 × 457mm) 特A3 サイズ (*1) の原稿を印刷する
	ユーザー定義	不定形の原稿を印刷する 短辺 : 90.0 ~ 330.2mm 長辺 : 139.7 ~ 457.2mm
	出力サイズ	指定なし 用紙サイズで設定した用紙に印刷する A4 (210 × 297mm) A4 サイズの用紙に印刷する A3 (297 × 420mm) A3 サイズの用紙に印刷する A5 (149 × 210mm) A5 サイズの用紙に印刷する B4 (257 × 364mm) B4 サイズの用紙に印刷する B5 (182 × 257mm) B5 サイズの用紙に印刷する はがき (100 × 148mm) はがきに印刷する レター (8.5 × 11inch) レターサイズの用紙に印刷する リーガル (8.5 × 14inch) リーガルサイズの用紙に印刷する レジャー (11 × 17inch) レジャーサイズの用紙に印刷する 特A3 (330 × 457mm) 特A3 サイズ (*1) の用紙に印刷する
	ユーザー定義	不定形の用紙に印刷する 短辺 : 90.0 ~ 330.2mm 長辺 : 139.7 ~ 457.2mm
	ズーム	オフ 用紙サイズ、出力サイズ、Nアップで設定した値から自動計算された拡大縮小率で印刷する オン 用紙サイズと出力サイズの組み合わせにかかわらず、指定した値で拡大縮小で印刷する

* 1 特A3 サイズは330.2 × 457.2mmですが、ドライバ表記上は330 × 457mmとしています。

設定項目	設定内容	説明
Nアップ	なし(デフォルト)通常の印刷行う 2アップ(順方向)1枚の用紙に2ページ分のデータを用紙の左、右の順に配置して印刷する 2アップ(逆方向)1枚の用紙に2ページ分のデータを用紙の右、左の順に配置して印刷する 4アップ(順横方向)1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の左上、右上、左下、右下の順に配置して印刷する 4アップ(順縦方向)1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の左上、左下、右上、右下の順に配置して印刷する 4アップ(逆横方向)1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の右上、左上、右下、左下の順に配置して印刷する 4アップ(逆縦方向)1枚の用紙に4ページ分のデータを用紙の右上、右下、左上、左下の順に配置して印刷する	
印刷の向き	たて よこ	用紙の長い方の辺に対して、垂直に印刷する(ポートレイト) 用紙の長い方の辺に対して、平行に印刷する(ランドスケープ)
180度回転する		出力イメージを180度回転して印刷する
両面		本機種ではサポートされない
排出方法	フェイスダウントレイ フェイスアップトレイ (正順印刷) フェイスアップトレイ (逆順印刷)	フェイスダウントレイに排出する フェイスアップトレイに排出する 排出された用紙はページ順どおりに並ぶ フェイスアップトレイに排出する 排出された用紙はページ順と逆に並ぶ
給紙方法	自動 手差し トレイ1 トレイ2 トレイ3 トレイ4	用紙トレイ1~4から自動的に給紙するトレイを選択する 手差しトレイから給紙する 用紙トレイ1から給紙する 用紙トレイ2から給紙する 用紙トレイ3から給紙する 用紙トレイ4から給紙する

設定項目		設定内容	説明
用紙	用紙種類	普通紙	普通紙に印刷する
		OHP フィルム	OHP フィルムに印刷する
		ラベル用紙	ラベル用紙に印刷する
		厚紙	厚紙に印刷する
部数	1 ~ 999	印刷部数を指定する	
ソートする [1 部ごと]		複数部数を 1 部ごと (1,2,3...1,2,3...) にソートして印刷する	
とじしろ		とじしろの位置と幅を指定する	
バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する	
グラフィックス	画質	高画質 (1200x600dpi)	1200x600dpi で印刷する
		標準 (600x600dpi)	600x600dpi で印刷する
		ドラフト (300x300dpi)	300x300dpi で印刷する
スクリーン	文字 / 写真用	文字領域と写真領域それぞれに適した印刷を行う	
	写真用	写真など濃淡の変化が滑らかな印刷を行う	
	文字用	文字部がくっきりした印刷を行う	
カラー モード	グレースケール	白黒グレースケールで印刷する	
	カラー印刷	カラーで印刷する	
特定のグラフィックスを忠実に再現		色の重ねあわせ処理を厳密に行う	
カラー補正		カラー印刷を選択した時のカラー補正の処理方法を指定する	
イメージ調整		明度、コントラスト、赤、緑、青の調整量を指定する	
フォント	TrueType フォントをプリンタ フォントで置き換える	TrueType フォントを含む文書を印刷する場合に、TrueType フォントをプリンタ フォントに置き換えて印刷する	
	常に TrueType フォントを使う	文書内のすべての TrueType フォントを、パソコン側でビットマップとして変換したのち、プリンタへ転送し描画する	

設定項目	設定内容	説明
デバイスオプション バナーシート	なし	バナーシートを印刷しない
	文書の前	ジョブの前にバナーシートを印刷する
	文書の後	ジョブの後ろにバナーシートを印刷する
	タイトル	バナーシートのタイトルを設定する
メモリ不足時には 画質を落とす	しない	プリンタのメモリ不足時にイメージの画質を落として印刷しない
	する	プリンタのメモリ不足時にイメージの画質を落として印刷する
トナーセーブ	しない	トナーの消費量を節約しない
	する	トナーの消費量を節約する
スマージング	しない	文字や図形の輪郭が滑らかになるように画像処理しない
	する	文字や図形の輪郭が滑らかになるように画像処理する
画像を圧縮して転送	しない	画質劣化することなく印刷する
	する	イメージ圧縮を調整するためのスライダが操作でき、[速度優先]にスライダのインジケータを近づけるほど、印刷速度は速くなるが、その分出力画質が低下し、[画質優先]にスライダのインジケータを近づけるほど、高画質で印刷するが、その分印刷速度が低下する
ページプロテクト	自動	オーバーランエラーの発生を防ぐ処理を実行するか否かを自動判別し印刷する
	オン	常にオーバーランエラーの発生を防ぐ処理を実行して印刷する
タイムアウト	しない	タイムアウトの処理を行わない
	15秒～300秒	設定した時間を経過しても印刷が終了しない場合、印刷を強制的に終了する
ハイカラー モード	しない	印刷データをフルカラー モード(1,670万色)で処理する
	する	特定アプリケーションでフルカラー モードで印字不良が発生する場合に、ハイカラー モード(65,535色)とすることで問題を回避する
ユーザー設定	ジョブの読み出し	[プリント目的]で選択しているジョブの設定内容をプリンタドライバに反映する

▷ [プリンタのプロパティ] ダイアログボックス

設定項目	設定内容	説明
全般	コメント	プリンタに関する情報を入力する
	場所	プリンタの設置場所を入力する
	ドライバ	使用しているプリンタドライバを表示する
	新しいドライバ	プリンタドライバを追加または更新する
	区切りページ	区切りページを指定する
	プリントプロセッサ	プリントプロセッサとスプールデータの種類を指定する
	テストページの印刷	テストページを印刷する
ポート	印刷するポート	プリンタが接続されているポートを表示する
	ポートの追加	ポートを追加する
	ポートの削除	ポートを削除する
	ポートの構成	ポートの設定を変更する
	プリンタプールを有効にする	プリンタプールを利用できるようにする
スケジュール	利用可能時間 常に	プリンタを常に利用できるようにする
	開始 / 終了	プリンタを特定の時間だけ利用できるようにする
	優先順位 1 ~ 99	ドキュメントの既定の優先度を指定する
	プログラムの全ページ分のデータ	ドキュメントの最終ページがスプールされ
	印刷処理をスプールしてから、	れるまで待ってから印刷を開始する
	高速に行う 印刷データをプリ	タに送る
	すぐに印刷データを	ドキュメントの先頭ページがスプールされたら、すぐに印刷を開始する
	プリントに送る	
	プリントに直接印刷データを送る	ドキュメントをスプールせずに直接プリンタにデータを送る
	一致しないドキュメントを保留する	設定がプリンタと一致しないドキュメントを保留する
	スプールされたドキュメントを最初に印刷する	スプールが完了したドキュメントから印刷を開始する
	印刷後ドキュメントを残す	印刷が終了したあともスプールを削除しない
共有	共有しない	プリンタを共有しない
	共有する 共有名	プリンタを共有するときの名前を指定する
	代替ドライバ	異なるOSで使用するドライバをインストールする
セキュリティ	アクセス権	プリンタのアクセス権を設定する
	監査	プリンタの使用状況を監査する
	所有権	プリンタの所有権を表示または取得する

設定項目	設定内容	説明
デバイスの設定	プリントメモリ 40MB,72MB	プリンタに搭載している総メモリ量を設定する
両面ユニット		本機種ではサポートされない
用紙トレイ	1段構成 4段構成	拡張給紙ユニットを装着していない場合 拡張給紙ユニットを装着している場合
特A3トレイ保有		本機種ではサポートされない。常に、なしを設定する
フォント置換テーブルの編集		どのTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えるかを指定する
バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する
ユーザー設定	ジョブの登録	プリンタドライバで設定した内容を、任意の名前をつけて登録する
	登録名変更	登録されているジョブの登録名を変更する
	ジョブの削除	[プリント目的]で選択しているジョブを削除する

▷ [プリントサーバーのプロパティ] ダイアログボックス

設定項目	設定内容	説明
用紙	用紙 用紙の説明 寸法	サーバで使用可能な用紙の種類を表示する 新しい用紙を作成する 新しく用紙を作成する場合にチェックする 用紙のサイズを指定する
ポート	このサーバー上のポート ポートの追加 ポートの削除 ポートの構成	このサーバ上にあるポートを表示する ポートを追加する ポートを削除する ポートの設定を変更する
詳細設定	スプールフォルダ スプーラのエラーイベントのログ スプーラの警告イベントのログ スプーラの情報イベントのログ リモートドキュメントエラーが 発生したら音を鳴らす リモートドキュメントの印刷が 終了したら通知する	スプールファイルを格納するフォルダを指定する 印刷関連のエラーをシステムログに書き込む 印刷関連の警告をシステムログに書き込む 印刷関連の情報をシステムログに書き込む エラーが発生したときに警告音を鳴らす 印刷の完了をクライアントに通知する 終了したら通知する

Windows 2000 の場合

ここでは、Windows 2000 が動作するパソコンをご使用の場合の、プリンタドライバのインストール方法と設定方法について説明します。

インストールの手順はPlug & Playと通常のインストールで異なります。それぞれの手順に従ってください。

▼ Plug & Play でのインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用フロッピーディスクを準備してください。

• ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 2000 のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

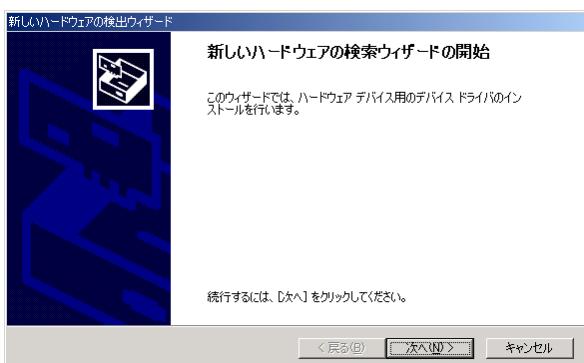
► お願い

- ・インストールの前に、メモ帳などによりフロッピーディスクの「Readme2k.txt」をお読みください。
- ・プリンタドライバを再インストールする場合は、前のプリンタドライバを削除してからインストールしてください。
- ・ログオンは、管理者グループのメンバーで行ってください。

1 プリンタとパソコンを接続し、プリンタの電源を入れた状態で、Windows 2000 を起動する

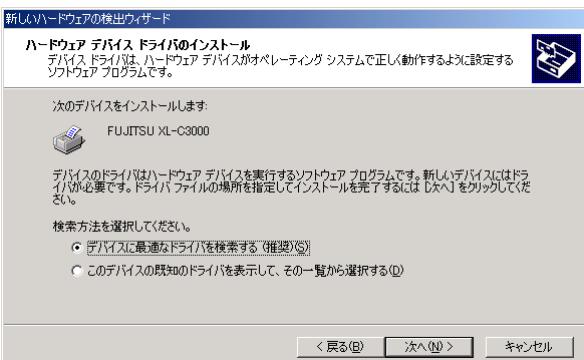
2 新しいハードウェアが検出される



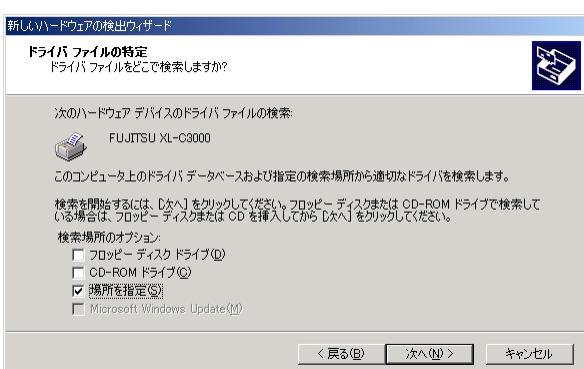


3 プリンタドライバをインストールする

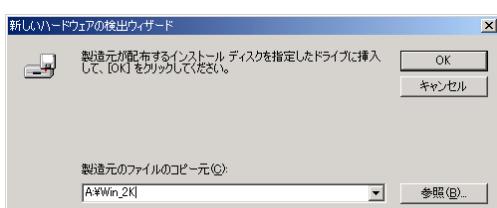
(1) 新しいハードウェアの検出ウィザード ダイアログが表示されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



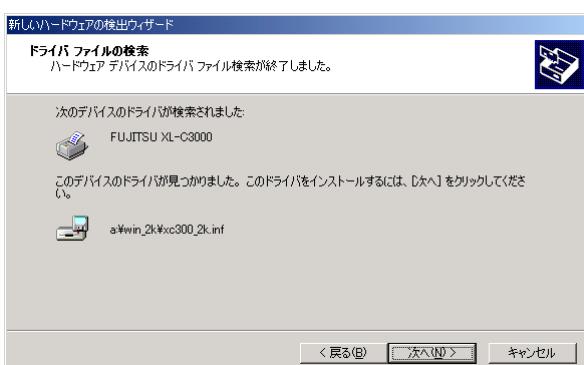
(2) [デバイスに最適なドライバを検索する(推奨)]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



(3) プリンタドライバディスクをセットし、[フロッピーディスクドライブ]および[CD-ROM ドライブ]のチェックを外し[場所を指定]のみをチェックし、[次へ]ボタンをクリックします。

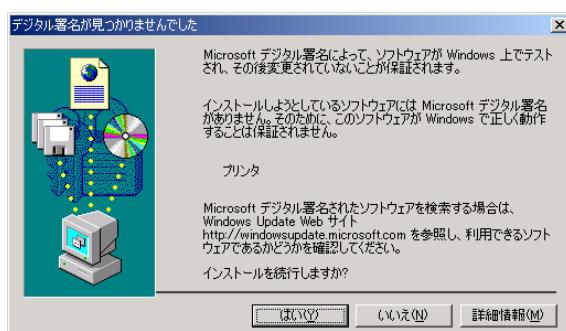


(4) 製造元のファイルのコピー元にフロッピーディスクドライブ名とWindows 2000用ドライバのフォルダ名を入力します。(フロッピーディスクドライブがA:の場合、「A:\Win_2K」と入力してください。)入力が終わったら、[OK]ボタンをクリックします。



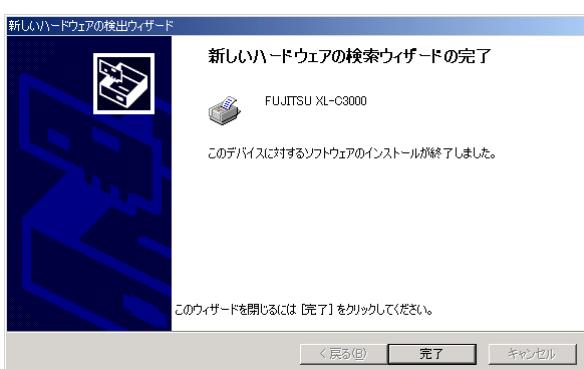
4 以降、プリンタウィザードの指示に従って設定する

(1) ドライバが検出されたら、[次へ]ボタンをクリックします。



(2) デジタル署名が見つかりませんでしたという警告が表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

(3) プリンタドライバのファイルコピーが開始されます。



(4) 新しいハードウェアの検索ウィザードの完了画面が表示されたら、[完了]ボタンをクリックし、インストールを終了します。

▼ 通常のインストール

プリンタドライバのインストールは、次の手順で行います。
添付のプリンタドライバ用フロッピーディスクを準備してください。

ガイド

ご使用のパソコンにインストールされているWindows 2000のバージョンによっては、インストール手順や表示内容が異なる場合があります。このときは、表示内容に従ってインストールしてください。

お願い

- ・インストールの前に、メモ帳などによりフロッピーディスク内の「Readme2k.txt」をお読みください。
- ・ログオンは、管理者グループのメンバーで行ってください。

1 Windows 2000 を起動する

2 プリンタの追加 ウィザード を起動する

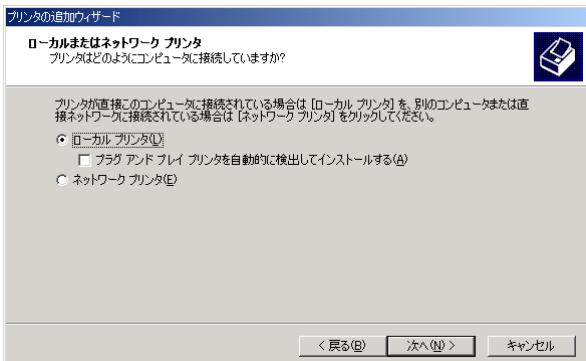
- (1) [マイコンピュータ]の[コントロールパネル]アイコンをダブルクリックします。
- (2) [コントロールパネル]の[プリンタ]アイコンをダブルクリックします。
- (3) [プリンタ]フォルダの[プリンタの追加]アイコンをダブルクリックします。



3 プリンタドライバをインストールする

- (1) プリンタの追加 ウィザードの開始で[次へ]ボタンをクリックします。





(2) [ローカルプリンタ]を選択し、[プラグ アンド プレイ プリンタを自動的に検出してインストールする]のチェックを外して、[次へ]ボタンをクリックします。

プリンタをネットワーク上で共有している場合は、[ネットワークプリンタ]を選択します。(以降の操作が簡単になります。)パソコンがネットワークに接続されていないときは、この画面は表示されません。

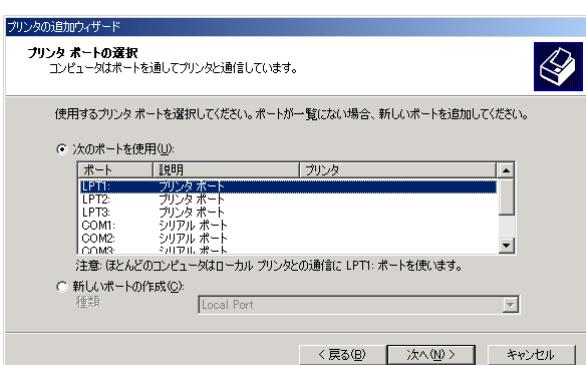


スタンドアロン(パソコンとプリンタを1対1で接続)のときや、パソコンをプリンタサーバとして使うときは、ローカルプリンタを選択します。

ネットワークプリンタを選択した場合、以降の操作は画面の指示に従ってください。ここでは、ローカルプリンタを選択した場合の操作方法を示します。



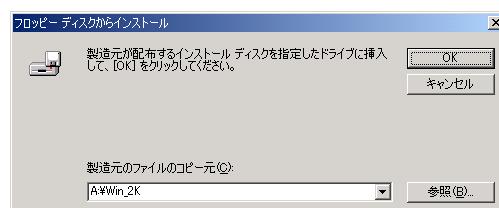
[ネットワークプリンタ]を選んでインストールするには、プリンタサーバ上に、対応するプリンタドライバがあらかじめインストールされている必要があります。



(3) 使用するプリンタポートとして「LPT1」を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



(4) [ディスク使用] ボタンをクリックします。

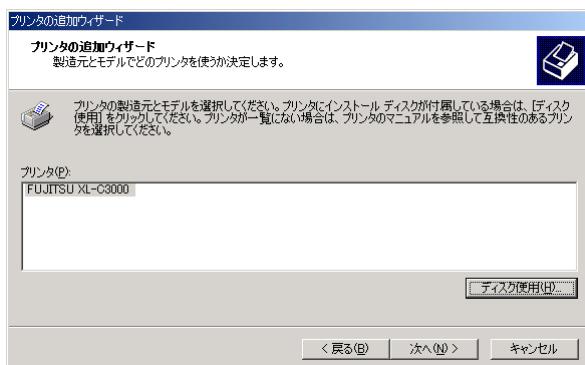


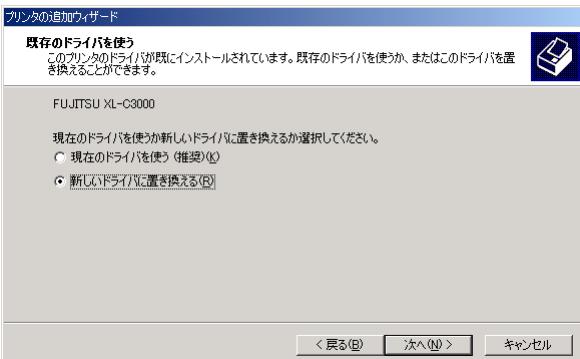
(5) 添付のプリンタドライバ

ディスクをパソコンのフロッピーディスクドライブにセットします。

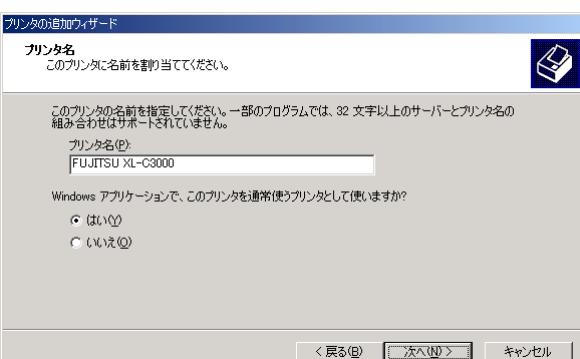
(6) 製造元のファイルのコピー元にフロッピーディスクドライブ名とWindows 2000用ドライバのフォルダ名を入力します。(フロッピーディスクドライブがA:の場合、「A:\Win_2K」と入力してください。)
入力が終わったら[OK]ボタンをクリックします。

(7) FUJITSU XL-C3000を確認して、[次へ]ボタンをクリックします。



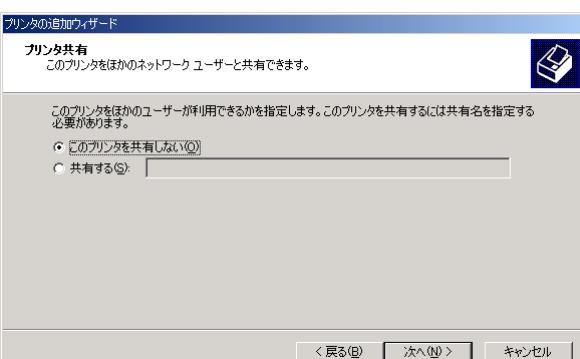


(8) [新しいドライバに置き換える]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

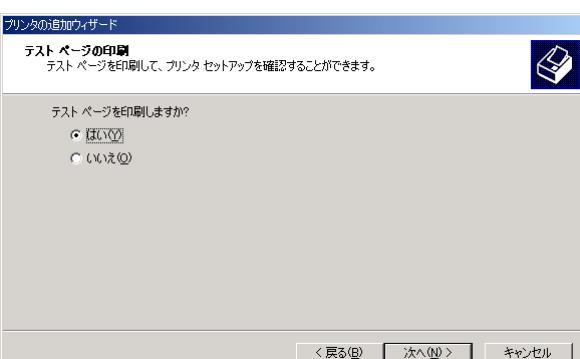


(9) プリンタ名にプリンタの名前を指定し、[通常使うプリンタ]にする場合は、[はい]を選択し、[次へ]ボタンをクリックします。

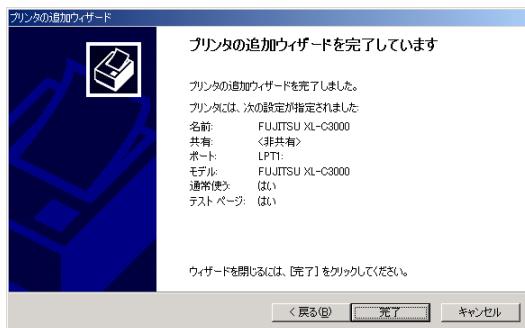
注) 他にインストールされているプリンタがない場合は、自動的に通常使うプリンタに設定されます。



(10) [プリンタの共有]を行うかどうかを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



(11) テストページを印刷するかしないかを選択し、[次へ]ボタンをクリックします。



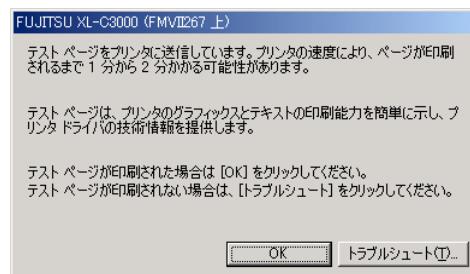
(12) プリンタの追加ウィザードを完了していますと表示されたら、[完了] ボタンをクリックします。



(13) デジタル署名が見つかりませんでしたという警告メッセージが表示されたら、[はい]ボタンをクリックします。

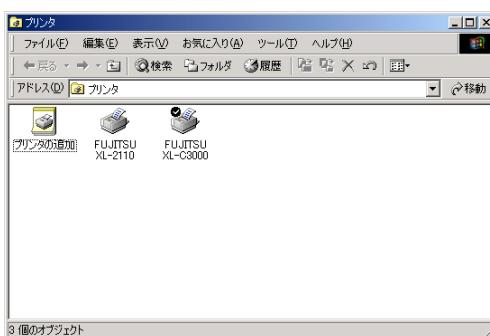


(14) プリンタドライバのインストールが開始されます。



(15) テストページが正しく印刷されたら [OK] ボタンをクリックし、インストールを完了します。

注) 10 項でテストページを印刷しないとした場合、本画面は表示されません。



(16) インストールが完了すると [プリンタ] フォルダにプリンタ名が表示され、プリンタの使用が可能となります。

▼ 新しいドライバに置き換えるとき

バージョンアップにより、プリンタドライバを置き換えるときは、古いプリンタドライバを削除してから新しいプリンタドライバをインストールします。

古いプリンタドライバは、次の操作で削除します。

- 1 [マイコンピュータ] の [コントロールパネル] アイコンをダブルクリックし、[コントロールパネル] フォルダを開く
- 2 [コントロールパネル] の [プリンタ] アイコンをダブルクリックし、[プリンタ] フォルダを開く
- 3 該当するプリンタを選択し、[ファイル] メニューから [削除] をクリックする



- 4 [はい] ボタンをクリックする



- 5 [プリンタ] フォルダの [ファイル] メニューから [サーバーのプロパティ] をクリックし、[ドライバ] タブで該当するプリンタを選択し、[削除] ボタンをクリックする

- 6 Windows 2000 を再起動する

古いプリンタドライバを削除したら、Windows 2000 を再起動します。

- 7 新しいプリンタドライバを、「通常のインストール」(122 ページ) の手順でインストールする

8 新しいプリンタドライバをインストール後、Windows 2000 を再起動する

 プリンタドライバを置き換えると、ユーザー定義ジョブを含め、全てのドライバ設定が初期値に戻ります。

▼ プリンタドライバの設定

プリンタドライバの設定は、〔印刷〕、〔印刷設定〕、〔プリンタのプロパティ〕のダイアログボックスで行います。

〔印刷〕、〔印刷設定〕の設定項目は、Windows NT4.0のドキュメントのプロパティダイアログボックス(113ページ)と同じですので、そちらを参照してください。

〔プリンタのプロパティ〕の設定項目は、以下の通りです。

▷ [プリンタのプロパティ] ダイアログボックス

	設定項目	設定内容	説明
全般	プリンタ名	プリンタ名を表示 / 変更する	
	場所	プリンタの設置場所を入力する	
	コメント	プリンタに関する情報を入力する	
	印刷設定	ドキュメントのプロパティの表示 / 変更を行う	
	テストページの印刷	テストページを印刷する	
共有	共有しない	プリンタを共有しない	
	共有する 共有名	プリンタを共有するときの名前を指定する	
	追加ドライバ	異なるOSで使用するドライバをインストールする	
ポート	印刷するポート	プリンタの接続されているポートを表示する	
	ポートの追加	ポートを追加する	
	ポートの削除	ポートを削除する	
	ポートの構成	ポートの設定を変更する	
	双方向サポートを有効にする	プリンタの設定や状態に関する情報が取得される	
	プリンタプールを有効にする	プリンタプールを利用できるようにする	

設定項目	設定内容	説明
詳細設定	利用可能時間 常に利用可能	プリンタを常に利用できるようにする
	開始 / 終了	プリンタを特定の時間だけ利用できるようにする
	優先順位 1 ~ 99	ドキュメントの既定の優先度を指定する
	ドライバ	使用しているプリンタドライバを表示する
	新しいドライバ	プリンタドライバを追加または更新する
	プログラムの印刷処理を高速に行う	全ページ分のデータをスプールしてから印刷データをプリンタに送る
	すぐに印刷データをプリンタに送る	ドキュメントを先頭ページがスプールされたら、すぐに印刷を開始する
	プリンタに直接印刷データを送る	ドキュメントをスプールせずに直接プリンタにデータを送る
	一致しないドキュメントを保留する	設定がプリンタと一致しないドキュメントを保留する
	スプールされたドキュメントを最初に印刷する	スプールが完了したドキュメントから印刷を開始する
	印刷後ドキュメントを残す	印刷が終了したあともスプールを削除しない
	詳細な印刷機能を有効にする	印刷の詳細機能を有効にするかどうかを指定する
	標準の設定	プリンタの既定のドキュメントプロパティを表示 / 変更する
	プリントプロセッサ	プリントプロセッサとスプールデータの種類を指定する
	区切りページ	区切りページを指定する
色の管理	カラープロファイル 自動 / 手動の関連付け	プリンタとカラープロファイルの関連付けの方法を指定する
	カラープロファイルの一覧表示	関連付けられるカラープロファイルの一覧を表示する
	追加	カラープロファイルを追加する
	削除	選択したカラープロファイルを削除する
	既定値に設定	選択したカラープロファイルを既定値に戻す

設定項目	設定内容	説明
セキュリティ 名前		アクセス許可を割り当てたユーザーとグループの一覧を表示する
追加		アクセス許可を割り当てるユーザーとグループを追加する
削除		アクセス許可を割り当てるユーザーまたはグループを削除する
アクセス許可		ユーザーまたはグループごとにアクセス許可または拒否を設定する
詳細		特殊なアクセス許可、監査情報、所有者情報を表示、あるいは設定する
デバイスの設定 プリンタメモリ 40MB,72MB		プリンタに搭載している総メモリ量を設定する
両面ユニット		本機種ではサポートされない
用紙トレイ 1段構成		拡張給紙ユニットを装着していない場合
4段構成		拡張給紙ユニットを装着している場合
特A3トレイ保有		本機種ではサポートされない。常に、なしを設定する
フォント置換テーブルの編集		どのTrueTypeフォントをプリンタフォントに置き換えるかを指定する
バージョン情報		プリンタドライバのバージョン情報を表示する
ユーザー設定 ジョブの登録		プリンタドライバで設定した内容を、任意の名前をつけて登録する
登録名変更		登録されているジョブの登録名を変更する
ジョブの削除		[プリント目的]で選択しているジョブを削除する

第6章

日常のメンテナンス



この章では、プリンタを使用するうえで日常的に必要となる操作について説明します。

電源の投入と切断	132
用紙のセット	134
用紙トレイに用紙をセットする	134
手差しトレイに用紙をセットする	137
手差しトレイにOHP フィルムをセットする ..	140
手差しトレイにはがきをセットする	141
サプライ品の紹介	142
トナーカートリッジの交換	144
トナーカートリッジの取り扱い上の注意	144
トナーカートリッジを交換する	145
ドラムカートリッジの交換	149
ドラムカートリッジの取り扱い上の注意	149
ドラムカートリッジを交換する	151
廃トナーボックスを交換する	156
オイルロールカートリッジの交換	158
オイルロールカートリッジの取り扱い上の注意	158
オイルロールカートリッジを交換する	159
プリンタの清掃	162
給紙ローラの清掃	163
プリンタを長時間使用しないとき	165
プリンタを移動するとき	166
近くに移動する	167
輸送する	168

電源の投入と切斷

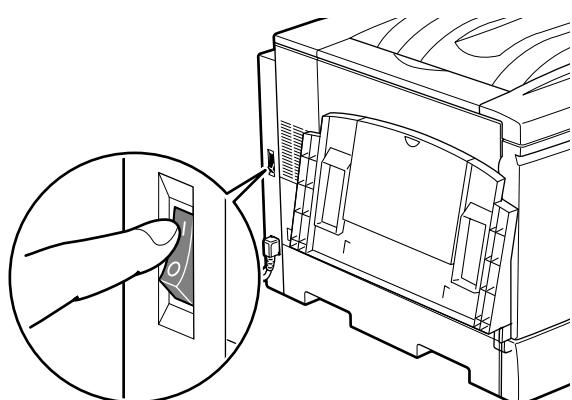
プリンタを始動するときは、電源スイッチを入れます。電源スイッチを入れてから、約300秒後に印刷ができる状態になります。

1日の終わりや長期間プリンタを使用しないときは、電源スイッチを切ってください。

ガイド

- ・電源を切ると、プリンタのメモリに蓄積されている印刷データなどの情報が消去されます。
- ・節電モードの時間が設定されている場合、電源が入っている状態で一定時間使用しないと、自動的に節電モードに切り替わります。

電源を入れる



電源を入れるときは、電源スイッチを「|」側に倒します。

オペレータパネルの液晶ディスプレイと3つのランプが点灯して消灯します。液晶ディスプレイに次のようなメッセージが表示され、〔オンライン〕ランプが点灯します。

オマチクタ[®] サイ

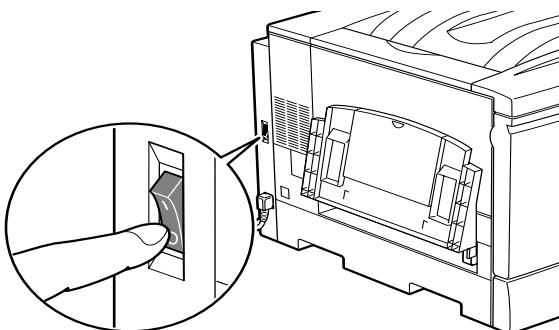
初期化動作およびウォームアップ動作に約300秒程度かかりますので、そのままお待ちください。操作パネルの〔オンライン〕ランプが点灯し、液晶ディスプレイに次のようなメッセージが表示されると印刷できる状態になります。

フ リント テ キマス



電源を入れても、液晶ディスプレイや〔オンライン〕ランプが点灯しないときは、「故障かなと思ったとき」(228ページ)をお読みください。

電源を切る



液晶ディスプレイに「プリント テ キマス」が表示されていることを確認します。電源スイッチを「」側に倒します。電源が切断され、オペレーターパネルのすべてのランプおよび液晶ディスプレイが消灯します。



以下の場合は電源を切らないでください。

- ・データ受信中
- ・印刷中
- ・エラー発生中

用紙のセット

用紙トレイおよび手差しトレイに用紙をセットする方法について説明します。

用紙トレイおよび手差しトレイにセットできる用紙については「第2章 用紙について」(13ページ)を参照してください。



お願い

用紙は電源を入れた後にセットしてください。

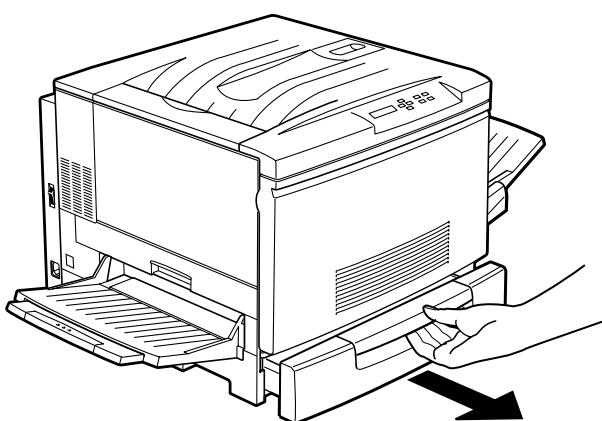
用紙トレイに用紙をセットする

次の手順に従って、用紙トレイに用紙をセットします。

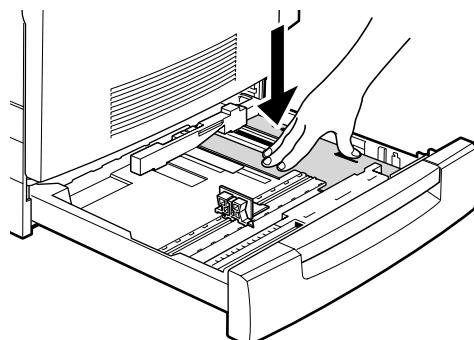


ガイド

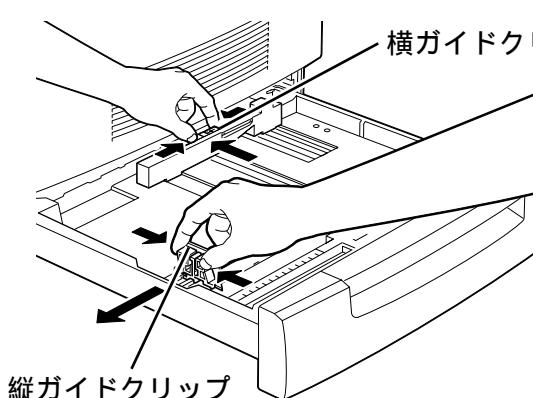
異なる複数のサイズの用紙を、同時に1つの用紙トレイにセットすることはできません。



- 1 用紙トレイを引き出す
用紙トレイの取っ手に手をかけ、手前に止まるまで引き出します。



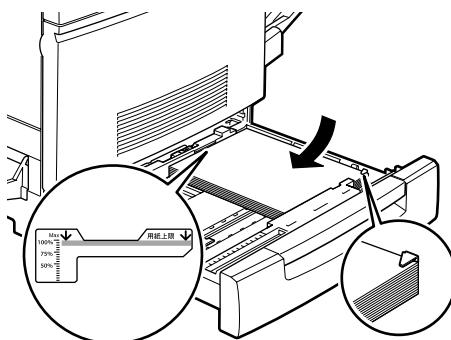
- 2 底板を下げてロックする
用紙トレイの金属の底板を手で下げて、上に浮き上がらないようにロックします。



3 縦、横のガイドクリップを外側にずらす

縦、横のガイドクリップを指でつまみ、ガイドを外側にずらします。

とくに縦ガイドは、左側いっぱいままでずらしてください。

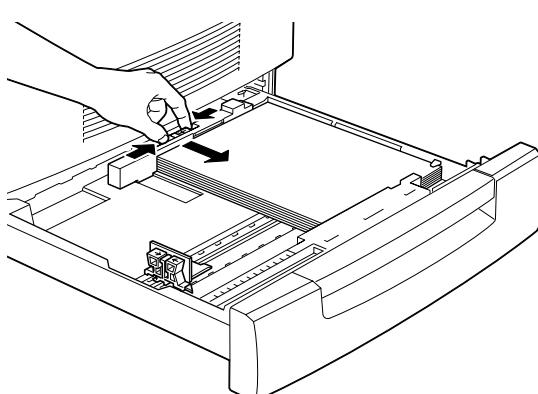


4 用紙をセットする

用紙の四隅をそろえ、印刷したい面を下にして、右手前側にあるツメの下に差し込むようにセットします。

▶お願い

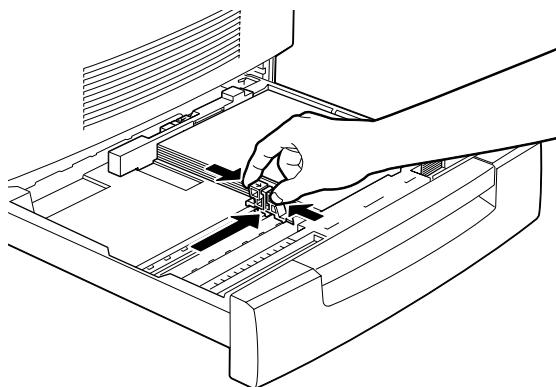
- ・折り目やシワの入った用紙、反り方の大きい(カールした)用紙は使用しないでください。
- ・最大収容枚数以上の用紙をセットしないでください。
- ・用紙はツメの上に乗らないようにしてください。



5 横ガイドを紙の幅に合わせる

▶お願い

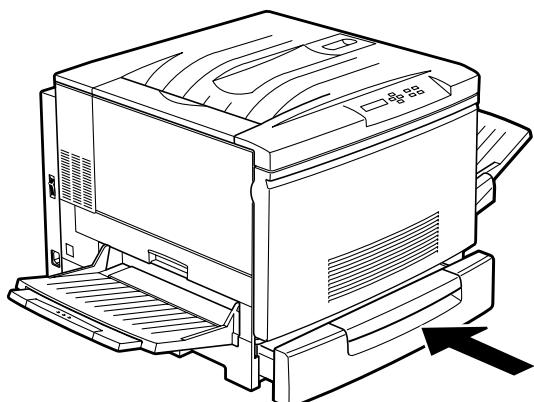
ガイドクリップを用紙に強く押し付けすぎると、紙づまりの原因となります。



6 用紙の端をそろえたあと、縦の用紙ガイドのマークを用紙サイズ目盛りに合わせる

▶ お願い

- ・ガイドクリップのストッパーが目盛りの穴にぴったりはまっていることを確認してください。
- ・ガイドクリップを微妙に動かすと、用紙サイズを自動検知できない場合があります。このときはいったん縦の用紙ガイドクリップを左端までずらし、再度目盛りに合わせてください。



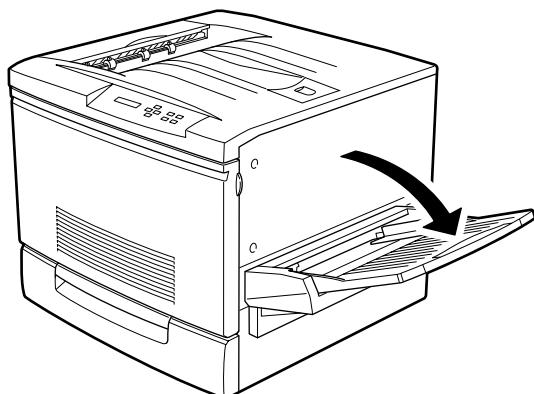
7 用紙トレイを、プリンタの奥までしっかりと押し込む

▼ 手差しトレイに用紙をセットする

次の手順に従って、手差しトレイに用紙をセットします。

► お願い

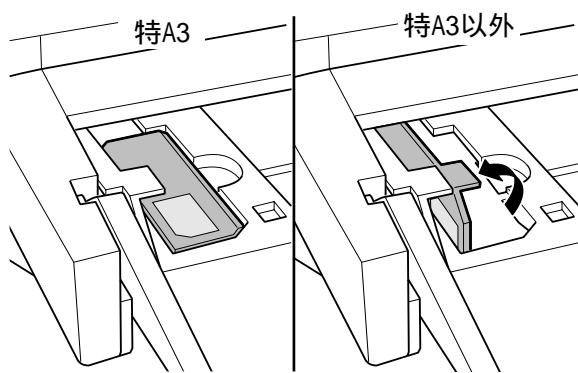
異なる複数サイズの用紙を同時にセットしないでください。また、手差しトレイに用紙が残っている状態で新しい用紙を追加しないでください。紙づまりなどの原因となることがあります。



- 1 手差しトレイを開ける
手差しトレイが折りたたまれている場合は、手差しトレイを開きます。

► お願い

破損の原因となるので、手差しトレイには必要以上の力をかけたり、用紙以外の重いものを載せないでください。

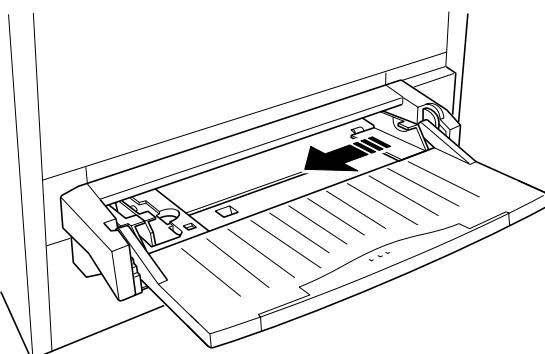


- 2 特A3用ガイドを確認する

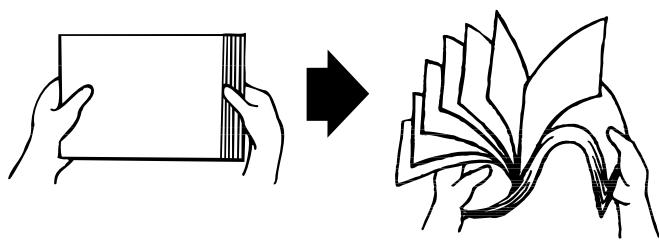
A3サイズ以下、または用紙幅が304.8mm(12inch)以下の用紙をセットする場合は、特A3用ガイドを起こします。特A3サイズ、または用紙幅が304.8mm(12inch)より大きい用紙をセットする場合は倒します。

● ガイド

A3サイズ以下、または用紙幅が304.8mm(12inch)以下の用紙に印刷するときに、特A3用ガイドを倒して用紙をセットすると、印字位置がずれて正しい印刷ができません。



3 用紙ガイドを使用する用紙サイズの目盛りに合わせる



4 特殊紙を使うときは、紙をさばく

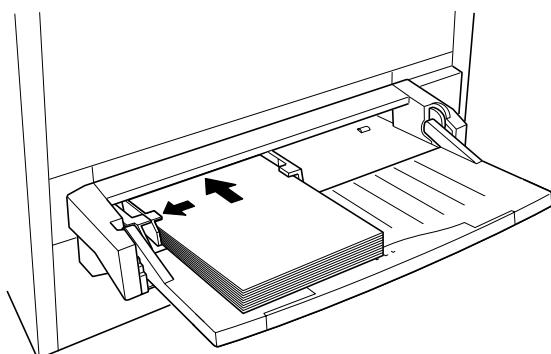
OHP用紙、ラベル紙などの特殊紙を使うときは、用紙の間に空気を入れるように、よく紙をさばいてください。

● ガイド ●

用紙の間に空気を入れることにより、複数枚の紙送り(重送)や紙づまりを防ぐことができます。

► お願い

普通紙はさばかずにそのままセットしてください。



5 用紙を入れる

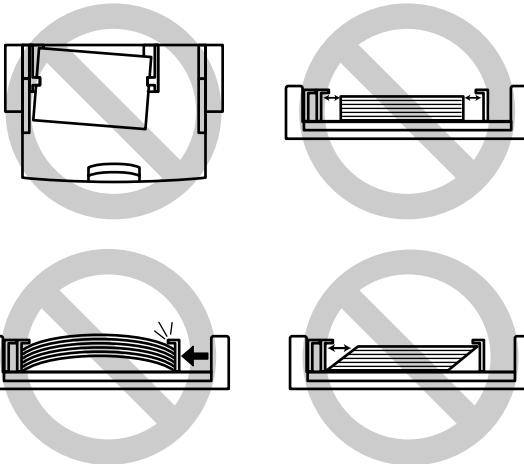
用紙の四隅をそろえ、印刷する面を上にして、奥の壁に軽く当たるまで確実に入れます。

▶お願い

- ・折り目やシワの入った用紙は使用しないでください。
- ・最大収容枚数以上の用紙をセットしないでください。
- ・A3 サイズなど大きな用紙をセットするときは、延長トレイを引き出して使用してください。延長トレイを使用しないと、用紙が落下したり、紙送りができなくなる場合があります。

用紙をセットするときは、用紙ガイドと用紙の間に隙間があいたり、ガイドを強く押しすぎて用紙がゆがんだりしないように注意してください。

また、用紙が斜めにならないようにセットしてください。



▶お願い

- 用紙は正しくセットしてください。正しくセットされていないと、印字位置がずれて正しい印刷ができません。

▼ 手差しトレイにOHP フィルムをセットする

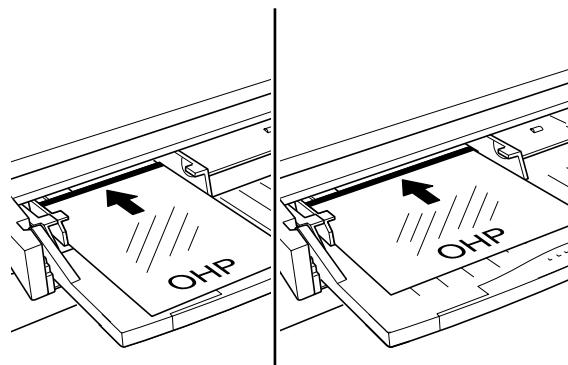
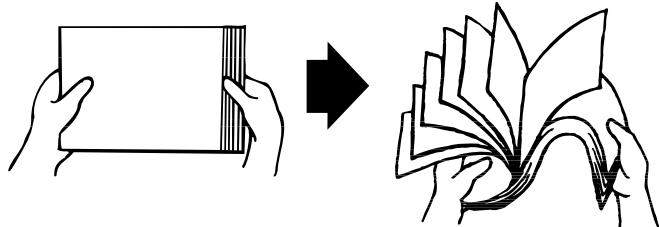
OHP フィルムは、手差しトレイから給紙して印刷できます。

フルカラー用の専用OHP フィルムにはおもて面とうら面があり、セットする方向がわかるように白い枠が印刷されています。印刷面やセットする方向を逆にすると紙づまりの原因になりますので注意が必要です。

► お願い

排出されたOHP フィルムが排出トレイに多数重なると、静電気が発生し、紙づまりになることがあります。排出されたOHP フィルムはその都度、取り除くようにしてください。

1 少量ずつよくさばく



2 OHP フィルムを入れる

OHP フィルムを、奥の壁に軽くあたるまで確実に入れます。フルカラー用のOHP フィルムの場合は、白枠をプリンタ側に、おもて面が上になるようにセットしてください。

► お願い

フルカラー用OHP フィルムは、印刷面やセットする方向を逆にセットしないでください。紙づまりなどの原因となります。

▼ 手差しトレイにはがきをセットする

官製はがきは、手差しトレイから給紙して印刷できます。

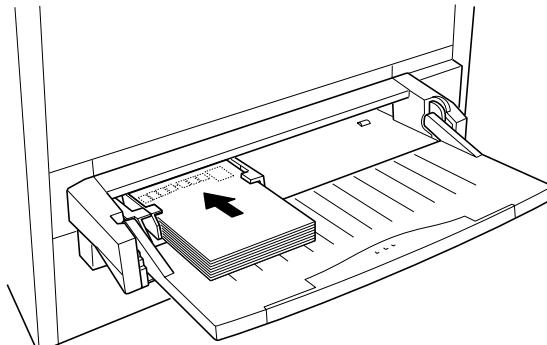
► お願い

すでにおもて面に印刷されているはがきのうら面に印刷するとき、少しでも、はがきが反っていると用紙詰まりの原因になることがあります。手で平らな状態に戻してから、セットしてください。

なお、かもメールなど多色刷りのはがきへの印刷はお勧めできません。

● ガイド

- ・官製はがきで宛名印刷をする場合、宛名面を上にします。
- ・はがきによっては、裏面に「バリ」が大きいものがあります。はがきを水平などろに置いて、定規などで「バリ」を取り除いてください。また、紙粉をよく払ってから給紙してください。



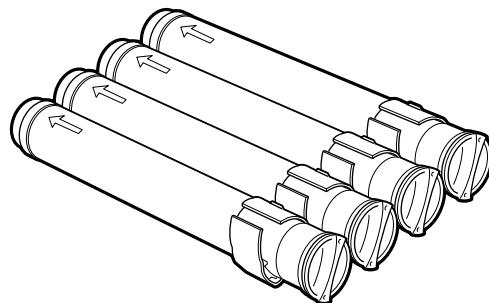
サプライ品の紹介

本プリンタには、次のようなサプライ品が用意されています。これらの品物については本プリンタをお買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご相談ください。

サプライ品の商品番号は「サプライ品」(10ページ)を参照してください。

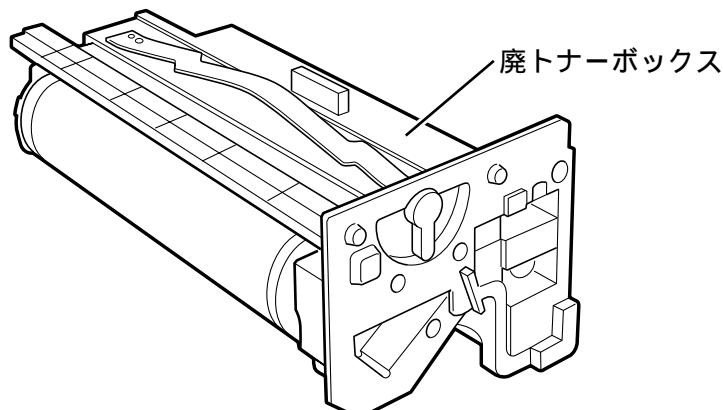
トナーカートリッジ

トナーカートリッジには、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの4種類があります。トナーが残り少なくなると、印刷がかすれたり薄くなったりします。交換時期がきたら、新しいトナーカートリッジと交換してください。(「トナーカートリッジの交換」144ページ参照)



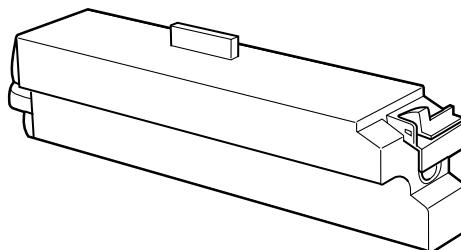
ドラムカートリッジ

ドラムカートリッジは、感光体、ドラムクリーナー、廃トナーボックスで構成されています。このうち、廃トナーボックスは単体でも取り替えることができます。ドラムカートリッジが劣化すると、黒い汚れが生じるなど、印字品質が低下します。交換時期がきたら、新しいドラムカートリッジと交換してください。(「ドラムカートリッジの交換」149ページ参照)



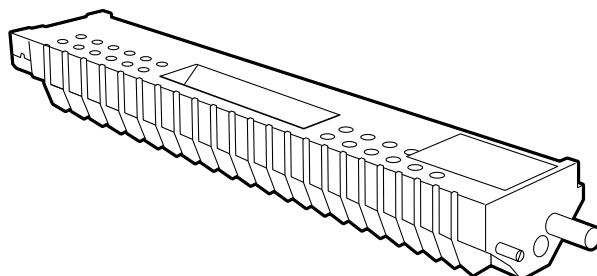
■ 廃トナー ボックス

廃トナー ボックスは、ドラムカートリッジに付属しているので、ドラムカートリッジ交換時には必ず新品と交換されますが、単体でも交換することができます。廃トナー ボックスがトナーでいっぱいになったら、新しいものと交換してください。（「廃トナー ボックスを交換する」156ページ参照）



■ オイルロールカートリッジ

オイルロールカートリッジは、定着部の汚れを拭き取り、適切な量の定着オイルを塗布します。オイルロール部が古くなると、印字品質が低下します。交換時期がきたら、新しいオイルロールカートリッジと交換してください。（「オイルロールカートリッジの交換」158ページ参照）



トナーカートリッジの交換

ここでは、トナーカートリッジの取り扱い方、交換手順について説明します。

トナーカートリッジの取り扱い上の注意

トナーカートリッジには、ブラック、イエロー、シアン、マゼンタの4種類があります。

それぞれのトナーカートリッジ1本で、A4サイズの画像(印字比率5%、濃度が初期設定値)を約4,500枚に印刷できます。



破 裂 トナーカートリッジを火中に投入しないでください。
火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

取り扱い上の注意

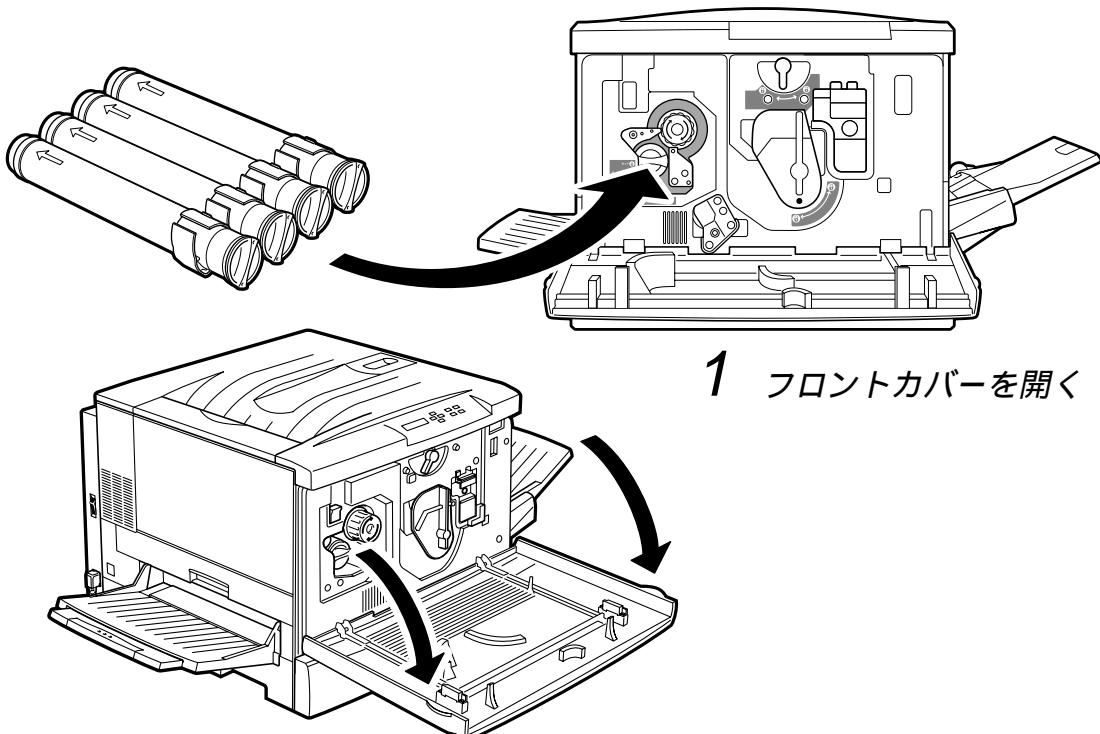
- 一度プリンタから取り外したトナーカートリッジは再使用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因となります。
- 取り外したトナーカートリッジを振ったり、たたいたりしないでください。残ったトナーがこぼれことがあります。
- 寒いところから暖かいところに移動した場合は、1時間以上室温に慣らしてから使用してください(結露がなければ使用可能です)。
- トナーは人体に無害ですが、手や衣服についたときには、すぐに洗い流してください。
- 指定のトナーカートリッジ以外は使用しないでください。それ以外のトナーカートリッジや詰め替えトナーを使用したことが原因で、故障や印字品質の低下を引き起こした場合は、保証いたしかねますのでご了承ください。
- 使用済みのトナーカートリッジは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。

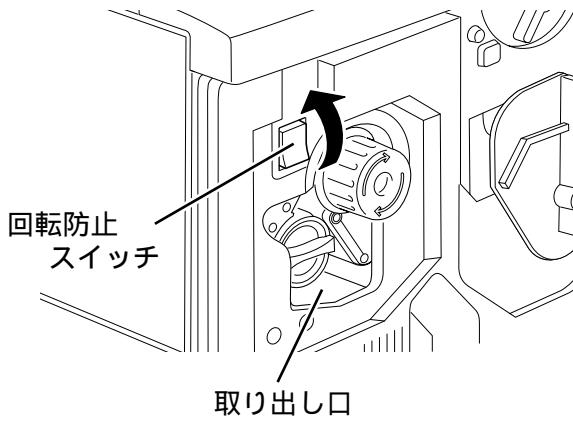
■ 保管上の注意

- ・直射日光を避け、以下の環境で保管してください。
温度範囲 0 ~ 35 ℃、湿度範囲 15 ~ 80%RH(ただし、結露のこと)
- ・高温多湿になる場所には置かないでください。
- ・CRT画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- ・幼児の手の届かないところに保管してください。

▼ トナーカートリッジを交換する

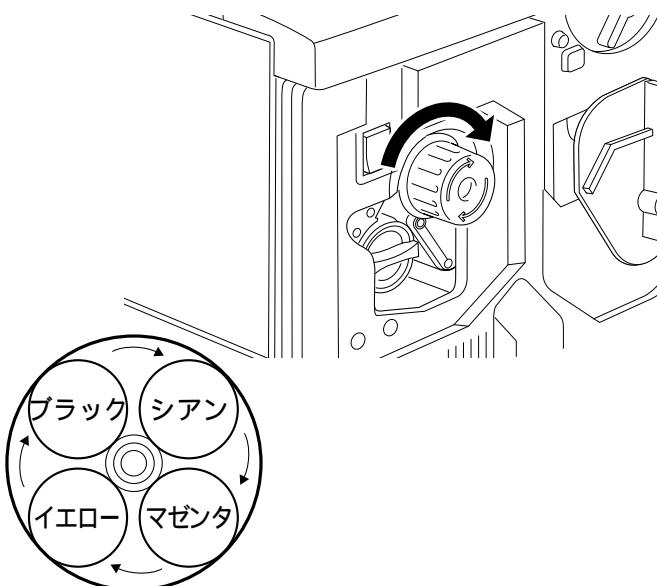
次の手順に従って、トナーカートリッジを交換します。





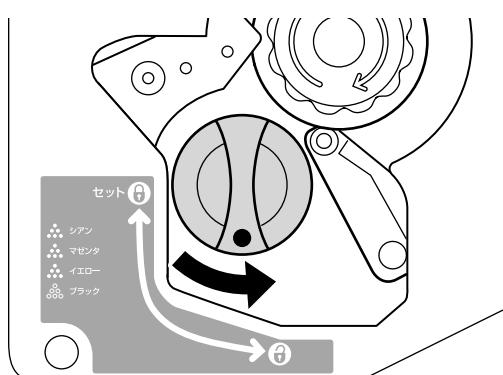
2 交換したい色のトナーカートリッジが取り出し口にきているか確認する
交換したい色のトナーカートリッジが取り出し口にきていない場合は、回転防止スイッチを上に押し上げて、ロックを解除します。スイッチを上げたら、スイッチから指を離してください。

● **ガイド** スイッチを上に押し上げていないと、ノブを回すことはできません。ノブが回らないときは無理に回さず、スイッチを押し上げて回してください。

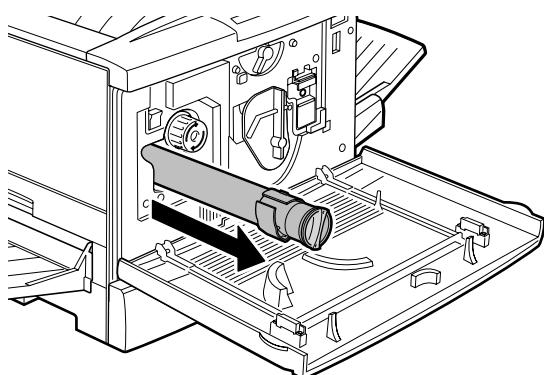


3 トナーカートリッジを移動する
ノブを図の矢印の方向に回して、トナーカートリッジを移動させます。トナーカートリッジの装着口は図のように右に回転します。ノブは、止まるまで回してください。

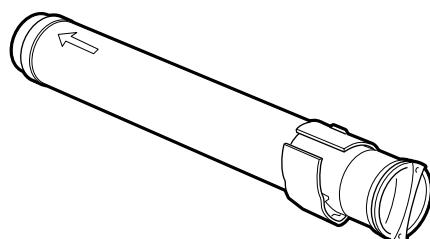
取り出したい色のトナーカートリッジが取り出し口にくるまで、手順2～3の操作を繰り返します。



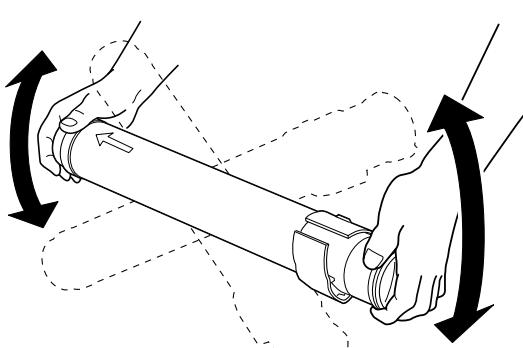
4 トナーカートリッジを解除位置に合わせる
取り出したい色のトナーカートリッジが取り出し口にきたら、トナーカートリッジを図の矢印の方向に回し、カートリッジ側の「」印をプリンタ側の「解除」()に合わせます。



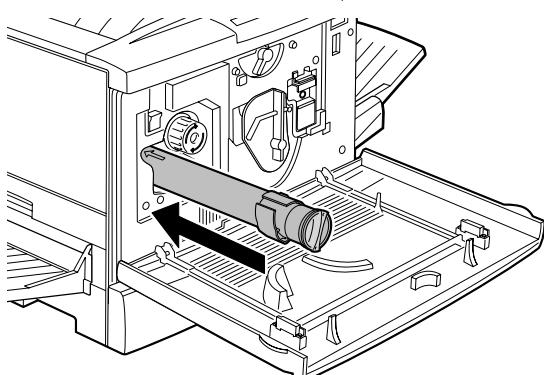
5 トナー カートリッジを手
前に引いて、取り出す



6 同色の新しいトナー カー
トリッジを梱包から取り
出す

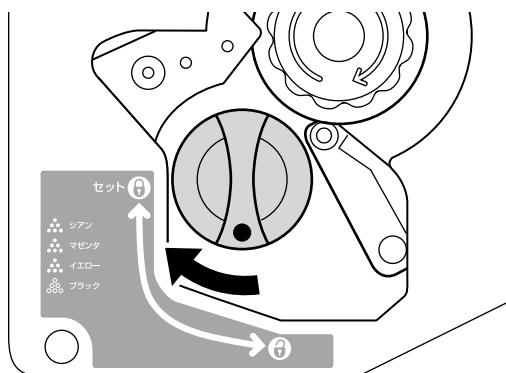


7 図のように7~8回振り、
中のトナーを均一にする



8 トナー カートリッジを差
し込む

トナー カートリッジの先端の矢
印を上にして、奥に突き当たる
まで差し込みます。



9 トナーカートリッジをセットする

トナーカートリッジを図の矢印の方向に止まるまで回し、トナーカートリッジ側の「」印をプリンタ側の「セット」()に合わせます。

お願い

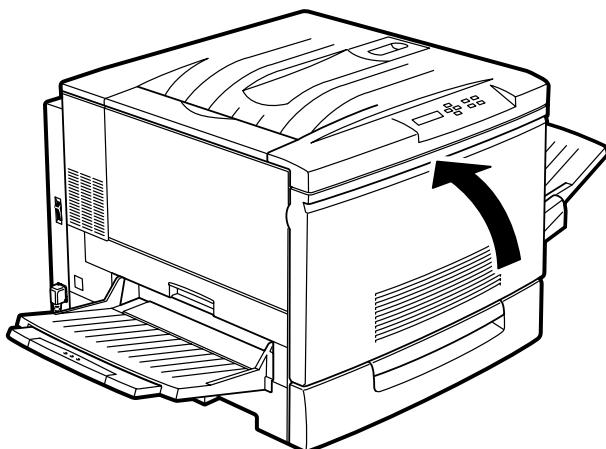
トナーカートリッジを最後までしっかりと回してください。
最後まで回さないとトナーがこぼれる場合があります。

10 他の色のトナーカートリッジも交換する場合は、2~9の手順を繰り返して交換する

ガイド

トナーカートリッジが正しくセットされていないとノブは回りません。ノブが動かない場合は、トナーカートリッジが正しくセットされているかどうか確認してください。

11 フロントカバーを閉める



ドラムカートリッジの交換

ここでは、ドラムカートリッジの取り扱い方、交換手順について説明します。



ドラムカートリッジの取り扱い上の注意

ドラムカートリッジは、ドラム(感光体)、ドラムクリーナー、廃トナーボックスで構成されています。このうち廃トナーボックスは、単体でも取り替えることができます。

ドラムカートリッジ1本で、A4サイズの画像(印字比率各色5%、濃度が初期設定値)を、白黒/カラー比率1:1で約20,000枚に印刷できます。



破 裂 ドラムカートリッジを火中に投入しないでください。

火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

廃トナーボックスの交換方法については、後述の「廃トナーボックスを交換する」(156ページ)を参照してください。



取り扱い上の注意

- ・ドラム表面(青色の部分)は手で触らないでください。ドラム表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷写りが悪くなります。
- ・ドラムカートリッジを直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当たらないでください。また、通常の室内の明かりの下でも5分以上は放置しないでください。印字が汚れたり、写らない箇所が発生します。
- ・ドラム面に傷がつかないように、ドラムカートリッジの交換作業は平らな机の上で行ってください。
- ・廃トナーボックスにて回収したトナーは、再利用しないでください。
- ・使用済みのドラムカートリッジや廃トナーボックスは、包装箱やビニール袋に入れ、不燃物として廃棄してください。
- ・トナーがいっぱいになって取り出した廃トナーボックスは、再度ドラムカートリッジ内に戻して使用しないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となります。

- ・使用中のドラムカートリッジや廃トナー ボックスを取り出して、傾けたり振ったりしないでください。内部のトナーがこぼれるなど故障の原因となります。
- ・指定したドラムカートリッジ以外は使用しないでください。
- ・印刷品質を維持するために、ドラムカートリッジは水平にした状態で取り扱ってください。

■ 保管上の注意

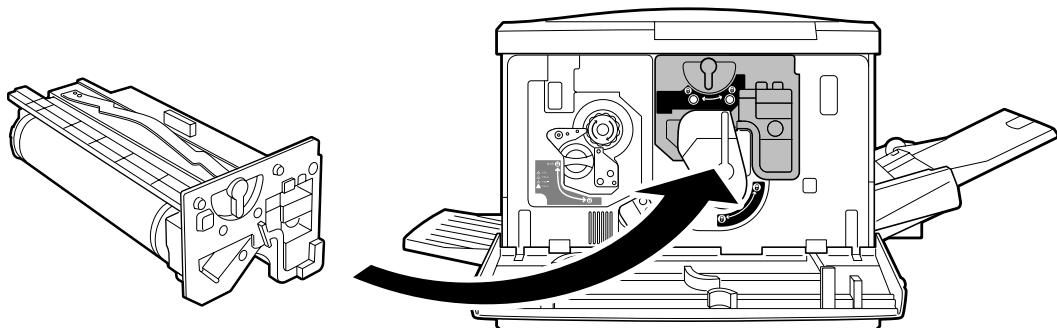
- ・使用するまでは開封しないでください。万一、開封してしまった場合は、梱包されていたアルミ袋に入れ、保管してください。
- ・直射日光を避け、以下の環境で保管してください。
温度範囲 0 ~ 35 ℃、湿度範囲 15 ~ 80%RH(ただし、結露のないこと)
- ・高温多湿になる場所には置かないでください。
- ・CRT画面、ディスクドライブ、フロッピーディスクなど、磁気を帯びたものの近くに置かないでください。
- ・幼児の手の届かないところに保管してください。
- ・水平にした状態で保管してください。

▼ ドラムカートリッジを交換する

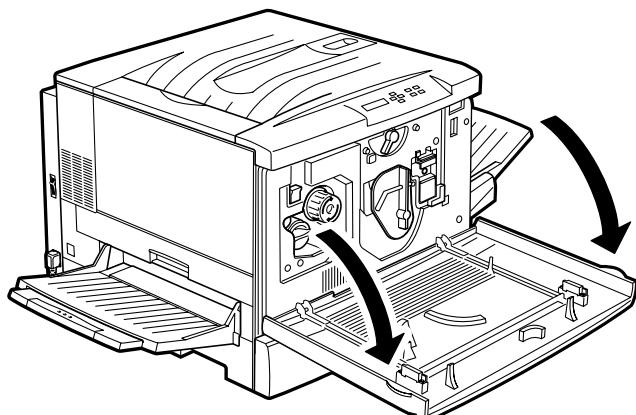
次の手順に従って、ドラムカートリッジを交換します。

▶ お願い

ドラムカートリッジを交換するときは、必ずプリンタの電源を切ってください。

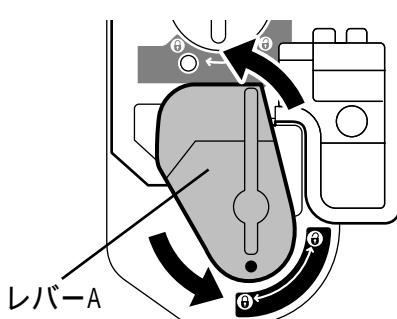


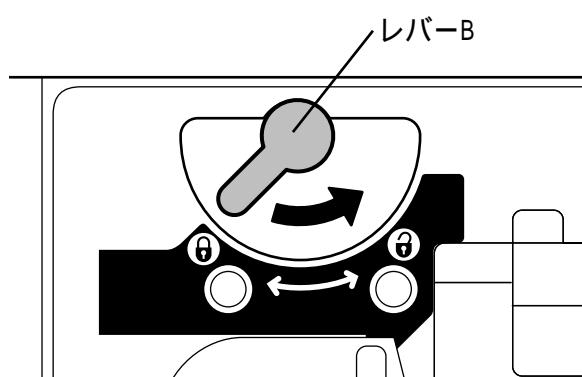
1 フロントカバーを開く



2 レバーAを解除位置に合わせる

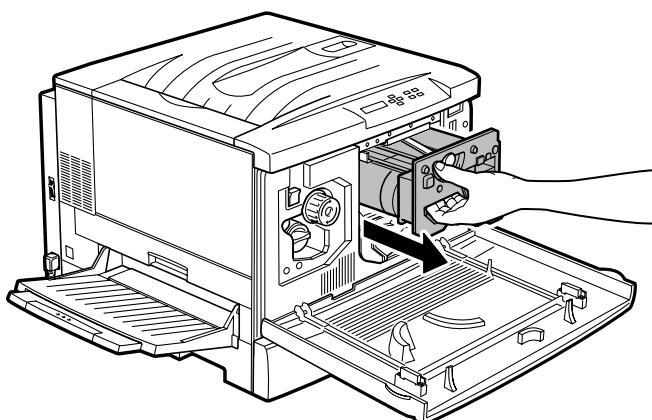
黄色のレバーAを図の矢印の方向に回し、「」印を解除位置（）に合わせます。





3 レバーBを解除位置に合わせる

黄色のレバーBを図の矢印の方向に回し、解除位置（②）に合わせます。

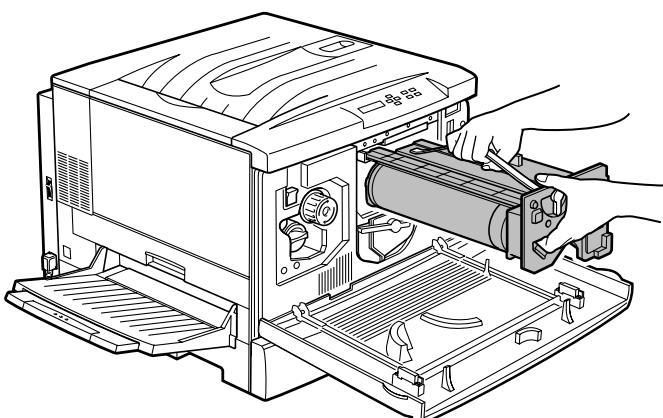


4 ドラムカートリッジを引き出す

黄色の引き出し用の溝に手を入れ、ドラムカートリッジを手前にゆっくりと30cm程度引き出します。

⚠ 注意

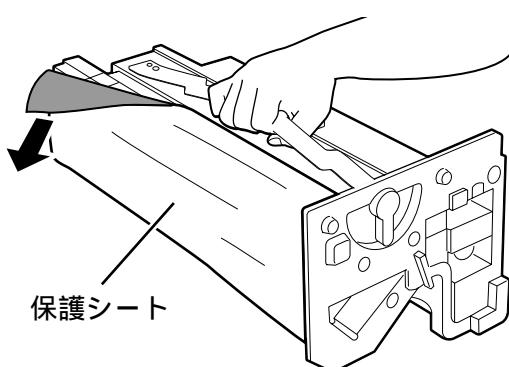
けが ドラムを引き出す際に、指がはさまれないように注意してください。けがの原因となることがあります。



5 上部の取っ手を持ち、ドラムカートリッジをプリンタからゆっくり引き出して取り出す

△注意

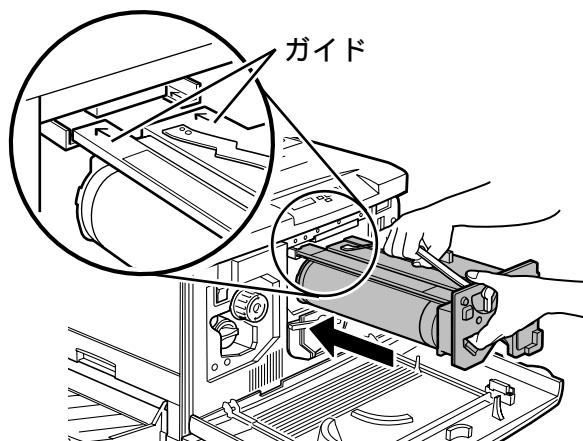
けが ドラムが落下しないように必ず上部の取っ手を持ってください。落下によりけがの原因となることがあります。



6 新しいドラムカートリッジの保護シートをはがす
新しいドラムカートリッジを梱包から取り出し、カートリッジを覆っている保護シートをはがします。このとき、必ず持ったままの状態で行ってください。

▶お願い

- ・ドラム表面(青色)は手で触らないでください。ドラム表面に物をぶつけたり、こすったりしないでください。
ドラムの表面に傷や手の脂、汚れなどがつくと、印刷品質が悪くなります。
- ・保護シートは、ドラムカートリッジを水平にした状態ではがしてください。
- ・ドラムカートリッジを直射日光や強い光(約1500ルクス以上)に当てないでください。通常の室内の明かりの下でも5分以上は放置しないでください。

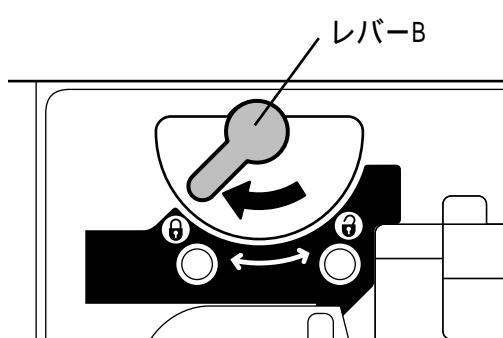


7 ドラムカートリッジを押し込む

ドラムカートリッジの取っ手を持ち、ガイドをプリンタ本体のレールに乗せて、奥まで押し込みます。

お願い

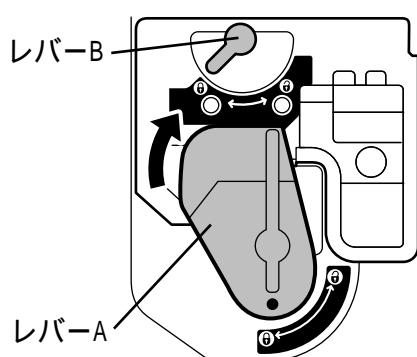
- ・ドラムカートリッジのガイドをきちんとレールに乗せてください。きちんとレールに乗っていない状態で挿入すると、カートリッジの破損の原因になります。
- ・ドラム表面(青色)が他の部品に接触しないように注意してください。



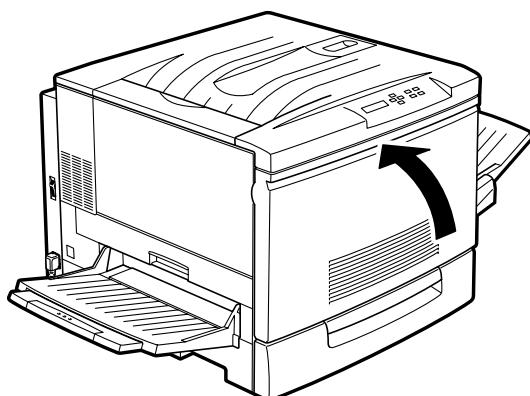
8 レバーBを図の矢印の方向に回し、セット位置（）に合わせる

ガイド

ドラムカートリッジが奥まで押し込まれていないと、レバーは回りません。



9 レバーAを図の矢印の方向に回し、「3」印をセット位置()に合わせる



10 フロントカバーを閉める

▼ 廃トナーボックスを交換する

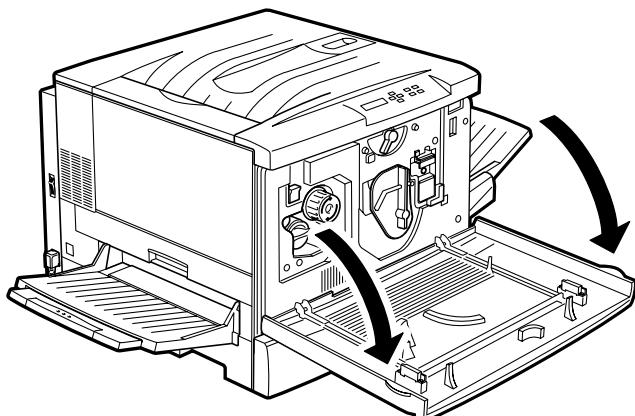
廃トナーボックスは、ドラムカートリッジに付属しているため、ドラムカートリッジ交換時には必ず新品と交換されますが、単体でも交換することができます。廃トナーボックスがトナーでいっぱいになったら、新しいものと交換してください。



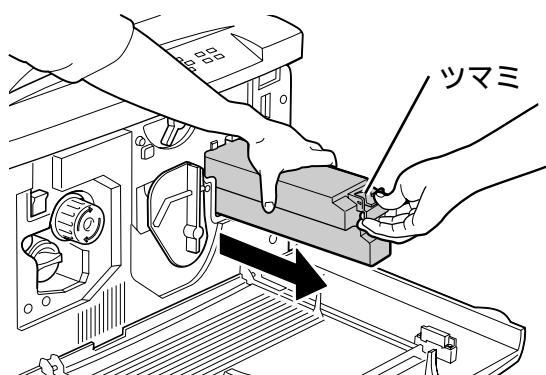
破 裂 廃トナーボックスを火中に投入しないでください。
火中に投入すると、トナー粉がはねて、やけどの原因となります。

次の手順に従って、廃トナーボックスを交換します。

1 フロントカバーを開く



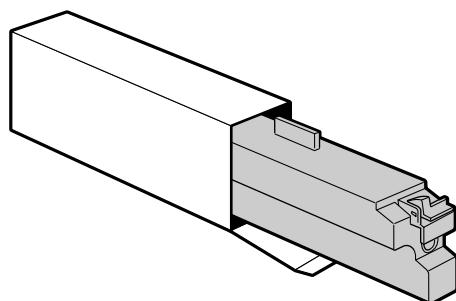
2 廃トナーボックスを取り出す



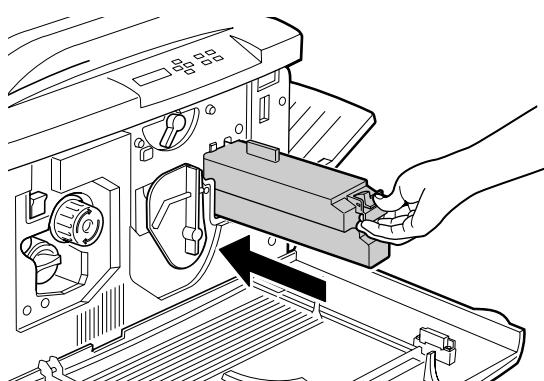
廃トナーボックスの取っ手を持ち、ツマミの部分を下に押し下げながら手前に引き、プリンタ本体から取り出します。



取っ手のつまみを確実に押し下げてから抜いてください。



3 新しい廃トナー ボックスを梱包から出す

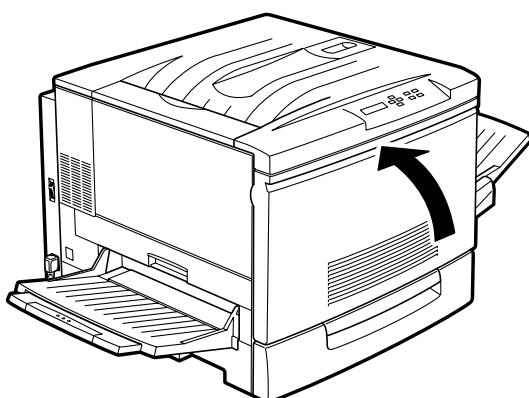


4 廃トナー ボックスを押し込む

廃トナー ボックスを、「カチッ」と音がするまでプリンタの奥にしっかり押し込みます。



お願い 取っ手のつまみを押さえずに押し込んでください。



5 フロントカバーを閉める



ガイド 廃トナー ボックスを新しいものに交換し、フロントカバーを閉めると、自動的に印刷可能状態になります。

オイルロールカートリッジの交換

ここでは、オイルロールカートリッジの取り扱い方、交換手順について説明します。

▼ オイルロールカートリッジの取り扱い上の注意

オイルロールカートリッジは、定着部の汚れをふき取り、適切な量の定着オイルを塗布します。

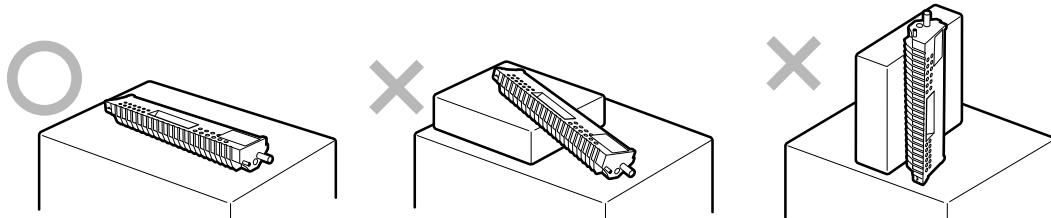
オイルロールカートリッジ1本で、A4サイズの画像（印字比率5%、濃度が初期設定値）を、約20,000枚印刷できます（ただし、印刷枚数が150枚/日の場合）。



火 災 オイルロールカートリッジを火中に投じたり、火に近づけたりしないでください。引火により火災の原因となることがあります。

■ 取り扱い上の注意

- ・オイルロールカートリッジの白いロール部分にはオイルが塗布しています。直接触れるとオイルが付着します。オイルは人体には無害ですが、手や衣服に付いたまま放置すると落ちにくくなるため、すぐに洗い流してください。
- ・オイルロールカートリッジの白い部分に触れたり、傷を付けないようにしてください。オイルもれの原因となり、印刷品質の低下の原因にもなります。
- ・立てかけたり斜めにするとオイルがもれたり、印刷品質に影響がでることがあります。オイルロールカートリッジは必ず平らな場所に置いてください。



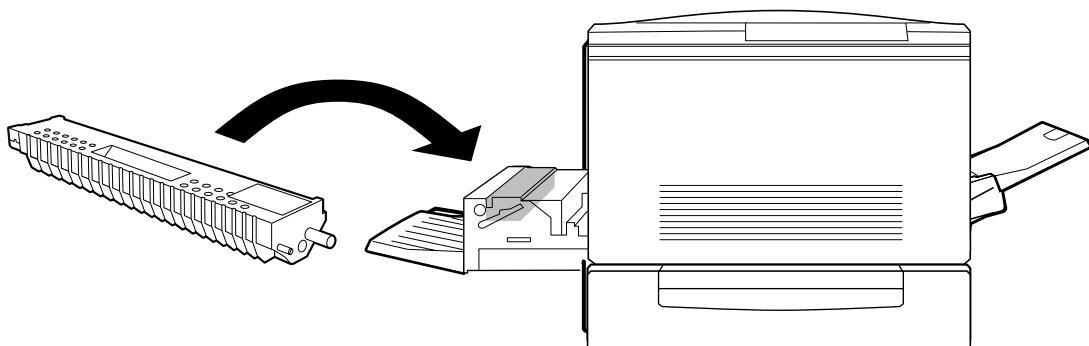
- ・指定のオイルロールカートリッジ以外は使用しないでください。
- ・使用済みのオイルロールカートリッジは、包装類やビニール袋に入れ、不燃物として破棄してください。

■ 保管上の注意

- ・直射日光を避け、以下の環境で保管してください。
- ・温度範囲 0 ~ 35 ℃、湿度範囲 15 ~ 80%RH(ただし、結露のこと)
- ・高温多湿になる場所には置かないでください。
- ・立てかけずに、平らな場所で保管してください。
- ・幼児の手の届かないところに保管してください。

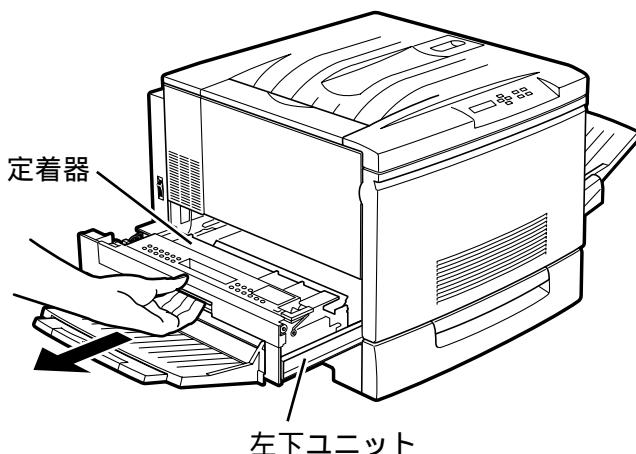
▼ オイルロールカートリッジを交換する

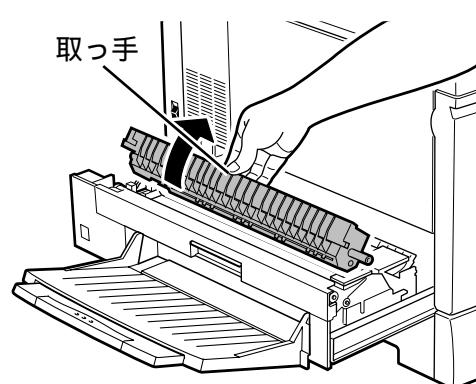
次の手順に従って、オイルロールカートリッジを交換します。



1 フェイスアップトレイを開く

2 左下ユニットを止まるまで引き出す

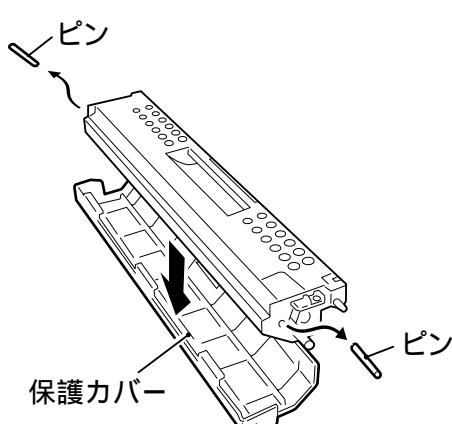
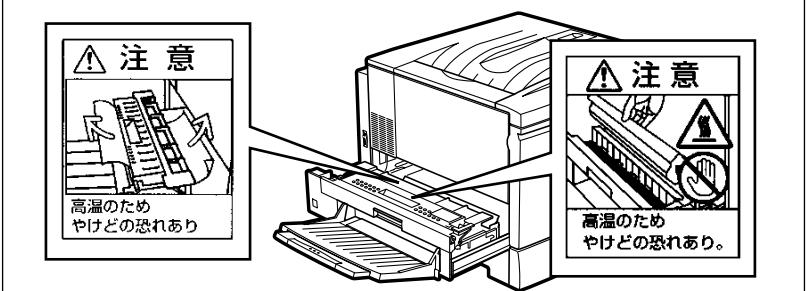




3 オイルロールカートリッジの取っ手を持ち、プリンタ本体から取り出す



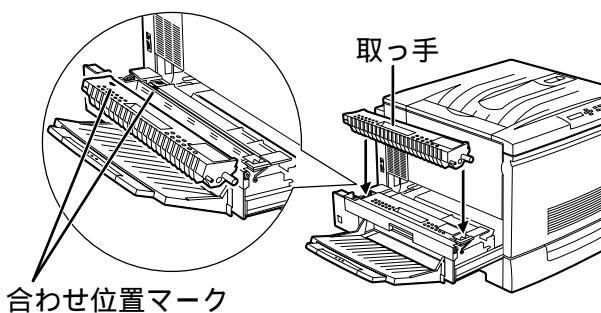
やけど 「高温注意」を促すラベルが貼ってある箇所（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。
やけどの原因になることがあります。



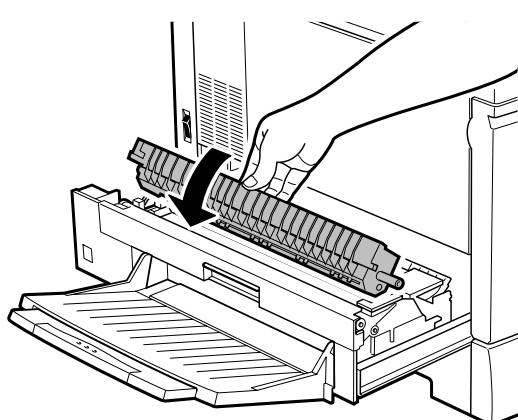
4 梱包からオイルロールカートリッジを取り出し、保護カバーと両側面のピン（2個）をはずす



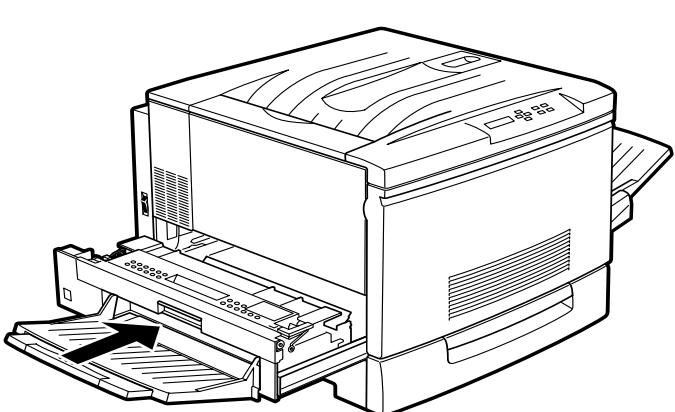
オイルロールカートリッジの白いロール部分にはオイルが塗布してあります。直接触るとオイルが付着し、印字品質などに影響が出ますので触れないでください。



5 オイルロールカートリッジの取っ手を持ち、緑色の「合わせ位置」マークに合わせて差し込む



6 オイルロールカートリッジを矢印の方向に回転させるように「カチッ」と音がするまで押し込む



7 左下ユニットを、プリンタの奥までしっかり押し込む

▶ お願い

設置時、オイルロールカートリッジ交換時の最初の数枚の印刷した用紙にオイルが付着することがあります。オイルの付着がなくなるまで、A4 縦の用紙でプリンター設定リスト等を印刷してください。

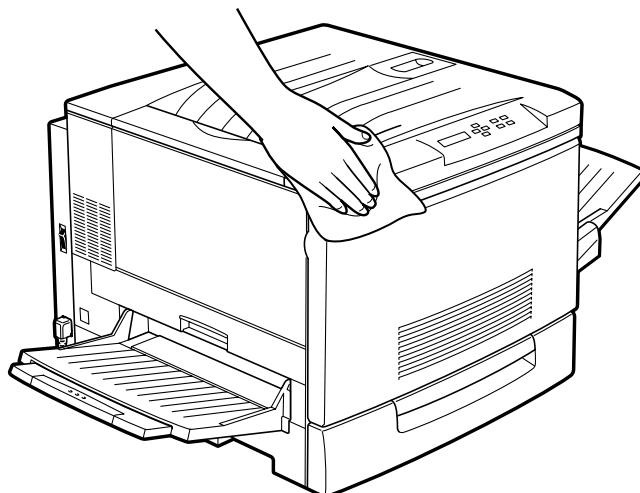
プリンタの清掃

外部の汚れは、少し水でぬらしてよくしぼった柔らかい布でふきます。その後、柔らかい布で水分をふき取ります。汚れが取れにくい場合は、柔らかい布に薄めた中性洗剤を少量含ませて軽くふいてください。プリンタを良好な状態に保ち、いつもきれいな印刷ができるように、約1か月に1回、清掃してください。

⚠ 注意

やけど プリンタの清掃を行う場合は、電源スイッチを切り、必ず電源プラグをコンセントから抜いてください。

感 電 電源スイッチを切らずにプリンタの清掃を行うと、やけどや感電の原因となることがあります。



▶ お願い

清掃に際しては、以下の点に注意してください。

- ・洗剤を直接プリンタに向けてスプレーしないでください。スプレー液が隙間から内部に入り込み、トラブルの原因となることがあります。また、中性洗剤以外の洗浄液は、絶対に使用しないでください。
- ・プリンタ内部の部品には、絶対に注油しないでください。本プリンタには注油の必要はありません。
- ・ベンジン、シンナー、アルコールなどの揮発性の薬品を使用しないでください。プリンタのケースが変色、変形することがあります。

給紙ローラの清掃

セットした用紙に問題がないのに給紙が正常に行われない場合、手差しユニット内部の給紙ローラが汚れている可能性があります。

この場合、次の手順で手差しユニット内部の給紙ローラを拭いてください。

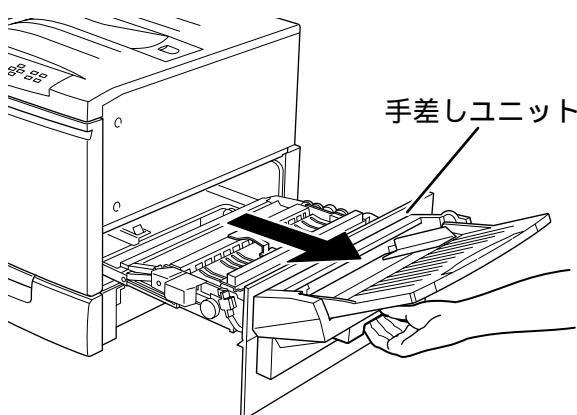
▶お願い

絵入りの官製はがきなどには、粉が付いていることがあります。このようなハガキを使用すると、ハガキについている粉が給紙ローラに付着して給紙できなくなる場合があるため、必要に応じて給紙ローラを清掃してください。

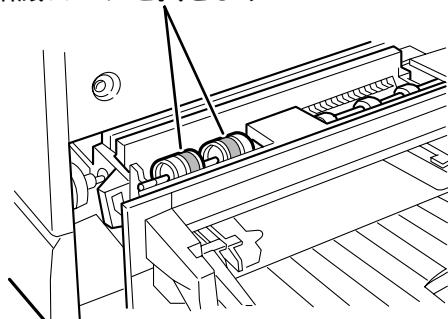
1 プリンタの電源を切斷する

プリンタ左側面にある電源スイッチの「○」側を押し、電源を切ります。

2 本体右側の手差しユニットを引き出す



給紙ローラを拭きます



3 手差しユニット内の給紙ローラ(2個)の、上を向いている面を拭く
水を含ませて固く絞った布で、
給紙方向に対し同じ方向に拭いてください。プリンタ内部に水滴を落とさないように注意してください。

4 手差しユニットを閉じる

プリンタを長時間使用しないとき

1週間以上プリンタを使用しないときには、必ず次の作業を行ってください。



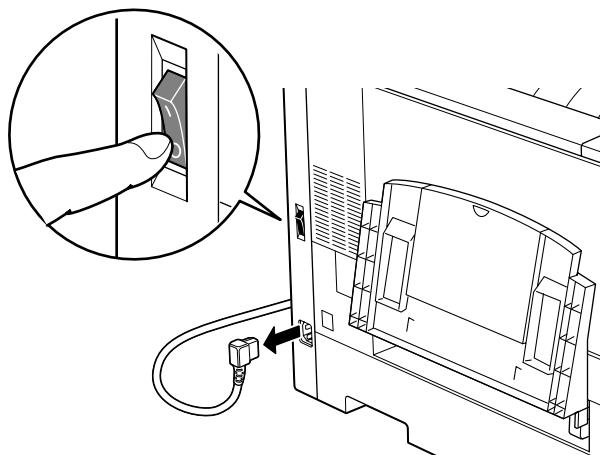
感電 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。



感電 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
火災 電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。



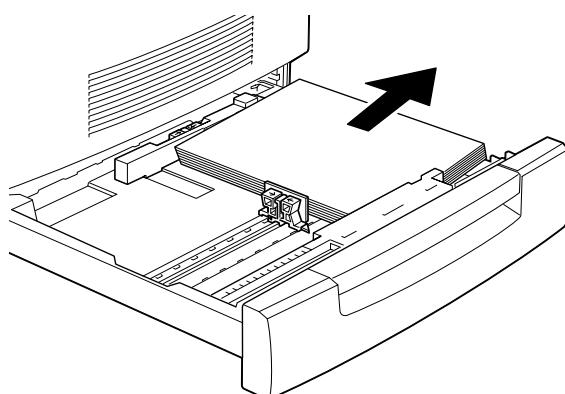
エラーメッセージが表示されているときは「〔エラー〕ランプが点灯 / 点滅したとき」(221ページ)を参照し、処置してから電源を切ってください。



1 電源を切断し、接続コードを外す

プリンタ左側面にある電源スイッチの「○」側を押し、電源を切れます。

電源コードおよびプリンタケーブルなど、すべての接続コードを外します。



2 用紙を取り出す

用紙トレイから用紙を取り出し、湿気やホコリのない場所に保管します。

プリンタを移動するとき

⚠ 注意

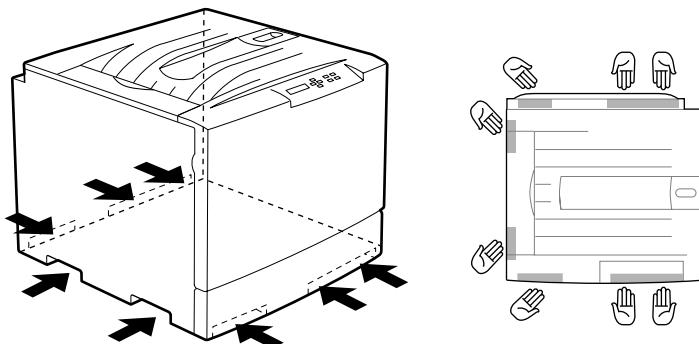
け が ・プリンタ本体は、背面側の方が正面側より重くなっています。プリンタ本体を持ち上げる際に、重さの違いに注意してください。

・本製品を持ち上げる際は必ず4人以上で作業を行ってください。

本製品の重量は、用紙の入っていない状態で約69.5kgです。

プリンタ本体を持ち上げる場合は、必ずプリンタ正面/左側/背面の下部にある取っ手(くぼみの部分)に手をかけて持ち上げてください。

他の部分を持って持ち上げると、プリンタの落下によるけがの原因となります。またプリンタ本体に無理な力がかかるため、プリンタの損傷の原因となります。



・プリンタ本体を持ち上げる場合、十分にひざを曲げるなどして無理のない姿勢で作業を行ってください。無理な姿勢で持ち上げると、けがやプリンタの破損の原因となります。

・プリンタ本体を移動する場合は、前後左右に10°以上傾けないでください。転倒などによる事故の原因となります。

・プリンタ本体を拡張給紙ユニットやプリンタキャビネットなどに載せる場合、必ずキャスターを固定して台が動かないようにしてから作業を行ってください。作業中に台が思わず方向に動くと、けがやプリンタの損傷の原因となります。

▼ 近くに移動する

本機を設置する台を替えたり、隣の部屋に移動するなど、ごく短い距離を移動する場合は、次のようにしてください。

■ プリンタ本体のみの場合

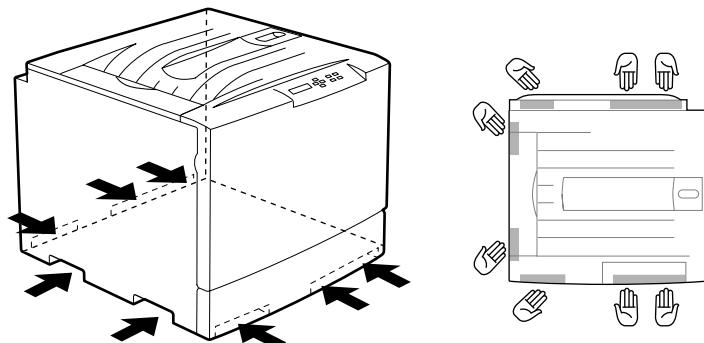
はじめに本機の電源をオフにして、以下の付属品を取り外してください。振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

- ・電源ケーブル
- ・プリンタケーブル
- ・用紙トレイ、手差しトレイ内の用紙
- ・フェイスアップトレイ

本機を移動するときは、下図のように、必ず4人以上でプリンタ下部の取っ手（くぼみの部分）に手をかけて持ち上げ、振動を与えないように水平にていねいに移動してください。

►お願い

本機の手差しトレイの下部または手差しトレイには絶対に手をかけないでください。



また、作業にあたっては前ページの注意事項に従ってください。

■ 拡張給紙ユニットやプリンタキャビネット（オプション）を装着している場合

拡張給紙ユニットやキャビネットにはキャスターがついているため、持ち上げずに移動することができます。

ただし、プリンタに衝撃を与えないよう、段差のある場所などでは移動しないよう注意してください。

また、移動する前にキャスターのロックを必ず解除してください。



輸送する

トラックで長距離運搬するなど大きな振動を伴ったプリンタの移動の際の手順について説明します。

本機を輸送する場合、振動や衝撃からプリンタ本体を守るために、本製品の購入時に使用されていた保護材や梱包材を使用して、購入時と同じ状態に梱包する必要があります。



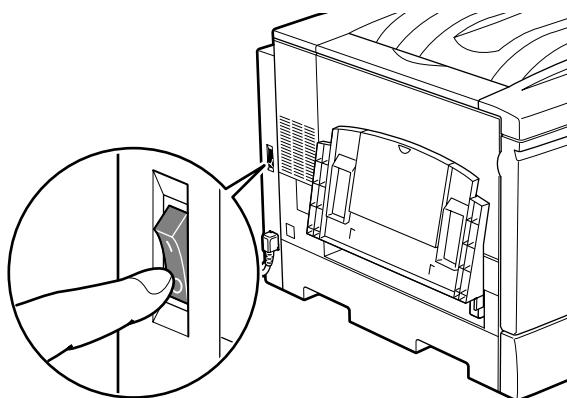
お原貢い

プリンタの持ち運びは、専門業者に依頼してください。



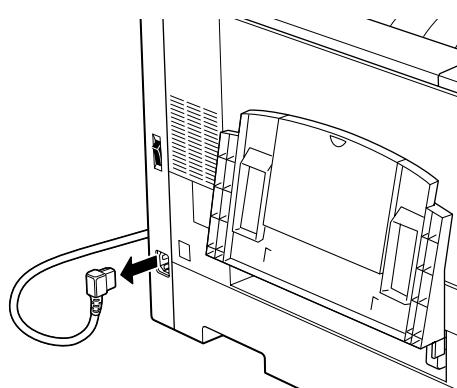
△注意

破損 購入時にプリンタ内部に取り付けられていた保護材も必ず取り付けてください。



1 電源を切斷する

プリンタ左側面にある電源スイッチの「○」の側を押し、電源を切れます。



2 接続コードを外す

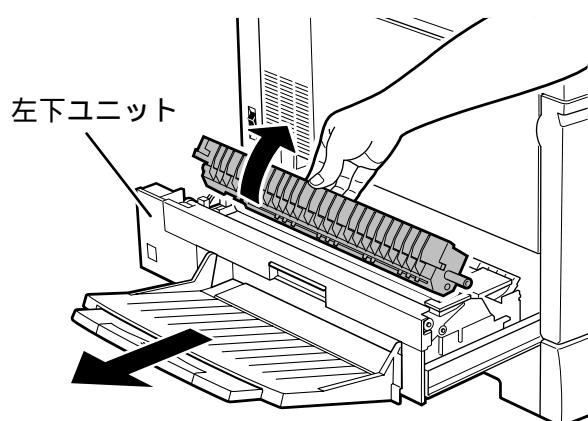
電源コードおよびプリンタケーブルなど、すべての接続コードを外します。

⚠ 警告

感 電 濡れた手で電源プラグを抜き差ししないでください。
感電の原因となります。

⚠ 注意

感 電 電源プラグをコンセントから抜くときは、必ず電源プラグを持って抜いてください。
火 災 電源コードを引っぱると電源コードの芯線が露出したり、断線したりして、火災・感電の原因となることがあります。

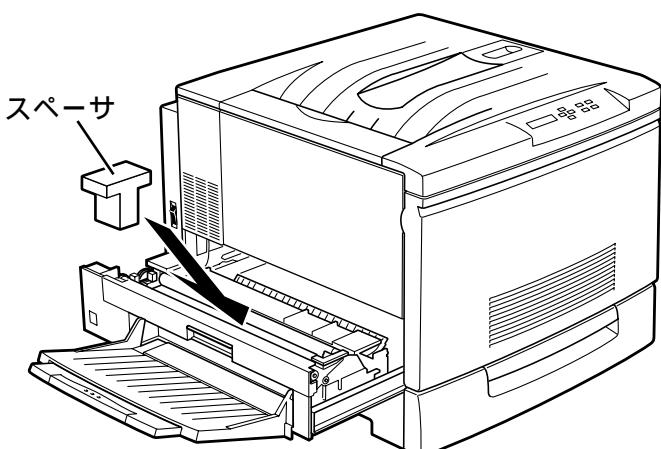


3 オイルロールカートリッジを取り出す

左下ユニットを引き出し、オイルロールカートリッジを取り出します。

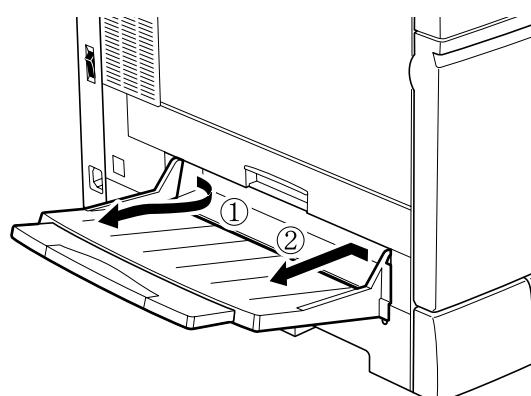
お願い

- ・取り外したオイルロールカートリッジは、汚れがつかないようにシートなどに包んで運搬してください。
- ・オイルロールカートリッジについての詳細は、「オイルロールカートリッジの交換」(158ページ)を参照してください。



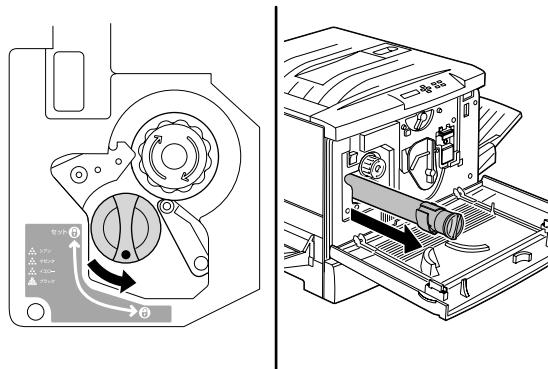
4 スペーサを取り付ける

図の位置にスペーサを取り付け、テープで固定します。その後、左下ユニットをプリンタの奥までしっかりと押し込みます。



5 フェイスアップトレイを取り外す

フェイスアップトレイの左側の突起部を、プリンタから外します。続けて右側の突起部を外し、フェイスアップトレイをプリンタから完全に取り外します。

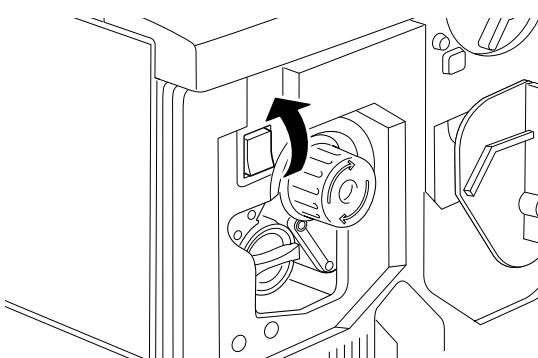


6 トナーカートリッジを取り出す

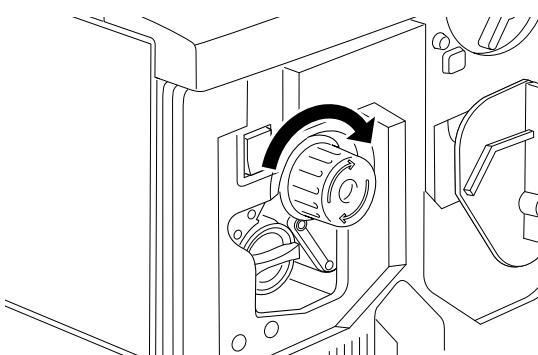
フロントカバーを開け、トナーの取り出し口にきているトナーカートリッジを「解除」() の方向に回し、手前に引いて取り出します。

• ガイド

トナーカートリッジを取り付けたまま運搬すると、トナーでプリンタ内部が汚れることがあります。(トナーカートリッジについての詳細は、「トナーカートリッジの交換」(144ページ)を参照)



7 回転防止スイッチを上に押し上げて解除する



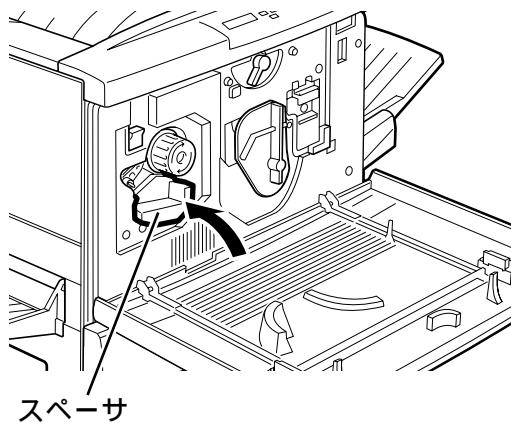
8 次のカートリッジを取り出し口に移動させる

止まるまでノブを回し、次のカートリッジを取り出し口に移動させます。その後、トナーカートリッジを取り出します。

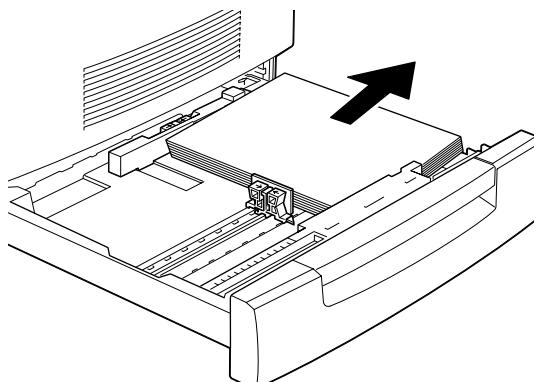
お願い

一度プリンタから取り外したトナーカートリッジは再利用しないでください。画質不良やトナー汚れの原因となります。

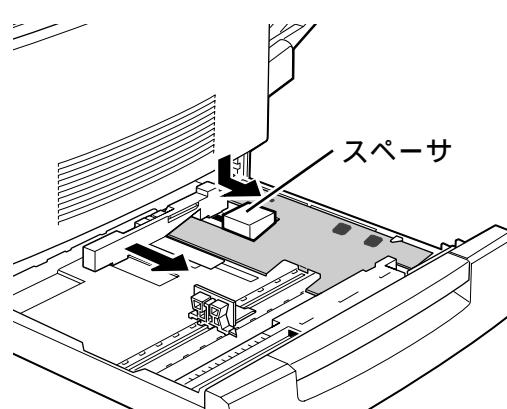
9 手順7～8の操作を繰り返し、トナーカートリッジを4本とも取り外す



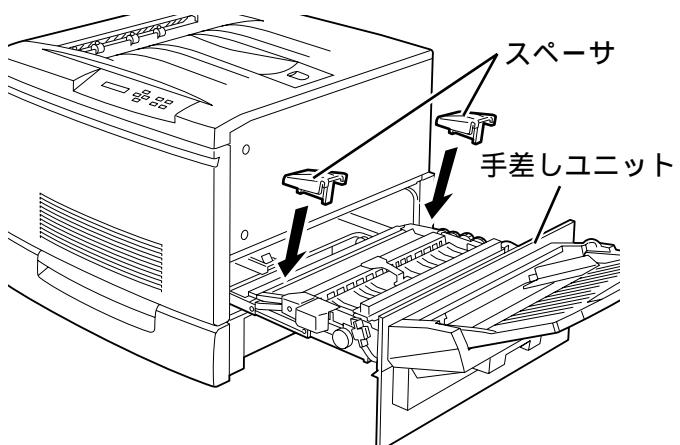
10 スペーサを取り付け、フロントカバーを閉める
回転防止用スペーサをトナーの取り出し口に取り付け、フロントカバーを閉めます。



11 用紙を取り出す
用紙トレイから用紙を取り出し、湿気やホコリのない場所に保管します。

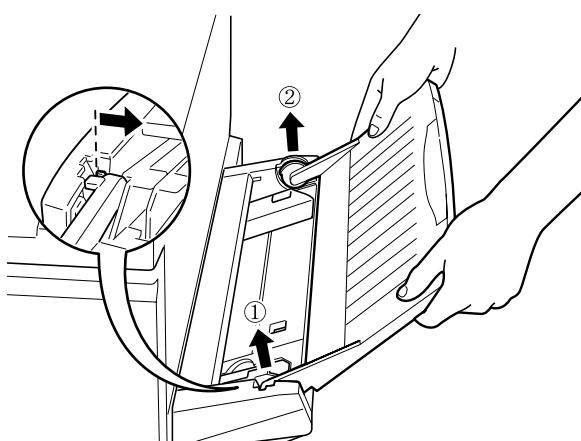


12 用紙トレイにスペーサを取り付ける
図の位置にスペーサを取り付け、横ガイドを手前にずらしてスペーサを固定します。その後、用紙トレイをプリンタの奥までしっかりと押し込みます。



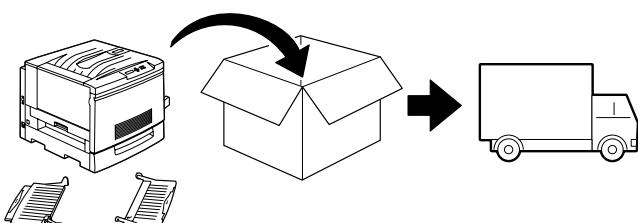
13 手差しユニットにスペーサを取り付ける

手差しユニットを止まるまで引き出し、図の位置にスペーサを取り付けます。その後、手差しユニットをプリンタの奥までしっかり押し込みます。



14 手差しトレイを取り外す

手差しトレイの左側の突起部をドライバーなどで中に押し込み、プリンタから外します。続けて右側の突起部を外し、手差しトレイをプリンタから完全に取り外します。



15 プリンタを傷つかないように梱包し、運搬する

第7章

オペレータパネルの操作



この章では、液晶ディスプレイに表示される内容と、オペレータパネルの操作のしかたについて説明します。

液晶ディスプレイの表示内容	176
オペレータパネルを操作する	177
オンライン状態とオフライン状態を切り替える	177
印刷を中止する	178
未印刷データを強制的に印刷する	179

液晶ディスプレイの表示内容

液晶ディスプレイは、プリンタの設定状態や、障害が発生したときの内容などを表示するものです。1行16文字で2段に表示されます。

障害が発生すると全行でエラーメッセージを表示します。「〔エラー〕ランプが点灯／点滅したとき」(221ページ)を参照してください。

状態表示

プリンタの状態を示します。
オマチクタ[”]サイ
フ[”]リント シティマス
テ[”]ータ マチテ[”]ス
フ[”]リント テ[”]キマス

•
•
•
•

モード

印刷モードの種類を表示します。
WPL : WPLモード
TEXT : TEXTモード
DUMP : ダンプモード

フ [”] リント シティマス	WPL
パ [”] ラレル	トレイ1

入力ポート

データ受信の入力ポートを表示します。
パラレル

トレイ

印刷する用紙のトレイを表示します。
トレイ1 : 用紙トレイ1
トレイ2 : 用紙トレイ2
トレイ3 : 用紙トレイ3
トレイ4 : 用紙トレイ4
テザシ : 手差しトレイ



TEXTモードとは、Windowsドライバ以外から英数字等のテキストを印刷するモードです。通常の印刷では使用しません。

オペレータパネルを操作する

プリンタから印刷する際には、印刷を中止したり、未印刷データを強制的に印刷したりするためにオペレータパネルを操作します。

▼ オンライン状態とオフライン状態を切り替える

プリンタの状態には、オンライン状態とオフライン状態があります。オンライン状態とオフライン状態は、オペレータパネルの〔オンライン〕スイッチによって切り替えます。

オンライン状態

フ リント テ キマス

パソコンからデータを受信して印刷動作ができる状態をいいえます。

通常、電源を投入するとオンライン状態になり、〔オンライン〕ランプが点灯します。〔オンライン〕ランプが消灯しているとき（オフライン状態）に〔オンライン〕スイッチを押すと、オンライン状態になります。

オフライン状態

オフラインチュウテス

パソコンからのデータを受信できない状態をいいえます。

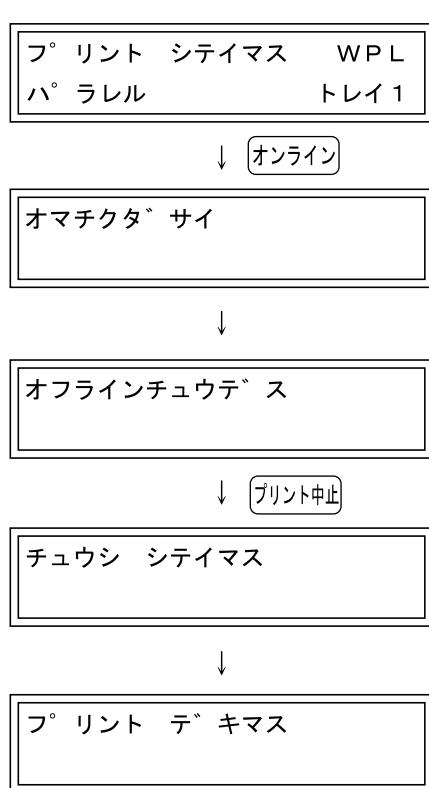
オンライン状態のときに〔オンライン〕スイッチを押すと、オフライン状態になります。印刷中に押すと、液晶ディスプレイに『オマチクタサイ』と表示され、印刷後オフライン状態に切り替わります。

▼ 印刷を中止する

プリンタ側で印刷を中止します。

印刷を中止する前に、必ずパソコン側のアプリケーションソフトで印刷の指示を取り消してください。

Windowsのデータをトレイ1から印刷した場合の表示を例に示します。



- 1 「フ。リント シティマス」と表示中に〔オンライン〕スイッチを押す
「オマチクダサイ」のメッセージが表示されます。

ガイド

このメッセージは、現在印刷中のデータを処理しているときに表示されます。データの大きさにより処理時間は変わります。メッセージが変わるまで、しばらくお待ちください。

- 2 「オフラインチュウテス」のメッセージに変わったら、〔プリント中止〕スイッチを押す
中止の処理が行われます。

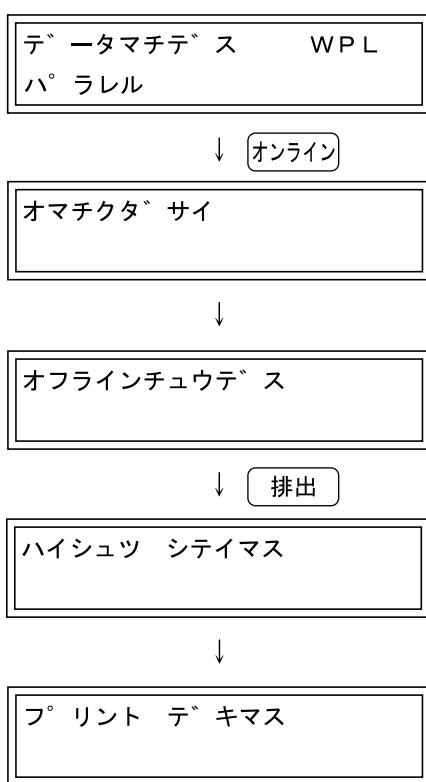
処理が終了すると「プリント デキマス」の表示になります。

▼ 未印刷データを強制的に印刷する

データの最後がページの途中で終了してしまうと、「ジョブタイムアウト」で設定されている時間が経過するまで次のデータ待ちとなり、ディスプレイには「データマチデス」が表示されます。

強制排出は、このようなときに自動排出時間を持たず、プリンタ内のデータを強制的に印刷する操作です。

Windows のデータが途中で終了した場合の表示を例に示します。



- 1 「データマチデス」と表示中に〔オンライン〕スイッチを押す

「オマチクダサイ」のメッセージが表示されます。



このメッセージは、現在印刷中のデータを処理しているときに表示されます。データの大きさにより処理時間は変わります。メッセージが変わるまで、しばらくお待ちください。

- 2 「オフラインチュウデス」のメッセージに変わったら、〔排出〕スイッチを押す

残ったデータが強制排出されます。

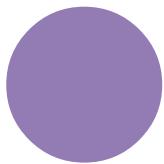
強制排出が終了すると、「プリント キマス」の表示になります。



・ジョブタイムアウトについては『第8章 設定値を変える』(181ページ)を参照してください。

第8章

設定値を変える



この章では、各メニュー項目の内容について説明します。

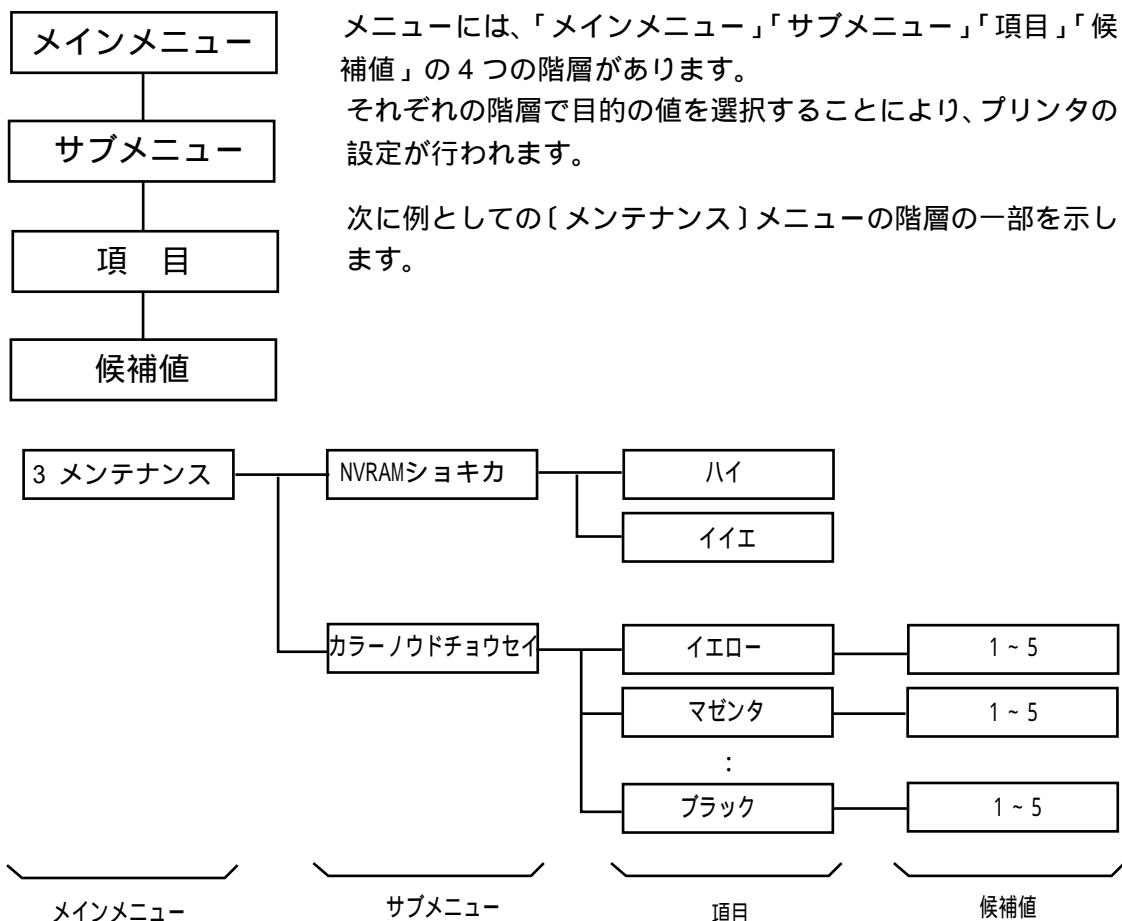
設定の変更手順（メニューの操作方法）.....	182
メニューの階層について	182
基本的な操作	183
メニュー項目について	192
印刷機能の設定	192
システムの設定	196
メンテナンス	198
パラレル機能の設定	199
プリントユーティリティ	200
メニュー項目一覧	204

設定の変更手順（メニューの操作方法）

プリンタの設定を変えるときの操作方法について説明します。設定の変更は、メニューで行います。

▼ メニューの階層について

メニューを構成する階層について説明します。



サブメニューによっては、項目や候補値がない場合もあります。

▼ 基本的な操作

メニューでは、目的の設定値を上位の階層から順に選んで表示させ、設定します。

メニューで使用するスイッチは以下のとおりです。

- [メニュー] スイッチメニュー画面に入ります。
- [▲] または [▼] スイッチ階層を移動します。
- [▶] または [◀] スイッチ同じ階層内を移動します。
- [セット] スイッチ表示中の値に設定します。
- [取り消し] スイッチ1つ上の階層に戻ります。

■ メニュー画面へ移行する

メニュー画面へ移行するには、次の操作を行います。



↓ [オンライン]



↓ [メニュー]



1 プリンタをオフラインにする

[オンライン] スイッチを押すと、画面に「オフラインチュウデス」のメッセージが表示され、プリンタがオフラインになります。

2 [メニュー] スイッチを押し、メニュー画面に移行する

画面の上段にはメニュー画面に移行したことを表す「メニュー」が、下段にはメニュー名が表示されます。


ガイド

- メニュー画面に移行すると、プリンタは自動的に印刷できない状態となります。
- メニュー画面から印刷が可能な印刷画面へ戻すときは、〔オンライン〕スイッチを押します。
- 印刷中にメニュー画面に移行した場合、「4 パラレル」、「5 プリントユーティリティ」の設定はできません。画面に「プリント デキマス」のメッセージが表示されている状態で設定してください。

■ メインメニューを表示、選択する

メニュー画面に移行したあと、5つのメインメニューの中から、設定を行う項目が含まれるメインメニューを表示させます。メニュー画面に移行した直後は、印刷機能の設定メニューが表示されています。ここでは、メインメニュー項目である「3 メンテナンス」を選択する場合を例にしています。



〔▼〕スイッチまたは〔▲〕スイッチを押すと、1つ後、1つ前のメニューが表示されます。



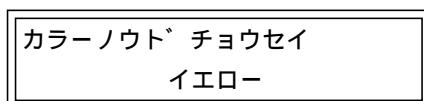
目的のメインメニューを表示させた状態で〔セット〕スイッチを押すと、確定して、そのメインメニューの下の階層が表示されます。画面の上段にはメインメニュー名が、下段にはサブメニュー名が表示されます。

■ サブメニューを表示、選択する

メインメニューを選択したあと、目的の設定項目が含まれるサブメニューを表示します。ここでは、メンテナンスのメニュー項目の「カラーノウドチョウセイ」を選択する場合を例にしています。



[▼]スイッチまたは[▲]スイッチを押すと、1つ後、1つ前のメニュー項目が表示されます。



目的のサブメニューが表示された状態で[セット]スイッチを押すと、確定して、そのサブメニューの下の階層が表示されます。画面の上段には確定したサブメニュー名が、画面の下段には項目名が表示されます。



サブメニューによっては、項目や候補値が表示されない場合もあります。

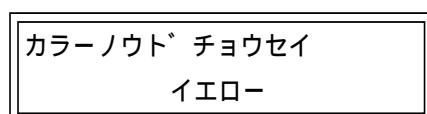
各サブメニューの詳細は「メニュー項目について」(192ページ)を参照してください。

■ 項目の表示と選択

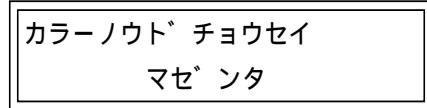
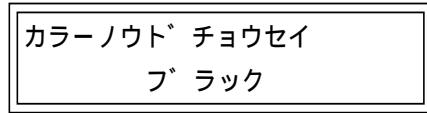
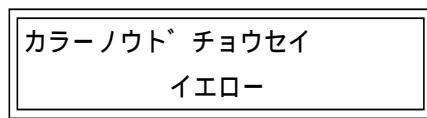
サブメニューを選択したあと、目的の設定項目を表示させます。

▶ [▼]スイッチまたは[▲]スイッチで項目を変更する場合

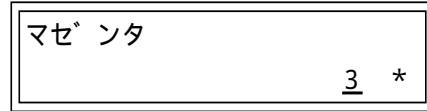
ここでは、カラー濃度調整の項目を選択する場合を例にしています。



[▼]スイッチまたは[▲]スイッチを押すと、1つ後、1つ前の項目が表示されます。



セット



目的の項目を表示した状態で、[セット]スイッチを押すと、確定され、その項目の下の階層が表示されます。

画面の上段には確定した項目名が表示されます。

画面の下段に現在設定されている候補値が表示されます。

● ガイド

- ・ 設定されている候補値が表示された場合、候補値の右側には「*」が表示されています。
- ・ 項目によって、候補値が表示されない場合もあります。

各項目の詳細は、「メニュー項目について」(192ページ)を参照してください。

▶ [◀]スイッチまたは[▶]スイッチで項目を変更する場合
ここではメンテナンスのサブメニューである「NVRAM ショキカ」の項目を選択する場合を例にしています。



[▶]スイッチまたは[◀]スイッチを押すと、カーソル(_)が1つ右、1つ左に移動します。

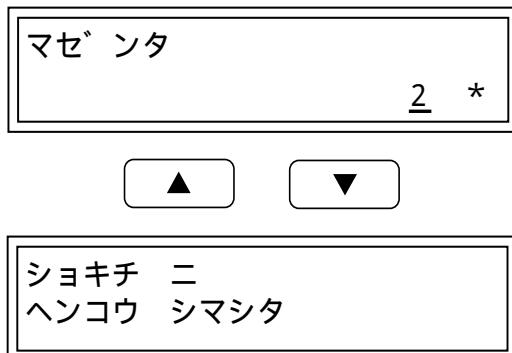
目的の項目にカーソルを表示させた状態で[セット]スイッチを押すと、確定して、設定が完了します。

この例では、下段に「ショキカ シティマス」のメッセージが約30秒間表示され、初期化が終了すると、「ショキカ シマシタ」のメッセージが約3秒間表示され、「NVRAM ショキカ」の表示に戻ります。

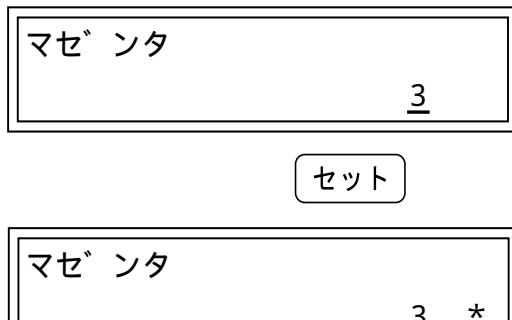
各項目の詳細は、「メニュー項目について」(192ページ)を参照してください。

■ 候補値を表示、設定する

項目を選択したあと、目的の候補値を表示させます。ここでは、マゼンタを「2」に設定する場合を例にしています。



[▲]スイッチまたは[▼]スイッチを押すと、1つ増加、1つ減少した候補値が順番に表示されます。



目的の候補値が表示された状態で[セット]スイッチを押すと、その候補値が確定し、候補値の右側に「*」が表示されます。

候補値の詳細は、「メニュー項目について」(192ページ)を参照してください。

■ 候補値を初期値にする

項目を選択したあと、候補値を初期値にします。ここでは、マゼンタを「2」から初期値「3」に設定する場合を例にしていきます。

マゼンタ
<u>2</u> *



ショキチニ ヘンコウシマシタ

[▲]スイッチと[▼]スイッチを同時に押します。

初期値に変更されたメッセージが約3秒間、表示されます。

マゼンタ
<u>3</u>

セット

マゼンタ
<u>3</u> *

初期値が表示されます。

目的の候補値（初期値）が表示された状態で〔セット〕スイッチを押すと、その候補値が確定し、候補値の右側に「*」が表示されます。

候補値の詳細は、「メニュー項目について」(192ページ)を参照してください。

■ 候補値の設定後の操作

目的の候補値を設定したあとは、状況に応じて、次のように操作します。

▷ 設定を終了する場合

オンライン

フ リントテ キマス

〔オンライン〕スイッチを押すと、プリント画面が表示されます。

▷ 他の項目を設定する場合

マセ ンタ

2 *

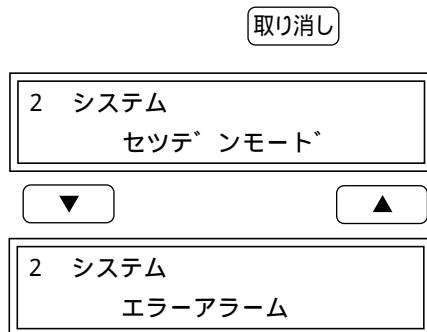
↓ 取り消し

カラーノウド チョウセイ
マセ ンタ

〔取り消し〕スイッチを押すと、1つ上の階層が表示されます。表示された画面から、設定を続けることができます。

■ 別のサブメニューを設定する

項目や候補値を表示、設定したあと、別のサブメニューを設定する場合は、次のように操作します。

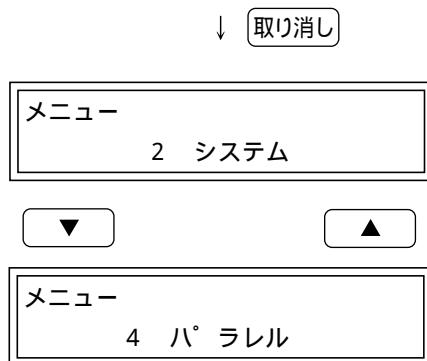


項目や候補値を表示、設定したあと、サブメニューが表示されるまで、〔取り消し〕スイッチを押します。

〔▲〕スイッチまたは〔▼〕スイッチを何度か押し、目的のメニュー項目を表示させ、設定を続けます。

■ 別のメインメニューを設定する

項目や候補値を表示、設定したあと、別のメインメニューを設定する場合は、次のように操作します。



項目や候補値を表示、設定したあと、メインメニューが表示されるまで、〔取り消し〕スイッチを押します。

〔▲〕スイッチ または〔▼〕スイッチを何度か押し、目的のメインメニューを表示させ、設定を続けます。

メニュー項目について

プリンタの設定値は、メニューで変更することができます。ここでは、メニューで設定できる各項目について説明します。



- ・[] スイッチと [] スイッチを押すと、初期値が表示されます。（「プリントユーティリティ」以外）
- ・設定した値は変更し直すかメンテナンスマニュアルで N V R A M 初期化を実行するまで保持されます。（「プリントユーティリティ」以外）
- ・接続しているパソコンからの設定と、プリンタでの設定が異なる場合、パソコンからの設定がプリンタでの設定より優先します。

▼ 印刷機能の設定

メインメニューで [1 プリント] メニューを選択すると、以下の項目が設定できます。

■ 印刷部数～印刷する部数を設定する

印刷する枚数を 1 ~ 999 枚の範囲で設定します。

■ 用紙サイズ～印刷する用紙のサイズを変える

印刷するときの用紙のサイズを設定します。



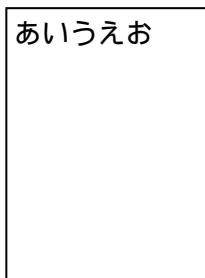
[1 プリント] メニューの組み合わせによって設定できるものとできないものがあります。このことを「禁則条件」と呼びます。禁則条件は次の表のとおりです。同時に設定できる項目は○、できない項目は×で示します。

[1 プリント] メニュー		用紙種類			給紙方法				排出方法		手差しセット方向		
サブメニュー	項目	普通紙	厚紙	OHP	ラベル	自動	トレイ1	トレイ2~4	手差し	フェイスアップ	フェイスダウン	縦	横
用紙サイズ	A5			×	×	×	×	×				×	×
	B5		×	×									×
	A4												
	B4		×	×								×	
	A3		×	×								×	
	Letter												
	Legal		×	×								×	
	Ledger		×	×								×	
	ハガキ		×	×		×	×	×			×	×	
	特A3		×	×		×	×	×				×	
用紙種類	普通紙												
	厚紙					×	×	×				×	
	OHP					×	×	×				×	
	ラベル					×	×	×				×	
給紙方法	自動		×	×	×								
	トレイ1		×	×	×								
	トレイ2~4		×	×	×								
	手差し												
排出方法	フェイスアップ												
	フェイスダウン		×	×	×								
手差しセット方向	縦												
	横												

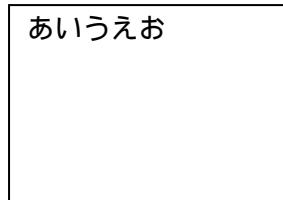
■ 印刷方向～印刷する用紙方向を変える

印刷する用紙を縦長に使用するか、横長に使用するか設定します。

「タテ」



「ヨコ」



ここで設定する用紙方向は、トレイ内の用紙のセット方向には影響しません。

■ 紙給り方法～紙給り方向を設定する

トレイ1、トレイ2、トレイ3、トレイ4（トレイ2～トレイ4はオプションの拡張紙給りユニット装着時）手差しのどの給り口から給り紙するか、または自動で「用紙サイズ」で設定した用紙トレイから給り紙するか設定します。（手差しトレイは、自動給り紙の対象となりません。）他の設定との間に禁則条件があります。禁則条件については、「用紙サイズ」（193ページ）を参照してください。

■ 用紙種類～用紙の種類を設定する

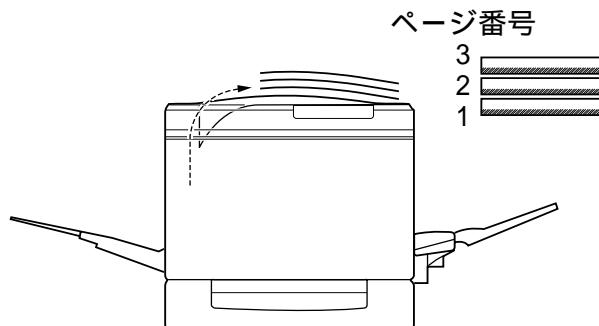
印刷する用紙の種類を普通紙、OHPフィルム、厚紙、ラベルから設定します。

他の設定との間に禁則条件があります。禁則条件については、「用紙サイズ」（193ページ）を参照してください。

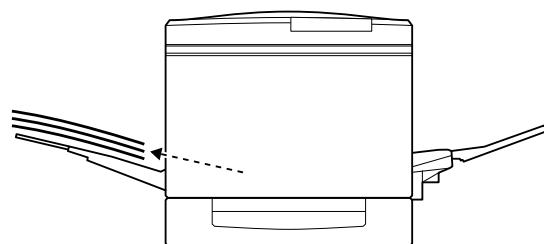
■ 排出方法～用紙の排出先を変える

用紙の排出先をフェイスダウン（印刷面を下）またはフェイスアップ（印刷面を上）のどちらかに設定します。

「フェイスダウン」



「フェイスタップ」



他の設定との間に禁則条件があります。禁則条件については、「用紙サイズ」(193ページ)を参照してください。

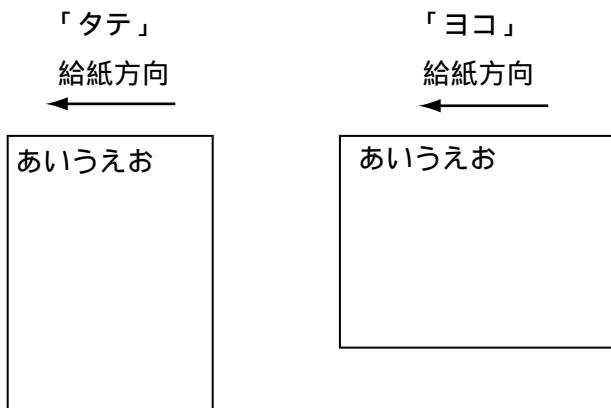


下記の場合は「フェイスダウン」を選択できません。

- ・[1 プリント]メニューの用紙種類で「OHPフィルム」「アツガミ」または「ラベル」を選択した場合
- ・[1 プリント]メニューの用紙サイズで「A5」または「ハガキ」を選択した場合

■ 手差しセット方向～手差しトレイ使用時のセット方向を設定する

手差しトレイから印刷するときに縦方向にセットするか、横方向にセットするかを設定します。



■ カラーモード～カラー、グレースケールのどちらで印刷するか設定

カラーで印刷するか、グレースケールで印刷するか設定します。

■ 画質～印刷時の解像度を設定

印刷時の解像度を高画質($1200 \times 600\text{dpi}$ 、ただしTEXTモードの場合は $600 \times 600\text{dpi}$)にするか、標準($600 \times 600\text{dpi}$)にするか設定します。

■ スムージング～印刷結果を滑らかにする

文字や図形のギザギザ(ジャギー)を滑らかにして印刷するかどうか設定します。

■ トナーセーブ～トナーを節約する

印刷時のトナーの量を少なくして、トナーの消費量を節約するかどうかを設定します。

▼ システムの設定

メインメニューで〔2 システム〕メニューを選択すると、以下の項目が設定できます。

■ プリントモード指定～印刷モードを指定する

パソコンから受信したデータをどの言語で処理するか指定します。

AUTO TEXT か WPL か自動判別して処理

WPL WPL 言語として処理

DUMP 16進数のデータで印刷（パソコンからプリンタに正しくデータが送られているか確認する場合などに使用します。）

ダンプ印刷といいます。



- ・ダンプ印刷で印刷される用紙のサイズは、〔1 プリント〕メニューの「用紙サイズ」で設定された用紙サイズです。
- ・「AUTO」指定時、パソコンから受信したデータがプリンタに実装されていない言語であった場合、そのデータは TEXT のデータとして処理されます。
- ・TEXT とは、Windows ドライバ以外から英数字等のテキストを印刷する言語です。通常の印刷では使用しません。

■ 節電モード～消費電力を節約する

プリンタを使用していないときの消費電力を節約するかどうかを設定します。例えば、「25分」に設定した場合は、印刷終了後、25分間プリンタが使用されないと節電状態になります。節電状態になると、ディスプレイに「プリント デキマス / タイキ」と表示されます。節電状態に移行した場合、データを受信してからプリントの開始までに若干時間がかかります。

■ エラーアラーム～警告音を鳴らす

プリンタに異常が発生したときに警告音を鳴らすかどうか設定します。

 **ガイド** 音量の調節はできません。

■ ページプロテクト～ページプロテクトを設定する

ページプロテクトを行うかどうか設定します。

複雑なデータを印刷する場合、印刷処理でプリンタに負担がかかりすぎ、オーバーランエラーが発生することがあります。ページプロテクトを設定すると、用紙サイズ分のメモリーを前もって確保し、エラー発生を防ぐことができます。

 **ガイド** パソコンから受信したデータによっては、「オン」に設定すると、「ジドウ」に設定したときよりも印刷に若干時間がかかることがあります。

■ ジョブタイムアウト～印刷処理の強制終了を設定する

ジョブタイムアウトを行うかどうか設定します。

ジョブタイムアウトとは、印刷処理が設定した時間を経過しても終了しない場合、その処理を強制的に終了させる機能です。

ジョブタイムアウトが発生すると、この時点まで受信したデータを排出します。

▼ メンテナンス

■ NVRAM 初期化 ~ NVRAM を初期化する

NVRAM を初期化します。

NVRAM とは、電源を切ってもプリンタの設定内容を保持しておくことができる不揮発性メモリのことです。

初期化には約 30 秒かかり、その間、「ショキカ シティマス」と表示されます。

初期化が終了すると「ショキカ シマシタ」のメッセージが約 3 秒間表示され、「NVRAM ショキカ」の表示に戻ります。

工場出荷時の値については「メニュー項目一覧」(204 ページ) を参照してください。

■ カラー濃度調整 ~ それぞれのカラー濃度を設定する

イエロー、マゼンタ、シアン、ブラック、それぞれのカラー濃度を設定します。

濃度を 1 ~ 5 の 5 段階で設定します。設定値を大きくすると濃度が薄くなります。



[]スイッチまたは[]スイッチで項目を変更するときに、スイッチを押し続けると連続的に表示が変わります。

▼ パラレル機能の設定

■ Busy-Ack ~ BUSY 信号と ACK 信号の出力タイミングを設定する

パラレルインタフェースの BUSY 信号と ACK 信号の出力タイミングを設定します。

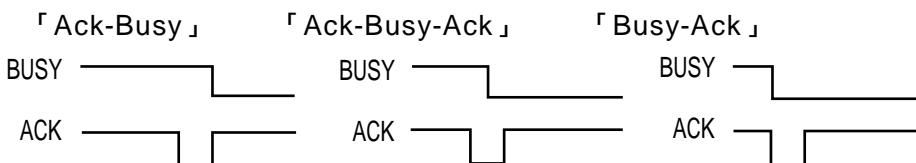
BUSY 信号は、プリンタがパソコンに対し、データ受信不可能な状態であることを示す信号です。

ACK 信号は、プリンタがパソコンに対し、受信の準備ができていること、またはデータを正しく受信したことを表す信号です。

Ack-Busy ACK 信号を受信したあとに BUSY 信号が変化します。

Ack-Busy-Ack Ack 信号を出力中に BUSY 信号が変化します。

Busy-Ack BUSY 信号を先に変化し、その後 ACK 信号を出力します。



設定した値を有効にするには、電源を再投入してください。

■ ECP ~ ECP モードについて設定する

パラレルインタフェースの通信モードである、ECP モードで印刷データの受信を許可するかどうか設定します。

▼ プリントユーティリティ

■ プリンター設定リスト～プリンタの設定を印刷する

プリンタのハードウェア構成および各種設定の内容を印刷します。
プリンター設定リストの印刷例は次のとあります。

プリンター設定リスト

全体

プリント紙枚数	6(1枚)
搭載メモリー	400Mbyte
搭載プリンター言語	WPL,9611271143

パラレル

Buy-Ack	Ack-Busy
ECP	許可

搭載フォント数

和文 4書体
欧文15書体(WPL用)

RJ45Mバージョン

199812181532

オプション

用紙トレイ	トレイ1
	手ざし

メンテナンス

排風モード	30分
エラーアラーム	オフ
ページプロテクト	自動



- ・プリンター設定リストで印刷が可能な用紙サイズはA4のみで、装着している用紙トレイの中から自動的に選択されます。

A4サイズの用紙がセットされていない場合は、ディスプレイに「A4 タテヨウシヲセットシテクダサイ」というメッセージが表示されます。A4サイズの用紙をセットすると、印刷が開始されます。

- ・プリント終了後は、「プリント シマシタ」のメッセージを数秒表示したあと、プリント画面に戻ります。ディスプレイには、「プリント デキマス」と表示されます。
- ・印刷中のキー操作は、受け付けられません。

パネル設定リスト～パネル設定リストを印刷する

メニューの設定内容を印刷します。

パネル設定リストの印刷例は次のとおりです。

パネル設定リスト

プリント

プリント部数	1枚
用紙サイズ	A4
印刷方向	縦
給紙方法	トレイ1
用紙種類	普通紙
排出方法	フェースダウン
手差しセット方向	縦
カラー モード	カラー
画質	標準
スマージング	オフ
トナーセーブ	しない

メンテナンス

カラー濃度調整	イエロー 3
	マゼンタ 3
	シアン 3
	ブラック 3

パラレル

Busy-Ack	Ack-Busy
ECP	禁止

システム

プリントモード指定	AUTO
節電モード	30分
エラーアラーム	オン
ページプロテクト	自動
ジョブタイムアウト	30秒

ガイド

- ・パネル設定リストで印刷が可能な用紙サイズはA4のみで、装着している用紙トレイの中から自動的に選択されます。A4サイズの用紙がセットされていない場合は、ディスプレイに「A4 タテヨウシヲセットシテクダサイ」というメッセージが表示されます。A4サイズの用紙をセットすると、印刷が開始されます。
- ・プリント終了後は、「プリント シマシタ」のメッセージを数秒表示したあと、プリント画面に戻ります。ディスプレイには、「プリント デキマス」と表示されます。
- ・印刷中のキー操作は、受け付けられません。

■ フォントリスト～フォントリストを印刷する

印刷可能なフォント情報を印刷します。
フォントリストの印刷例は次のとおりです。

フォントリスト



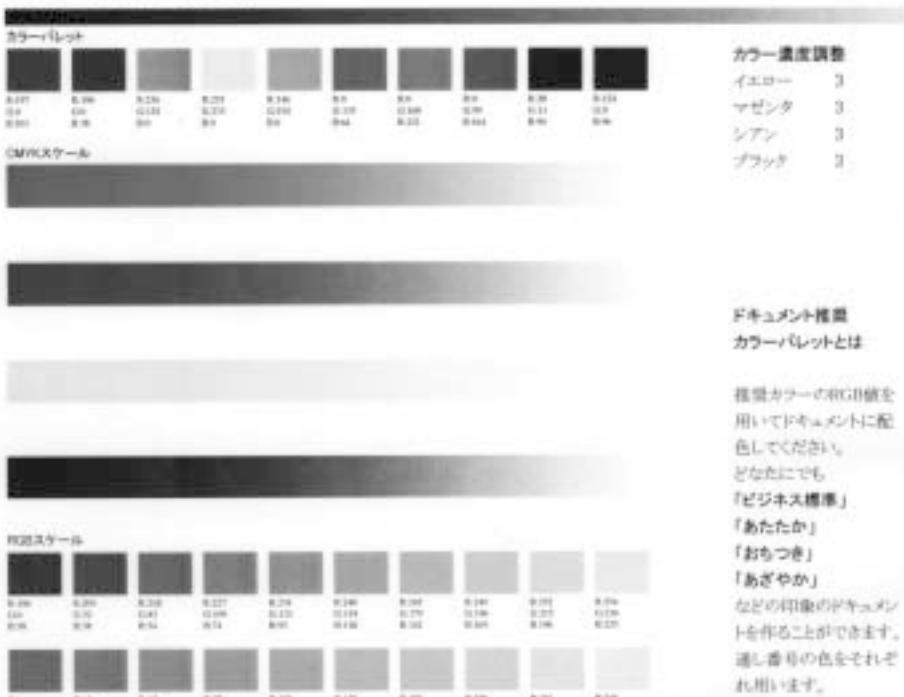
- ・フォントリストで印刷が可能な用紙サイズはA4のみで、装着している用紙トレイの中から自動的に選択されます。A4サイズの用紙がセットされていない場合は、ディスプレイに「A4 タテヨウシヲセットシテクダサイ」というメッセージが表示されます。A4サイズの用紙をセットすると、印刷が開始されます。
 - ・プリント終了後は、「プリント シマシタ」のメッセージを数秒表示したあと、プリント画面に戻ります。ディスプレイには、「プリント デキマス」と表示されます。
 - ・印刷中のキー操作は、受け付けられません。
 - ・フォントリストでは、縦書きフォント（フォント名の先頭に@がついたもの）は印刷されません。

■ カラーサンプルリスト～カラーのサンプルイメージを印刷する

カラーのサンプルイメージを印刷します。

カラーサンプルリストの印刷例は次のとおりです。

カラーサンプルリスト



- ・カラーサンプルリストで印刷が可能な用紙サイズはA4のみで、装着している用紙トレイの中から自動的に選択されます。

A4サイズの用紙がセットされていない場合は、ディスプレイに「A4 タテヨウシヲセットシテクダサイ」というメッセージが表示されます。A4サイズの用紙をセットすると、印刷が開始されます。

- ・プリント終了後は、「プリント シマシタ」のメッセージを数秒表示したあと、プリント画面に戻ります。ディスプレイには、「プリント デキマス」と表示されます。
- ・印刷中のキー操作は、受け付けられません。

メニュー項目一覧

メニューで設定できる項目の一覧を次の表に示します。設定値の前の「*」は、工場出荷時に登録される初期値を示します。

各項目の設定方法については、「設定の変更手順（メニューの操作方法）」(182ページ)を参照してください。

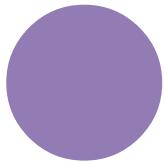
メインメニュー	サブメニュー	項目	候補値	機能
1 プリント	プリント部数	*1枚 範囲：1～999枚		印刷する部数を設定する。
		A3		A3サイズに印刷する。
		*A4		A4サイズに印刷する。
		A5		A5サイズに印刷する。
		B4		B4サイズに印刷する。
		B5		B5サイズに印刷する。
		レター		レターサイズに印刷する。
		ハガキ		ハガキサイズに印刷する。
		リーガル		リーガルサイズに印刷する。
		レジマー		レジマーサイズに印刷する。
	用紙サイズ	特A3		特A3サイズに印刷する。
		*縦		用紙を縦長に使用して印刷する。
		横		用紙を横長に使用して印刷する。
		*トレイ1		用紙トレイ1から給紙する。
		トレイ2		用紙トレイ2から給紙する。この項目は、拡張給紙ユニットが装着されているときに表示される。
		トレイ3		用紙トレイ3から給紙する。この項目は、拡張給紙ユニットが装着されているときに表示される。
		トレイ4		用紙トレイ4から給紙する。この項目は、拡張給紙ユニットが装着されているときに表示される。
		手差しトレイ		手差しトレイから給紙する。このとき、手差しトレイには「用紙サイズ」で設定したサイズの用紙をセットする。
	給紙方法	自動		「用紙サイズ」で設定した用紙がセットされている用紙トレイから自動給紙する。ただし、手差しトレイは自動給紙の対象とはならない。
		*普通紙		普通紙に印刷する。
		OHPフィルム		OHPフィルムに印刷する。
		厚紙		厚紙に印刷する。
	用紙種類	ラベル		ラベル用紙に印刷する。
		*フェイスダウン		印刷面を下にして出力する。
		フェイスアップ		印刷面を上にして出力する。
	排出方法	*縦		用紙を縦方向にセットして印刷する。
		横		用紙を横方向にセットして印刷する。
	手差しセット方向			

メインメニュー	サブメニュー	項目	候補値	機能
1 プリント	カラー モード	* カラー		カラーで印刷する。
		グレースケール		グレースケールで印刷する。
	画質	高画質		1200dpi × 600dpiで印刷する。ただし TEXT の場合は、600 × 600dpiで印刷する。
		* 標準		600 × 600dpiで印刷する。
	スムージング	* オフ		スムージング機能を使用しないで印刷する。
		オン		スムージング機能を使用して印刷する。
	トナーセーブ	する		トナーセーブ機能を使用して印刷する。
		* しない		トナーセーブ機能を使用しない。
	2 システム	* AUTO		パソコンから受信したデータがどの言語で記述されているかを自動判別し、データに合わせて適切な印刷を行う。
		WPL		パソコンから受信したデータをWPL言語として処理する。
		DUMP		パソコンから送信されたデータの内容を確認するため、印刷データを16進表記形式で印刷する。この操作をダンプ印刷という。
3 メンテナンス	節電モード	* 30分 (範囲: 1~120分)		印刷終了後から設定した時間後に、節電状態にする。
		オフ		節電状態にならない。
	エラーアラーム	オフ		プリンタに異常が発生しても警告音を鳴らさない。
		* オン		プリンタに異常が発生したら警告音を鳴らす。
	ページプロテクト	* 自動		印刷内容に応じてページプロテクトが必要かどうかを、プリンタが自動的に判断する。
		オン		ページプロテクトを行う。
	ジョブタイムアウト	* 30秒 (範囲: 5~300秒)		設定した時間を経過後ジョブタイムアウトの処理を行う。
		オフ		ジョブタイムアウトの処理を行わない。
	カラー濃度調整	はい		NVRAMの初期化を行う。
		いいえ		NVRAMの初期化を行わない。

4 パラレル	Busy-Ack	* Ack-Busy		ACK信号を受信したあとにBUSY信号が変化する。
		Ack-Busy-Ack		ACK信号を出力中にBUSY信号が変化する。
		Busy-Ack		BUSY信号が変化し、その後ACK信号を出力する。
	ECP	* 禁止		ECPによる印刷データの受信を禁止する。
		許可		ECPによる印刷データの受信を許可する。
5 プリントユーティリティ	プリンタ設定リスト			プリンタのハードウェア構成および各種設定の内容を印刷する。
	パネル設定リスト			メニューの設定内容を印刷する。
	フォントリスト			印刷可能なフォントの情報を印刷する。
	カラーサンプルリスト			カラーのサンプルイメージを印刷する。

第9章

こんなときには



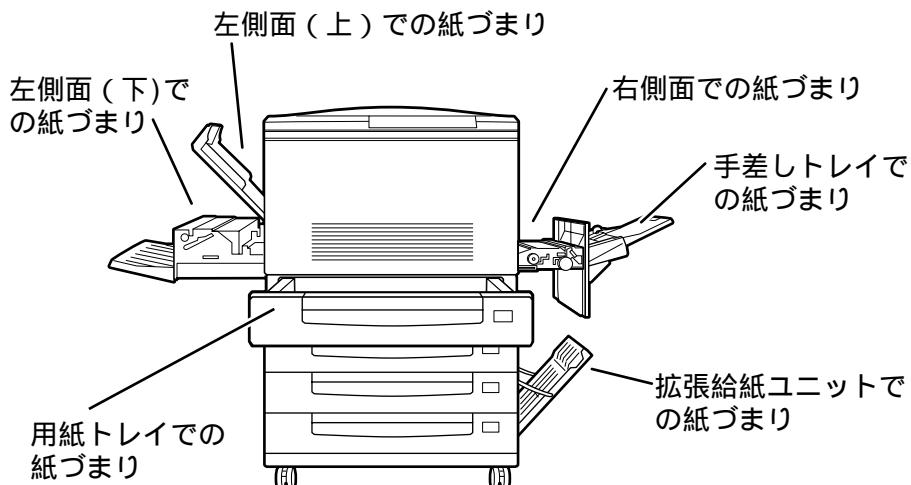
この章では、故障が発生したと思われるときや、紙づまりのときの処置のしかたについて説明します。

紙づまりになったとき	208
用紙トレイでの紙づまり	210
手差しトレイでの紙づまり	212
右側面での紙づまり	213
左側面（下）での紙づまり	216
左側面（上）での紙づまり	219
拡張給紙ユニットでの紙づまり	220
[エラー] ランプが点灯 / 点滅したとき	221
[エラー] ランプが点灯している場合	221
[エラー] ランプが点滅している場合	225
ワーニングメッセージが表示されたとき	227
故障かなと思ったとき	228
電源投入時のトラブル	228
印刷に関するトラブル	229
用紙に関するトラブル	230
印刷品質に関するトラブル	231
その他のトラブル	235
留意事項	236
品質に関する留意事項	236
プリンタに関する留意事項	239
プリンタドライバに関する留意事項	240

紙づまりになったとき

紙づまりが発生するとメッセージランプが点灯し、液晶ディスプレイに『カミツ“マリテ”ス』とエラーメッセージが表示されます。このとき、すべてのスイッチが無効になります。

エラーメッセージには、紙づまりが発生した場所も表示されます。



次の要領でつまった用紙を取り除いてください。つまった用紙を取り除いてカバーを閉じると、メッセージが消えてオンライン状態になり印刷を再開します。

お願い

- ・つまった用紙を取り除いてもメッセージが消えないときは、用紙が完全に取り除かれていません。再度点検して、つまった用紙を完全に取り除いてください。
- ・紙づまりのエラー状態は、つまった用紙を取り除くと共に、紙づまりが発生したユニットやカバーを開閉することで解除されます。注意してください。
- ・用紙は破れないようゆっくりと取り除いてください。とくに、フェイスアップトレイやフェイスタウントレイの場合は、必ず左下ユニットや左上カバーを開けて取り除いてください。
- ・万一、発煙をともなう用紙づまりが発生したときは、カバーを開けずに電源スイッチを切り、電源プラグを電源コンセントから抜いて、販売店または富士通パーソナルエコーセンターまでご連絡ください。

⚠ 注意

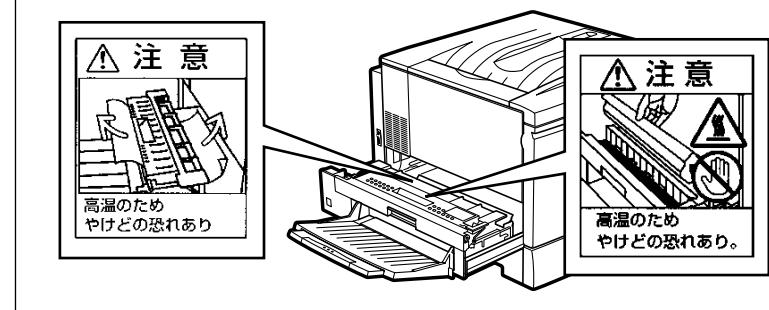
ケガ つまった用紙を取り除いたり故障処置を行ったりするときは、ネックレスやネクタイなどがプリンタ内部に巻き込まれないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

つまった用紙を取り除いたり故障処置を行うときは、プリンタの突起部分などに触れないように注意してください。ケガの原因となることがあります。

火災 つまった用紙を取り除くときは、プリンタ内部に紙片が残らないようすべて取り除いてください。紙片が残ったままになっていると火災などの原因となることがあります。

なお、定着器やローラー部に用紙が巻き付いているときには無理に取らないで、お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。

やけど「高温注意」を促すラベルが貼ってある周辺（定着器やその周辺）には、絶対に触れないでください。やけどの原因となるおそれがあります。



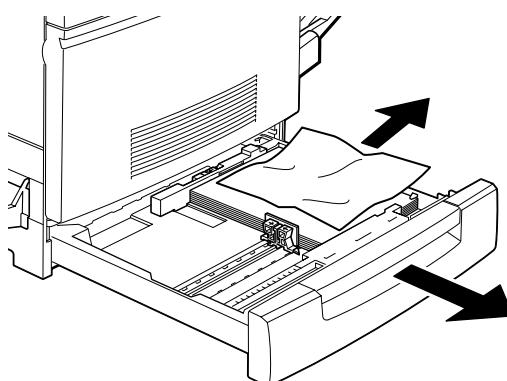
■ 紙づまりの主な原因

紙づまりには次のような原因が考えられます。紙づまりを防ぐために、以下のことにご注意ください。

- ・プリンタを水平に設置する。
- ・適切な用紙を使用する。
- ・用紙トレイや手差しトレイに用紙を正しくセットする。
- ・カールしていない用紙を使用する。
- ・用紙トレイを奥に突きあたるまで押し込む。

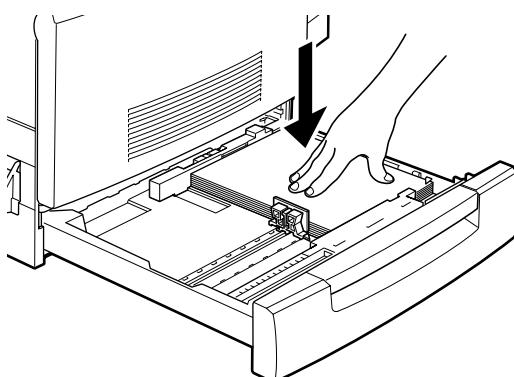
▼用紙トレイでの紙づまり

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。



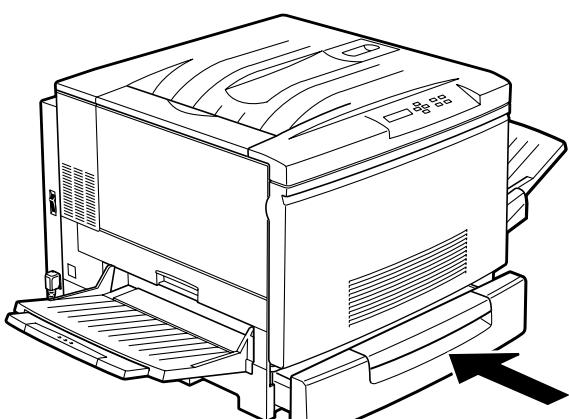
1 用紙トレイを引き出し、用紙を取り除く

用紙トレイを止まるまでゆっくり引き出し、つまっている用紙やシワになっている用紙を取り除きます。用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。



2 用紙トレイをロックする

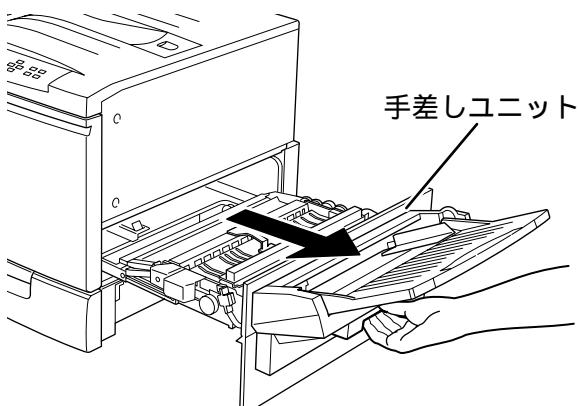
用紙トレイの金属の底板を手で下げて、上に浮き上がらないようにロックします。



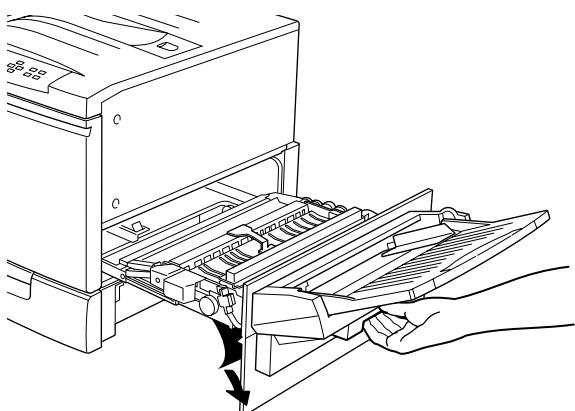
3 用紙トレイを、奥に突き当たるまでゆっくり押し込む

お願い

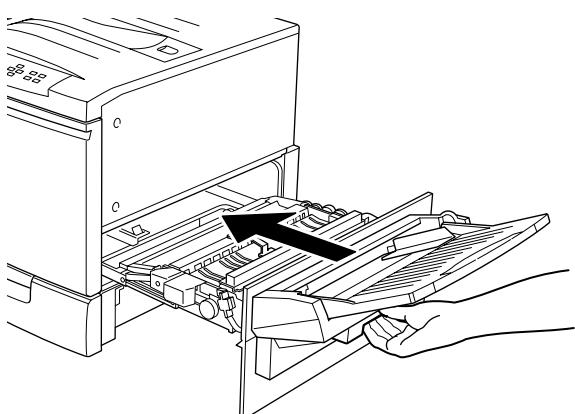
紙づまりのエラー状態は、つまった用紙を取り除いた後、紙づまりの発生したユニットまたはカバーを開閉することで解除されます。必ず、手差しユニットを開閉し確認してください。



4 手差しユニットを、止まるまでゆっくり引き出す
つまっている用紙が破れないよう
にゆっくり引き出してください。



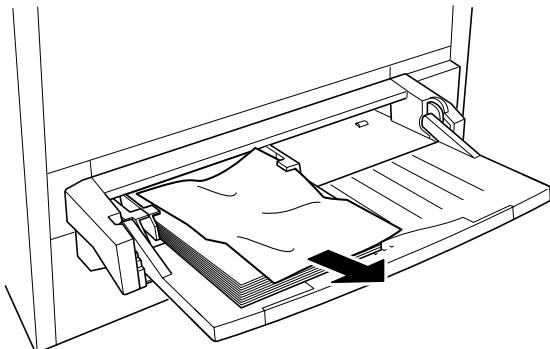
5 用紙を引き出す
手差しユニットの裏側からつ
まっている用紙を引き出して取
り除きます。



6 手差しユニットをプリン
タの奥までしっかり押し
込む

▼ 手差しトレイでの紙づまり

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。



- 1 手差しトレイからつまっている用紙を取り除く
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。

▶ お願い

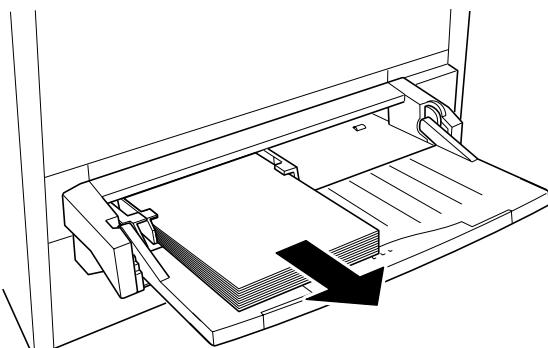
紙づまりのエラー状態は、つまった用紙を取り除いた後、紙づまりの発生したユニットまたはカバーを開閉することで解除されます。必ず、「右側面での紙づまり」の操作を行ってください。

▼ 右側面での紙づまり

次の手順に従って用紙を取り除いてください。

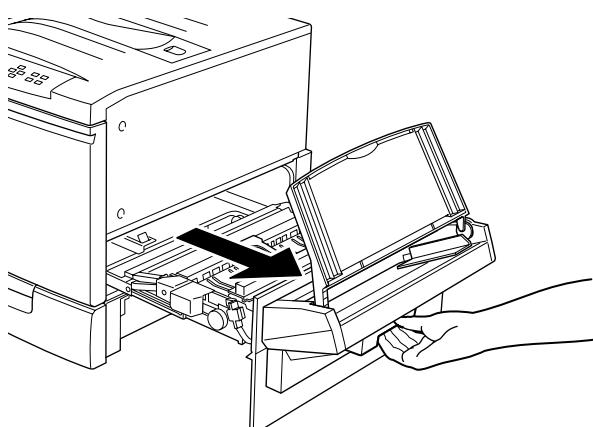


OHPフィルムをセットする向きが逆の場合は、この場所で紙づまりが発生します。OHP フィルムを使用しているときは、紙づまり除去後、OHP フィルムの向きを確認してください。

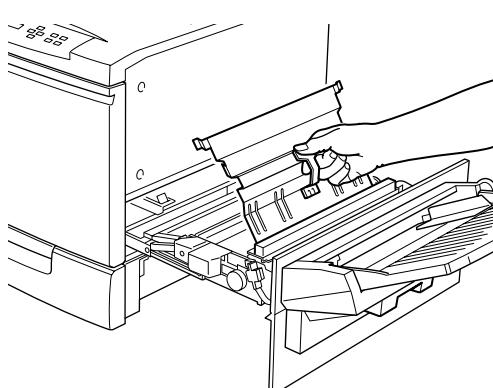


1 手差しトレイの用紙を取り除く

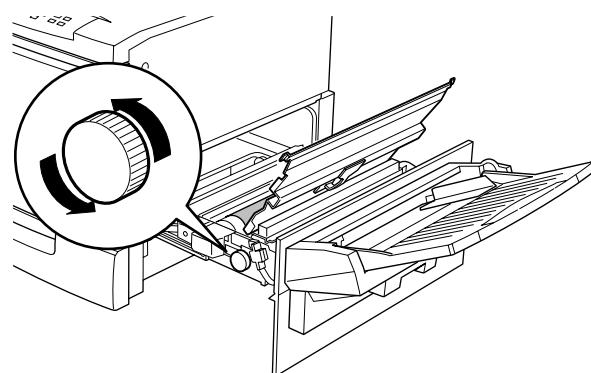
手差しトレイに用紙がセットされている場合は、用紙を取り除きます。



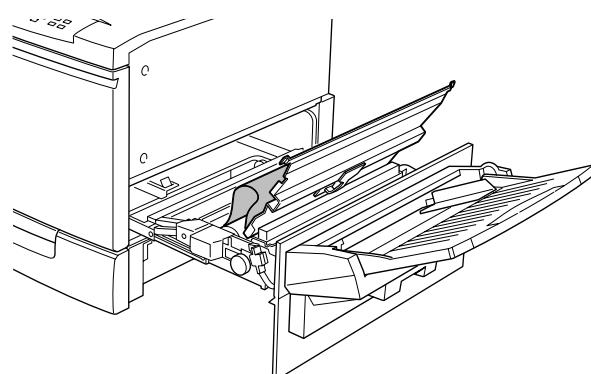
2 手差しユニットを、止まるまでゆっくり引き出す



3 緑色の取っ手を持ち上げてカバーを開く

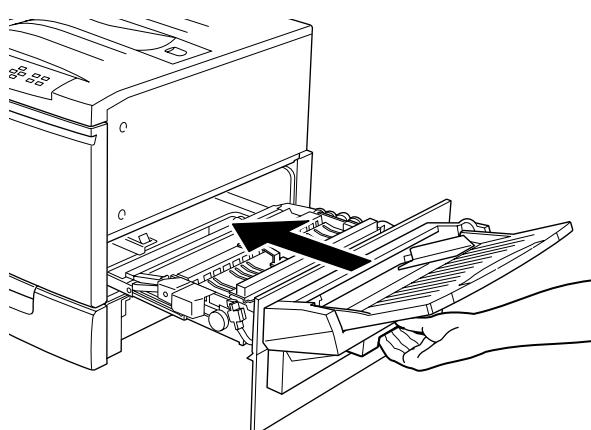


4 緑色のノブを回して、つまっている用紙を送り出す

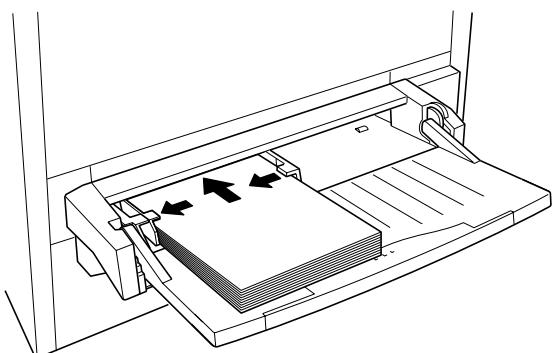


5 用紙を引き出す

用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。



6 手差しユニットを、プリンタの奥までしっかりと押し込む



7 手差しトレイに用紙をセットする

手差しトレイに用紙をセットしていた場合は用紙をセットし直します。

ガイド

- ・OHPフィルムをセットする場合は、セットする向きをもう一度確認してください。
- ・用紙は奥の壁に軽くあたるまで確実に入れてください。

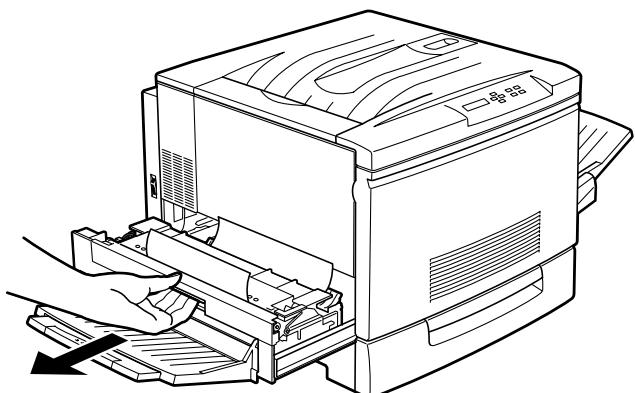
▼ 左側面（下）での紙づまり

⚠ 注意

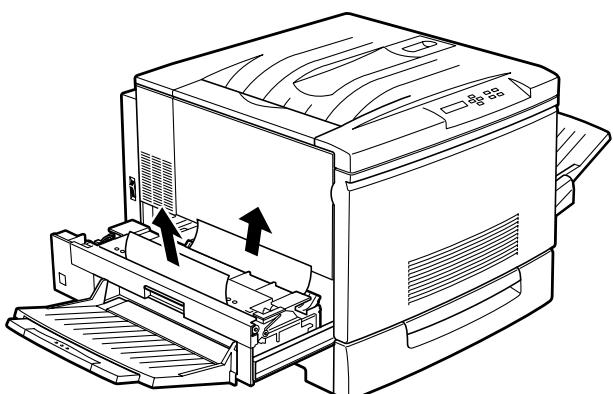
やけど 印刷した直後は、定着器が高温になっています。直接触るとやけどすることがありますので、十分に注意してください。

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

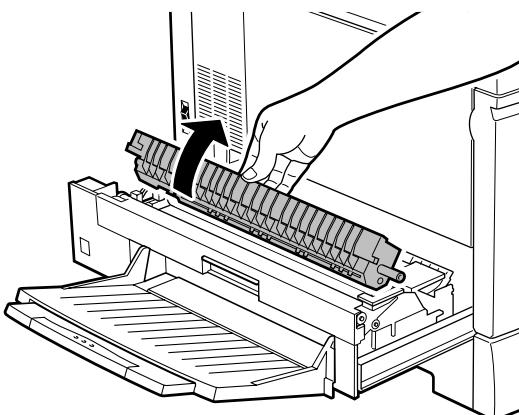
- 1 左下ユニットを、止まるまでゆっくり引き出します。



- 2 破れないように注意してつまった用紙を取り除く用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。



3 用紙が見つからない場合は、オイルロールカートリッジを取り出す

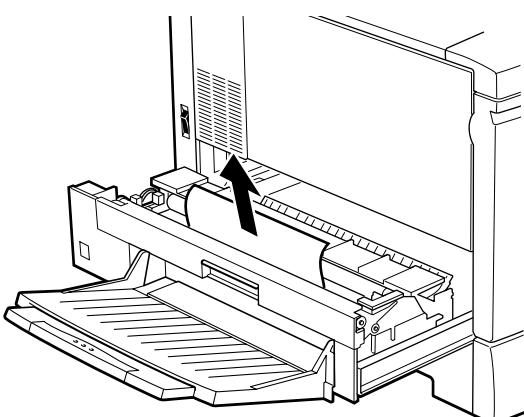


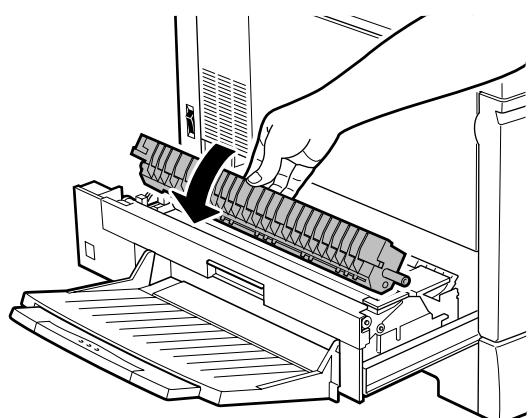
▶お願い

オイルロールカートリッジの白いロール部分に触れないでください。ここにはオイルが塗布してあります。直接触るとオイルが付着します。また、オイルロールカートリッジは、平らな場所に不要な紙などを敷いた上に水平な状態で置いてください。

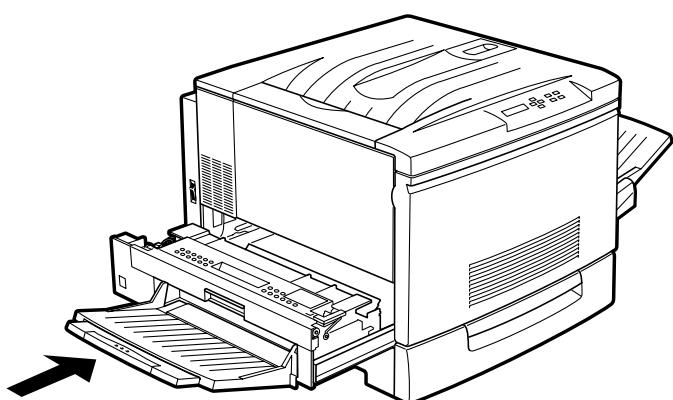
オイルロールカートリッジについての詳細は、「オイルロールカートリッジの交換」(158 ページ)を参照してください。

4 破れないように注意して、つまっている用紙を矢印の方向に取り除く
用紙が破れた場合は、中に紙片が残っていないかを確認してください。





5 オイルロールカートリッジをプリンタ内に戻す

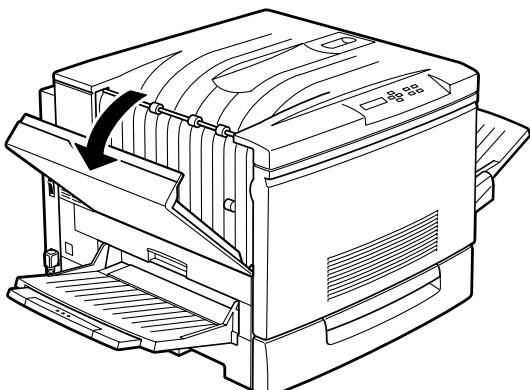


6 左下ユニットをプリンタの奥までしっかり押し込む

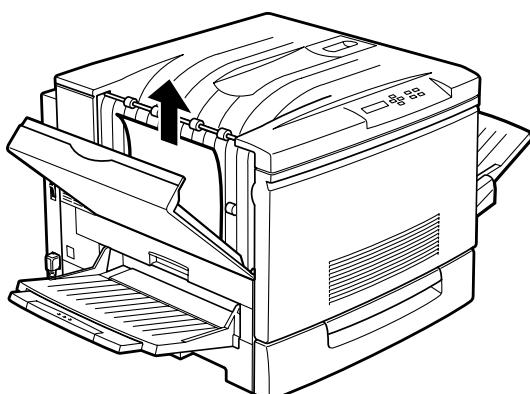
▼ 左側面（上）での紙づまり

次の手順に従って用紙を取り除いてください。

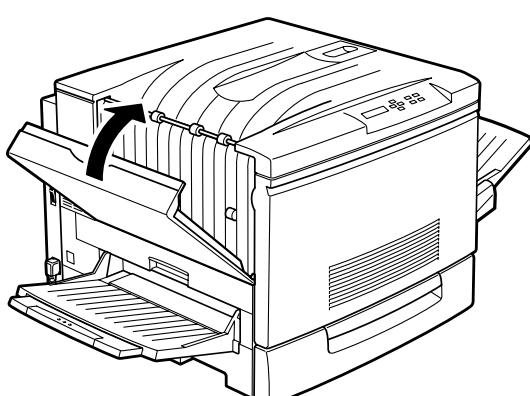
1 左上カバーを開く



2 破れないように注意して
つまった用紙を取り除く
用紙が破れた場合は、中に紙片
が残っていないかを確認してく
ださい。



3 左上カバーを閉じる



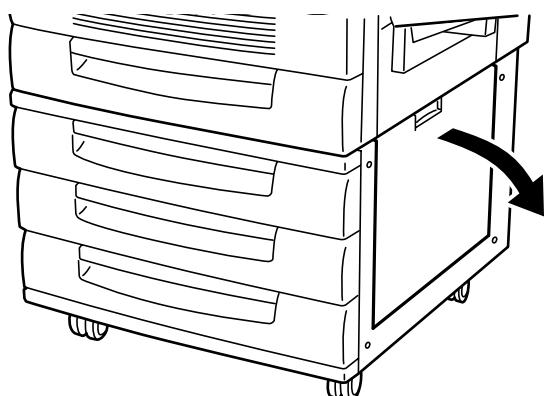
▶ お願い

紙づまりのエラー状態は、つまった用紙を取り除いた後、
紙づまりの発生したユニットまたはカバーを開閉すること
で解除されます。必ず、左上カバーを開閉してください。

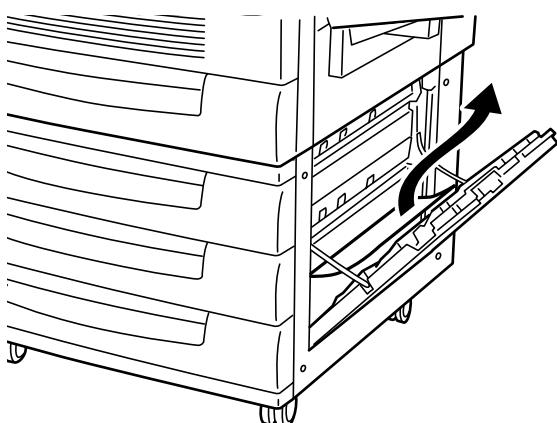
▼ 拡張給紙ユニットでの紙づまり

次の手順に従って、用紙を取り除いてください。

拡張給紙ユニットの用紙トレイでの紙づまりについては「用紙トレイでの紙づまり」(210 ページ) を参照してください。



- 1 拡張給紙ユニットの右カバーを開く



- 2 つまった用紙を取り除く
用紙が破れた場合は、中に紙片
が残っていないかを確認してく
ださい。

- 3 拡張給紙ユニットの右カバーを閉じる

▶ お願い

紙づまりのエラー状態は、つまった用紙を取り除いた後、紙づまりの発生したユニットまたはカバーを開閉することで解除されます。必ず、拡張給紙ユニットの右カバーを開閉してください。用紙を取り除いてもエラー状態が解除されない場合は、手差しユニット内部に紙づまりがないか確認してください。

〔エラー〕ランプが点灯／点滅したとき

プリンタを使用中にプリンタの〔エラー〕ランプが点灯／点滅し液晶ディスプレイにエラーメッセージが表示されます。次のように処置してください。

〔エラー〕ランプについては、「各部の名称と機能」(4ページ)を参照してください。

▼ 〔エラー〕ランプが点灯している場合

〔エラー〕ランプが点灯している場合は、紙づまりなど、お客様自身で対処可能なエラーが発生しています。ディスプレイに表示されるエラーメッセージに従って、適切な処置をしてください。



エラーメッセージの文字数がディスプレイの表示桁数を越えた場合は、画面が3秒間隔で切り替わって表示されます。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
× ×トナーカートリッジヲ	トナーカートリッジの交換時期です。	33,144
コウカンシテクダサイ	メッセージの色のトナーカートリッジを交換してください。	
× ×トナーカートリッジヲ	トナーカートリッジがセットされていません。	33
セットシテクダサイ	メッセージの色のトナーカートリッジをプリンタに確実にセットしてください。	
オイルロールカートリッジヲ	オイルロールカートリッジの交換時期です。	30,158
コウカンシテクダサイ	オイルロールカートリッジを交換してください。	
オイルロールカートリッジヲ	オイルロールカートリッジがセットされていません。	30
セットシテクダサイ	オイルロールカートリッジをプリンタ本体に確実にセットしてください。	
オーバーランエラーデス	オーバーランが発生しました。エラーの発生した	6,65,
セットキーノ オシテクダサイ	ページの一部が欠損されて印刷されます。	87,116
	[セット]キーを押してください。ドライバ設定の [ページプロテクト]を「オン」に設定しなおして 印刷してください。	

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
カミツマリ OHP サイカクニン テザシユニットヲ ヒキダス	プリンタ内でOHP フィルムがつまっています。 手差しユニットを引き出し、つまっているOHP フィルムを取り除いてください。OHP フィルムの 裏表と向きを確認して再びセットし直してください。	212,216, 219
カミツマリデス テザシ ユニットヲ ヒキダシテクダサイ	用紙トレイ 1 または手差しトレイから給紙して いるときに、プリンタ内で用紙がつまりました。 手差しユニットを引き出し、つまっている用紙を 取り除いてください。 メッセージに従って紙づまりを起こしている用紙 トレイから用紙を取り除いてください。 手差しトレイでの紙づまりが頻発するときは、給 紙口ーラを清掃してください。	210,212, 216,219 163
カミツマリ テザシユニットト トレイモジュールミギヲアケル	用紙トレイ 2 ~ 4 から給紙しているときに、プリ ンタ内で用紙がつまりました。 手差しユニットと拡張給紙ユニット右カバーを開 けて、つまっている用紙を取り除いてください。 メッセージに従って紙づまりを起こしているトレ イから用紙を取り除いてください。	220
カミツマリデス ヒダリウエ カバーヲ アケテクダサイ	プリンタ内で用紙がつまっています。 左上カバーを開け、つまっている用紙を取り除い てください。 メッセージに従って紙づまりを起こしているトレ イから用紙を取り除いてください。	219
カミツマリデス ヒダリシタ ユニットヲ ヒキダシテクダサイ	プリンタ内で用紙がつまっています。 左下ユニットを引き出し、つまっている用紙を取 り除いてください。 メッセージに従って紙づまりを起こしているトレ イから用紙を取り除いてください。	216
コノ ドラムカートリッジハ ツカエマセン ID エラー	ドラムカートリッジが不良です。 ドラムカートリッジを交換してください。	149
コノ ドラムカートリッジハ ツカエマセン ライトエラー	ドラムカートリッジが不良です。 ドラムカートリッジを交換してください。	149
システムセッティガ キエマシタ セットキーワ オシテクダサイ	NVRAM に書き込まれているシステム設定が 壊れました。 〔セット〕スイッチを押し、〔◀〕〔▶〕 スイッチで 「ハイ」を選んで、もう一度〔セット〕スイッチを 押し、NVRAM を初期化してください。	198

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
スペテノトレイニ	すべての用紙トレイに用紙がありません。	134
ヨウシガアリマセン	用紙トレイに用紙を補給してください。	
テザシトレイニ ×× OHP ヲ ホキュウシテクダサイ	OHP フィルムが手差しトレイにセットされ ていません。 手差しトレイに OHP フィルムを補給してくださ い。	140
テザシトレイニ ×× ヨウシヲ ホキュウシテクダサイ	手差しトレイに ×× の用紙がセットされて いません。 手差しトレイに ×× の用紙を補給してくださ い。	137
テザシトレイニ シティノヨウシ ヲ ホキュウシテクダサイ	パソコン側で指定した用紙と、実際にセットされ ている用紙のサイズが違っています。 (ユーザー定義サイズ時) 手差しトレイに、パソコン側で指定したサイズの用 紙をセットしてください。	137
テザシユニットヲ トジテ クダサイ	手差しユニットが開いています。 手差しユニットを確実に閉じてください。	137
トナーカイシュウカートリッジヲ コウカンシテクダサイ	廃トナーボックスの交換時期です。 廃トナーボックスを交換してください。	156
トナーカイシュウカートリッジヲ セットシテクダサイ	廃トナーボックスがセットされていません。 廃トナーボックスをプリンタ本体に確実にセット してください。	156
ドラムカートリッジヲ コウカンシテクダサイ	ドラムカートリッジの交換時期です。 ドラムカートリッジを交換してください。	149
ドラムカートリッジヲ セットシテクダサイ	ドラムカートリッジがセットされていません。 ドラムカートリッジをプリンタ本体に確実にセッ トしてください。	149
トレイNニ ×× ヨウシヲ ホキュウシテクダサイ	用紙トレイ N に ×× の用紙がセットされて いません。 用紙トレイ N に ×× の用紙を補給してくださ い。	134
トレイNヲ セットシテクダサイ	用紙トレイを指定するときに、指定された用紙 トレイがありません。 指定された用紙トレイをプリンタ本体に装着して ください。	25
トレイニ ×× ヨウシヲ ホキュウシテクダサイ	指定されたサイズの用紙を給紙する用紙トレイが ありません(給紙方法を自動選択(AUTO)に指定 している場合)。 指定されたサイズの用紙がセットされた用紙トレ イをプリンタ本体に装着してください。	25

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
トレイモジュールミギカバー	拡張給紙ユニット右カバーが開いています。	220
ヲトジテクダサイ	拡張給紙ユニット右カバーを確実に閉じてください。	
トレイヲ	用紙トレイが正しく装着されていません。	134
セットシテクダサイ	プリンタ本体に用紙トレイを装着してください。	
ヒダリウエカバーヲ	左上カバーが開いています。	219
トジテクダサイ	左上カバーを確実に閉じてください。	
ヒダリシタユニットヲ	左下ユニットが開いています。	218
トジテクダサイ	左下ユニットを閉じてください。	
フロントカバーヲ	フロントカバーが開いています。	4
トジテクダサイ	フロントカバーを確実に閉じてください。	
メモリーブソクデス	プリンタの動作に必要なメモリが不足しています。	6,64,79,
セットキーワオシテクダサイ	[セット]スイッチを押してください。ドライバ設定の「画質」を「標準(600×600dpi)」に設定しなおすか、必要なメモリを増設して印刷してください。	115,243

▼ [エラー] ランプが点滅している場合

[エラー] ランプが点滅している場合は、お客さま自身では対処できないエラーが発生しています。表示されているエラーメッセージやエラーコードを書き留め、プリンタの電源を切断し、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。

なお、「U8-1 デンゲンヲイチドキッテクダサイ」、「U8-2 デンゲンヲイチドキッテクダサイ」表示の場合は以下の表を参照してください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
U1-X デンゲンヲ イチドキッテクダサイ	プリンタが動作できなくなっているか、プリンタの動作が保証されません。	
U3-X デンゲンヲ イチドキッテクダサイ	いったん電源を切断し、再び投入します。	
U4-X デンゲンヲ イチドキッテクダサイ	それでもエラーメッセージがでる場合は、その内容をお買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	
U6-X デンゲンヲ イチドキッテクダサイ		
U8-1 デンゲンヲ イチドキッテクダサイ	印刷濃度が既定値を超えました。いったん電源を切断し、再び投入し、濃度を薄くして印刷してください。 それでもエラーメッセージがでる場合は、その内容をお買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	198
U8-2 デンゲンヲ イチドキッテクダサイ	印刷濃度が既定値より低すぎました。 「XXトナーカートリッジヲコウカンシテクダサイ」の表示が出ている状態で印刷を続けた場合に発生します。電源を切断し、メッセージにあった色のトナーカートリッジを交換して、電源を投入してください。 「XXトナーカートリッジヲコウカンシテクダサイ」の表示がない状態で発生し、いったん電源を切断し、再び投入してもエラーメッセージがでる場合は、その内容をお買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	144

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
U8-3 デンゲンヲ イチドキッテクダサイ	プリンタが動作できなくなっているか、プリンタの動作が保証されません。	
U8-4 デンゲンヲ イチドキッテクダサイ	いったん電源を切断し、再び投入します。それでもエラーメッセージができる場合は、その内容をお買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーネンターへご連絡ください。	
U8-5 デンゲンヲ イチドキッテクダサイ	定期交換部品（転写ローラ）の交換時期です。 電源を切断し、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーネンターへご連絡ください。	
U8-6 デンゲンヲ イチドキッテクダサイ	定期交換部品（ベルトクリーナ）の交換時期です。 電源を切断し、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーネンターへご連絡ください。	
U8-7 デンゲンヲ イチドキッテクダサイ	定期交換部品（定着器）の交換時期です。 電源を切断し、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーネンターへご連絡ください。	
1-X デンゲンヲ イチドキッテクダサイ	プリンタが動作できなくなっているか、プリンタの動作が保証されません。	
N6-X デンゲンヲ イチドキッテクダサイ	いったん電源を切断し、再び投入します。それでもエラーメッセージができる場合は、その内容をお買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーネンターへご連絡ください。	
N7-X デンゲンヲ イチドキッテクダサイ		

ワーニングメッセージが表示されたとき

プリンタを使用中に液晶ディスプレイの「プリント デキマス」の表示の下段にメッセージが表示されたときは、次のように処置してください。

表示メッセージ	表示内容と処置	参照ページ
プリント デキマス × × トナーカートリッジノ	メッセージの色のトナーカートリッジの交換時期です。	144
コウカンジキデス	メッセージの色の新しいトナーカートリッジを用意してください。	
プリント デキマス オイルロールカートリッジノ	オイルロールカートリッジの交換時期です。 新しいオイルロールカートリッジを用意してください。	158
コウカンジキデス		
プリント デキマス トナーカイシュウカートリッジノ	廃トナーボックスの交換時期です。 新しい廃トナーボックスを用意してください。	156
コウカンジキデス		
プリント デキマス ドラムカートリッジノ	ドラムカートリッジの交換時期です。 新しいドラムカートリッジを用意してください。	149
コウカンジキデス		
プリント デキマス サービスコール J1	定期交換部品（定着器）の交換時期です。 お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	
プリント デキマス サービスコール J2	定期交換部品（ベルトクリーナ）の交換時期です。 お買い求めの販売店または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	
プリント デキマス サービスコール J3	定期交換部品（転写ローラ）の交換時期です。 お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	
プリント デキマス サービスコール J5	プリンタ本体の交換時期です。 お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。	

故障かなと思ったとき

故障かなと思っても、故障ではないことがよくあります。

そんなとき、次の各項目を読んで確認してください。

ここで説明する処置をしても解決できない場合や、ここに示した以外の現象が起きた場合はお買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターへご連絡ください。



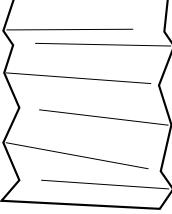
電源投入時のトラブル

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
電源が投入できない	<ul style="list-style-type: none">・プリンタの電源未投入・電源コードの抜け・停電	<ul style="list-style-type: none">・電源スイッチを確認してください。・電源コードを確実に差し込み、電源が投入（↓側）されていることを確認してください。
電源を投入してもすぐに入れる	<ul style="list-style-type: none">・コンセントに問題あり・電圧が違う・ブレーカーの定格不足	<ul style="list-style-type: none">・ほかの電気製品が動作することを確認してください。・コンセントの電圧を調べてください。・ブレーカーの定格を調べてください。 <p>参照：「安全上のご注意」((2) ページ) 「電源コードの接続」(46 ページ) 「電源の投入と切断」 (132 ページ)</p>

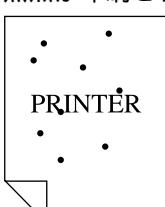
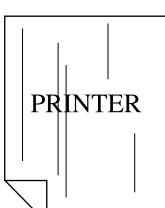
▼ 印刷に関するトラブル

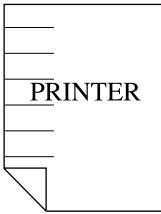
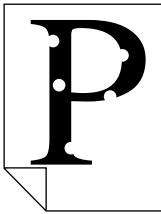
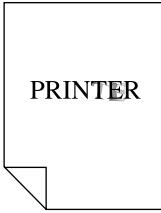
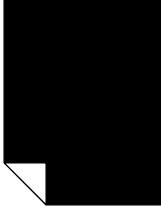
こんなとき	よくある例	ここをお調べください
印刷しない	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの電源未投入 ・プリンタケーブルが抜 けている ・プリンタケーブルが仕 様に合っていない ・オンライン状態でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタケーブルが外れていないか確 認してください。 ・〔オンライン〕ランプが点灯し、『プリ ント デキマス』と表示されているこ とを確認してください。 参照：「プリンタケーブルについて」 (9ページ) 「パソコンとの接続」 (44ページ) 「電源の投入と切断」 (132ページ) 「オンライン状態とオフライン状 態を切り替える」(177ページ)
エラーメッセージが 表示され、印刷され ない		<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの状態をよく確認し、適切な 処置を取ってください。 <p>参照：「〔エラー〕ランプが点灯 / 点滅し たとき」(221ページ)</p>
印刷を実行しても 〔処理中〕ランプが 点灯したまま、点滅 しない	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタケーブルが抜 けている ・パソコン側の設定が正 しくない 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタの電源をいったん切断(○ 側)し、プリンタケーブルの接続を 確認してください。 ・プリンタドライバが正しくインストー ルされているか確認してください。 参照：「パソコンとの接続」(44ページ) 「プリンタドライバのインストー ルと設定」(49ページ)
〔処理中〕ランプが 点灯または点滅した まま、排紙されない	・プリンタ内にデータが 残っている	<ul style="list-style-type: none"> ・プリントを中止するか、残っている データを強制排出してください。 参照：「未印刷データを強制的に印刷す る」(179ページ)

▼ 用紙に関するトラブル

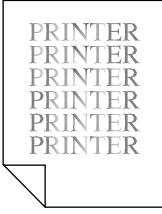
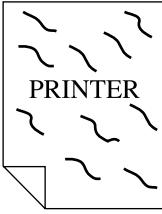
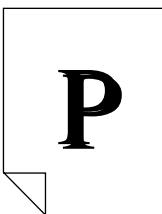
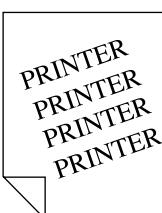
こんなとき	よくある例	ここをお調べください
用紙が傾く、外れる、破れる、つまる シワがつく	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙が正しくセットされていない ・用紙が適切でない ・プリンタが水平でない ・用紙がつまっている 	<ul style="list-style-type: none"> ・それぞれの状態をよく確認し、適切な処置を取ってください。 参照：「安全上のご注意」((2) ページ) 「用紙について」(13 ページ) 「用紙のセット」(134 ページ) 「紙づまりになったとき」(208 ページ) 「給紙ローラの清掃」(163 ページ)
用紙が二重送りされる	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙どうしがくっついてしまう 	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙をよくさばいてください。 ・ラベル紙の場合は1枚ずつセットして印刷してください。
用紙にシワがつく	<p>使用している用紙が適切ではありません。</p> 	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な用紙をセットしてください。
	用紙が湿気を含んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい用紙に交換してください。
	用紙のセットが適切ではありません。	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙を正しくセットしてください。
		<ul style="list-style-type: none"> 参照：「用紙のセット」(134 ページ)

▼ 印刷品質に関するトラブル

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
裏面が汚れる	プリント内の用紙搬送路 が汚れている	<ul style="list-style-type: none"> ・数枚テスト印刷してください。汚れの薄れ具合で、汚れがとれたかどうか判断してください。 <p>参照：「設定値を変える」(181 ページ) 「プリンタの清掃」(162 ページ)</p>
		
印刷がうすい (かすれる、不鮮明)	<p>用紙が湿気を含んでいます。</p> <p>使用している用紙が適切ではありません。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。</p> <p>トナーカートリッジ内にトナーがありません。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい用紙に交換してください。 <p>参照：「用紙のセット」(134 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・適切な用紙をセットしてください。 <p>参照：「用紙について」(13 ページ) 「用紙のセット」(134 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいドラムカートリッジに交換してください。 <p>参照：「ドラムカートリッジの交換」(149 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいトナーカートリッジに交換してください。 <p>参照：「トナーカートリッジの交換」(144 ページ)</p>
		
黒点が印刷される	<p>使用している用紙が適切ではありません。</p> <p>ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。</p>	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な用紙をセットしてください。 <p>参照：「用紙について」(13 ページ) 「用紙のセット」(134 ページ)</p> <ul style="list-style-type: none"> ・新しいドラムカートリッジに交換してください。 <p>参照：「ドラムカートリッジの交換」(149 ページ)</p>
		
黒線が印刷される	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいドラムカートリッジに交換してください。 <p>参照：「ドラムカートリッジの交換」(149 ページ)</p>
		

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
	等間隔に汚れる PRINTER	プリンタ内の用紙搬送路 が汚れています。 ・数枚テスト印刷して、汚れの薄れ具合で 汚れがとれたかどうか判断してください。 参照：「設定値を変える」(181 ページ)
	黒く塗りつぶさ れた部分に白点 がある	ドラムカートリッジが劣 化、または損傷していま す。 ・適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(13 ページ) 「用紙のセット」(134 ページ)
	指でこするとト ナーがかずれる	ドラムカートリッジが劣 化、または損傷していま す。 用紙の表裏が逆にセット されています。 ・新しいドラムカートリッジに交換してく ださい。 参照：「ドラムカートリッジの交換」 (149 ページ) ・適切な印刷面をセットしてください。 参照：「用紙のセット」(134 ページ)
	用紙全体が黒く 印刷される	用紙が湿気を含んでいま す。 使用している用紙が適切 ではありません。 厚紙を使用しています。 ・新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(134 ページ) ・適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(13 ページ) 「用紙のセット」(134 ページ) ・設定を厚紙にしてください。
		ドラムカートリッジが劣 化、または損傷していま す。 ・新しいドラムカートリッジに交換してく ださい。 参照：「ドラムカートリッジの交換」 (149 ページ)
		プリンタ内の高圧電源な どの故障が考えられます。 ・お買上げの販売店または富士通パーソナル エコーモンターにご連絡ください。

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
何も印刷されない	ドラムカートリッジの保護シートが完全に引き抜かれていません。	・保護シートをはがします。 参照 :「ドラムカートリッジの交換」(149ページ)
	一度に複数枚の用紙が搬送されています。	・用紙をいったん取り出し、よくさばいてから再度セットしてください。 参照 :「用紙のセット」(134ページ)
トナーが残っていません。	トナーカートリッジにトナーが残っていません。	・新しいトナーカートリッジに交換してください。 参照 :「トナーカートリッジの交換」(144ページ)
白抜けが起こる	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照 :「ドラムカートリッジの交換」(149ページ)
	プリンタ内の高圧電源などの故障が考えられます。	・お買上げの販売店または富士通パーソナルエコーモンターにご連絡ください。
PRINTER PRINTER	用紙が湿気を含んでいます。	・新しい用紙に交換してください。 参照 :「用紙のセット」(134ページ)
	使用している用紙が適切ではありません。	・適切な用紙をセットしてください。 参照 :「用紙について」(13ページ) 「用紙のセット」(134ページ)
	ドラムカートリッジの保護シートが完全に引き抜かれていません。	・保護シートをはがします。 参照 :「ドラムカートリッジの交換」(149ページ)

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
文字がにじむ	使用している用紙が適切ではありません。	<ul style="list-style-type: none"> ・適切な用紙をセットしてください。 参照：「用紙について」(13ページ) 「用紙のセット」(134ページ)
	用紙が湿気を含んでいます。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しい用紙に交換してください。 参照：「用紙のセット」(134ページ)
	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照：「ドラムカートリッジの交換」(149ページ)
不要なトナーがつく	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照：「ドラムカートリッジの交換」(149ページ)
		
太い文字に影が出る	ドラムカートリッジが劣化、または損傷しています。	<ul style="list-style-type: none"> ・新しいドラムカートリッジに交換してください。 参照：「ドラムカートリッジの交換」(149ページ)
		
斜めに印刷される	用紙トレイのガイドクリップが正しい位置にセットされていません。	<ul style="list-style-type: none"> ・縦横のガイドクリップを正しい位置にセットしてください。 参照：「用紙のセット」(134ページ)
		

▼ その他のトラブル

こんなとき	よくある例	ここをお調べください
オペレータパネルの スイッチがときどき 機能しない	・スイッチを確実に押し ていない	・スイッチのまん中をしっかり押してください。 参照：「オペレータパネルを操作する」 (177 ページ)
異常音がする	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内部に用紙くずやクリップなどの異物がある ・用紙トレイの装着が不完全 ・プリンタの設置場所が水平でない 	<ul style="list-style-type: none"> ・プリンタ内部を点検してください。 ・用紙トレイを完全に装着してください。 参照：「用紙のセット」(134 ページ) 「紙づまりになったとき」 (208 ページ) ・プリンタを安定した平面の上に移動してください。

留意事項



フロッピーディスクの「Readme95.txt」「Readment.txt」「Readme2K.txt」の留意事項も併せてお読みください。



品質に関する留意事項

項目名	注意制限	対処方法
はがき品質	はがき出力で厚紙を指定しない場合、本来の品質より落ちることがあります。	はがき出力時はドライバで「厚紙」を指定してください。
写真画像の品質	写真画像の場合、コントラストを上げたほうが、品質がより良くなることがあります。	一概にはいえませんが、画面で見た感じあまりはっきりしない画像の場合、ドライバでコントラストを10～15程度になると、くっきりして品質が良くなることがあります。
推奨スクリーン	スクリーンの指定によっては、本来の品質より落ちることがあります。スクリーンの指定を変えても、品質が変わらないことがあります。	各種文書での推奨スクリーンは、以下の通りです。 文字文書 文字写真または文字写真文書 文字写真 グラフィック文書（通常） 文字写真 グラフィック文書（グラデーション系） 写真 文字、写真、グラフィック混合文書 文字写真 OHP文書 写真
ビットマップではりつけられた場合の文字品質	ビットマップではりつけられた文字の場合、文字がきれいに印字されないことがあります。	ビットマップではりつけられた文字の場合は文字モードで出力してください。ただし、写真に文字をはりつけたような画像の場合、写真部分の品質は悪くなることがあります。
写真モード時の写真品質	スクリーンで写真を指定すると、イメージが全体的に黄色がかった色合いになることがあります。	スクリーンを文字写真にして出力してください。

項目名	注意制限	対処方法
グレー品質	ディスプレイでは、グレーで表示されているのに、出力結果が、色みがかったグレーで表現されることがあります。	アプリケーション側がグレーの指定をカラーの値で与える場合、プリンタは4色でグレーを表現します。このため、色みがかったグレーで表現されることがあります。 アプリケーション側がグレーの指定をモノクロの値で与える場合には、黒単色で表現されるため、正確なグレーで表現されます。 グレーがどちらの値で指定されるかは、アプリケーションにより異なります。
スムージング ON 時の品質	スムージングを ON にすると、グラデーションの部分などで本来の品質より悪くなることがあります。	スムージングを OFF にしてください。
あざやかな色(原色系)の再現	あざやかな色(水色、黄緑、ピンク等)が、ディスプレイと異なって再現されることがあります。	カラー補正で速度優先を指定してください。 ただし、ディスプレイの色とはかなり異なって印字されることがあります。
細線の品質	カラー(特に中間色)の細線を印字すると、薄くなり、本来の品質がより悪くなることがあります。	細線は、濃いめの色で指定してください。
貼り付け画像の品質	EPS 等の画像データをはりつけた場合、印字結果が粗くなることがあります。	Photoshop 等で貼り付け画像を TIFF 等のフォーマットに変換して貼りつけてください。

項目名	注意制限	対処方法
「画質」(解像度)、「スクリーン」、「特定のグラフィックスを忠実に再現」の設定による色再現の違い	「画質」(解像度)、「スクリーン」、「特定のグラフィックスを忠実に再現」の設定を変更すると同じ画でも色合いが変わることがあります。	ディスプレイでは同じように見える色でも使用するアプリケーションにより、プリンタ側に渡されるカラーの値が異なることがあります。プリンタ側では、アプリケーションごとに色変換処理を変えていないので、印字結果が異なることがあります。 MS 系のアプリケーションでは、比較的忠実に再現されますが、他のアプリケーションでは、茶色や紫が赤みがかって、ピンク色や赤紫色になって印字されることがあります。
「アプリケーションによる色再現の違い」	ディスプレイでは、同じように見える色でも、アプリケーションにより印字結果が異なることがあります。	ディスプレイでは同じように見える色でも使用するアプリケーションにより、プリンタ側に渡されるカラーの値が異なることがあります。プリンタ側では、アプリケーションごとに色変換処理を変えていないので、印字結果が異なることがあります。 「画質」(解像度)、「スクリーン」、「特定のグラフィックスを忠実に再現」の設定により、色変換処理が変わるために、「特定のグラフィックスを忠実に再現」は、文字やグラフィックスの印刷では「オン」に、写真の印刷では「オフ」に設定してください。但し、文字やグラフィックスの印刷で、ディスプレイでの表示と印刷結果が異なる場合は、「特定のグラフィックスを忠実に再現」を「オフ」に設定してください。

▼ プリンタに関する留意事項

項目名	注意制限	対処方法
手差しトレイでの用紙サイズ不一致エラー	<p>ドライバから設定する用紙サイズと実際にセットされた用紙が異なる場合、トレイ給紙では、給紙する前に用紙サイズ不一致を検知し、正しい用紙を補給するようエラー表示されます。ただし手差し給紙の場合、手差しは用紙サイズ検知ができないため、実際に給紙し、印刷された後に用紙サイズ不一致のエラー（テザシトレイニ XX ョウシヲホキュウシテクダサイ、テザシトレイニシティノヨウシヲホキュウシテクダサイ）が検出されます。</p> <p>この場合、その検知に以下の制約があります。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・1～4ページもののジョブでは用紙サイズ不一致のエラー検知がされずに、正常終了することがあります。（エラーメッセージが出ません。） ・5ページ以上のジョブは、2～4枚印刷後に、そのエラーを検出されることがあります。 	
画像調整モード	<p>20シートに1枚、画像調整モードに入るため、その際には印刷動作は中断され、パフォーマンスが低下します。そのときのLCD表示はプリント中（「プリントシティマス」）の表示をします。</p> <p>また、この調整モードはトナーが少量になるほど、調整モードの時間が長くなります。 (約20秒～10分)</p>	ワーニングメッセージが表示されたら、すぐにトナーカートリッジを交換してください。



プリントドライバに関する留意事項

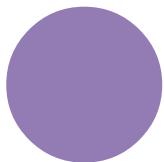
項目名	注意制限	対処方法
ダイアログ表示	表示解像度 VGA (640 × 480 dpi) では、ダイアログドライバーウィンドウ全体を表示できません。	できるだけ 800 × 600dpi 以上の解像度で使用してください。
A5 から A3 への拡大率の表示が 199% (Windows95/98)	A5 から A3 への拡大率は 200 %ですが、XL-C3000 は内部演算結果の 199% をそのまま表示するため「199%」と表示しています。	
プリンタ搭載フォントが、フォント置き換えテーブルに表示されない (Windows95/98)	XL-C3000 では、MS 互換フォントを使用しているため、置き換えの必要がありません。したがってプリンタ搭載フォントは「フォント置き換えテーブル」に表示されません。	
イメージ調整プレビュー	イメージ調整プレビューは、256 色表示の場合 16 色で表示されます。High Color 以上の場合には 256 色表示となります。	できるだけきれいにイメージ調整プレビューを表示させるために、High Color 以上で使用してください。
「特定のグラフィックスを忠実に再現」	「特定のグラフィックスを忠実に再現」をチェックせずに、プレゼンテーション・Draw / Adobe(Photoshop を除く) 系のアプリケーションを使用した場合、紫 茶、オレンジ 黒、青 赤など補色でプリントアウトされる場合があります。	印刷結果で、画面上では、黄色で作成したものが青色になったり、紫 茶、オレンジ 黒、青 赤に出力される場合は、「特定のグラフィックスを忠実に再現」をチェックしてください。

項目名	注意制限	対処方法
セントロ接続での タイムアウト	<ul style="list-style-type: none"> CorelDraw/Designer/ Photoshop/一太郎などで 印刷をする場合、PC側の処 理能力によって、連続して 印刷処理を行えない場合が あります。この場合、プリ ンタ側でタイムアウトを起 こし、次のようなトラブル が発生することがあります。 WPL の印字途中で、TEXT になってしまう。 文字化けのような出力およ び白紙が出力される。 	CorelDraw/Designer/一太郎 / Photoshop などで出力に時間の かかると思われる場合にはタイ ムアウトを「しない」にしてく ださい。ただし、内容によって は出力が終わるまでに数時間か かるものもあります。初期設定 は「しない」となっています。
細線が正しく印刷 されない (特に高品質)	<p>カラー文書で細線の色が異な ってしまうことがあります。 または、<u>細線が再現されない</u> <u>ことがあります。</u></p>	<p>このような場合には、</p> <ul style="list-style-type: none"> 細線は太めで使用してください。 品質を標準で印刷してください。 黄色(特に白背景での)の線 は、できるだけ他の色を使用 することをお勧めします。 <p>ヘアライン設定(1DotLine)では、再現しているが見えない場 合があります。また、濃色背景 での黒では、異なる色に見える 場合があります。</p> <p>プレビューとは異なりますが、 内部処理ではアプリケーション の指定どおり印刷しています。</p>
シェード・線種が 正しく印刷されな い(特に高品質)	<p>高品質では、シェードおよび 線種が、プレビューとは異なる 場合があります。</p> <p>たとえば、線種が再現され ない、シェードが細かいこと があります。</p>	標準で印刷してください。
薄い文字色 / 背景 色が正しく印刷さ れない	黄色、銀色などで薄い色(20 %程度)が再現されないこと があります。	<p>銀色など、薄い色については、 濃度を濃い目で使用してく ださい。</p> <p>黄色(特に白背景での)は、で きるだけ他の色を使用すること をお勧めします。</p>

項目名	注意制限	対処方法
プレビューと文字位置・改行位置が異なる	プレビューと文字位置・改行位置などが異なる場合があります。	常に True Type で印刷を選択してください。 「プリンタフォントで置き換える」では、表示解像度とプリント解像度の違いから、合わない場合があります。
はがき設定	ハガキサイズを選択した場合に厚紙は連動していません。	官製はがきを使用する場合は、用紙種類を厚紙に設定してください。
システム外フォント	使用している PC に搭載されていないフォントを使用したドキュメントでは、アプリケーションによって <ul style="list-style-type: none"> ・文字属性が再現されない ・文字が化ける ・文字が抜ける 場合があります。	「常に TrueType フォントを使う」を選択してください。 可能な場合には、パソコンに搭載されているフォントに変更することをお勧めします。
アプリケーション（もしくはドライバの設定）がドライバ（もしくはアプリケーション）設定に反映されない	アプリケーションの設定が、ドライバに反映しない場合があります。 ドライバの設定がアプリケーションに反映しない場合があります。	ドライバ側で設定を再度行ってください。 それでも行えない場合は、いったんアプリケーションを閉じて、設定 プリンタ プロパティで設定した後再度アプリケーションを起動してください。
MS-Word6/7 の下線、2重下線などが正しく印刷されない	下線、2重下線などの文字修饰や文字位置がプレビューと異なることがあります。	フォントタブの「常に TrueType フォントを使う」で印刷してください。
MS-Excel5/7 で A3 領域全部を印刷できない	A3,600dpi では、A3 領域全部を印刷できない場合があります。	アプリケーション固有の問題です。
Illustrator4.1j で作った文書が印刷できない	600dpi 以上で印刷できない場合があります。	300dpi で印刷してください。 Illustrator4.1j は、600dpi のデバイスには、正式対応していないためです。
ATOK	PC98 機で ATOK を使用している場合、プリンタ設定ができない場合があります。	その場合他の FEP を一度選択後、再度 ATOK に切り替えることで、正常に設定できるようになります。 または、起動時は ATOK 以外の FEP を有効にしてください。

第10章

プリンタRAMモジュールの取り付け



本プリンタのオプションには、プリンタRAMモジュール、拡張給紙ユニット、プリンタキャビネットなどがあります。ここでは、プリンタRAMモジュールの取り付けかたについて説明します。その他のオプションは、各オプション品に添付されている取扱説明書を参照して行ってください。

プリンタRAMモジュールの取り付け上のご注意	244
RAMモジュールの取り付けかた	244
RAMモジュールを取り付ける	245
RAMモジュールを取り外す	249

プリンタ RAM モジュールの取り付け上のご注意

メモリを増設するための RAM モジュールを取り付けるときは、次のこ
とがらを守ってください。



感電 RAM モジュールを接続する場合には、当社推奨品以外
は接続しないでください。火災や感電または故障の原因
となります。



けが RAM モジュールの取り付け、取り外しを行う際は、指
定された場所以外のネジは外さないでください。
指定された場所以外のネジを外すと、ケガの原因または
故障の原因となることがあります。

RAM モジュールの取り付けかた

RAM モジュールの取り付け、取り外しについて説明します。



感電 RAM モジュールを取り付けおよび取り外すときは、電
源スイッチが「**」側に倒れていることを確認してく
ださい。
電源を切らずに作業すると、感電または故障の原因とな
ります。**



静電気によって RAM モジュールが破壊されないように、
次の点にご注意ください。

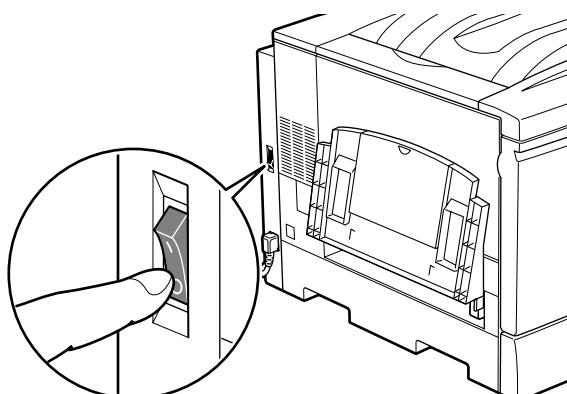
- ・本プリンタに取り付ける直前まで、袋から RAM モ
ジュールを取り出さないでください。
- ・RAM モジュールに触れる前に、金属製のもの(ロッカー
など)に触れて、人体の静電気を取り除いてください。
- ・RAM モジュールを持つときは、必ず RAM モジュールの
端を持ってください。RAM モジュールの電気回路部品
および配線部分に手を触れないでください。

▼ RAM モジュールを取り付ける

32MB の RAM モジュールを 1 枚取り付けることができます。

▶ お願い

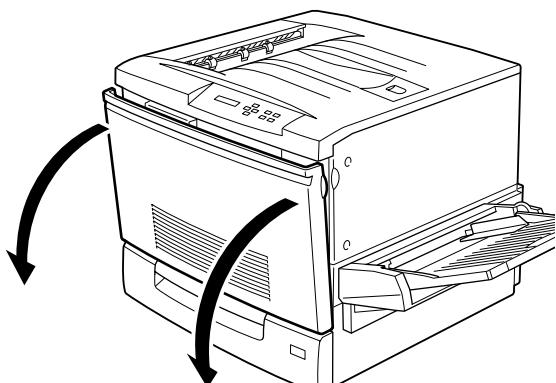
RAM モジュールを増設すると、パソコン側から印刷指示する際にプリンタドライバで総メモリ量を設定する必要があります。プリンタドライバの設定方法については、ヘルプを参照してください。

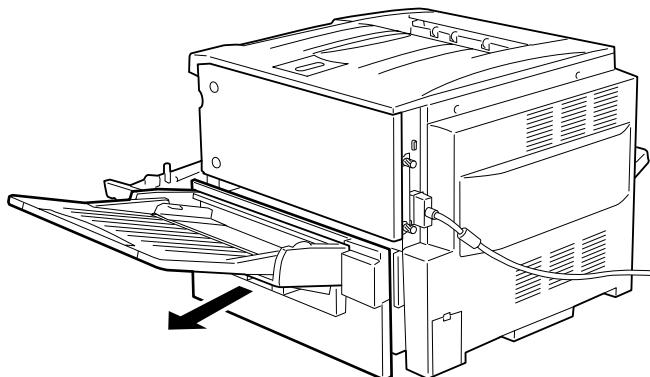


1 電源を切断する

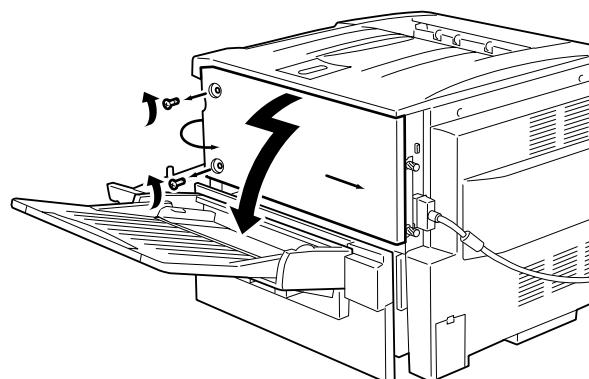
プリンタ本体左側面にある電源スイッチの「○」側を押し、電源を切ります。

2 フロントカバーを開ける

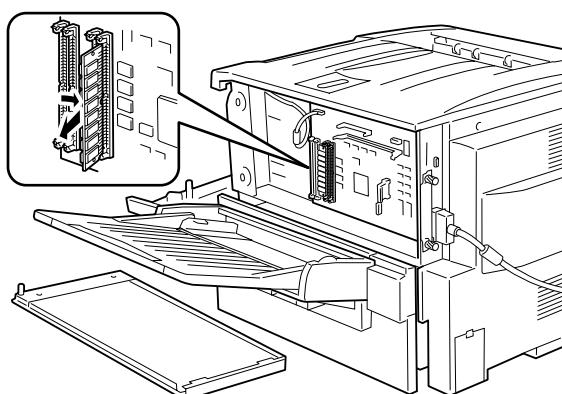




3 手差しユニットを10cm以上引き出す



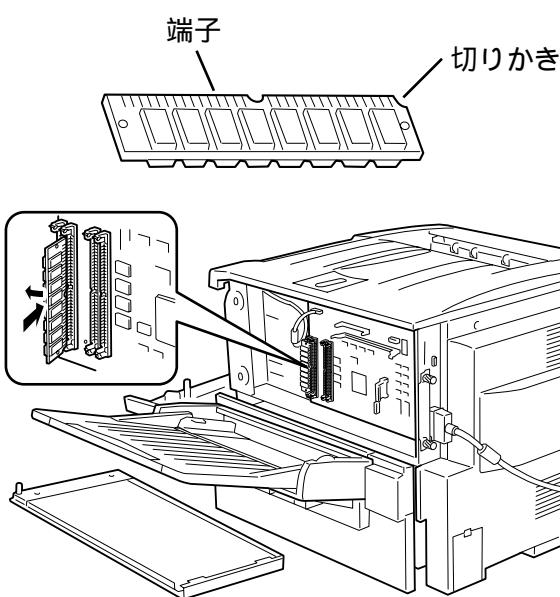
4 右側面のカバーを開ける
図のようにプリンタ右側面のカバーのネジ2ヶ所をゆるめ、カバーを開けます。
カバーの左側を持ち、手前に少し開きます。
カバー全体を右にずらしては
ずします。



5 右側のスロットより標準RAMモジュールを取り外す
標準RAMモジュールの両側をとめているバネを指で開き、標準メモリを右側に起してから引き抜きます。

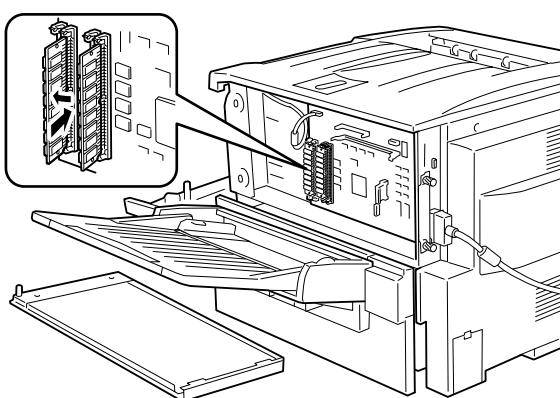
端子

切りかき



6 RAMモジュールを左側のスロットに取り付ける

RAMモジュールは切りかき部分を下にして、回路部分などに手を触れないように端を持ち、スロットに差し込みます。しっかり差し込めたら左側に倒し、ロックします。

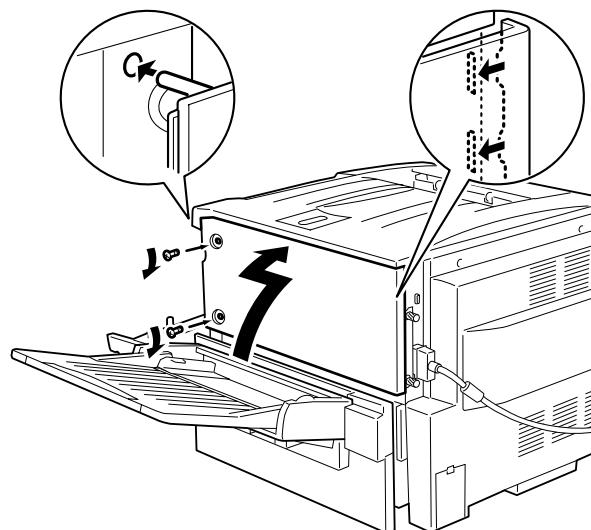


7 標準RAMモジュールを右側のスロットに取り付ける

標準RAMモジュールを右側のスロットに手順6と同様の方法で取り付けます。

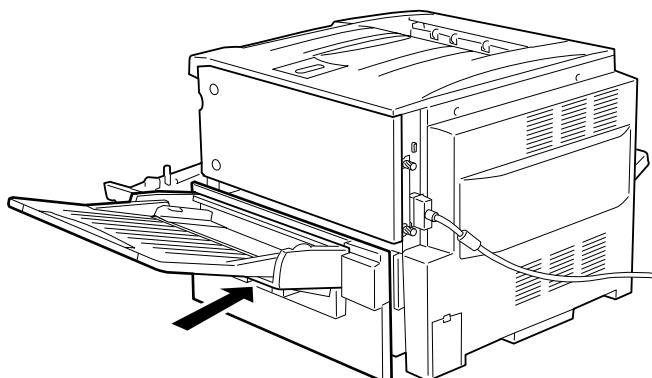
お願い

- ・プリンタ本体の基板には触れないでください。故障の原因となることがあります。
- ・RAMモジュールを左側のスロットに取り付けた後、必ず、標準RAMモジュールを右側のスロットに取り付けてください。左側にのみRAMモジュールを取り付けても、メモリは認識されません。

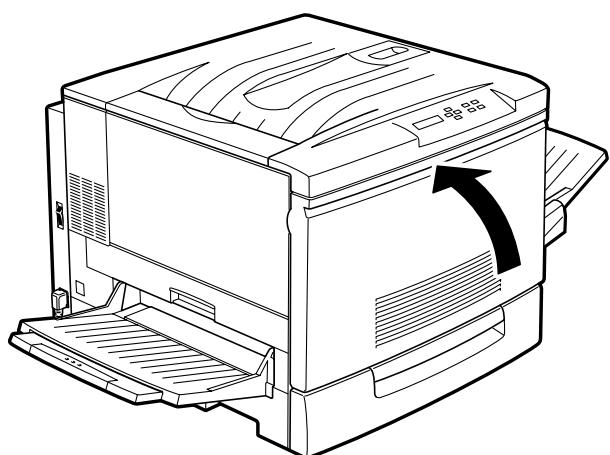


8 右側面のカバーを元に戻す

右側面カバーのフックをプリンタ本体の溝に引っかけます。次にカバー内側の突起とプリンタ本体の穴の位置を合わせてカバーを閉じ、ネジ2ヶ所を開めます。(4の手順を逆に実行してください)



9 手差しユニットを、プリンタの奥までしっかりと押し込む。



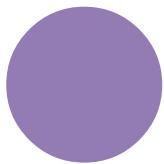
10 フロントカバーを閉め、電源を入れる

▼ RAM モジュールを取り外す

右側のスロットより標準RAMモジュールを取り外し、左側のスロットよりRAMモジュールを取り外した後、右側のスロットに標準RAMモジュールを取り付けます。

右側面カバーの外しかたや取り付けかた、RAMモジュールのスロットへの取り付けかた、RAMモジュールのスロットからの取り外しかたは、「RAMモジュールを取り付ける」(245ページ)を参照してください。

付録



ここでは、プリンタを使用する際に補助的に必要となることがらについて説明します。

プリンタの仕様	252
基本仕様	252
インターフェース仕様	253
保守・サービス	256
プリンタドライバのダウンロードサービス ..	256
アフターサービスについて	256
サプライ用品担当窓口一覧	257
お問い合わせチェックシート	259

プリンタの仕様



基本仕様

以下に、本プリンタの仕様を示します。

印刷方式	電子写真方式
印刷速度(最大コピー)	普通紙 モノクロ : 16 枚 / 分、カラー : 4 枚 / 分 (A4 サイズ) OHP/厚紙 モノクロ : 2.7 枚 / 分、カラー : 1.8 枚 / 分 (A4 サイズ)
ウォームアップタイム	電源投入後、300 秒以内 (22°、定格電圧にて)
エンジン解像度	600dpi × 600dpi
用紙サイズ	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙トレイ : A3、B4、A4、B5、リーガル、レター、レジラー ・手差しトレイ : 幅 90 ~ 330.2mm 長さ 139.7 ~ 457.2mm
給紙方式	<ul style="list-style-type: none"> ・用紙トレイによる自動給紙 (収容枚数 250 枚、拡張給紙ユニットを使用時 250 枚 × 4 段) ・手差しトレイによる自動給紙 (収容枚数 150 枚)
排紙方法	<ul style="list-style-type: none"> ・フェイスダウントレイ 250 枚 ・フェイスアップトレイ 150 枚 (A4 以下) / 50 枚 (A4 より大きいサイズ)
使用環境条件	温度 10 ~ 32°、湿度 15% ~ 85%RH(ただし結露しないこと)
電源・電源周波数	AC100 ± 10%、50/60 Hz
消費電力	最大時 1100 W 以下、節電時 25 W
騒音	待機時 39dB(A)、動作時 55dB(A)
外形寸法	幅 728mm、奥行き 641mm、高さ 490mm (手差しトレイ、フェイスアップトレイ折りたたみ時)
重量	約 69.5kg (消耗品を含む)
インターフェース	IEEE 1284 双方向パラレルポート
プリンタシーケンス	Windows プリンタドライバ (WPL 言語)
文字・書体	日本語フォント (4 書体): FX リヨービ本明朝 -L、FX リヨービゴシック -B、 FX リヨービ P 本明朝 -L、 FX リヨービ P ゴシック -B
	欧文フォント (15 書体): <ul style="list-style-type: none"> ・ Arial (Bold, Italic, Bold Italic) ・ Courier New (Bold, Italic, Bold Italic) ・ Times New Roman (Bold, Italic, Bold Italic) ・ Century ・ Symbol ・ Wingdings
耐用期間 ^{*1}	5 年(8 時間 / 日)または 18 万枚印刷(A4 縦送り)

* 1 モノクロ : カラー = 1 : 1 で印刷した場合。

● ガイド

- ・耐用期間は、プリンタの設置環境・使用頻度により大幅に変動します。
- ・24時間運用の場合は、耐用期間は5年より短くなります。
- ・A4より大きく長い用紙やカラー印刷の量が多い場合は、耐用期間は18万枚より短くなります。
- ・耐用期間中でも次の部品は磨耗するため、交換することをお勧めします。部品の交換は、お買い上げの販売店または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。なお、部品の交換は有償です。

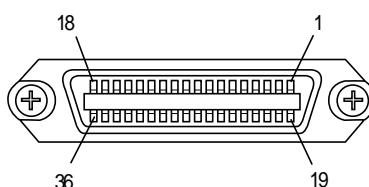
部 品	交換目安
定着器	10万枚印刷
ベルトクリーナ	10万枚印刷
転写ローラ	10万枚印刷

▼ インタフェース仕様

パソコンとのインターフェースは、IEEE 1284の仕様に準拠した双方向パラレルインターフェースを採用しています。

インターフェース仕様とコネクタピン配列

- ・インターフェースコネクタ
プリンタ側：36極コネクタ(メス) アンフェノール 57-40360相当品
ケーブル側：36極コネクタ(オス) アンフェノール 57-30360相当品
- ・ケーブル：最長1.5m以下のケーブルを使用してください。
(雑音対策にはツイストペア線を使用し、シールドされていること。)
- ・信号レベル：LOW：0.0V～+0.4V HIGH：+2.4V～+5.0V
- ・データ転送方式：8ビットパラレル
- ・コネクタピン配列



インターフェースコネクタ(36ピン)

双方向 OFF 時のピン配列

ピン番号	信号名称	発信元	ピン番号	信号名称	発信元
1	* Strobe	パソコン	19	-RET	-
2	Data 1	パソコン	20	-RET	-
3	Data 2	パソコン	21	-RET	-
4	Data 3	パソコン	22	-RET	-
5	Data 4	パソコン	23	-RET	-
6	Data 5	パソコン	24	-RET	-
7	Data 6	パソコン	25	-RET	-
8	Data 7	パソコン	26	-RET	-
9	Data 8	パソコン	27	-RET	-
10	* Ack	プリンタ	28	-RET	-
11	Busy	プリンタ	29	-RET	-
12	Paper End	プリンタ	30	-RET	-
13	Select	プリンタ	31	* Inputprime	パソコン
14	* Auto Feed	パソコン	32	* Fault	プリンタ
15	-	-	33	-	-
16	SG	-	34	-	-
17	FG	-	35	-	-
18	+5VSignal	プリンタ	36	* SelectIn	パソコン

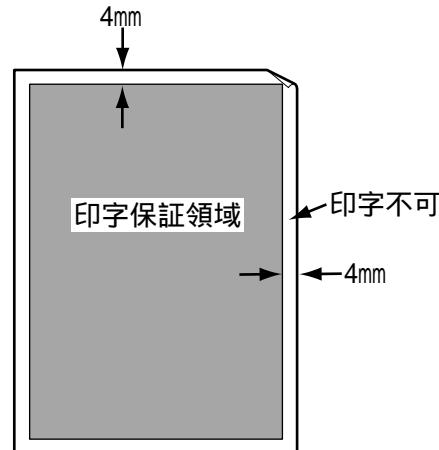
注)・“*”は、負論理信号であることを示します。

- ・ 双方向 ON 時の結線は、IEEE 1284-B タイプのコネクタの規格に準拠しています。

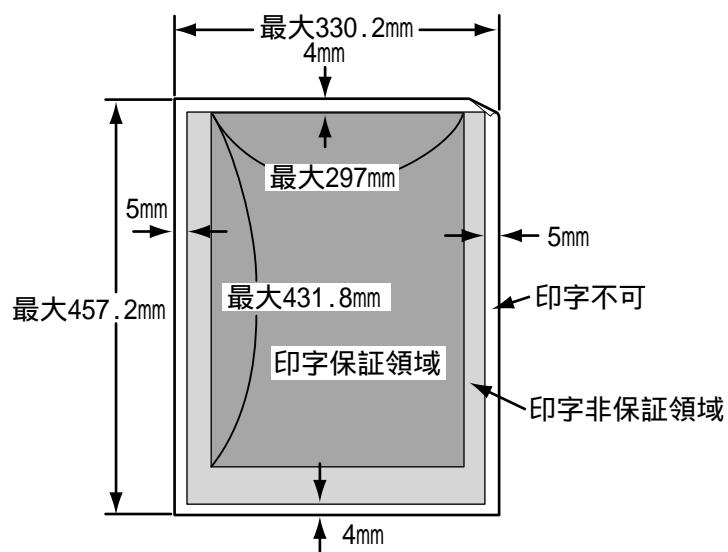
■ 印刷保証領域

本プリンタで印刷できる、各用紙サイズの印刷可能領域は次のとおりです。

[A3 以下または用紙幅が 304.8mm(12inch)以下の用紙の場合]



[特 A3 または用紙幅が 304.8mm(12inch)より大きい用紙の場合
(特 A3 用ガイドを倒して印刷する場合)]



保守・サービス



プリントドライバのダウンロードサービス

最新版のプリントドライバをインターネット上でご提供するサービスです。

下記の手順に従ってプリントドライバをご入手ください。

(2000 年 6 月現在)



アフターサービスについて

- ・お買い求めの際に販売店でお渡しする保証書は、大切に保存してください。
- ・保証書は、日本国内でのみ有効です。
- ・無償保証期間は、お買い上げ日より 6 か月です。詳細は保証書をご覧ください。
- ・保守部品の供給期間は、このプリンタの製造中止後 6 年です。ご了承ください。
- ・分解、改造などをしないでください。無償保証期間内でも、無償修理を受けられないことがあります。
- ・プリンタのご使用にあたっては、純正のサプライ用品をお使いください。サプライ品以外の用品をお使いになったことによる製品の誤動作、および故障に関しましては、当社は一切責任を負いかねますので、ご了承ください。
- ・操作、機能について不明な点、修理のご相談は、お買い求めの販売店、または富士通パーソナルエコーセンターにご連絡ください。詳細は、添付の修理・サービス網一覧表をご覧ください。

サプライ用品担当窓口一覧

サプライ用品に関するお問い合わせ先 :

富士通コワーコ(株) 営業推進本部 商品企画部 03-3342-5375
(〒160-0023 東京都新宿区西新宿6-24-1 西新宿三井ビルディング 20階)

『富士通コワーコ(株) 担当窓口』 2000年5月31日現在

支店	電話番号	住 所
北海道支店	011-221-3966	〒060-0001 札幌市中央区北1条西2-1 札幌時計台ビル 10階
盛岡支店	019-626-4773	〒020-0033 盛岡市盛岡駅前北通り1-10 東京生命盛岡ビル 5階
東北支店	022-267-6871	〒980-0811 仙台市青葉区1番町2-3-22 仙台ビルディング 5階
福島支店	024-921-1819	〒963-8001 郡山市大町1-14-1 協栄生命郡山ビル 5階
山形出張所	023-641-9766	〒990-0043 山形市本町1-4-21 荘銀山形ビル 7階
宇都宮支店	028-638-8701	〒321-0953 宇都宮市東宿郷4-2-24 センターズ・ビルディング 5階
北関東支店	048-643-4080	〒331-0851 大宮市錦町682-2 大宮情報文化センター 13階
群馬支店	027-328-1621	〒370-0841 高崎市栄町14-5 内堀ビル 4階
千葉支店	043-245-0088	〒260-0025 千葉市中央区問屋町1-35 千葉ポートサイドタワー 26階
横浜支店	045-314-9581	〒220-0005 横浜市西区南幸2-20-5 東伸24ビル 7階
川崎支店	044-244-4450	〒210-0005 川崎市川崎区東田町8 パレール三井ビルディング 8階
新潟支店	025-225-7730	〒951-8055 新潟市礪町通二の町2077 朝日生命万代橋ビル 3階
静岡支店	054-203-0040	〒422-8067 静岡市南町18-1 サウスポート静岡 12階

支店	電話番号	住 所
浜松出張所	053-458-5124	〒 430-0927 浜松市旭町 11-1 プレスタワービル 10 階
名古屋支店	052-204-1245	〒 460-0008 名古屋市中区栄 2-4-18 岡谷ビルディング 5 階
三河支店	0566-27-1191	〒 448-0027 刈谷市相生町 1-31 第 5 セントラルビル 2 階
長野支店	026-224-1380	〒 380-0936 長野市岡田町 215-1 日本生命長野ビル 4 階
富山支店	0764-33-2527	〒 930-0005 富山市新桜町 2-21 富士通ビル 5 階
北陸支店	076-232-2471	〒 920-0918 金沢市尾山町 1-8 朝日生命金沢ビル 3 階
京都支店	075-222-1184	〒 604-8171 京都市中京区烏丸通御池下ル虎屋町 566-1 井門明治生命ビル
大阪支店	06-6881-6800	〒 530-6007 大阪市北区天満橋 1-8-30 OAP タワー 7 階
神戸支店	078-392-2561	〒 650-0033 神戸市中央区江戸町 95 番地 リクルート神戸ビル 7 階
岡山支店	086-233-7441	〒 700-0826 岡山市磨屋町 10-12 交通オアシスビル 6 階
広島支店	082-567-6790	〒 732-0814 広島市南区段原南 1-3-53 広島イーストビル 13 階
松江出張所	0852-25-0313	〒 690-0826 松江市学園南 2-10-14
四国支店	087-851-1822	〒 760-0023 高松市寿町 2-1-1 高松第一生命ビル 新館 6 階
松山出張所	089-946-4033	〒 790-0022 松山市永代町 13 番地 松山第 2 電気ビル 6 階 富士通（株）松山支店内
九州支店	092-451-2433	〒 812-0011 福岡市博多区博多駅前ビ 2-20-1 大博多ビル 5 階
南九州支店	099-225-6290	〒 892-0844 鹿児島市山之口町 2-30 鹿児島第一・海上ビル 8 階

お問い合わせチェックシート

お問い合わせの内容によっては以下の情報が必要になります。お問い合わせになる前に、該当する項目にご記入ください。

プリンタの環境

機種名	_____	製造番号	_____
購入月 :	年 月	(プリンタの背面と保証書に記載してあります)	

プリンタケーブル名 : _____ メーカ名 : _____

ホストコンピュータの環境

パソコンメーカー / 機種名 :	_____		
メモリ容量 :	MB	ハードディスク容量 :	MB
拡張オプション(ボード) :	なし	・ 利用	(メーカー名 : _____)
			(メーカー名 : _____)
			(メーカー名 : _____)

オペレーションシステム

Windows バージョン :	_____	メーカー名 :	_____
その他のOS :	_____	メーカー名 :	_____

プリンタドライバ

プリンタドライバ名 :	_____	バージョン :	_____
-------------	-------	---------	-------

アプリケーションソフト

アプリケーションソフト名 :	_____	バージョン :	_____
使用フォント名 :	_____		

索引

記号	
*	186
180 度回転する	75
3P-2P 変換プラグ	2
▼	183
◀	183
▶	183
▲	183
A	
ACK 信号	199
B	
Busy-Ack	199
BUSY 信号	199
E	
ECP	199
N	
NVRAM 初期化	198
N アップ	75
O	
OHP フィルム	140
OHP フィルム II	10
P	
Plug & Play でのインストール	51, 96, 119
PPC 用紙	15
R	
RAM モジュール	244
RAM モジュールの取り付け	244
Readme2k.txt	119
Readme95.txt	51
T	
TEXT モード	176
TrueType フォント	83
TrueType 置き換えテーブルダイアログ ボックス	84
ア	
アース線	47
アース端子	47
鮮やかさ	81
新しいドライバに 置き換えるとき	60, 104, 112, 127
厚紙	15
アフターサービス	256
イ	
イメージ調整	82
イメージ調整ダイアログボックス	82
色調整	82
色の重ねあわせ処理	80
色の管理ダイアログ	106
印刷機能の設定	192
印刷先のポート	70
印刷する用紙サイズ	73
印刷速度	252
印刷ダイアログボックス	92
印刷に関するトラブル	229
印刷に使用するドライバ	71
印刷の向き	75
印刷品質に関するトラブル	231
印刷部数	192
印刷方向	193
印刷方式	252
印刷保証領域	255

印刷を中止する	178	画質	79, 195		
印字テスト	69	画像を圧縮して転送	87		
インストール	108	紙づまり	208		
インターフェース	252	紙づまりの主な原因	209		
インターフェース仕様	253	紙をさばく	138		
ウ					
ウォームアップタイム	252	カラーオフィス用紙	14		
エ					
液晶ディスプレイ	6, 176	カラーサンプルリスト	203		
エラーアラーム	197	カラー濃度調整	198		
エラーメッセージ	208, 221	カラー補正	80		
エラーランプ	6, 221	カラー補正ダイアログボックス	80		
エラーランプが点灯	221	カラーメトリック	81		
エラーランプが点滅	225	カラーモード	79, 195		
エンジン解像度	252	カラーレンダリング	81		
オ					
オイルロールカートリッジ	2, 5, 10, 143	カラーレンダリングダイアログボックス	81		
オイルロールカートリッジを交換する ...	159	環境範囲	22		
オイルロールカートリッジを取り付ける	30	官製はがき	15		
置き換えるプリントフォント	85	キ			
オフライン状態	177	既定のドキュメントのプロパティ			
オペレータパネル	4, 177	ダイアログボックス	113		
オペレータパネルの機能	6	機能設定一覧	90		
オンライン状態	177	基本仕様	252		
オンラインスイッチ	6	基本的な操作	183		
オンラインランプ	6	給紙力セット	10		
カ					
カートリッジ類の取り扱い上のご注意 ..	(11)	給紙方式	252		
カール	135	給紙方法	16, 76, 194		
外形寸法	252	給紙ローラの清掃	163		
回転止めスペーサ	33	ク			
拡大縮小率	75	区切りページ	69		
拡張給紙ユニット	8	グラフィックスダイアログ	79		
拡張給紙ユニットでの紙づまり	220	ケ			
各部の名称と機能	4	警告表示マークについて	(1)		
		原稿の用紙サイズ	73		
コ					
候補値の設定後の操作	190				
候補値を初期値にする	189				

候補値を表示、設定する	188	セ	積載可能枚数	16
項目の表示と選択	186		セットスイッチ	183
コネクタピン配列	253		節電モード	197
コメント	68, 89, 90	ソ	ソート	77
コンセント	22		騒音	252
コントラスト	81	タ	タイムアウト	87
サ				
再生紙	15		タイムアウト設定	71
サブメニューを表示、選択する	185		耐用期間	252
サプライ品	10, 142		短辺	74
シ				
システムの設定	196	チ	超音波加湿器	23
重量	252		長辺	74
出力サイズ	73	ツ	通常のインストール	56, 100, 122
出力タイミング	199		通風口	5
使用環境条件	252	テ	定着器	5, 159
詳細ダイアログ	70		手差しセット方向	195
上質紙	15		手差しトレイ	2, 4
状態表示	176		手差しトレイでの紙づまり	212
消費電力	252		手差しトレイにOHPフィルムをセットする	140
情報ダイアログ	68		手差しトレイにはがきをセットする	141
書体	252		手差しトレイに用紙をセットする	137
ジョブタイムアウト	197		手差しトレイを取り付ける	26
ジョブの削除	91		手差しユニット	4
ジョブの登録	90		手差しユニットのスペーサを取り外す	27
ジョブの読み出し	90		デバイスオプションダイアログ	86
処理中ランプ	6		電圧定格値	46
ス				
ズーム	75		電源コード	2
推奨用紙	14		電源コードコネクタ	5
スクリーン	79		電源コンセント	22
スタンドアロン	57			
スプールの設定	72			
スマージング	87, 195			
寸法	24			

電源周波数	252	排出方法	76, 194	
電源スイッチ	5	廃トナー ボックス	5, 10, 142, 143	
電源投入時のトラブル	228	廃トナー ボックスを交換する	156	
電源を入れる	132	バナーシート	86	
電源を切る	133	パネル設定リスト	201	
電波障害	23	パラレルインターフェース	199	
パラレル機能の設定				199
ト				
登録名変更	91	ヒ		
特A3トレイ保有	88	左上カバー	5	
特殊紙	14	左側面(上)での紙づまり	219	
とじしろ	77	左側面(下)での紙づまり	216	
とじしろ設定ダイアログボックス	77	左下ユニット	5	
とじしろの位置	78	表示内容	176	
とじ幅	78	品質に関する留意事項	236	
トナーカートリッジ	2, 5, 10, 142	フ		
トナーカートリッジを交換する	145	フェイスアップ	194	
トナーカートリッジを取り付ける	33	フェイスアップトレイ	2, 5	
トナーセーブ	86, 196	フェイスアップトレイを取り付ける ...	29	
ドライバの追加	71	フェイスダウン	194	
ドラムカートリッジ	5, 10, 142	フェイスダウントレイ	4	
ドラムカートリッジの保護テープをはがす	37	フォントダイアログ	83	
ドラムカートリッジを交換する	151	フォント代替テーブル	84	
ドラムクリーナー	142	フォントリスト	202	
ドラム表面	153	部数	77	
取消スイッチ	183	普通紙	14	
トレイ	176	プリンター設定リスト	200	
トレイモジュール	88	プリンタキャビネット	8	
ニ				
入力ポート	176	プリンタケーブルコネクタ	5	
ネ				
ネットワークプリンタ	57	プリンタケーブルについて	9	
ハ				
バージョン情報	78	プリンタケーブルの制約	44	
排紙方法	252	プリンタケーブルの接続	45	
排出スイッチ	6	プリンタサーバ	57	
プリンタシーケンス	252	プリンタ使用時のご注意	(7)	
プリンタ設置および移動時のご注意 ..	(2)	プリンタドライバに関する留意事項 ..	240	

プリンタドライバの設定	61, 105, 112
プリンタに関する留意事項	239
プリンタの清掃	162
プリンタのプロパティダイアログボックス	117
プリンタポートの解除	71
プリンタポートの割り当て	71
プリンタ本体	2
プリンタメモリ	87
プリンタ RAM モジュール	8
プリンタ LAN アダプタ	8
プリントサーバーのプロパティ	
ダイアログボックス	118
プリント中止スイッチ	6
プリントモード指定	196
プリント目的	89, 90
プリントユーティリティ	200
フルカラー用 OHP フィルム	140
プレビュー	82
プロファイル	106
フロントカバー	4

ヘ

ページプロジェクト	87, 197
別のサブメニューを設定する	191
別のメインメニューを設定する	191
変換プラグ	47

ホ

ポートの削除	70
ポートの設定	72
ポートの追加	70
保護シート	153
保護テープ	39

ミ

未印刷データを強制的に印刷する	179
右上カバー	4
右側面での紙づまり	213

メ

メインメニューを表示、選択する	184
メタファイル (WMF)	69
メニュー画面へ移行する	183
メニュー・スイッチ	6, 183
メニューの階層について	182
メモリを増設	244
メンテナンス	198

モ

モード	176
文字・書体	252

ユ

ユーザー設定ダイアログ	89
ユーザー定義サイズ	73
ユーザー定義サイズダイアログボックス	74

ヨ

用紙サイズ	16, 73, 192, 252
用紙サイズの入力単位	74
用紙種類	76, 194
用紙ストッパー	4
用紙ダイアログ	73
用紙トレイ	4
用紙トレイでの紙づまり	210
用紙トレイに用紙をセットする	134
用紙トレイのスペーサを取り除く	41
用紙に関するトラブル	230
用紙の向き	74

ラ

ラベル紙	15
------	----

リ

両面	75
両面ユニット	87

レ

- レバー A 40
レバー B 40

ロ

- ローカルプリンタ 57

ワ

- ワーニングメッセージ 227
ワイヤクリップ 45

ページプリンタ XL-C3000
取扱説明書

B1WY-4141-02-00

発行日 2000年6月

発行責任 富士通株式会社

Printed in Japan

本書の一部または全部を無断で転載しないよう、お願ひいたします。

本書は、改善のため予告なし変更することがあります。

本書に記載されたデータの使用に起因する第三者の特許権、その他の権利、
損害については、当社はその責を負いません。

落丁、乱丁本は、お取り替えいたします。

82E92740

Ⓐ 9810-1